MAU
武蔵野美術大学
入学試験問題集
2021
MUSASHINO
ART
UNIVERSITY

2021年度入学試験問題・参考作品

入学試験一覧 2
一般選抜 科目・配点 3

造形学部
一般選抜 専門試験・参考作品
総合型選抜 選考課題・参考作品

日本画学科 6
油絵学科油絵専攻 14
油絵学科版画専攻 24
彫刻学科 30
視覚伝達デザイン学科 38
工芸工業デザイン学科 46
空間演出デザイン学科 56
建築学科 66
基礎デザイン学科 72
芸術文化学科 82
デザイン情報学科 90

造形構想学部
一般選抜 専門試験・参考作品
総合型選抜・学校推薦型選抜 選考課題・参考作品

クリエイティブイノベーション学科 100
映像学科 102

造形学部
一般選抜 学力試験問題・解答例 113

造形構想学部
一般選抜 学力試験問題・解答 125

2021年度入学試験結果 164

外国人留学生・帰国生特別、編入学、大学院修士課程・博士後期課程の各選抜の入学試験問題等については、大学webサイトで公開しています。

※参考作品は、入学試験合格者の中から選定しました。
※日本画学科の「鉛筆デッサン」と「着色写生」、油絵学科油絵専攻の「デッサン」と「油絵」の参考作品は、同一受験者のものです。
※受験生の文章は原則として原文のまま掲載しましたが、誤字脱字は一部訂正しました。
※2022年度入学試験の詳細は、大学webサイトで必ず確認してください。

学部・大学院 入学試験一覧

選抜方式		造形学部 日本画学科	油絵学科油絵専攻	油絵学科版画専攻	彫刻学科	視覚伝達デザイン学科	工芸工業デザイン学科	空間演出デザイン学科	建築学科	基礎デザイン学科	芸術文化学科	デザイン情報学科	構想学部 造形学科 クリエイティブイノベーション学科	構想学部 造形学科 映像学科
一般選抜	一般方式 本学独自の学力試験や、学科別専門試験（実技試験等）による選抜方式です。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	学部統一方式 国語・英語・数学から2科目の成績で合否を判定し、一度の試験で2学科を併願できます。	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	○	○
	共通テスト2教科＋専門試験方式 大学入学共通テストの成績と、学科別専門試験（実技試験等）による選抜方式です。専門試験は一般方式とほぼ共通です。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	○
	共通テスト3教科方式 大学入学共通テストの成績のみで合否を判定します。実技試験等本学独自の試験はありません。	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	○	○	○
	共通テスト5教科方式 大学入学共通テストの成績のみで合否を判定します。実技試験等本学独自の試験はありません。	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	○	–
総合型選抜	総合型選抜［前期］ 作品審査や面接などを中心とした本学を専願とする試験です。	○	○	○	○	–	○	○	○	○	○	○	○	○
	総合型選抜［後期］ 作品審査や面接などを中心とした本学を専願とする試験です。	–	–	○	○	–	–	–	–	–	–	–	–	○
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜（学校長推薦） 出身学校長の推薦を得て本学を専願とする試験です。	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	○	○
外国人留学生特別選抜		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
帰国生特別選抜		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	–
編入学選抜		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

選抜方式	大学院造形研究科	大学院造形構想研究科
修士課程選抜	○	○
博士後期課程選抜	○	○

造形学部 一般選抜

一般方式

すべての試験を本学（鷹の台キャンパス）で受験します。
本学独自の出題による国語・外国語の学力試験と、それぞれの学科の特色に応じた専門試験を組み合わせて受験します。

*1 国語・外国語試験は造形学部全学科・専攻共通の試験です。国語は古文・漢文を除く。
*2 リスニングテストは実施しません。
*3 フランス語を選択する場合は、「大学入学共通テスト」で当該科目の受験が必要です。大学入学共通テストの外国語「フランス語」得点（配点200点）を【一般方式】の「外国語」得点（配点100点）に換算して評価します。
*4 各学科・専攻の専門試験科目は一般方式および共通テスト2教科＋専門試験方式共通の試験として、同一内容、同一日時で実施します。同一学科・専攻を一般方式・共通テスト2教科＋専門試験方式・共通テスト3教科方式で併願可能です。ただし基礎デザイン学科において、一般方式で専門科目「数学」を選択した場合、共通テスト2教科＋専門試験方式との併願はできません。
*5 「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」より出題します。
*6 「数学Ⅰ」「数学A」より出題します。

凡例 必修科目 / 選択科目

学科・専攻	学力試験配点		学科別専門試験配点*4	合計
日本画学科	国語*1 100点	外国語*1*2（英語 フランス語*3）100点 いずれかを選択	鉛筆デッサン＋着色写生 300点	500点
油絵学科油絵専攻			デッサン＋油絵 300点	
油絵学科版画専攻			選択科目 下から1科目選択：デッサン 300点 / イメージ・ドローイング 300点	
彫刻学科			選択科目 下から1科目選択：デッサンA 300点 / デッサンB 300点	
視覚伝達デザイン学科			鉛筆デッサン 150点 / デザイン 150点	
工芸工業デザイン学科			鉛筆デッサン 150点 / 選択科目 下から1科目選択：デザイン 150点 / 構想力テスト 150点	
空間演出デザイン学科			鉛筆デッサン 150点 / デザイン 150点	
建築学科			選択科目 下から1科目選択：鉛筆デッサン 200点 / 数学*5 200点	400点
基礎デザイン学科			感覚テスト 100点 / 選択科目 下から1科目選択：基礎造形 100点 / 数学*6 100点	
芸術文化学科			選択科目 下から1科目選択：鉛筆デッサン 100点 / 小論文 100点 / 数学*6 100点 / 地理歴史（世界史または日本史）100点	300点
デザイン情報学科			選択科目 下から1科目選択：デザイン 200点 / 造形表現テスト 200点 / 小論文(図説を含む) 200点	400点

造形学部 一般選抜

共通テスト2教科＋専門試験方式

大学入学共通テストと、本学での専門試験を組み合わせた選抜方式です。
ほとんどの学科で科目を幅広く選択でき、得意科目を生かせます。
専門試験は一般方式とほぼ共通なので、併願しやすくなっています。

学科・専攻	共通テスト2教科配点	学科別専門試験配点*4	合計
日本画学科	200点（100点＋100点）2教科2科目を選択	鉛筆デッサン＋着色写生 300点	500点
油絵学科油絵専攻		デッサン＋油絵 300点	
油絵学科版画専攻		選択科目 下から1科目選択：デッサン 300点 / イメージ・ドローイング 300点	
彫刻学科		選択科目 下から1科目選択：デッサンA 300点 / デッサンB 300点	
視覚伝達デザイン学科		鉛筆デッサン 100点 / デザイン 100点	400点
工芸工業デザイン学科		鉛筆デッサン 100点 / 選択科目 下から1科目選択：デザイン 100点 / 構想力テスト 100点	
空間演出デザイン学科		鉛筆デッサン 100点 / デザイン 100点	
建築学科	①100点「国語」「数学」「外国語」より1教科1科目を選択 ②100点 ①で選択した教科を除く6教科28科目より選択	選択科目 下から1科目選択：鉛筆デッサン 200点 / 数学 200点	
基礎デザイン学科	200点（100点＋100点）2教科2科目を選択	基礎造形 150点 / 感覚テスト 150点	500点
芸術文化学科		選択科目 下から1科目選択：鉛筆デッサン 100点 / 小論文 100点 / 数学 100点 / 地理歴史（世界史または日本史）100点	300点
デザイン情報学科	100点 / 100点	選択科目 下から1科目選択：デザイン 200点 / 造形表現テスト 200点 / 小論文(図説を含む) 200点	400点

共通テスト方式科目一覧

外国語	国語
「英語」「フランス語」「ドイツ語」 ・「英語」はリーディングのみ。 ・「ドイツ語」「フランス語」は、200点満点を100点満点に換算。	「国語」 ・近代以降の文章のみ。
数学	**地理歴史**
「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」
公民	**理科**
「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	「物理」「物理基礎」 「化学」「化学基礎」 「生物」「生物基礎」 「地学」「地学基礎」 ※基礎を付した科目は2科目で1科目分。

指定した選択教科・科目数以上を受験した場合は、得点の高い教科・科目を評価。

一般選抜 科目・配点

造形学部 一般選抜

共通テスト3教科方式

大学入学共通テストの指定科目のみで受験できる選抜方式です。4つの学科で実施しています。（科目は3ページ左下の一覧を参照してください）

*1 外国語は得点を100点満点に換算します。「英語」はリーディングのみ。
*2 理科において基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなします。
*3 「数学Ⅰ・A」「数学Ⅱ・B」のどちらかを選択。
※ 選択科目において、2科目以上受験した場合は、もっとも得点の高い1教科1科目を評価します。

学科	評価型	共通テスト3教科配点						合計
		外国語*1	国語	数学	地理歴史	公民	理科*2	
建築学科		100点	①100点 「国語」「数学」*3より1教科1科目を選択		②100点 ①で選択した科目を除く5教科25科目より選択			300点
基礎デザイン学科								
芸術文化学科								
デザイン情報学科	共通配点型	100点	100点	100点 4教科24科目より選択				
	数学重点型	①100点 「国語」「外国語」より1教科1科目を選択		100点 「数学Ⅰ・数学A」	②100点 ①で選択した科目を除く6教科26科目より選択			

造形構想学部 一般選抜

学部統一方式・一般方式

造形構想学部の一般選抜は従来の美大受験や、文系・理系にとらわれないさまざまな選抜方式を設けています。
学部統一方式は一度の試験で2学科を併願できるほか、一般方式との併願もできます。一般方式は学科独自の試験で合否を判定します。

*1 近代以降の文章のみ。
*2 「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」より出題します。
*3 近代以降の文章、古文。

学部統一方式

学科	配点	合計
クリエイティブイノベーション学科	国語*1 英語 数学*2 各100点 2教科2科目を選択 （3科目受験した場合は高得点の2科目の成績で合否を判定）	200点
映像学科		

一般方式

学科	評価型	配点						合計
クリエイティブイノベーション学科	文系学力重視型	国語*3 100点	英語 100点		選択科目 下から1科目選択			300点
					世界史 100点	日本史 100点		
	理系学力重視型	数学*2 100点			選択科目 下から1科目選択			
					物理 100点	化学 100点		
映像学科		国語*1 100点	英語 100点	感覚テスト 150点	選択科目 下から1科目選択			500点
					数学*2 150点	鉛筆デッサン 150点	小論文 150点	

造形構想学部 一般選抜

共通テスト2教科＋専門試験方式
共通テスト3・5教科方式

大学入学共通テスト試験の成績や本学独自の試験などで合否を判定する選抜方式です。（科目は3ページ左下の一覧を参照してください）

*1 外国語は得点を100点満点に換算します。「英語」はリーディングのみ。
*2 理科において基礎を付した科目は2科目で1科目分とみなします。
*3 クリエイティブイノベーション学科の「国語」は、近代以降の文章、古文を対象とし、得点を100点満点に換算します。
*4 クリエイティブイノベーション学科の「数学」は、「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」の2科目で1科目分とみなし、得点を100点満点に換算します。
*5 映像学科の専門試験は、学科独自の試験「数学」「感覚テスト」「鉛筆デッサン」「小論文」より1科目を選択します。

学科	方式	共通テスト配点						専門試験配点	合計
		外国語*1	国語	数学	地理歴史	公民	理科*2		
クリエイティブイノベーション学科	共通テスト3教科方式	英語 100点	①100点 「国語」*3「数学」*4より1教科1科目を選択		②100点 ①で選択した科目を除く5教科21科目より選択				300点
	共通テスト5教科方式	英語 100点	100点*3	100点*4	100点 2教科10科目より選択		100点 1教科8科目より選択		500点
映像学科	共通テスト2教科＋専門試験方式	200点（100点＋100点） 6教科28科目より2教科2科目を選択						150点*5	350点
	共通テスト3教科方式	100点 1教科3科目より選択	①100点 「国語」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」より1科目選択		②100点 ①で選択した科目を除く5教科25科目より選択				300点

一般選抜 専門試験・参考作品
総合型選抜・学校推薦型選抜 選考課題・参考作品

日本画学科 6
油絵学科油絵専攻 14
油絵学科版画専攻 24
彫刻学科 30
視覚伝達デザイン学科 38
工芸工業デザイン学科 46
空間演出デザイン学科 56
建築学科 66
基礎デザイン学科 72
芸術文化学科 82
デザイン情報学科 90
クリエイティブイノベーション学科 100
映像学科 102

一般選抜 学力試験問題・解答例

造形学部 学力試験 113
造形構想学部 学力試験 125

鉛筆デッサン（3時間）

【問題】

机上のモチーフを鉛筆デッサンしなさい。

［条件］

答案用紙は縦横自由。

［配付物］

1. 試験問題
2. 答案用紙（B3画用紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

【出題意図と評価のポイント】

壁からモチーフ台にかけて白い布を掛け、台上に、壁に立て掛けられた正方形の鏡、その前にはだいたいの高さを揃えて、左奥より発泡スチロールの立方体、細口ビンに入ったダチョウの羽、大谷石の立方体、青い蓋付き円筒缶。手前の列は、右から白い紙箱の直方体、台付の白い石膏球、フェザー入りの蓋付き円筒ガラス瓶。これらのモチーフが組まれた囲みによる鉛筆デッサンが出題である。青い缶以外は、ほぼ白を基調とした無彩色のモチーフであるが、数も多く、また鏡にはすべてのモチーフや背景が映り込んだものとなっている。すべてのモチーフを描き切ってもよいが、自分なりにモチーフをトリミングをして構図をつくり、素材の描き分けを通していかにモノトーンによる自らの世界観を画面に表現できるかが評価のポイントになっている。

着色写生（6時間）

【問題】

女性像を自由に着色写生しなさい。

［条件］

1. 答案用紙は縦横自由。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

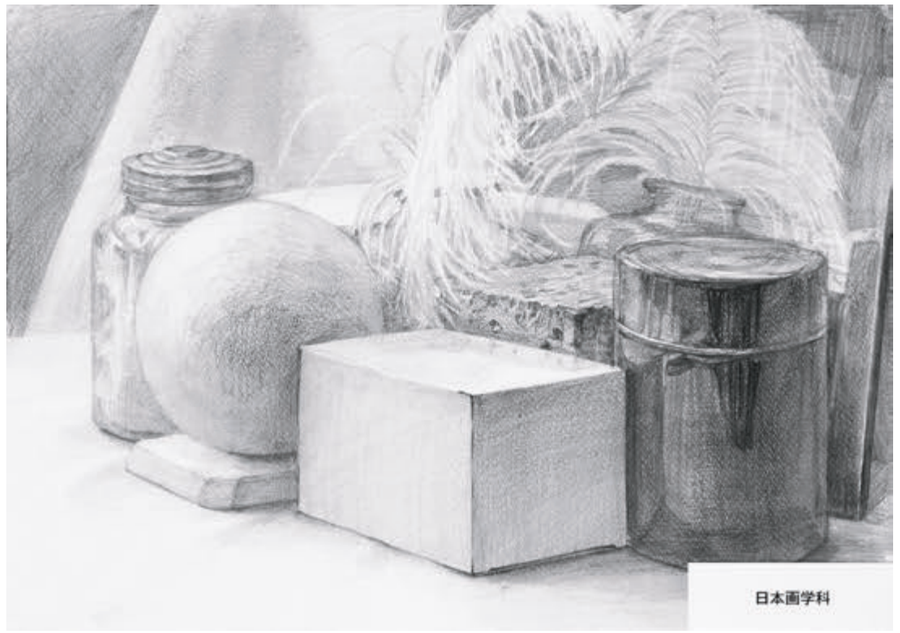
［配付物］

1. 試験問題
2. 答案用紙（A2画用紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

【出題意図と評価のポイント】

オフホワイトのケーブルニットのセーターに濃い灰色の膝下丈のプリーツスカート、膝を折曲げ、肘枕で寝そべりながらファッション雑誌を読みふける、自然なムービングによる女性像がモチーフである。立ちポーズや座りポーズに比べて寝ポーズは難易度も高く、また、動きがあるためにそこには高度なデッサン力が要求される。問題文にある「自由に」ということもあり、自らの想像する世界観の構築が重要なポイントとなってくる。

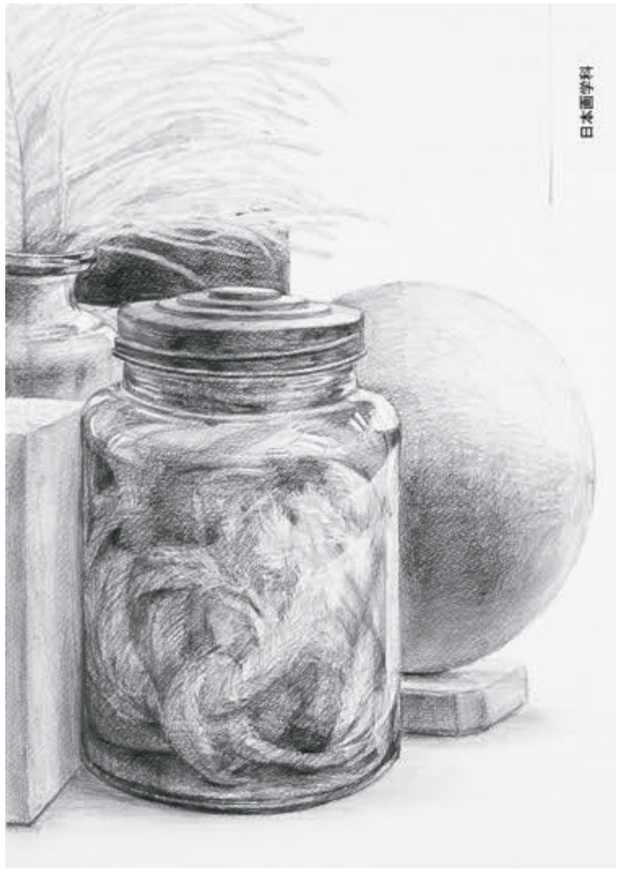
※モデル等の画像は非掲載とします。



教員コメント

着色写生は、頭部、腕を近景とする遠近表現を試される位置からのポーズを見事に画面に構成している。雑誌のページをめくる左手付近を克明な描写で表現し、スポットライトに照らし出されたような強い手応えのある印象を与えている。そして、他の部分を省略気味にすることによって、空間全体の把握に成功している。

鉛筆デッサンも、この作者は非常に優れた造形描写能力を持っている。あえて白色系のモノトーンで構成されたモチーフの出題意図をよく理解し、鉛筆による濃淡の階調の美しさ、質感の違いをそれぞれのタッチの工夫で小気味よく表現し、構成されている。

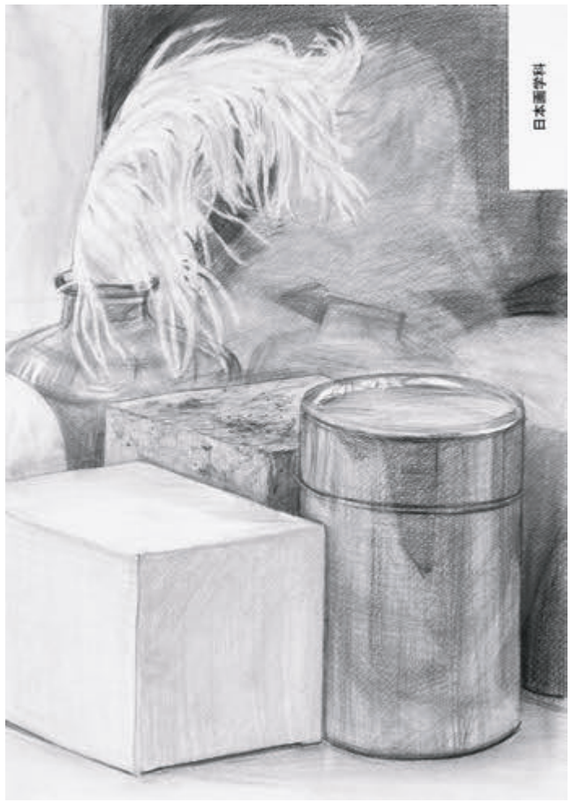


教員コメント

着色写生は、人体のフォルムの綺麗さと背景のピンクが印象的である。じっくり見ていくと、セーターの色彩と雑誌の白色の違いや背景とモデルの肌の色を細やかに意識して描き、同時に髪の毛とスカートの黒で全体を引き締めており全体感を重視して表現されていることがわかる。
鉛筆デッサンもモチーフの切り取り方が的確であり、フォルムの扱い方や空間表現にも着色写生との共通点があって作者の個性を感じることができ評価した。

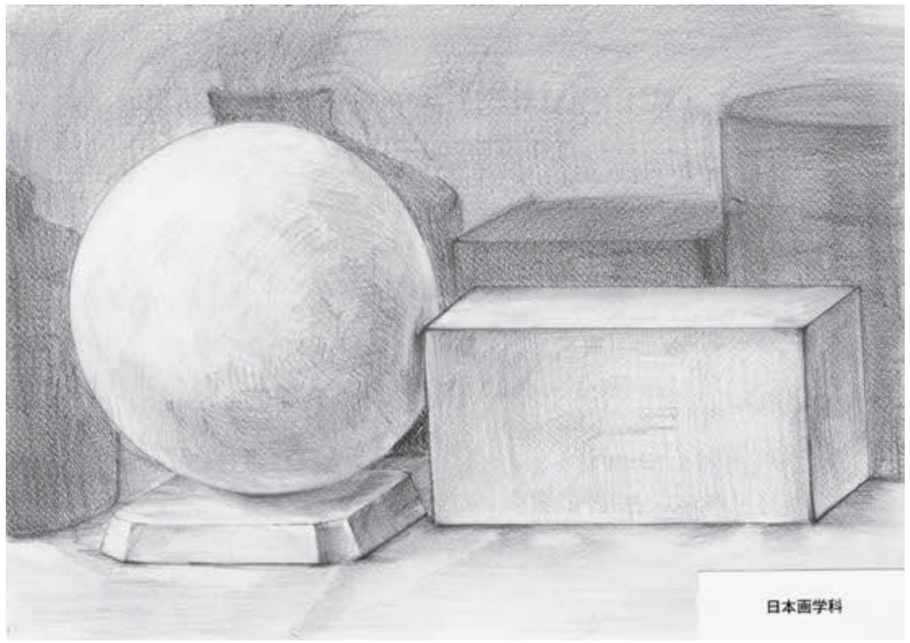
教員コメント

強い色彩と筆触がフォービズム※を感じさせる着色写生は、受験生の作品であることを超えて表現として強い主張を感じ評価した。りんごのイメージを用いて表現しているが、それよりも色彩と空間への意識を強く感じる。
鉛筆デッサンも個々のモチーフの描写という点では物足りないが、着色写生同様に空間に対しての意識が感じられる。
※絵画的な質と強い色彩を強調した20世紀初頭の絵画運動の名称



教員コメント

着色写生では、人物のトリミングの仕方やそれぞれの質の描き分け、モチーフとなったファッション誌をうかがわせる背景など工夫があり、それらの描写のバランスがとれた構図である。作品として、とてもボリュームを感じ堂々としたものを感じさせる。
鉛筆デッサンでもそうなのだが、それぞれの素材の特徴における描き分けや構図など、作者の描写力が十分に発揮され、実際の答案用紙の寸法に比べ作品が大きく見える印象がここにはある。



教員コメント

着色写生では、人体のデッサン力が多少乏しいところは否めないが、全体の構図、灰色味で統一された色調や必要最小限の筆のタッチなど、絶妙なバランスを伴い、単純な表層の写し取りではなく、モチーフの内側にまで踏み込んだ、作者の世界観が見て取れる。この作品は絵画として実に成立した作品と言えるであろう。
鉛筆デッサンでは、形状や質感、空間の描写、全体の構図というすべての面で、3時間という試験時間では足りなかったのか、いささか未消化な印象を感じる。

総合型選抜［前期］ 一般方式

①第1次選考

ポートフォリオ（作品資料ファイル）および自己推薦調書による審査

②第２次選考

鉛筆デッサン、作品審査および面接

●鉛筆デッサン（3時間）

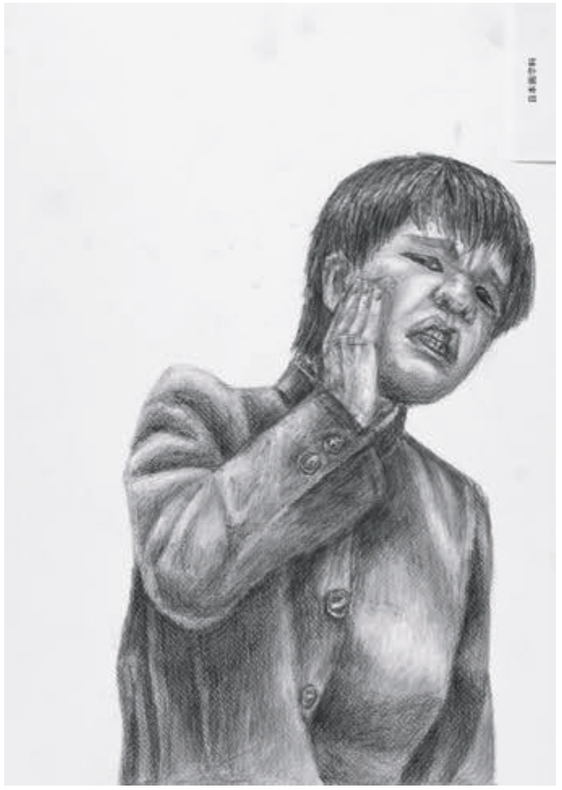
【問題】
自画像と手を構成して鉛筆デッサンしなさい。

［条件］
1. マスクを外した自画像でも良い。
2. 答案用紙は縦横自由。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（A2画用紙）×１枚
3. 鏡×１枚
4. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

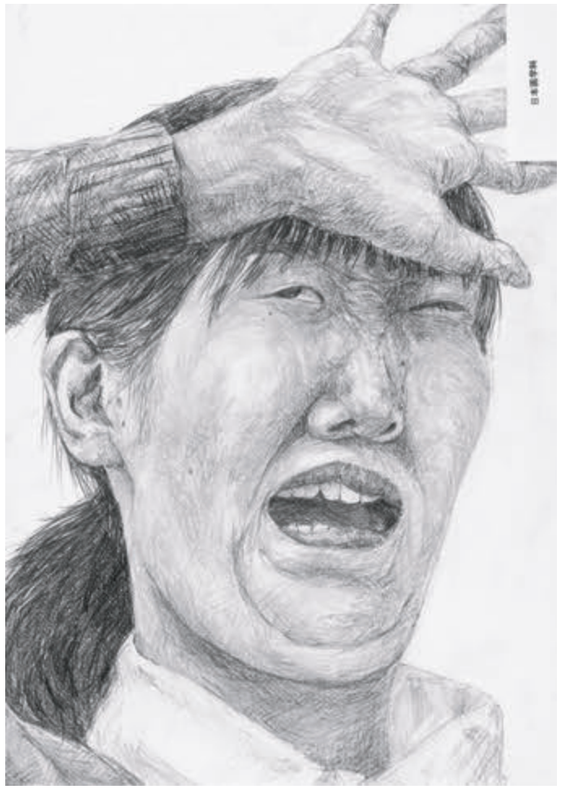
● 審査基準・評価ポイント

提出された作品とポートフォリオから、基礎的な造形力、独自の発想などの想像力、制作に対する意欲が感じ取れるかなどをポイントに評価する。実技でも基礎的な描写力とともに構成や表現の独自性があるかを観点として採点する。面接では、本学の日本画学科を選んだ理由や美術に関する知識を探り、大学に入ってからの授業に対応できるか判断し、一般選抜では捉えきれない個性や考え方を持った学生を受け入れたいと考えている。



教員コメント

試験というものは内容に関わらず緊張感を強いるものである。そういった状況の中で、自己の内面が表れているかのような空間表現が魅力的である。描写も美術予備校で訓練した表現とは異なり、鉛筆の調子も単調ではあるが、だからこそ真実の自身に迫るかのように感じられ、表現として優れている。



教員コメント

現実の自分を誇張した表現には少し劇画的な部分もあるが、それを超える表現力の豊かさが感じられる。手の描写には多少の硬さも見られるが、顔からは量感も感じられ、的確な描写力があることを示している。今後の作品制作の可能性が十分感じられ評価した。

デッサン（６時間）

【問題】

モチーフを自由に描きなさい。

［条件］

1. 答案用紙は縦横自由。
2. キャンバスの裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

［配付物］

1. 試験問題
2. 答案用紙（木炭紙または画用紙から選択）×１枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×２枚

【出題意図と評価のポイント】

静物台の中央に木製折りたたみ式３段ラックが置かれ、その上と周囲にはバナナ、グレープフルーツ、オレンジ、みかん、リンゴ、アボカド、レモンが点在するよう配置されている。ラックの両脇には対をなすよう円筒型のガラス製花瓶を置き、ポケの枝を生けた。一見オーソドックスなモチーフに見えるが、有機的な形態と無機的な形態との対比、空間を分断するように伸びるポケの枝や点在する果物など、絵を構成する要素を多くすることで、受験生がどのようなところに感心を示すのか期待した。評価のポイントは、構図、形､空間など絵を構成する要素を総合的に描ける基礎力があるもの、一方、何か一つこだわりを持って取り組んでいる作品などで、いずれにせよ地道に自分のテーマを模索している作品は高い評価を得た。

油絵（６時間）

【問題】

モチーフを自由に描きなさい。

［条件］

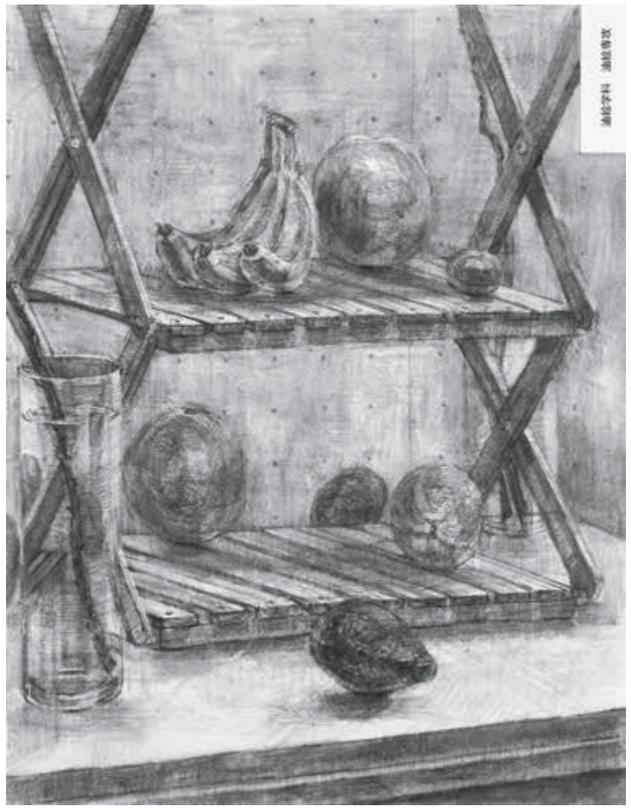
1. キャンバスは縦横自由。
2. キャンバスの裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

［配付物］

1. 試験問題
2. F15号キャンバス×１枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×２枚

【出題意図と評価のポイント】

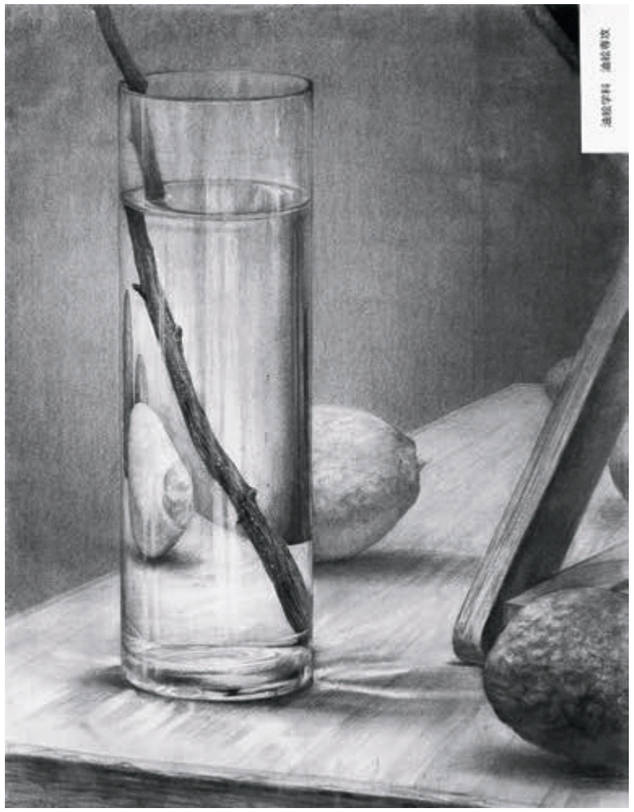
モチーフ台に被せた白い布の中央にグレーのバケツが伏せて置かれている。その上に順に横長の黒い紙箱、ステンレスボウル、スイカ柄のビーチボールが重ねられている。その周囲に異なった樹脂製の果物が８個、ほぼ等間隔で置かれている。８個の果物の間の布の下には４個の果物が置かれている。画面の中での形や空間に対する意識を測る意図から、単にモチーフを描けば絵になるといった構成でなく、モチーフ同士の関係性、台や背景など空間に対する意識を持たなければ絵になりにくい構成とした。ただ、布や果物など、描写することで成り立つ要素を入れて、描きながらさまざまな関係性に気付けるよう配慮した。また、色に対する感覚を測る意図から、布の白、バケツのグレー、箱の黒の無彩色にビーチボールと果物の彩度の高い色を対比させ、布の下に置いた果物によって淡い色が感じられるよう構成した。採点時は、基礎的な描写力に加えて画面構成力や色に対する感覚など、表現力の豊かさに優れた作品を評価した。クローズアップなど、独自の視点で構成された作品も多く見受けられたが、単なる形式としてではなく、その意図が明確に感じられる作品を評価した。



教員コメント

極めて素直に、しかし決して受け身ではなくモチーフと向き合っている姿勢が清々しい。対象を正確にあるがままに描こうとしながら、見えている世界を描き写すだけでは対象に届かないことを作者は理解している。油絵はモチーフの形態を正確に描写しつつ、色彩は相互に関係を持たせるよう工夫している。また背景の人物やイーゼルを積極的に取り入れ、安定しつつ動きのあるダイナミックな明暗構成を実現している。手前の果物は人工物特有のチープな感じがもっと出てよかった。

デッサンも対象を正確に描こうとする姿勢は油絵と同様である。ラックの最上部を切ったために、ある種、不思議さの感じられる構図となった。物と物との前後関係や物と台、果物とラックとの関係の追求に緻密さが増すとデッサン全体の厳しさが出てくるだろう。また、果物はもっと丁寧に追求してよい。表現とは主観的な絵づくりによってのみ成り立つものではないことを示す好例としての作品である。

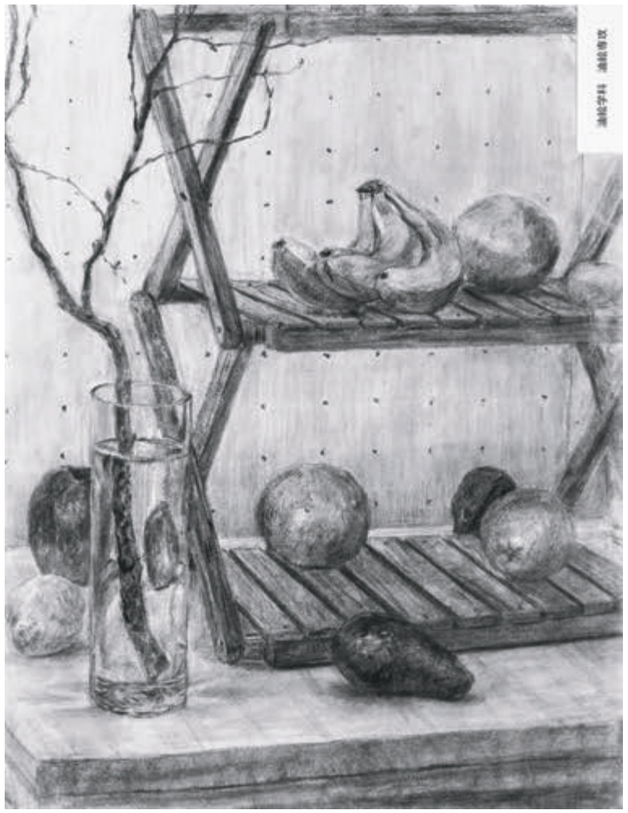


教員コメント

油絵、デッサンともに、安定した描写力を発揮している。特に、油絵はグリザイユ※から始めて明暗の関係を完璧に整えてから、固有色を乗せていく手法をとっており、これは短時間で結果を求められる受験には向かない描き方といえる。しかし、感性を重視した個性派たちが多くを占める中、この種の堅実で精度の高い制作をする者も、当然のことだが高く評価したい。迂回的な手順をわざわざ踏む、受験生らしからぬ落ち着きぶりにも注目した。また、モチーフはチープなプラスチック製のフルーツなのだが、持ち前の描写力で、本物の果物のようなディテールを付加して描き込み、質感を画上で変換させて見せる演出や、写真撮影でいうところの被写界深度を意識したような背景のぼかし方は非常に巧みで、出題に対する解釈を拡張しようという意欲と、表現者としてのポテンシャルの高さをうかがわせた。

※古典技法の一つで、「明暗」と「色彩」を分けて制作していく技法

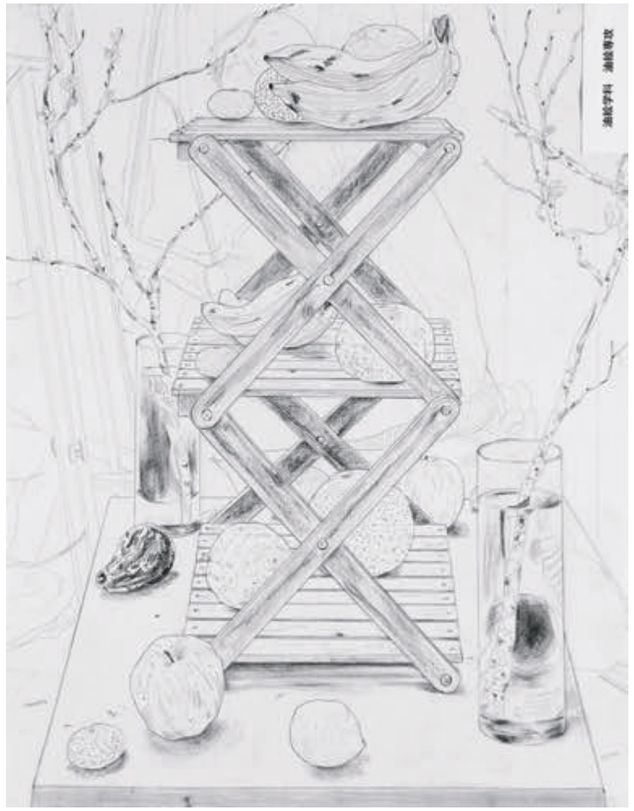
油絵学科油絵専攻
一般選抜 専門試験
デッサン
油絵



教員コメント

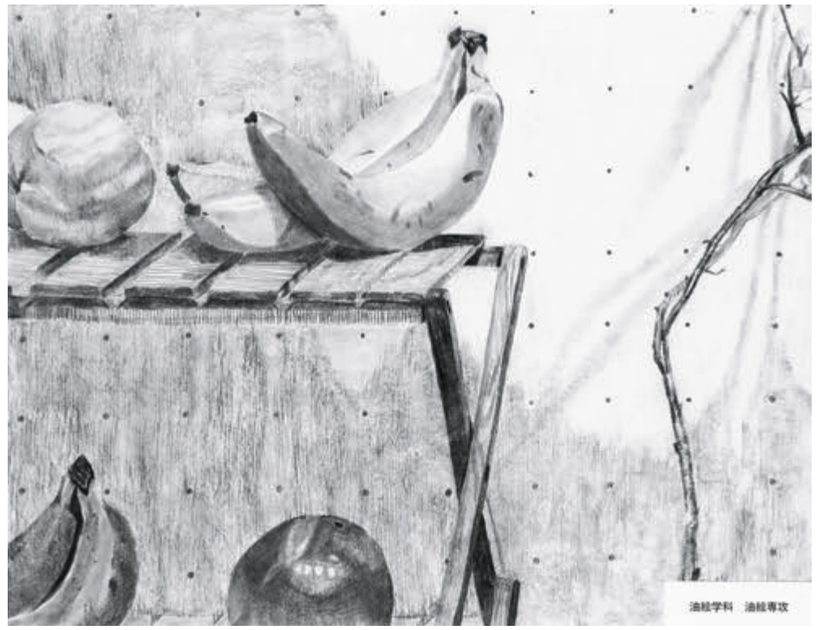
油絵は、模造の果物とスイカ柄のビーチボールの質や色に反応して、それぞれの形を丁寧に描きながら、その軽さを表現しようと試みている。果物、ビーチボールの彩度の高い色彩と布の下から感じる淡い色味を、箱やバケツ、背景のグレートーンと対比させることでそれを成功させている。左右対称の動きの少ないモチーフに対して、背景の人物とイーゼルの脚によって視点をずらした構図は、画面に広がりを与えている。

デッサンは、それぞれのモチーフの関係が的確に描かれている。画面左側の、棚の側面のX字の連なりとそれに重なるボケの枝が上に伸びる動きとなり、棚や台に置かれた果物から感じる重さとの対比によって、広がりのある安定した画面になった。油絵、デッサンともに素朴ながらも、モチーフから感じ取ったものを独自の視点で捉えて表現している。



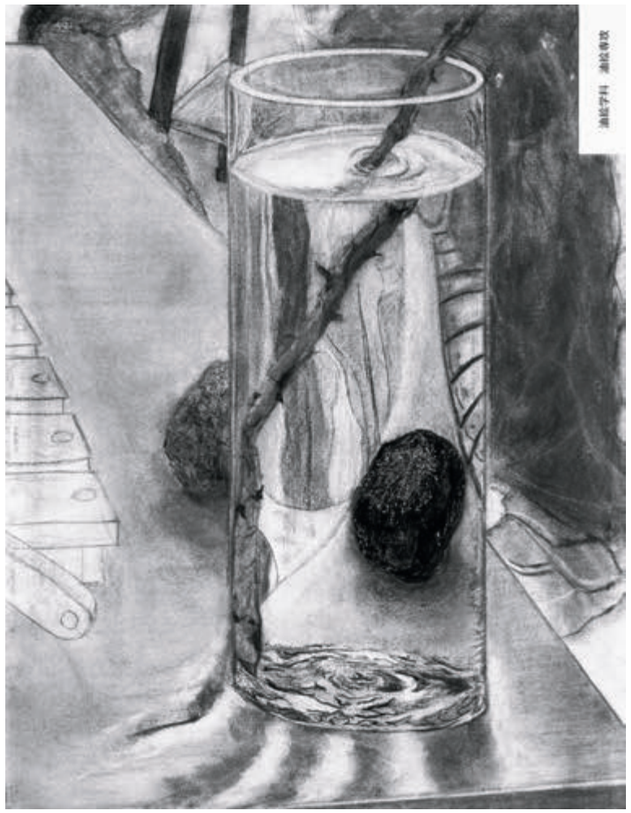
教員コメント

油絵は、絵を描くことの楽しさが一瞬にして伝わり目を惹いた。出題に対して、一見消極的に見えたが、注意深く見ていくと作者なりの解釈があることに気付く。キャンバスというフレームの中にもう一つのフレームがあるように見えるが、それはモチーフの箱であり、本来そこには配置されていない模擬フルーツが軽やかなタッチで描かれている。
デッサンでは、木炭紙の地を残しながら描くことは軽やかな印象で目を惹く。限られた調子の中で、線の使い方にもメリハリがあり、モチーフを観察する力があることがわかる。油絵とデッサンいずれも、画面全体から受ける印象と絵づくりのためのプロセスとの落差があることで、見る者の認識を揺さぶる効果があり、作者のユーモアと確信がうかがえる魅力ある作品となっている。



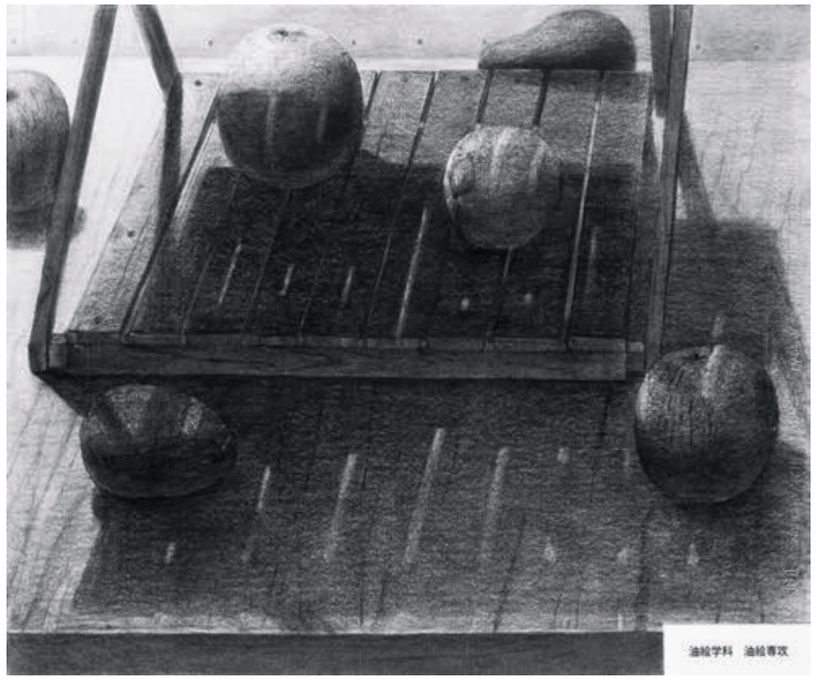
教員コメント

油絵、デッサンともに、テクスチャーの変化に魅力を感じる作品である。油絵に関しては、若干、技巧的過ぎる部分もあるが、あえて色彩を抑え、水彩画の様な微妙な滲みの変化とメディウムの可塑性を生かしたモルタルのような質感を上手く組み合わせて画面を構成し、印象深い作品をつくり上げた。また問題文の「自由」という言葉から、背景に想像上の風景を描き、イメージの広がりを感じさせた。
デッサンにおいては、モチーフと後ろの壁面との距離があまり無いことを積極的に捉えて、壁に映る影をまるで実際にフロッタージュ※したかのような質感で描き出し、平面的だが見応えのある空間をつくり出した。また、枝とその影の描写が画面を引き締めている。
※凹凸のあるものの上に紙を置き、鉛筆などの描画材でこするように描くことで、対象の凹凸や形状を写し取る技法



教員コメント

この奇怪な油絵のインパクトには正直参った。モチーフであるスイカのビーチボールに作者の顔が大写しになっている設定は秀逸だが、入試作品としては評価が分かれる危うさもあろう。しかし響き合った緑の美しさや、自由奔放に暴れまわる絵具を際どくコントロールした緊張感が勝っている。作品下部には、なぜか写っている主体である作者の顔らしきものがあり、それによって構図の単純化を免れている。
デッサンは、やや形が甘く空間性に乏しいが、各モチーフの微妙な質感や色彩が魅力的で、それだけでいい、と思わせる潔さがある。全体を通して、失敗を恐れず「自分はこういう絵が描きたいのだ」と言い切ることの強さは、何ものにも代え難い長所になる、ということだろう。



教員コメント

特徴的なドットの組み合わせで影の部分が描かれた油絵は、採点中、我々の興味を一気に惹いた。プリンターの画像を拡大したような表現を画面に持ち込み、アナログな油絵にデータ出力のような表情を持たせて新鮮な画面をつくり上げた。この入試レベルを超えた魅力的な内容は、普段の研究を独自に展開したものであろう。
それはデッサンの力量を見ても納得させられる。無駄なやり取りを一切見せないその効果的なデッサンは、あたかもAI（人工知能）が描いたように冷静だ。この特異な方法論を成立させた作者の入学後の制作が楽しみだ。

総合型選抜［前期］ 一般方式

①第1次選考

ポートフォリオ（作品資料ファイル）および自己推薦調書による審査

②第2次選考

作品審査および面接

● 審査基準・評価ポイント

a) 受験生に期待すること・採点基準

一般入試と異なり他人から課題を与えられるものではないので、まず自由な発想で楽しんで制作した結果が重要である。作品の良し悪しはもちろん重要だが、それ以上に、粗削りではあっても将来につながる「種」のようなものの存在に注目したい。それには、訓練によって短所を最小限にすることより、長所を最大限に伸ばすことを心がけてほしい。試行錯誤しながらもそれぞれの表現の探求が始まっているかどうかを重視する。

●提出作品
1、2年以内に制作した作品を3点以内で提出する。高校、美術予備校などで制作した油絵、水彩、デッサンだけでなく、自らモチーフやテーマなどを設定してじっくり時間をかけて取り組んだ作品にも期待したい。絵画作品を基本とするが、映像、立体、インスタレーション、パフォーマンスなど表現形態は問わない。重要なのは作品サイズや表現形態ではなく、内容の豊かさ、オリジナリティ、表現としての強さ、である。

●ポートフォリオ
提出作品よりも、さらにその人独自の世界観を幅広く表現できるのがポートフォリオである。これまでに制作した作品の写真などをA4ファイル1冊にまとめて提出する。1ページ1点を基本とし、制作年、作品のサイズ、素材、タイトルを必ず入れる。必要に応じて制作の意図やこだわった点なども書くとよい。作品点数は多ければいいというわけではないが、あまり厳選し過ぎても全体像がつかみにくいので、ある程度の量がある方が望ましい。例えば自分のメインの作品が油絵だった場合、それに関連するドローイングやイメージスケッチ、写真などを加えるのもよいだろう。「この1冊が自分自身である」と言えるくらいの内容の濃いものを期待したい。

●面接
まず提出作品について説明をしてもらい、さらに作品制作全般のことや、好きな作家についてなど、日頃考えていることを知りたい。また本学へ入学してからどのようなことを学びたいのか、将来の展望や興味関心事などを自分の言葉で述べてほしい。面接はスムーズに話すことを求めているわけではないので、予期しない質問にも準備していないからと焦るのではなく、その場で考え、率直に話してくれることが望ましい。

b) 取り組んでおいてほしいこと

●制作
まずは、評価を気にせずにたくさん作品をつくってほしい。10作品つくって一つでも納得いくものができたら、それだけでも凄いことである。重要なことは、成功することよりも、つくる中で自分の関心や興味を確かめながら、世界を広げていくこと。スタイルをつくり凝り固まるのではなく、やったことのないことに積極的に挑戦してほしい。

●鑑賞
作品鑑賞や読書をたくさんすること。インターネットや書物から作品を調べることと同時に、可能であれば美術館や博物館、ギャラリーなどに足を運んで、実物の作品に出会ってほしい。その際に、優れた作品とは何だろうか？自分にはよくわからないけれど作者はどのような関心によって作品をつくっているのだろうか？と相手の話を聞くように鑑賞することは、表現の学びになる。

デッサン（6時間）

【問題】

設置されたモチーフを描きなさい。

［条件］

答案用紙は縦横自由。

［配付物］

1. 試験問題
2. 答案用紙（木炭紙または画用紙から選択）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

【出題意図と評価のポイント】

本学科入学後に求められる、基本的な造形力を問う出題としている。机上に設置されたモチーフを丁寧に観察し、構図に工夫があり、形態や質感などの基礎的な描写力を備えているか。物と物の関係を捉えることができ、存在感や空間を的確に描けているか。そして、表面的な描写のみに偏らずに柔軟で豊かな感性を発揮して表現されているかなど、例年に準じ、モチーフにしっかり向き合いながら独自の表現を探ることができる基礎的な能力を重視した。

イメージ・ドローイング（5時間）

【問題】

次の言葉から想起されるイメージを自由に描きなさい。

「私風景」

［条件］

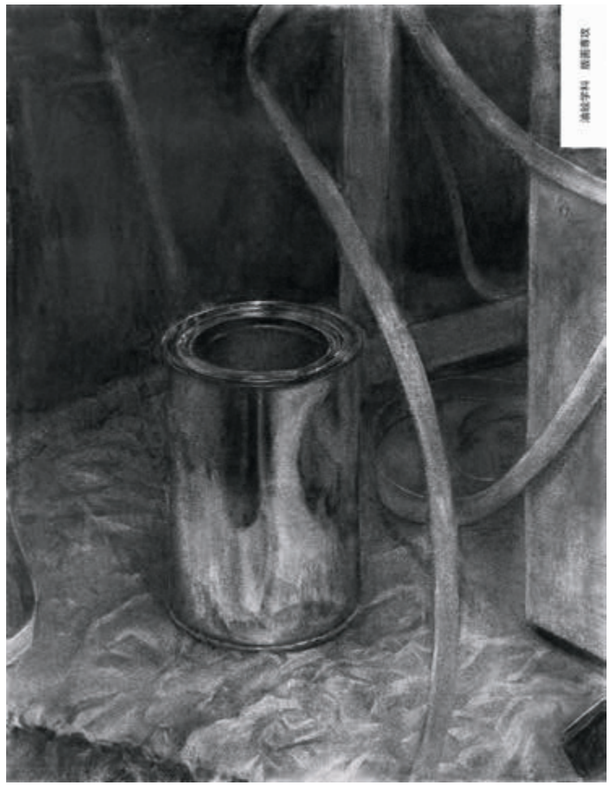
答案用紙は縦横自由。

［配付物］

1. 試験問題
2. 答案用紙（B3画用紙またはB3ケント紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

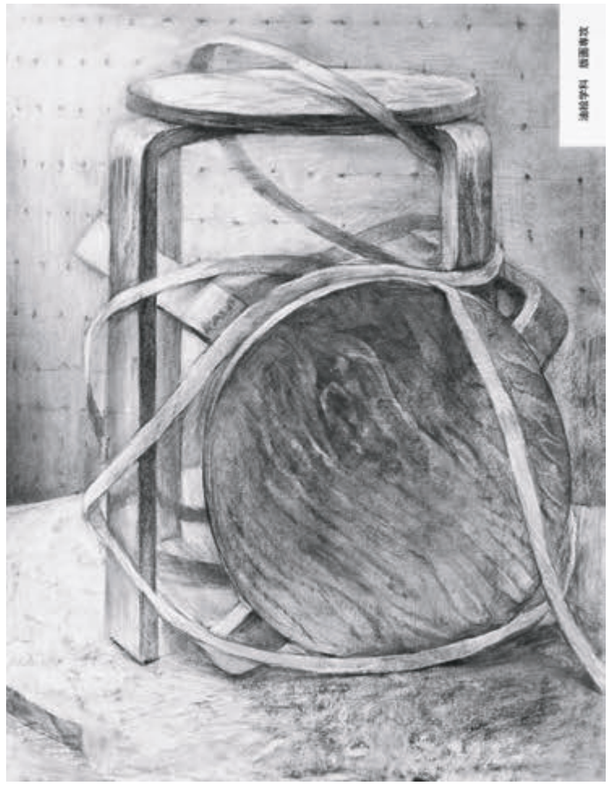
【出題意図と評価のポイント】

従来の「デッサン」が形や質感、空間、構図などについての基礎的な描写力を問うのに対し、「イメージ・ドローイング」では瞬発力を伴った発想力、構想力を重視する。つまり、版画専攻のカリキュラムで学ぶ絵本やイラストレーション、アートブック、デジタルペインティングなどの総合的なグラフィックアート表現の領域で必要となる資質を問う出題となっている。今回の出題で言えば、与えられた「私風景」という言葉を出発点に、自由にイメージを膨らませたうえで画面に構成し、描画するものである。具象、抽象は問わず、モノクロームを含めて色彩も自由。アカデミックな描写の巧拙を測るのではなく、独創的なイメージや大胆な発想力も大きく評価される。画材の自由度も高く、ほとんどの描画材料の使用は認められるので、受験を意識し過ぎず、普段から使い慣れた得意な表現で挑戦してほしい。ただし、コラージュなど素材を貼り付けることは不可。



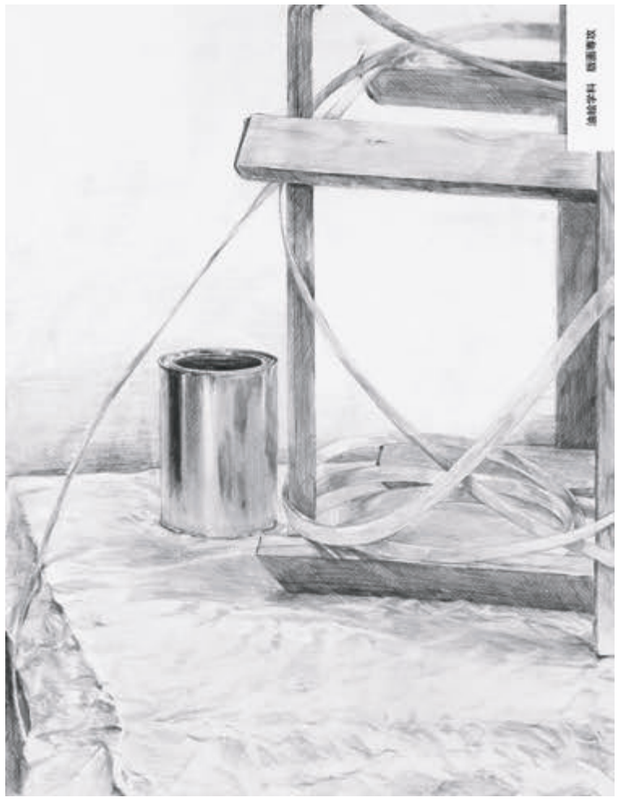
教員コメント

よい意味での劇的な表現が、強い個性として存在感を示す作品である。缶を画面中心に配置し、その映り込みを的確に描写して質感と空間感を演出している。作画する際の作者の狙いが明確であり、画面構成や木炭の扱いなども申し分ない。基本的なデッサンの習熟の上に、作者独特のドラマティックな解釈が加わり、画面内部に視線が誘い込まれるような求心力がある。地力を感じさせる優れたデッサンとして高く評価された。



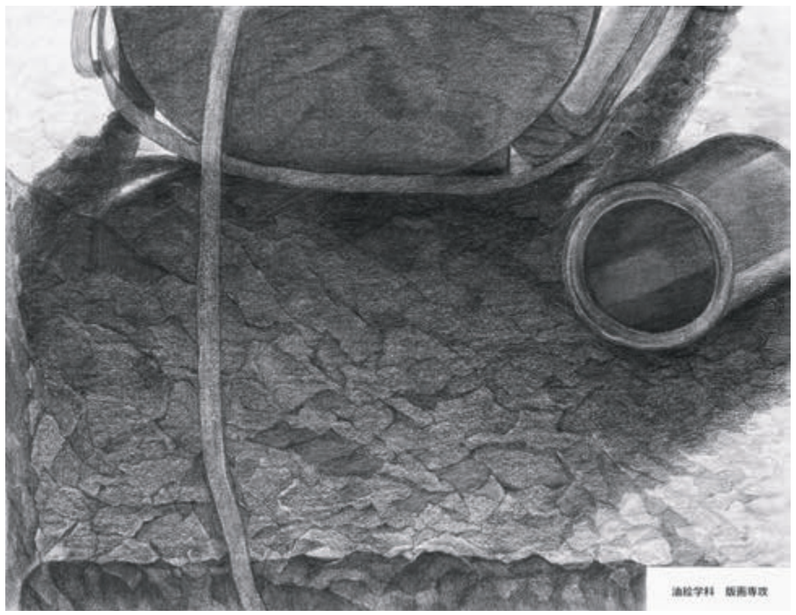
教員コメント

安定感のある構図で作者のモチーフに真っ向から挑んでいる姿勢が、このデッサンの魅力となって表れている。対象を実直に観察することでしか掴めない独特の質が、このデッサンには存在していると思う。描写が表面的な傾向や形の把握が不完全な部分もあるのだが、作者の対象をよく見て描こうとする気迫が、画面総体の緊張感を生み、感情に訴える説得力のあるデッサンとなっているのではないだろうか。



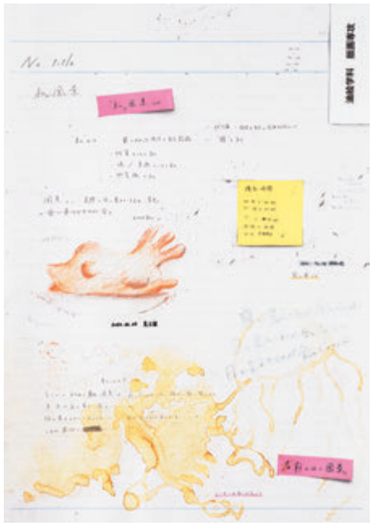
教員コメント

空間に対する豊かな感性がよく表れた秀作である。缶の質感描写、卓上の紙の描写など、明るく繊細なトーンによる画面は美しい。卓上の紙と壁の面を広く描くことで、奥行きと広がりのあるデッサンとなっている。また、椅子の脚のトリミングと梱包用テープの配置などには、理知的に構成して絵をつくり上げようとする意思が感じられ、よく制御された表現に結びついている。繊細な描写に加えて、隅々まで配慮が行き届いた優れた画面構成力が評価された。



教員コメント

逆光の椅子の座面と卓上の皺の入った紙にできた影に焦点を当て、丹念に描いている。画面の大部分を覆う影の中に織りなす皺の描写は、少ない要素による大胆な構成の妙とも相まって、見る者の視線を惹きつける。椅子の座面や缶の形態のゆるく不自然なところも、結果としてこの絵の魅力的な要素となっている。自身のイメージを信じて追求した結果が独自性となり、創造する資質を感じさせるデッサンとして評価された。



教員コメント

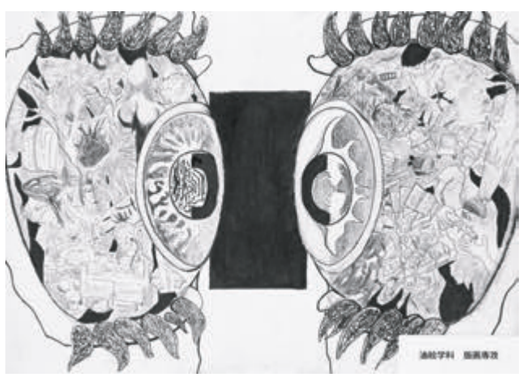
ノートの中に拡がる「私風景」に引き込まれる。一見してコラージュかと見紛うほどの付箋のつくり込みの効果と、それを根底で支えるアイデアが秀逸。書き留められた受験当日のエピソードや出来事のメモの文字やアイデアスケッチ、あるいはエスキースのようなドローイング、そして罫線がそれぞれ共鳴し合い、独創的な表現の強度を押し上げている。二重に仕掛けられた答案用紙の画面構造の奥底に、絵画性とは違う次元での版画の可能性を追求できる資質を強く感じた。

教員コメント

具象的なイメージの断片が描かれているが、それらが何を意味するのかは作者である本人しかわからない。まさに「私風景」である。多様な画材を用いて、かなり手を入れて丹念に複雑な画面をつくり込み、密度を上げた力作である。作画過程で形象を解体・再構成し、結果的に全体の具体性、物語性を抑制することで、逆に見る者の想像力を掻き立てるような不思議な魅力を獲得している。

教員コメント

手のひらの下半分に描かれた植物のような形象のパターン表現に作者のみずみずしい感性がうかがえる。画材の扱いから推察するとデザイン系の課題に対する修練の形跡が認められるが、それが画面の完成度を担保しているのだろう。絵画的な描写力、造形力だけでなく、入学後に版画の制作プロセスで必要となるイメージの編集や構成といったデザイン的な領域の潜在能力を強く感じる仕上がりとなっている。



教員コメント

“眼球に映り込んだ風景＝私風景”をモチーフに、画面をコラージュのように複雑に絡み合わせ、個々のイメージを効果的に構成している。アカデミックな描写における巧拙を測ることを目的としない「イメージ・ドローイング」の出題意図を汲み取った普段使いのイラストレーションのような軽快な仕上がりに、版画専攻が求めるグラフィックアート的な表現に対する潜在的な資質、適応力を感じ取ることができる。

総合型選抜［前期］ 一般方式

①第1次選考

ポートフォリオ（作品資料ファイル）および自己推薦調書による審査

②第２次選考

ポートフォリオ（作品資料ファイル）および自己推薦調書、作品審査および面接

● 審査基準・評価ポイント

a) 受験生に期待すること・採点基準

粗削りでも、その人の可能性、“何か光るもの”を見極めたい。試験当日、実技は一切、課さない。現時点での実技能力の到達度を第一に見るのではなく、将来、開花するであろう潜在的な資質を幅広く測りたいと考えている。何かが足りなくても、それを補うような可能性や方向性、やり抜く強い意思などを提出作品やポートフォリオ、面接を通して積極的にアピールしてほしい。

●提出作品

どれだけ時間がかかっても構わないので、自宅や学校などで納得いくまで追求した作品を見せてほしい。一般選抜は、決められた時間内に決められたモチーフを描く形式だが、総合型選抜［前期］の提出作品のテーマはまったく自由である。制作時間にも制限はない。十分に時間をかけて制作したオリジナリティあふれる作品を期待している。油絵、アクリル、水彩、版画、デッサン、その他の技法や素材等も自由（表現形式は問わないが、入学後に学ぶ版画への適性を判断するため、平面作品、あるいはそれに準じたものが望ましい）。

●ポートフォリオ

自分自身が今までやってきたこと、これからやりたいことを積極的にアピールしてほしい。ポートフォリオの中に収められた作品資料から、推し測られる将来の可能性を積極的に評価したい。今まで取り組んできた作品や活動をA4ファイル1冊に収めて、プレゼンテーションしてほしい。すべてが万遍なく満たされた、標準的な造形力だけを問うものではない。偏っていても構わないので、自分の一番自信があるもの、自分の力が一番発揮できた作品群を系統的に見せてほしい。油絵、デッサン、版画、水彩画、写真、イラストレーションなどのほか、ポスターや絵本などでも構わない。ファイン系だけでなく、デザイン領域の作品も積極的に評価する。ジャンルや媒体は問わないので、自分の可能性をどんどんアピールしてほしい。もちろん、受験対策課題として取り組んだ油絵やアクリル、着彩、デッサン、色彩構成などを中心にまとめて、ベーシックな造形力そのものをアピールしてもまったく構わない（実作品はポートフォリオには入れないこと。紙に印刷した作品画像を中心にまとめるのが一般的である。作品データについても過不足のない記載が望まれる）。

●面接

面接を通して自分が将来やりたいことや、進みたい方向性を積極的にアピールしてほしい。なぜ、本学の版画専攻で学びたいかも明確に意識しておいた方がよい。滑らかに答える必要はない。つまりながらでも構わないので、しっかりと自分の意見を、自分の言葉で述べてほしい。

b) 取り組んでおいてほしいこと

自分の作品を一生懸命つくるのと同時に、他人の作品をできるだけ多く見てほしい。また、できるだけ美術館や博物館などに足を運んで、本物の作品に出会って自分の眼で感じてほしい。

総合型選抜［後期］ 一般方式

●選考方法

デッサン、ポートフォリオ（作品資料ファイル）
および面接による審査

●デッサン（3時間）

【問題】
自画像を描きなさい。

［条件］
答案用紙は縦横自由。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（木炭紙または画用紙から選択）×１枚
3. 鏡×１枚
4. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

教員コメント

木炭は明暗の調子の階調が広い描画材である。密度の高さはその全体感に支えられて表現していくが、制作者は自身を正面から捉えて等身大の自己と向き合い、見事に描き切っている。制作者の集中力や洞察力も推し測ることのできるよいデッサン。

教員コメント

自画像は対象を冷静に観察する上での格好のモチーフである。その時々の感情を含めて自身とそれを取り巻く空間を掴んでいかなければならない。顔の描き込みに比べて首から下の形体がやや物足りないが、実直に描こうという意志が伝わる。

● 審査基準・評価ポイント

a) 受験生に期待すること・採点基準

総合型選抜［前期］と同様に粗削りでも、その人の可能性、“何か光るもの”を見極めたい。試験当日、３時間の実技試験を課すが、その取り組み方を含めて、入学後の版画技法習得に必要となる基礎的な造形力を問うものである。その場合も、現時点での実技能力の到達度を第一に見るのではなく、将来、開花するであろう潜在的な資質を幅広く、見極めたいと考えている。何かが足りなくても、それを補うような、可能性や方向性、集中力、やり抜く強い意思などを実技、ポートフォリオ、面接を通して積極的にアピールしてほしい。

●実技

３時間の短い時間の中で、モチーフに真正面から向き合いながら、逃げずにどこまで実直に、根気強く描き切ることができたか。提出された実技作品の一般的な完成度よりもむしろ、画面密度から推し測られる、集中力や洞察力などを積極的に評価する。

●ポートフォリオ

自分自身が今までやってきたこと、これからやりたいことを積極的にアピールしてほしい。一般選抜のように実技能力の到達度を第一に見るのではなく、ポートフォリオの中に収められた作品資料から、推し測られる将来の可能性を積極的に評価したい。今まで取り組んできた作品や活動をA4ファイル1冊に収めて、プレゼンテーションしてほしい。すべてが万遍なく満たされた、標準的な造形力だけを問うものではない。偏っていても構わないので、自分の一番自信があるもの、自分の力が一番発揮できた作品群を系統的に見せてほしい。油絵、デッサン、版画、水彩画、写真、イラストレーションなどのほか、ポスターや絵本などでも構わない。ファイン系だけでなく、デザイン領域の作品も積極的に評価する。ジャンルや媒体は問わないので、自分の可能性をどんどんアピールしてほしい。もちろん、受験対策課題として取り組んだ油絵やアクリル、着彩、デッサン、色彩構成などを中心にまとめて、ベーシックな造形力そのものをアピールしてもまったく構わない（実作品はポートフォリオには入れないこと。紙に印刷した作品画像を中心にまとめるのが一般的である。作品データについても過不足のない記載が望まれる。総合型選抜［前期］を受験した受験生は、同一のポートフォリオでも構わない。もちろん、新たにつくっても構わない）。

●面接

面接を通して自分が将来やりたいことや、進みたい方向性を積極的にアピールしてほしい。なぜ、本学の版画専攻で学びたいかも明確に意識しておいた方がよい。滑らかに答える必要はない。つまりながらでも構わないので、しっかりと自分の意見を、自分の言葉で述べてほしい。

b) 高校等で取り組んでほしいこと

自分の作品を一生懸命つくるのと同時に、他人の作品をできるだけ多く見てほしい。また、できるだけ美術館や博物館などに足を運んで、本物の作品に出会って自分の眼で感じてほしい。

デッサンA（6時間）

【問題】

モチーフをデッサンしなさい。

［条件］

1. 答案用紙は縦横自由。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

［配付物］

1. 試験問題
2. 答案用紙（木炭紙または画用紙から選択）×１枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×４枚

【出題意図と評価のポイント】

静止ポーズの男性モデルをモチーフに、人体という複雑な形に対する観察力と描写力を問う出題とした。布団を抱え身体をひねって椅子にもたれた座りポーズによる、内側に空間を取り込んだ構成となる。左にひねった人体の動きと構造、布団のボリューム、それらの空間的な位置関係の表現が評価のポイントである。

※モデル等の画像は非掲載とします。

デッサンB（6時間）

【問題】

モチーフをデッサンしなさい。

［条件］

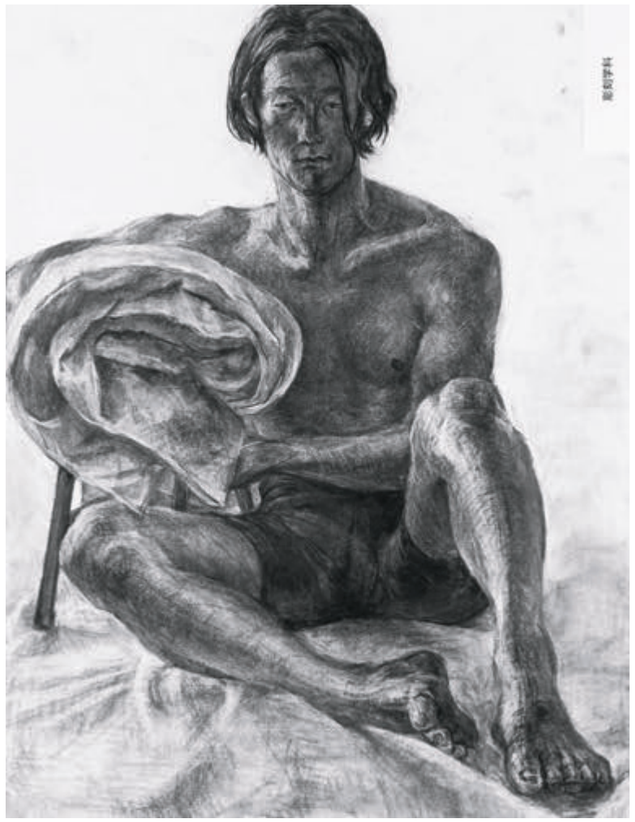
1. 答案用紙は縦横自由。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

［配付物］

1. 試験問題
2. 答案用紙（木炭紙または画用紙から選択）×１枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×４枚

【出題意図と評価のポイント】

石膏像を含む人工物や自然物をモチーフとし、観察に裏付けされた造形的な解釈と描写力を問う出題とした。石膏像の中でも構造が明確なパジャントを使用し、横に倒して鉄製のアングルで支えた構成となる。横たわっている状態の軸線の意識、頭部のボリューム、背面の空間、床とアングルと像の関係の表現描写が評価のポイントである。



教員コメント

布団の柔らかな塊を右手に抱える人体の描写が意欲的に感じられる。モチーフを観察して感じ取ったものを執拗に描いており、対象の存在感が強い。画面の中に、手前に延べられた両足から奥に向かう視線を意識させる。

教員コメント

座面と空間の奥行きを感じさせることにより、モデルの存在感を強く表すことができた。抱え込まれた布団の圧力がかかっている部分の表現の甘さはあるものの概ねよく描かれている。構図も含めバランスの取れたデッサンとなっている。

教員コメント

椅子にもたれて布団を抱える人体の構造をしっかりと描いている。上体から腰・両脚に向かうひねりの動き、脚部に同調する頭部の向き、これらの肉体の各要素を的確に捉え、意識的な画面全体の構成がなされている。

教員コメント

力強さが感じられるデッサンだ。しかし部分的な明暗にとらわれているために空間がそれほど感じられないのは残念だ。人体の構造がつくり出す空間を意識して描写を進めるとさらによくなるだろう。

教員コメント

各部位の形を描き込みがちな彫刻の人体デッサンの中にあって、光源を利用した柔らかな色調によるアプローチには新鮮味があり、好感が持てる。前腕から手にかけての表現には無理があり、人体と抱える布団、シーツが同質化している印象もあるが、ポーズ中の空気感も含めた、モチーフ全体の構成をバランスよくまとめ上げた。

教員コメント

「モノ」としてのパジャントの重量とサイズ感を、構図から引き出している。頭から台座にかけての奥行きは失われている感もあるが、全体の存在感を崩さないように形の細部を描き込んだバランスには説得力がある。アングルとの接点に難はあるが、「パジャントと呼ばれている傾いた物体」を表現している。

教員コメント

石膏像の持つ軸線をよく意識して描かれている。像の置かれ方に対し、特徴的なバランスを少ししか見えていない鉄製アングルの位置を的確に表すことにより、像の前面に倒れようとする傾きを抑えることができている。構図は頭部と台座を大胆に切ることにより、像の持つ印象をよりダイナミックに表現している。

教員コメント

実際にはずれているが、つながっているように見えるパジャントの構造＝頭部―首―台座の軸線を丁寧に観察している。台座の末端部分の描き込み、机と頭の接点、背面の肩口から台座にかけての空間にいささか難はあるものの、油断をすると単調で平板になりかねない構図から、奥に傾くパジャントの姿勢と石膏像の硬質感が表現されている。

教員コメント

横倒された石膏像、これを支える鉄製アングル、そしてこれらが置かれている台、それらの関係を堅実に描いている。モチーフの組み立てをしっかりと捉えて、各要素の間に形成される空間が追究されており、画面の中に奥行きを感じさせる。

教員コメント

画面全体から強いボリュームが感じられる。頭部と上半身の一体感、及び前後の距離感が巧みに描写されている所以だろう。軸線を意識した構造の把握に裏打ちされた描写力がうかがえる。石膏像を支える鉄製アングルの存在感も的確だ。

総合型選抜［前期］ 一般方式

①第1次選考

ポートフォリオ（作品資料ファイル）および自己推薦調書による審査

②第２次選考

ポートフォリオ（作品資料ファイル）および自己推薦調書、作品審査および面接

● 審査基準・評価ポイント

a）受験生に期待すること・採点基準

本学の環境において制作を続ける根気と好奇心、探求力があることを求める。独創的な感性も大切だが、異質なものを受け入れる許容量が今後の課題となることを心に留めてほしい。

●提出作品
1年以内に制作された作品。表現の追求力とオリジナリティを評価する。表現方法は問わないが、自主制作を期待している。作品数は問わない。4m²（2m×2m）のスペースを最大限に活用して展示してほしい。

●ポートフォリオ
1〜2年前から現在までに制作した作品を、A4サイズのクリアファイル1冊にまとめて提出すること。「制作年」「作品の大きさ」「素材」は必ず入れること。ものの見方の進展を評価のポイントとするので、作品は原則として３点以上提出してほしい。

●面接
知識よりも好奇心を重視。大学に入学するとさまざまな美術作品や作家の考え方に触れることになる。そのため、受験生の許容量－好奇心の柔軟性を見る目的の質問をする場合がある。また、提出作品についての簡単なコメントを求める。

b）取り組んでおいてほしいこと

「彫刻」はいろいろな「ものの見方」を発見する芸術である。つくる前に興味がないことでも、つくった後で興味が湧く場合も多くある。そのためにまず「かたち」にすることを勧める。

●作品鑑賞
「彫刻」は基本的に空間芸術なので、実際に見るとまったく別の顔を見せる。実際に足を運んで実物を味わってほしい。気になる作品がどこに行ったら見られるのか調べることをお勧めする。見られないものはとにかく想像する。まずは好き嫌いを問わず、できるだけたくさん見ることを心がける。特に「よくわからないけれど気になる作品」は、後からさまざまなことを教えてくれるので作家としての糧になるため、普段から調べる習慣をつけておくとよい。

●制作
どんなものでも、身の回りにあるものを使って、自分の好みだけにとらわれずに何でもかたちにしてほしい。つくっていくプロセスの中で、自分の興味を発見して世界を広げれば制作が次へ繋がっていく。自分のつくり出したものから気になることが（よいことばかりではなく）どれだけのことが発見できるかが重要だ。評価されたものばかりでなく、できるだけ多くの作品をつくって見せてほしい。

総合型選抜［後期］ 一般方式

●選考方法

塑造、ポートフォリオ（作品資料ファイル）および
面接による審査

●塑造（3時間）

【問題】
与えられた粘土を使って、自刻像を作りなさい。

［条件］
1. 粘土はすべてを使わなくてもよい。

［配付物］
1. 試験問題
2. 塑造板（首像用心棒セット済み）×１枚
3. 塑造用粘土×20kg
4. 塑造用ヘラ×1枚
5. 鏡×1枚
6. 下書き用紙（B4上質紙）×２枚

● 審査基準・評価ポイント

a）受験生に期待すること・採点基準

●ポートフォリオ
1〜2年前から現在までに制作した作品を、A4サイズのクリアファイル1冊にまとめて提出すること。「制作年」「作品の大きさ」「素材」は必ず入れること。ものの見方の進展を評価のポイントとするので、作品は原則として３点以上提出してほしい。

●面接
知識よりも好奇心を重視。大学に入学するとさまざまな美術作品や作家の考え方に触れることになる。受験生の許容量－好奇心の柔軟性を見るための質問をする場合がある。また、提出作品についての簡単なコメントを求める。

●塑造
立体的な造形力と、課題に対する積極的な理解力を求める。

鉛筆デッサン（３時間）

【問題】

机上のモチーフをデッサンしなさい。

［条件］

1. 答案用紙は縦横自由。
2. モチーフは必ずしも全体を描かなくて良い。

［配付物］

1. 試験問題
2. 答案用紙（B3画用紙）×１枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×２枚

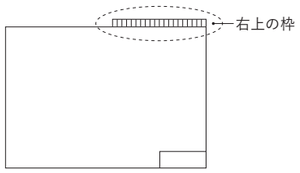
【出題意図と評価のポイント】

この問題では、円柱や直方体などの構造体を描く力、モチーフ全体の立体感を捉えながら部分を描き込む力、質や色といったモチーフ固有の要素を描き分ける力を見たいと考えた。このためモチーフは、レンガを組み合わせた台座、複数の楕円が組み合わされた円柱形のカゴ、ストライプが入ったタオルを組み合わせて、より大きな立体を形づくっている。また、カゴの軽さとレンガの重さ、マットな質感に対するパプリカの光沢など、対比的な要素を持ったモチーフを組み合わせた。加えて、モチーフに細かな部分を設けることで、デッサンの技術だけではなく、対象を描くことに対する集中力も見たいと考えた。これらの要素を満たした作品は必然的に高い評価となったが、苦手な要素があっても、3時間という時間の中でしっかり描き切った作品も高い評価を得ている。

デザイン（３時間）

【問題】

配付されたモチーフを自由に操作し、そこで得られたイメージと手のシルエットを用いて、あなたの未来の夢、または希望を色彩構成しなさい。
画面右上の与えられた枠内に20字以内で、どのような夢または希望を描いたのかを記入しなさい。



［条件］

1. 配付されたアクリルの立方体、そして３種の正方形の紙（素材）の形の変形は自由。
2. 使用する色数は自由。
3. 描画画面は与えられた紙面全体とする。ただし紙の余白は白色とみなすので、必要に応じて余白部分があってもかまわない。
4. 答案用紙は横長で使用すること。
5. 右上枠内の文字書き込み部分は塗りつぶさないこと。
6. 梱包材はモチーフではない。

［配付物］

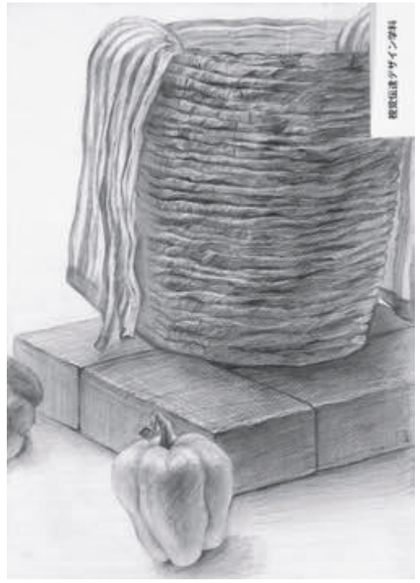
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3ケント紙）×1枚
3. 立方体のアクリル（40mm^3）×1個
4. 正方形の紙片（210mm^2）×３枚（テーラー、アリンダ、アル・ペーパー　各1枚）
5. 下書き用紙（B4上質紙）×３枚

【出題意図と評価のポイント】

テーマは「未来の夢」、そして「希望」。この二つの言葉は、デザインにとって重要視される感覚や感性とは質の異なるもので、自己に内在化しているはずの不可視で抽象的な理性だ。したがって受験生にとっては、体験も経験もしたことがない未知の領域を思い描き、具体化しなければならない極めて難解なテーマだ。2021年の社会情勢・環境下にあって受験生たちは何を見つめ、何を掴もうとしているのか。そしてそれらをどのように伝えようとするのか ――。与えられたモチーフや条件、制約はその拠り所（手がかり）となる。だが、それらを自分の意図・目的に沿って扱うのか、単なる素材として、あるいは構成要素として扱うのか、そこに大きな違いが表れる。アクリルのキューブ、異なる質の紙３種、そして「手」。これらはどのように扱っても自由。素材も多く、テーマの枠組みの範囲も広い。焦点となるのは「何を」形にするのか。そのための色彩であり構造・構成・空間、モチーフの扱い方であり視点である。デザインはすでに始まっている。ここに掲載されている作品をはじめ、上位得点者の作品は、いずれも大胆な構成力と手の込んだ精緻で密度の高い造形を有しメッセージを発信している。

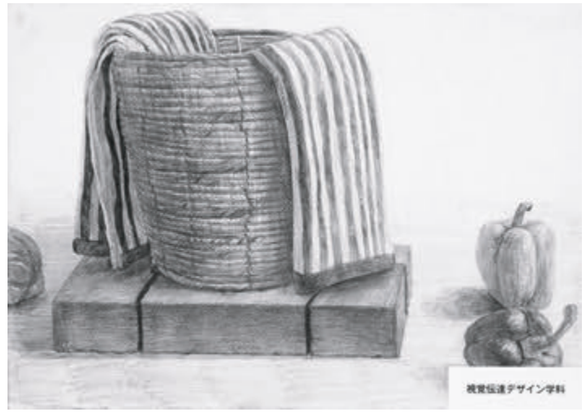
教員コメント

形、立体感、質感といった基本的な要素が高いレベルで、しかもバランスよく描かれている作品と言える。また、構図的に難しい位置にもかかわらず、モチーフ全体の空間がしっかりと描かれている点にも作者の高い描写力が感じられる。



教員コメント

形を構造的に捉える力に若干の不安はあるが、カゴの網目とタオルの折り目を丁寧に描いている点に好感が持てる。それぞれのモチーフの表情を丁寧に追った結果として、質感や立体感などが生まれている点も評価できる。



教員コメント

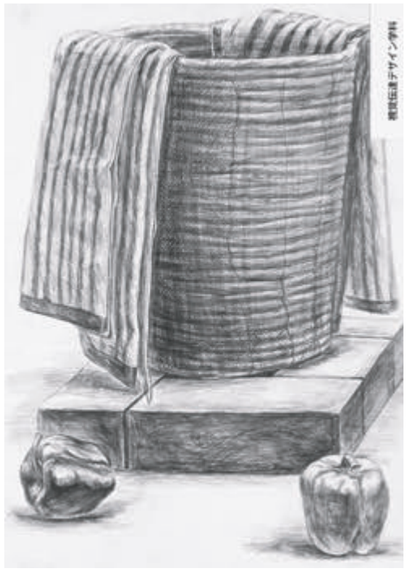
単調な構図になりやすいモチーフではあるが、左へ寄せることで単調さを避け、影とパプリカの入れ方によって構図的なバランスが取られている。省略して描いている印象もあるが、描き込むべき細部や、影を入れる箇所を意識することで、モチーフ全体の立体感と光が表現されている。

教員コメント

丁寧な描写が評価されたデッサンと言える。特にカゴの網目の歪みや、内側のフレームも省略せずに描いている点に好感が持てる。パプリカとレンガなどは、形の見方に単調さを感じるが、丁寧に描いたことで色味と質感が表れ始めている。

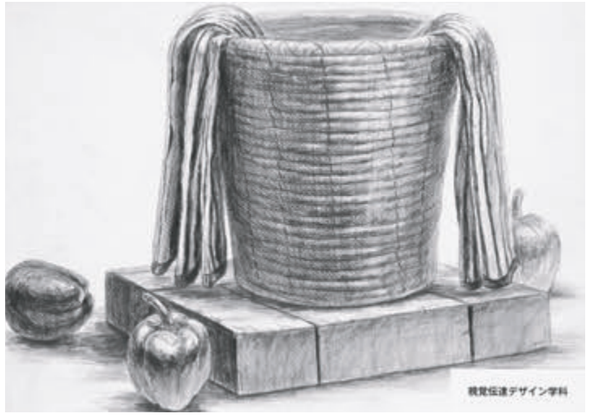
教員コメント

縦構図で大胆にトリミングしたことによって、モチーフのスケール感や空間の広がりをうまく表現している。モチーフごとの質感や色の特徴が丁寧に観察されており、的確な描き込みと処理によって全体が調和したバランスのよいデッサンである。



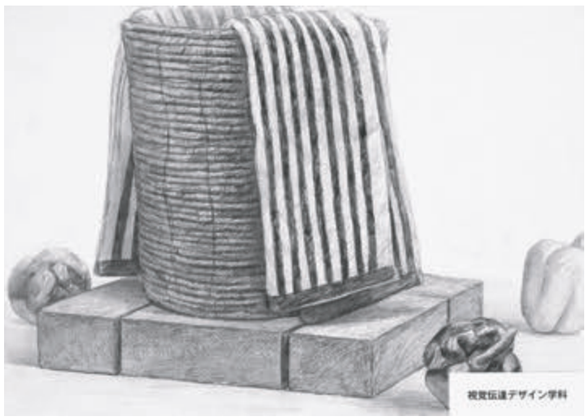
教員コメント

レンガのわずかな隙間やパプリカの質感、タオルの細かな起伏などを注意深く観察する意欲が感じられる。形態感や構図のバランスのよさがある一方で、画面の中心を占めるカゴの描写の密度と、光と影のコントラストの調整が加わればさらに評価できる。



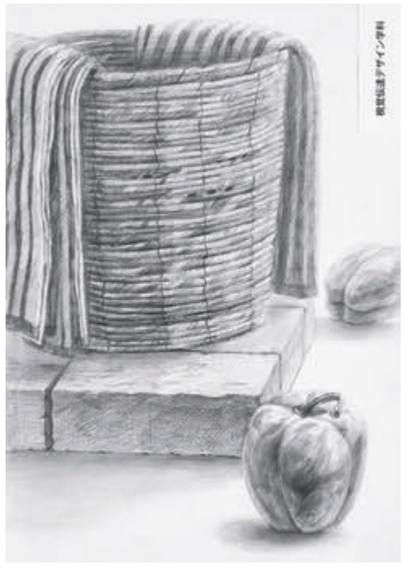
教員コメント

ギリギリまでモチーフを入れたことによって、横構図の画面に緊張感を生んでいる。モチーフの描き分けも的確で、タオルとレンガのわずかな隙間も逃さず描き切ろうとする意欲を感じる。形とパースも正確であり、モチーフの重みや安定感を感じるデッサンである。



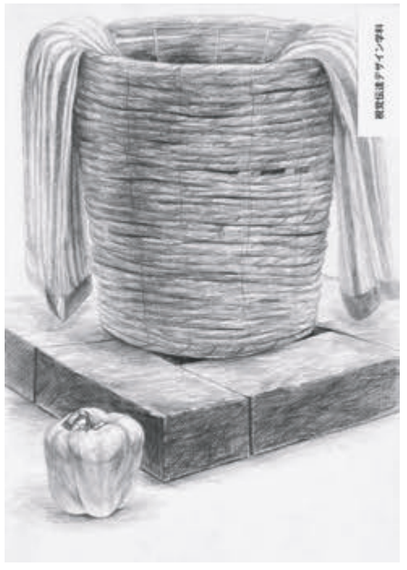
教員コメント

モチーフの質感と色彩の特徴を非常に緻密に表現している点に魅力がある。省略されがちな奥にあるモチーフの描き込みにも密度があり、隅々までモチーフの魅力を表現しようという意識が見られる。観察に基づいた表現に対して作者の真摯な姿勢がうかがえる。



教員コメント

画面全体を覆う光が大変美しい。モチーフも含めた台上に存在する空間全体に魅力を感じていることがわかるデッサンである。手前から奥までの距離感、モチーフの色彩の関係などにやや説得力が欠けているが、作者の視点が画面から表れている点で評価できる。

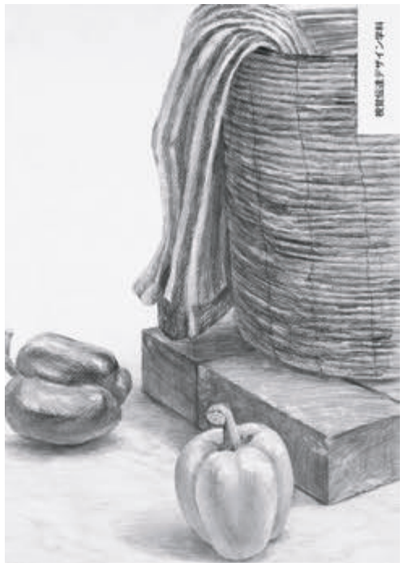


教員コメント

タオルが左右対称になる位置から縦構図にし、パプリカとレンガの左右を大胆にトリミングしたことが、このデッサンにダイナミックな印象を与えている。レンガの描写も緻密で手触りを感じる迫力が魅力的である一方、カゴの形態感やタオルの描写に改善の余地があるだろう。

教員コメント

手前にあるものを集中的に描写したことによって、空間の迫力が際立つデッサンである。力強く描かれたモチーフには独特の魅力があり、強いコントラストが異なるモチーフの差異を際立たせている。



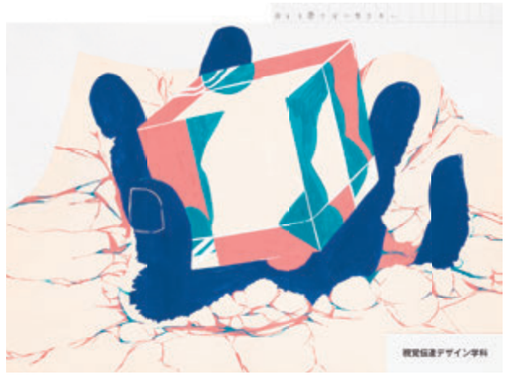
教員コメント

カゴが半分になるまでトリミングしたとても大胆な構図である。そのため視点がパプリカに集中するが、しっかりとした描き込みと量感を存分に描き込んだことによって説得力が感じられる。モチーフ全体の色の対比も美しい。

かけがえのない、小さな命をさずかる

教員コメント

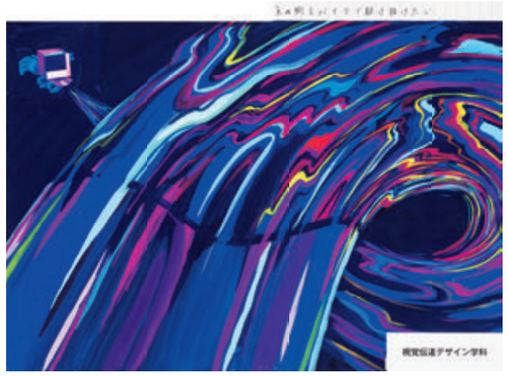
作者の夢は自らの中に育まれる新たな命である。それは温かさ、柔らかさ、生命の持つ動的なイメージとして描かれ、それらを両手が優しく包んでいる。メッセージの内容と表現が素晴らしい相乗効果をもたらし見る者にストレートに響く。



自分を隠さずに生きたい

教員コメント

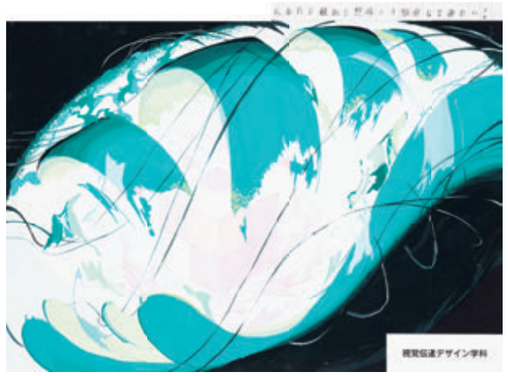
与えられたモチーフをよく観察し、それらの特徴をよく捉え、課題に丁寧に向かっていることに好感が持てる作品だ。光と質感の表現と書かれたコメントに、自分を信じてコロナ禍を力強く乗り切る希望が見える。



夜の街をバイクで駆け抜けたい

教員コメント

モチーフのアクリルキューブと手の形で構成されたバイクに、吸い込まれるように描かれたうねる曲線が夜の街のカラフルなネオンを連想させる。遠近感を強調した大胆な構図で表題のスピード感と夜の美しさを見事に表している。



心の内に秘めた想像力を解放してみたい！

教員コメント

手が心を包みながらも、その心の中の明るく熱い想像力が今まさにあふれ出んばかりだという躍動感ある状況。それらが流線型や周りを取り囲む線、また内部と外部の色の対比によってうまく表現されている。

一歩ずつ前進し夢の実現へと近づく

教員コメント

一折一折折られた紙は、遥かな未来へ向かう階段か。その階段に映り込むアクリルキューブの光と影は自らが進むべき光明。直接的な表現だが、折られた紙の直線と光と影の織りなすミニマルな表現と構成はシンプルだが大胆である。

海に行く、
そんな日を秘かに待っている。

教員コメント

アクリルキューブの中に「海に行く」夢を見ている、という構成が秀逸である。魚や潮、砂を想起させる動的なエレメントと色使いに対し、現実世界の手と背景は静的で、そのギャップが「秘かに待っている」様子を適切に表現している。

たくさん傷ついた後は
光り輝く自分になる

教員コメント

透明なシートをくしゃくしゃに折り込み、その反射を傷と見立てる。傷つけば傷つくほど光り輝けるという、逆境から這い上がる前向きな姿勢や、力強さが画面の中から感じられる。

ほろ苦く甘い大人の恋を夢想する。

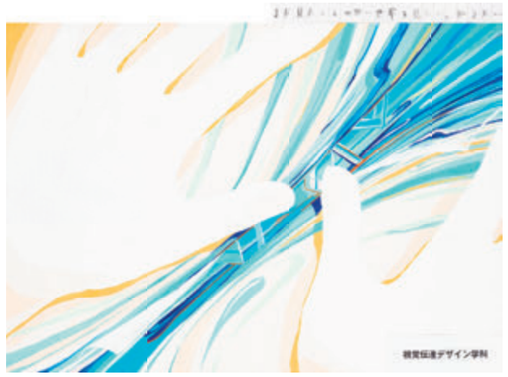
教員コメント

柔らかい形態がアクリルキューブから拡散し、アクリルキューブは手のひらからわずかに浮いている様子を描いたことで、形のない夢想する世界がうまく表現されている。「ほろ苦さ」と「甘さ」という相反する複雑な心情を、部分的なこげ茶色の形態を効果的に配置することで視覚化に成功している。

苦難を乗りこえ見つけだした
未知なる可能性

教員コメント

暗闇から抜け出そうとする瞬間、手中のアクリルキューブが光を放つ光景をストップモーションで捉えたかのような作品。紙を突き破るイメージが乗りこえる勢いを、手のシルエットのオレンジ色の逆光が未知の可能性を感じさせる。



まだ見たことの無い世界を見たい、
知りたい

教員コメント

手で何かを開くという行為で作者は未知の世界への好奇心を表現している。与えられたモチーフが持つ青を基調としたさまざまな光の反射で未知の何かが表現され、緊張感のある斜めの画面構図と相まってそのときめきを伝えている。

積極的に他者と関わり色々な経験をしたい

教員コメント

自身を緑、他者を色も質感も異なる手として描くことで、未だ見ぬ他者ということがうまく表現されている。また無色透明の立体を間に置くことで、その他者とのゼロから始まる希望ある未来という関係性がよく表現されている。

不安で覆われそうな心にいやしを届けたい

教員コメント

現況の中、他者に希望を与えたいという作者の心根が素直に伝わる作品。不安を煽る炎、そこに救いの手が差し伸べられ、放たれる柔らかな線と面の空気、そして点描の円弧。紙面を覆う物語性と硬軟の対比が秀逸である。

年を重ねても
意思は強め続ける人になる

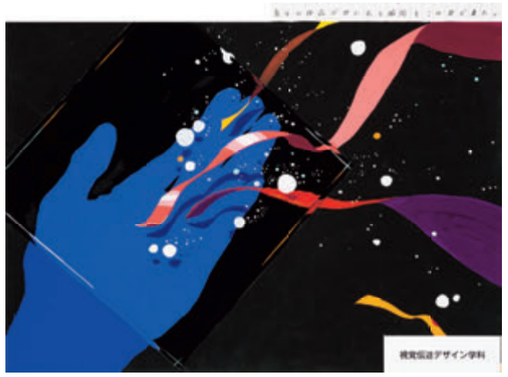
教員コメント

人の意志が時の流れの中でより強く確実なものになっていく様子が、手の形、紙片に落ちる手の影、色のエレメントで的確に表現されている。三つの手には、年を経るごとに自信や情熱を勝ち得ていく様子が表現され、人生の物語を感じさせる。

自分の作品が世に出る瞬間を
この目で見たい

教員コメント

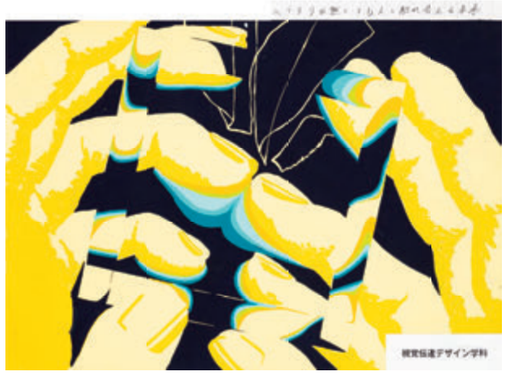
自身の手によって生み出された作品が、鮮やかで軽やかに、夜空を舞うように広がっていく。色彩のバランスも練られており、透明素材の質感もエッジが効いている。リズミカルで弾けるような明るい音も画面の中から伝わってくる。



ヘダタリが無くても人と触れ合える未来

教員コメント

アクリルキューブ越しの屈折した触れ合う指は、物理的な距離に関係なく他者と触れ合える未来を映し出している。素材の特徴から見られる現象と、「手＝触れ合う」という意味性を無駄なく組み合わせた明快な作品。



これから起こる
刺激的な出会いに期待する

教員コメント

自分の存在を暗いアクリルキューブに投影し、僅かに覗くもう一つのクリスタルの頂点と接触させることで、未来の出会いが暗示されている。丸められた紙に反射する輝きとアクリルキューブの硬い質感の対照的な表現が秀逸である。

鉛筆デッサン（3時間）

【問題】
机上のモチーフをデッサンしなさい。

［条件］
答案用紙は縦横自由。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3画用紙）×１枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×２枚

【出題意図と評価のポイント】
今回のモチーフは、ガラスボウル、ステンレスチェーン、木材、布を選び、デッサンの基礎となるシンプルな形で構成されている。各素材の形態や質感をよく観察し、「描き分ける」ことに重点を置いた。また、違う素材同士が生み出す緊張感や空間性を感じさせる構図や表現力など、総合的なデッサン力が評価のポイントとなる。

デザイン（3時間）

【問題】
「育つ」をテーマに、指定された枠内に立体的に色彩表現しなさい。

［条件］
1. 答案用紙は横長で使用すること。
2. 絵具は不透明水彩絵具を使用し、白色は絵具の白とし塗り残さないこと。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3ケント紙）×１枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×２枚

【出題意図と評価のポイント】
多様な意味を持つ「育つ」という身近な言葉から、受験生各自がどの様に幅広くイメージを膨らませ、個性的な世界観の表現に挑戦できているかなどを見ることが出題の意図である。
独自性があり共感も呼ぶ発想力、高い観察眼に支えられた表現力や色彩感覚、また仕事の丁寧さ、そして限られた時間内に密度高く描き切る力など、デザインに求められる総合的な能力を評価のポイントとした。中には、植物の成長や柱の傷など誰もが思い浮かべる題材も散見されたが、その様な内容でもモチーフの扱い方や画面構成、優れた色彩感覚、また個性豊かな表現の作品は同様に高く評価した。

構想力テスト（3時間）

【問題】
「すきま」をテーマに物あるいは空間をデザインし、提案しなさい。

［条件］
1. 答案用紙の所定の枠内に、以下の内容を記入すること。
   ①提案内容を簡潔に説明する文章。（30字以内）
   ②提案内容を具体的に説明する文章。（100字以内）
2. イラスト、スケッチ、およびそれらをさらに分かりやすく説明するための文字などを、その他の余白部分にまとめて表現すること。
3. 提案するデザインは１つ、または１セットとする。
4. 答案用紙は横長で使用すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3アラベール紙）×１枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×２枚

【出題意図と評価のポイント】
「すきま」は物質の間に存在する空間だけでなく、心理的な視点、社会的な視点からも幅広く捉えることができる言葉である。解答に多様な個性が出ることを意図し、この言葉をキーワードに出題した。

【考察力】
単純な言葉から、どれだけ掘り下げて考えることができるかを評価のポイントとした。
【新規性】
新しい視点や、独自性のある考え方を重視した。
【論理力】
コンセプトがわかりやすく伝えられているか、筋道を立てて考える力を評価した。
【デザイン性】
コンセプトを明快に表現し、魅力的な造形としてデザインされているかを評価した。
【表現力】
イラストや文章が、的確でわかりやすくまとまっているかを評価した。

教員コメント
各モチーフの形態が上手く捉えられ、ステンレスチェーンの硬さ、ガラスボウルの透明感、布の柔らかさなどの質感がよく観察されていて全体的にバランスのよい作品である。

教員コメント
バランスの取れた構図の中に大きく横たわる布に、力強い存在感を感じる。光の強弱や影の濃淡もうまいが、ガラスボウルの質感が捉えられればなおよい。

教員コメント
木材の力強い形がとても美しい。色彩を感じる布の描き方やガラスボウルの映り込みなど素材の特徴をよく捉え、丁寧な描写力を感じる秀作である。

教員コメント
ガラスボウルの透明感やステンレスチェーンの硬さ、輝きが捉えられており、異素材同士が生み出す緊張感が感じられる秀作だ。一方、布の表現に柔らかさが加わるとなおよい。

教員コメント

大胆な構図を取り、各モチーフの素材が丁寧に描かれている。特にガラスボウルとステンレスチェーンと布の接点に緊張感が生み出されていて、鋭い観察力を感じる力作である。

教員コメント

バランスの取れた構図に奥行きと空間がよく捉えられている。特にステンレスチェーンの描写が優れていて、金属が持つ硬さや重さが伝わってくる。モチーフ全体の描き方に豊かな個性を感じる秀作である。

教員コメント

画面のど真ん中にガラスボウルを入れたので、やや堅苦しい構図となってしまった。それぞれ、素材の質感がもう少し描き込まれていれば、さらによくなっただろう。

教員コメント

ガラスボウル、木材、布のトリミングの位置が寄りすぎて、画面の左が窮屈になってしまったが、材質感や描き込みが力強く、モチーフを大きく捉えたことで、迫力のあるデッサンとなった。布の水玉模様をもう少し丁寧に描けば、さらによくなっただろう。

教員コメント

手前の布から後方の木材、ガラスボウルと連なる空間の奥行を感じさせる点がよいが、手前と後方で描き分けの強弱が欲しい。ガラスボウルや木材の質感がもう少し描ければ、さらによくなっただろう。

教員コメント

モチーフを大きく捉え、奥行を感じさせる構図がよい。モチーフそれぞれの材質感がよく捉えられ、鉛筆のタッチに迫力を感じる。ガラスボウルの形態がやや狂っている点が惜しい。

教員コメント

モチーフをゆったりと大きく捉えた点がよい。ガラスボウルの鉛筆のタッチはやはり曲面に沿ったタッチがよいだろう。木材のプロポーションがやや狂っている（長すぎる）が、ステンレスチェーンの金属の質感がよく描かれていて、画面を引き締めている点がよい。

教員コメント

上方の空間よりも、画面の下の布を入れるべきである。ガラスボウルとステンレスチェーンの金属の質感が弱いがモチーフそれぞれを丁寧に描いている点に好感が持てるデッサンである。

教員コメント

植物の成長をモチーフとしたニットが編まれ、次第に広がっていく様子に着眼したところが面白い。糸や編み目の細部に至る丁寧な描写に制作意欲も伝わる。密度を感じる表現が印象的でありよい。

教員コメント

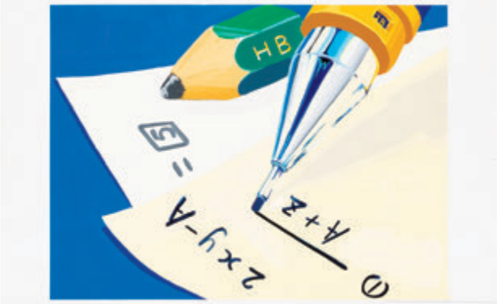
緊張感を感じる構図と色使いが魅力的。焼けた金属の熱さや、鍛えられる音までも伝わる表現に力量を感じる。全体のテーマ性を明確に伝える色彩の表情が効果的であり、優れた作品である。

教員コメント

垂直線で表現された精緻なガラスの質感とその中に育つ曲がりくねった根とのリズム感が面白い。色数が抑えられ静かだが、空間の広がりも感じる秀逸な構図であり、研ぎ澄まされたセンスがよい。

教員コメント

針金細工で植物の成長を表現する着想が面白い。またさまざまに色が配された針金の活き活きとした立体表現やプライヤーの金属感も緻密で丁寧だ。コントラストの強い背景も効果的である。

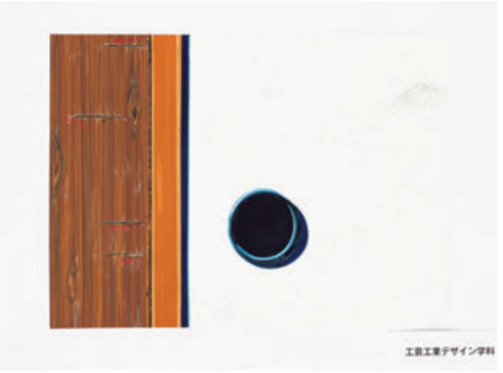


教員コメント

筆記用具をモチーフとし、幼い頃から今の成長した姿を連想させる構図が工夫に富み面白い。鉛筆やシャープペンの表現に比べて文字の書かれた紙の空間性や字自体の表現にやや密度の薄さを感じる。

教員コメント

乾いた荒地に咲く植物を水平・垂直・斜めの要素で構成された構図がよい。地面の表現もシャープであり全体の主張が明快である。荒地の対比として花弁の瑞々しさがもっと感じられるとよかった。



教員コメント

柱の傷をモチーフとした紋切型の答案が多い中で垂直と円をテーマとする純化された構成に独創性がありセンスの高さを感じる。柱やふすまの質感表現も優れ、全体に仕事も丁寧でありよい。

教員コメント

遠くに望む荒涼とした都市に浮かぶ折り鶴が伝える平和への思い、それが育まれる様を表した独自な世界を評価した。心象風景の故か、いささか色域の広がりに乏しいのが惜しいように思える。

言葉と感覚の“すきま”を見つけるペーパーバック

「行間を読む」という言葉がある。それは文章の明文化されていない内容を読解することだ。同じ作品でも、行間に何を見出すかは人によって異なる。これは、“文のすきま”、また“感覚のすきま”を可視化する製品である。

教員コメント

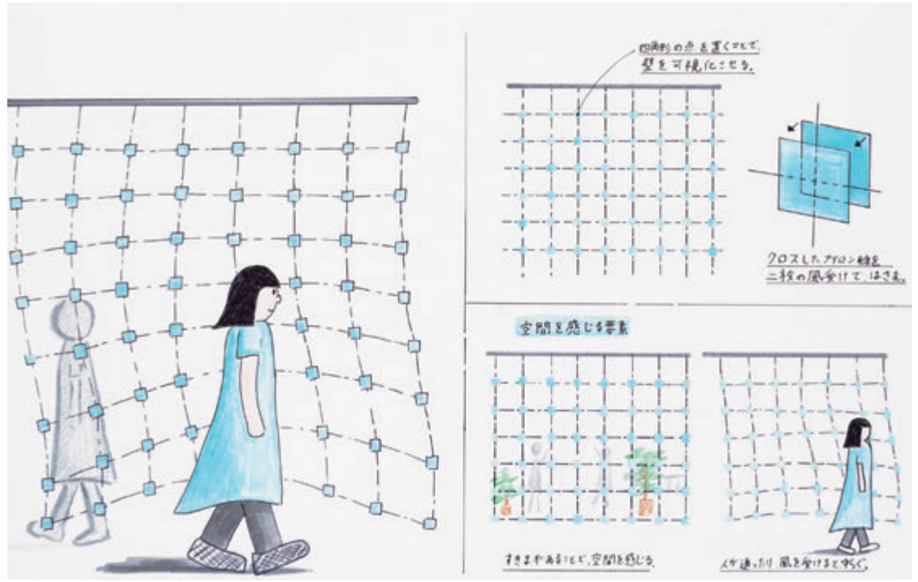
すきまを行間と捉え「行間を読む」という行為を、書く・描く行為によって定着させる発想が秀抜である。その手法も無駄がなくスケッチの説明も適切である。他者とシェアする展開まで構想されており高評価を得た。

紐を上下に移動させることで隙間から光が漏れ出す照明

この照明は布でできた円柱に複数切り込みが入っており、円柱の底面は紐で結ばれている。結ばれた所を上下にスライドさせることで布が美しく歪み、隙間ができる。隙間から漏れ出す光はとても輝かしく辺を照らす。

教員コメント

隙間から漏れる光をストレートに表現した作品である。発想として飛び抜けてはいないが、シンプルで無理のない構造、光を抱きかかえるようなスケール感とそれに合ったフォルムの変化などバランスよく表現されている点を評価した。

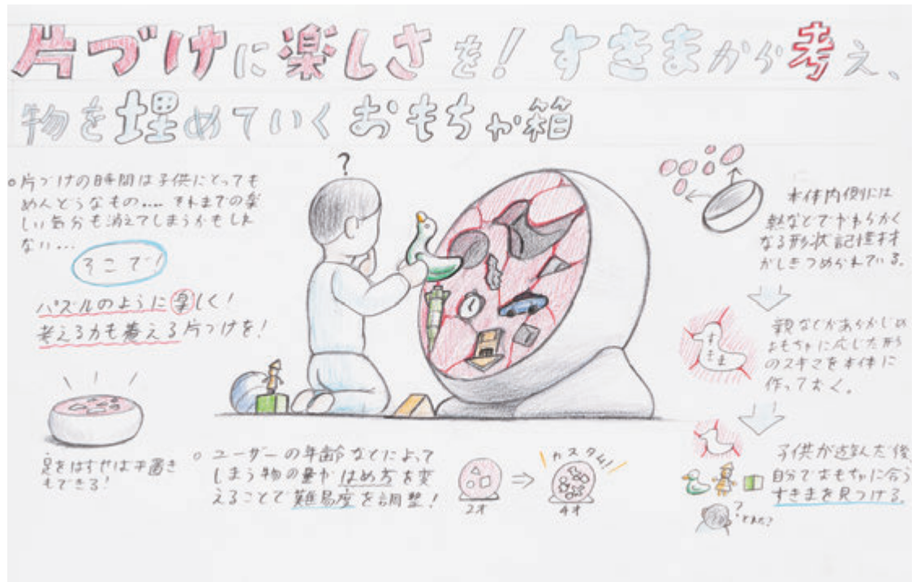


点と線　～空間を感じるパーテーション～

これは透明なナイロン線と、それをつなぐ風受けで構成される。人が通るなど、風を受けることで壁はゆらぐ。風受けの点の要素で壁を感じさせつつ、すきまで空間を感じる。分けられつつも開放的な空間ができるだろう。

教員コメント

分けつつ、つながる。空間デザインの一つの重要な目的を「点」と「線」という2次元造形をモチーフに風で揺らぐ展開まで含んだ軽やかで柔らかな境界として表現した。画面全体のレイアウト、線の丁寧さなど空気感が伝わるプレゼンテーションとなっている点も高く評価したい。



片付けに楽しさを！すきまから考え、物をはめていくおもちゃ箱。

この提案はしまう物に応じたすきまを持つおもちゃ箱によって、子供が片付けの時、すきまに何が入るのか考えパズルのように楽しみながら物をはめていくというものです。片づけの時間がより実のあるものになります。

教員コメント

型にはめる知育玩具は多く見られるが形状記憶の素材によって子供が遊んでいる物に合わせて「すきま」をつくれるようにしているところに作者のアイデアを見ることができる。面倒な「片付け」を「楽しく」するための物という論理展開も評価できる。

総合型選抜［前期］ 一般方式・英語力重視方式

①第1次選考

一般方式は、ポートフォリオ（作品資料ファイル）および自己推薦調書による審査
英語力重視方式は、作品資料および自己推薦調書による審査

②第２次選考

作品審査および面接（英語力重視方式は面接に英語を含む）

● 審査基準・評価ポイント

a) 受験生に期待すること・採点基準

本試験ではデザイン、発想力、制作力など秀でた能力を持ち、今後本学において更なる探求を深める意思のある受験生を求める。

●提出作品
自主制作の作品、学校での課題作品など、ポートフォリオでは伝えきれない実物の持つ作品力を主に見る。

●ポートフォリオ・作品資料
自主制作の作品、学校での課題作品などオリジナリティ、デザイン力、制作力を評価する。一般方式のポートフォリオの作品数は不問だが、多ければいいというわけではない（英語力重視方式の作品資料は５点以内）。

●面接
人物の個性、長所を評価する。また提出作品に対する説明の伝わりやすさも評価のポイントとなる。英語力重視方式では、英語で自分をアピールできること。英語が堪能なことに加え、自主制作作品、デザイン表現なども含め評価する。

b) 取り組んでおいてほしいこと

作品に関しては、美術系の高校、普通高校などで条件がいろいろ変わるため、それぞれの環境でベストを尽くしてほしい。学力に関しては高校を卒業できる基礎的な力を大事にしてほしい。

鉛筆デッサン（3時間）

【問題】

モチーフの特徴をいかして、自由に想像をしてデッサンしなさい。
なお、モチーフはそれぞれ複数個描いてもよい。

[条件]

1. 答案用紙は縦長で使用すること。
2. モチーフ以外は描かないこと。
3. モチーフで音を鳴らしてもよいが周囲に影響がないようにすること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 答案用紙（B3画用紙）×1枚
3. タンブラー×1個
4. トライアングル×1個
5. 木琴用バチ×1個
6. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

【出題意図と評価のポイント】

モチーフはタンブラー・金属製トライアングル・木琴用バチである。出題の意図は、これら見えているモチーフを観察し、想像上に構築した表現意図を、画面の上で的確な構図と描写に転じられるかである。評価のポイントは、表現意図が明確で、かつ空間を意識した構図であるか、素材を観察し各々の特質を把握し、かつ空間を意識した描写であるかの2点を主な基準として総合的に評価した。

デザイン（3時間）

【問題】

モチーフの特徴をいかして、自由に想像をして構成しなさい。
色も自由にイメージして着色してよい。
モチーフは複数描いてもよい。

[条件]

1. 答案用紙は縦長使用とし、枠内に構成すること。
2. 色数は自由。
3. 白色は用紙の地色か、絵具の白、どちらでも良い。
4. 梱包材はモチーフではない。

[配付物]

1. 試験問題
2. 答案用紙（B3ケント紙）×1枚
3. お香×3個（円錐、渦巻き、直線の各形状1つずつ）
4. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

【出題意図と評価のポイント】

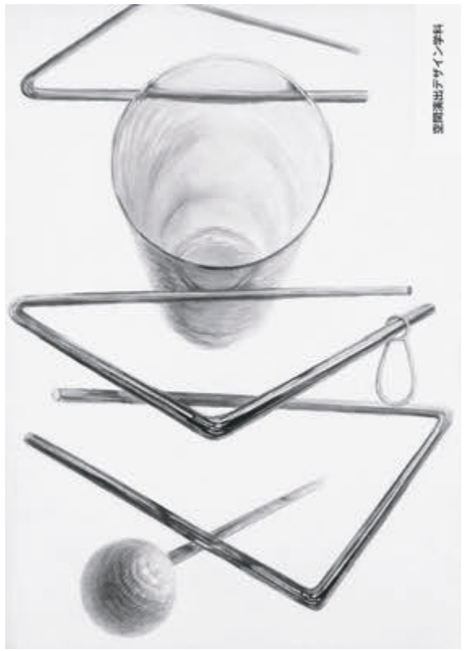
3種類の異なる形と色を持つ「お香」の特色を見出すことが今回のポイントであり、発想力、表現力とともに、空間構成力を評価した。コロナ渦の入試でもあり、お香のかほりが受験生の気持ちを和らげることも意図している。

教員コメント

タンブラーをクローズアップし、モチーフを前後に配した作者の意図は明快であり構図は成功している。素材の特徴である映り込みもよく観察されているが描写力に繊細さが足りない。

教員コメント

重なりを意識した構図からは音が聞こえてきそうなイメージと迫力を感じるが、フォルムの正確さ、映り込みや影などの観察とその表現に適した描写が足りない。

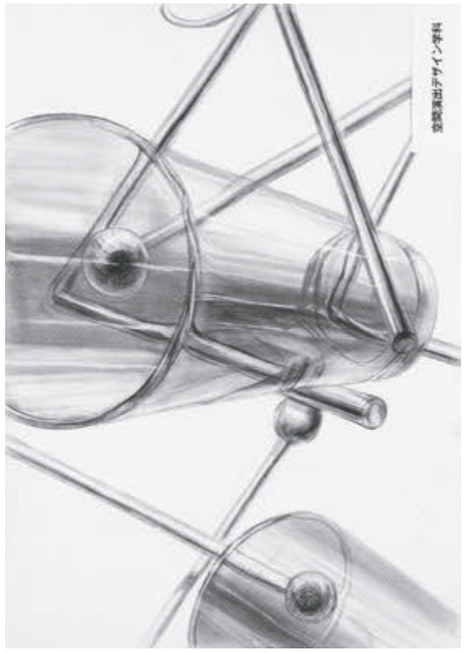


教員コメント

各モチーフをリズミカルに並列に配置した構図からは、モチーフの質感とともに素材が持つ音・音楽までもがイメージされ、そこに主従のない並列の構図を選択した作者の意図を感じる。

教員コメント

モチーフと余白の組み合わせが印象的であり、踊っているような躍動感を感じる構図は成功しているが、モチーフの素材感、重なりによる映り込みなどの観察と描写力に繊細さが足りない。



教員コメント

余白とモチーフの間（ま）を意識した構図はバランスがよい。各モチーフの描写に繊細さが加われば作品に現実感が加味され、奥行きと立体感が感じられる空間的なデッサンとなったはずだ。

教員コメント

色（濃淡）とモチーフの主従をはっきりさせた画面構成からは、動きと素材の触れ合う音が感じられるが、もう少しモチーフをよく観察し、素材の特徴を捉えた繊細な描写力が必要である。

教員コメント

極端で不自然な空間表現、遠近感にやや違和感を持つが、中心と周りの描き分けに強弱を付けて、ドラマチックな表現を描こうとした作者の狙いは評価したい。タンブラーをもう少し画面に入れるとさらによくなっただろう。

教員コメント

大きく捉えたタンブラーを中心に、トライアングルや木琴用バチが、上下方向に見下ろす様な空間として描かれていて、表現が的確である。タンブラーの形態がやや歪な点が惜しい。

教員コメント

タンブラーへの光線の映り込みや反射の歪みなど、モチーフの観察が執拗できめ細かな点がよい。「音」をデッサンに表現として描くことができるかが今回の出題の意図でもあったので、木琴用バチがもう少し主張できなかったか。

教員コメント

モチーフが巨大で不思議な世界観を表している点が面白い。タンブラー、トライアングル、木琴用バチの傾きを揃えてしまっているが、それぞれを異なった傾きにした方が、動きが出たのではないだろうか。

教員コメント

モチーフそれぞれが、ダンスを踊っているようなリズム感が描かれている。タンブラーを透して見える形の歪みなどよく観察している点がよい。モチーフにもう少し大小の描き分けがあれば、さらによくなっただろう。

教員コメント

タンブラーやトライアングルの金属の質感にやや硬さがあるが、画面に大きな空間表現が描かれている点がよい。モチーフそれぞれに大小の描き分けがあればさらによくなっただろう。

教員コメント

モチーフの特徴である煙とお香の関係を曖昧に表現して、あたかも組紐が解けるような発想がとてもよい。ただ、陰影のつけ方が雑で立体感に違和感がある。

教員コメント

平面的な表現の中に一つだけ陰影を付けた立体的な表現が面白い。立体的な図に平面的な図を乗せることで、空間の歪みを意図したこともよい。

教員コメント

モチーフとその特色を「図と地」の関係を意図して描かれている。煙の表現はとても上手くいっているが、お香の表現が稚拙で評価しにくい。

教員コメント

色合いと構図に勢いと元気を感じて好感を持てる。表現は雑だが、お香という静かで厳かなイメージを払拭して、勢いが絵の外まで広がっている。

教員コメント

お香の火に焦点を当て、火に照らされる煙の表現が抽象的で美しく、背景にかすかに見えるお香の姿も意図を感じてよい。

教員コメント

大胆な構成で一瞬抽象的に見えるが、火の付いた部分をリアルに表現してその差異がよい。ただ、火と煙の表現に違和感があり全体に悪い影響を与えている。

教員コメント

三種類のお香を構成して独特な煙の表現とお香との関係がよい。ただ、形を再現できていないため、空間を表現できていないことが残念である。

教員コメント

お香をお椀にしつらえ、明かりと煙の関係と明かりが醸し出す陰影が情景をつくり独特な個性を感じる。ただ、絵としては伸びやかさに乏しく空間を感じない。

教員コメント

配付されたモチーフを並べ「真上」から俯瞰してみた視点が面白い。影と陰影で立体の特徴的な形状を想像させる表現ができている。光と影のコントラストが強く印象的、その影に効果的に渦巻き形状を含めている。

教員コメント

配付されたモチーフを直接描くのではなく、香に火を付け発生する「煙」や「香り」を想像させる。ブラックの背景が、見えないはずの「煙」や「香り」の色として想像させるために効果的に使われている。

教員コメント

静かに漂う煙と渦巻き形状が対照的に表現されている。逆光の強い光と暗闇は光の明暗であり、色彩豊かな途切れ途切れの煙によって渦巻き形状を浮かび上がらせる表現は秀逸である。

教員コメント

蚊取り線香とピンクのTシャツ。ユニークでインパクトある構成である。色の選び方、渦巻き状の線香の質感表現が方向によって変化している様子や、もろさの表現が独創的である。

教員コメント

初見では大胆に闇で余白を表現していると思わされるが、微かな差異の黒色と紺色で渦巻きが描かれている。点火した火の色とその燃える様子、反射光によって現れる形状。とても詩的な表現だ。

教員コメント

煙による気体の揺らぎと形状の揺らぎの交わりが美しく色彩も効果的である。トリミングされた形状に沿うような煙の表現が実際の現象のように想像させる。観察力を感じる。

教員コメント

同系色でバランスを図ったまとまり感のある作品である。香の素材の質感を意識した、ざらついた表層の表現と色彩計画をマッチさせて全体をまとめている。

教員コメント

配付されたモチーフをリアルなイラスト的な表現でまとめている。色彩を赤系、青系、ホワイトに絞り込んで計画したことが、全体を一つにまとめ、火を中心とした表現の意図を明確に表している。

総合型選抜［前期］ 一般方式

①第1次選考

自己推薦調書審査

②第2次選考

構想力テスト、作品審査、面接

●構想力テスト（1時間）

【問題】
一枚の皿があります。
その皿の上に今現在の「状況」と「未来」との対比を自由に描きなさい。

［条件］
1. 答案用紙の右上にタイトルを明記しなさい。
2. 皿を描くことは任意とする。
3. 答案用紙は横長で使用すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B4画用紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

● 審査基準・評価ポイント

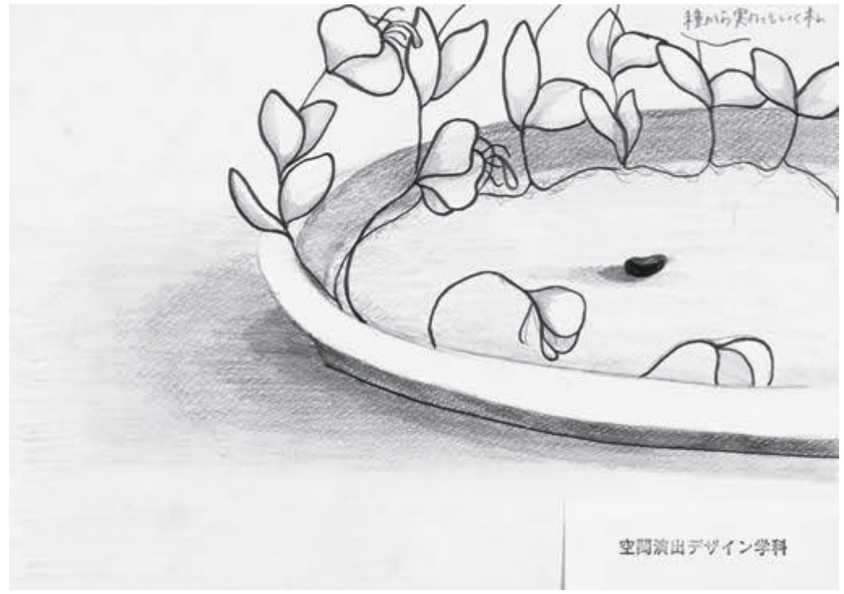
a）受験生に期待すること・採点基準
本学科では、独自性＋表現力＋意欲を総合的に判断する。すなわち、個性的な感性を持ち、その個性を表現でき、本学科に入りたいという強い意思を持つ人を希望している。美術大学では、人と同じことよりも、自分らしさが強みになる。過去の図式にとらわれず、自分らしい表現を発揮してほしい。

b）取り組んでおいてほしいこと
まずは、デザインやアートに興味を持って自分の好きな作品にたくさん出会ってほしい。そして本学科に興味を持ってほしい。その次に、本学科に関わる先生に興味を持ってほしい。それぞれに興味を持つことで、本学科で学びたいという強い意思と志が生まれる。この志こそが総合型選抜を受けるための大切な力になる。

キンチョウとかんわ

教員コメント
タイトルと作品の組み合わせの意外性が面白い。内面的な心情を溶けかかったアイスクリームと硬いスティックアイスで表現し、その上で緊張感を持ち自立する画面は独自の想像力を感じる。

種から実っていく私



教員コメント
育っていく芽の中に一つだけかすかに根のようなものが出始めた種。まだ見えない自分の将来への不安と前進したい意思を感じる。詩的な作品で見る側に想像を投げかけるのがよい。

鉛筆デッサン（３時間）

【問題】

下記のａ～ｆの立体を条件に従って空間を構成して鉛筆デッサンしなさい。

a.　立方体（1辺10cm、色：白）
b.　円錐（直径10cm×高さ20cm、色：白）
c.　円柱（直径15cm×高さ10cm、色：白）
d.　正三角柱（1辺10cm×高さ15cm、色：白）
e.　直方体（1辺5cmの正方形×高さ25cm、色：白）
f.　球（直径10cm、色：白）

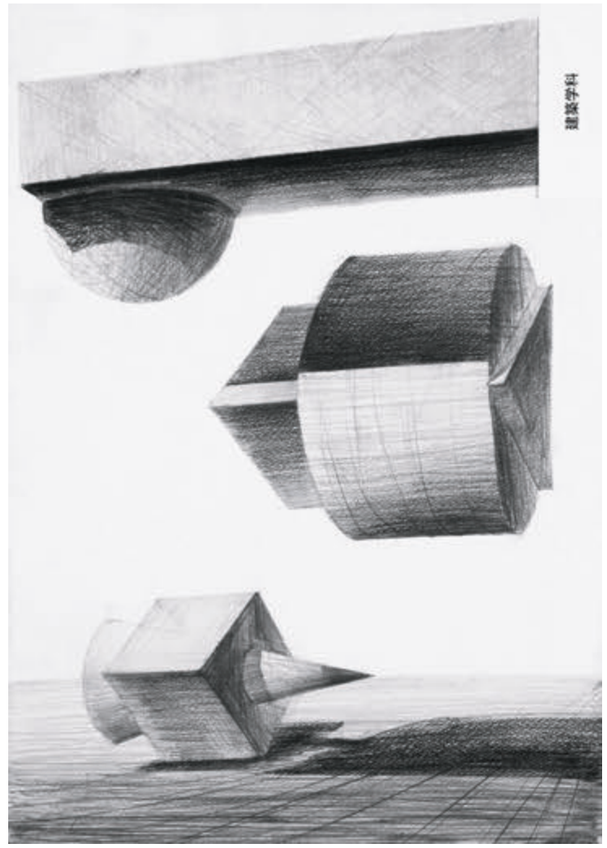
［条件］
1. ａ～ｆの立体は、それぞれひとつとすること。
2. ａとｂの立体は、互いに相貫していること。
3. ｃとｄの立体は、互いに相貫していること。
4. ｅとｆの立体は、互いに相貫していること。
5. 条件２～４のそれぞれの相関体は、他の相関体と接触していないこと。
6. 答案用紙は縦横自由。
7. 目隠しカードの上に、画面の「上」を示す矢印「↑」を必ず書くこと。

（＊相貫－二つ以上の立体の交わり）

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3画用紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×３枚

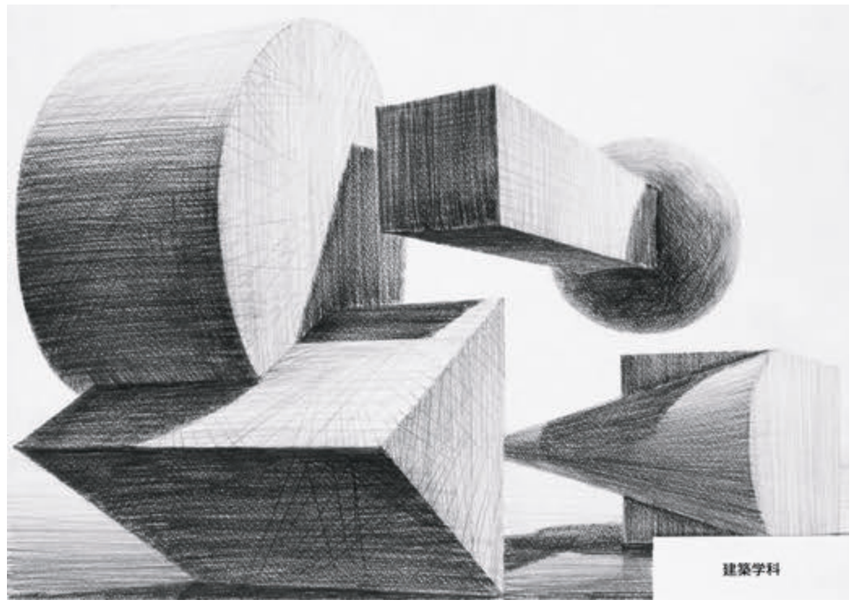
【出題意図と評価のポイント】

指定された立方体と円錐、円柱と正三角柱、直方体と球の相関体を空間構成しデッサンすることで、その感性と表現力を見る。特に立体相互の関係を空間化する構成力を評価した。デッサン力は、寸法を指定された立体について、モチーフを見ることなく相関体を正確に描けることなど基本的な力を確認した。



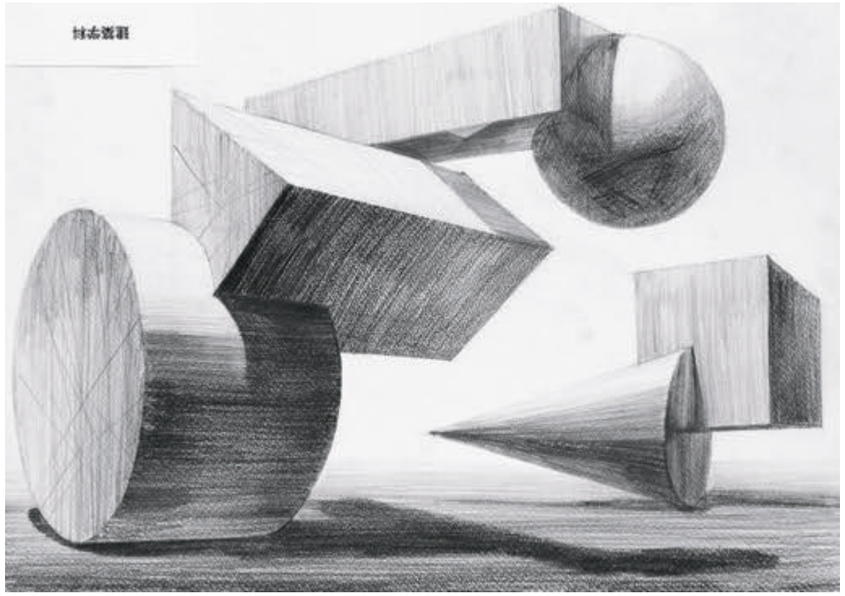
教員コメント

立体の中心を合わせた相関体に特徴があり、それらに遠近感を付けた構成がユニークである。



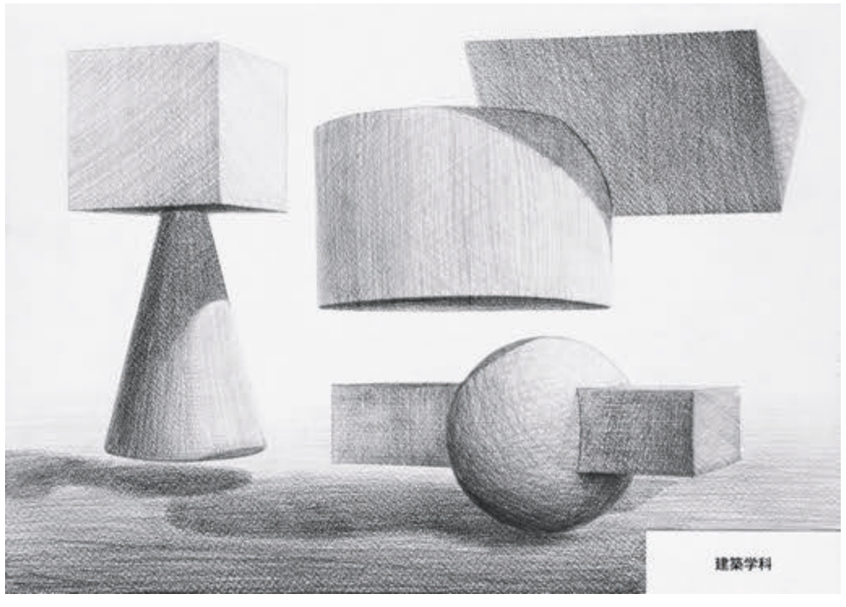
教員コメント

それぞれの立体の特徴を生かした相関体をつくり、画面全体を使ったダイナミックな構図である。



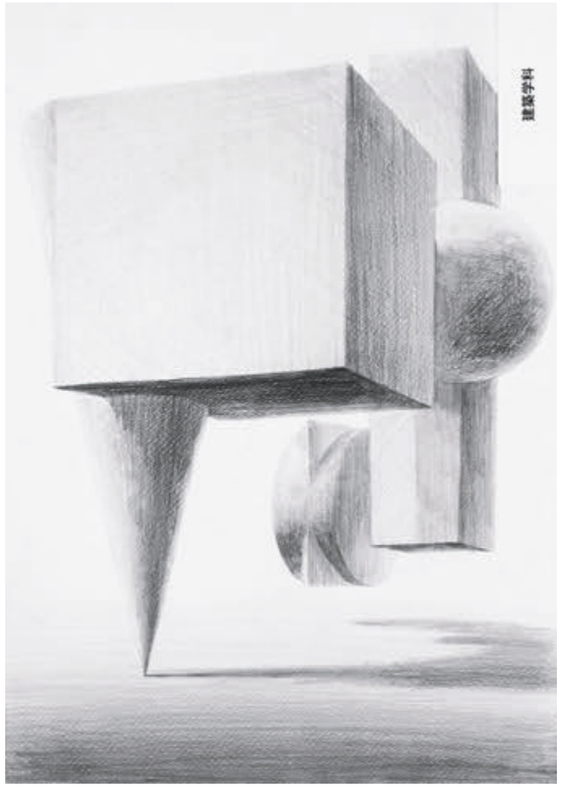
教員コメント

相関体を少しずつずらしながら空間を構成した動きのある構図をつくり出している。



教員コメント

それぞれの立体を水平に配置しながら相関体を配置した安定感のある構成である。



教員コメント

長さのある立体をタテに配置して相関体をつくることで垂直方向を感じさせる空間構成である。

教員コメント

すべての立体を多方向になるように配置した相関体が奥行きのある構図をつくり出している。

総合型選抜［前期］ 一般方式

①第1次選考

自己推薦調書審査

②第２次選考

表現力テスト、グループ面接

●表現力テスト（2時間）

【問題】

配付した写真（コピー）は、あるひとつの建物の外観を異なるアングルから撮影したものです。

(1) 写真をよく観察し、以下について600字以内で述べなさい。このうち③については、自由な想像を加えてよい。
① この建物の立地場所と周辺環境
② 建物の特徴、およびその特徴がもたらす建物の長所
③ どんな人達がどのようにこの建物に住む、あるいは使うか

(2) 想像したこの建物の内観をスケッチ等の図で表現しなさい。写真からわかる建物の特徴を図に反映すること。窓や扉ごしに見える要素も描くこと。人物の有無は自由。

［条件］
1. 【問題(1)】の解答は配付された原稿用紙に、指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 【問題(2)】の答案用紙(B4画用紙)は横長で使用すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 写真（コピー）×１枚
出典：非公開
3. 【問題（1）】用　原稿用紙×１枚
4. 【問題（2）】用　答案用紙（B4画用紙）×１枚
5. 下書き用紙（B4上質紙）×３枚

● 審査基準・評価ポイント

a) 受験生に期待すること・採点基準

受験生に期待することは、学生募集要項（建築学科「総合型選抜で受験生に期待すること」）の通りである。

表現力テストでは以下の点を評価する。
・観察力（対象の特徴を精確に捉える。対象の重要な特徴を反映していない解答は、描写力に優れていても厳しい評価になるので注意してほしい）
・分析力（読み取った状況を総合化する）
・想像力（観察と分析をもとに優れた形と空間を構想する）
・描写力（構想したイメージを定着し伝える）
・時間管理能力（制限時間内で解答をまとめる）

自己推薦調書と面接では、本学志望理由・学びたいことの明確さに加え、表れる人物像とその個性・オリジナリティを評価する。

b) 取り組んでおいてほしいこと

建築は大学で初めて学ぶ人が大多数のため、受験前に専門知識を机上学習する必要はない。生活の背景や経験に基づく自分の考えを述べられるよう、日常の中で以下を意識してほしい。
・ものづくりやイベントなどの企画実践
・持続すること：長く継続できている何かがあるか
・面白がる力：迷ったらやってみる・フットワークの軽さ
・グループ活動を通じた自身の長所や役柄の把握

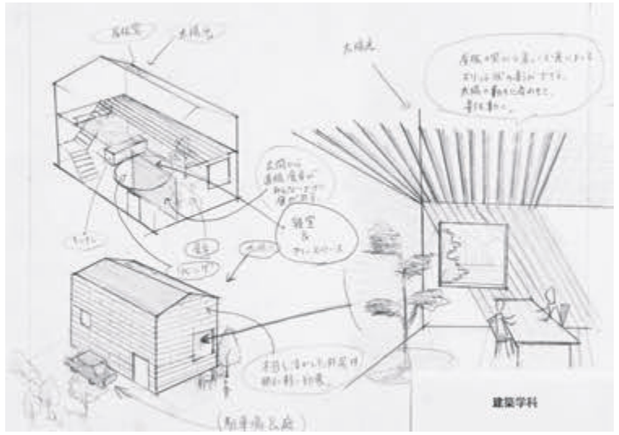
周辺環境を見てみると、それぞれの住宅の間隔に余裕があるため、都心部ではなく、地方の住宅地の一画に建っている。

この建物の木目を活かした外装は、周辺の樹々や小さな植物たちの魅力的な要素を打ち消さず軽い印象を与える。一見、堅牢な建物ではあるが、開放感を演出することに成功している。その特徴は特に二つある。

一つ目は、広くとられた庭である。樹木が少数植えられていることで、地域に対してオープンになっている。地域の人々を招いて、木影で和やかに語らう日常が想像できる。

二つ目は、各所に設けられた開口部である。内部に目を向けてみると、この建物は二階建てになっている。壁に設けられた窓からは、やわらかい風や自然光を取り込むことができるため、夏には風通しが良く、冬には陽だまりをつくる。また窓は屋根にも設けられており、窓を介して陽が差し込む。二階床はスリット状になっているため、視覚的に上下階はつながり、開放的になっている。さらに、屋根からの陽差しで生み出されるスリット状の影と、窓から望む外の自然は、時間の移ろいと共に変化する。その点では異なる様相を楽しむことができる。

この建物には地域に対してオープンで人柄も良く、趣味の異なる夫婦が住んでいるだろう。室内の特徴から、お互いが別々のことをしていても、常に気配を感じることのできる生活も想像できる。



教員コメント

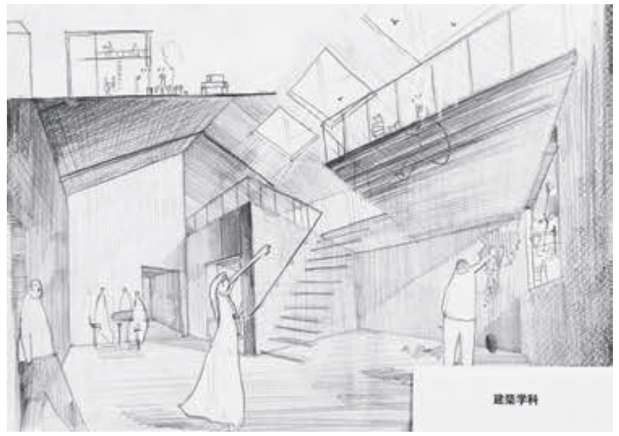
俯瞰的な構成スケッチと内観イメージがコメント付きで描かれ、観察の結果がわかりやすく伝わる。時間とともにうつろう現象の描写がよい。文章もポイントを簡潔にまとめており、イメージとのバランスがよい。

この建築物は道路側に大きな開口を設けたため、たくさんの光が差し込み、目の前に植えられた木の葉が作る影がゆらゆらと動き、やすらぎが得られる。特徴的なこの開口は、町の人々と交流するための装置としても機能し、町と繋がっていく。

2階の床は、1階から視線が抜けるようになっており、異なる階の間でコミュニケーションが生まれる。2階より天井が高い1階は、開放感を感じるため、人を呼んだりして会話をしながら食事をする。天窓のある2階では1階の人々を感じながら、落ち着いた生活をする。

隣の民家とは塀をはさんでいるため、プライバシーがたもたれたほどよい距離感となった。また、建物を道路から少し後退させたことで、余白が生まれたため、これからガーデニングをしたり、子供達が遊べる溜まり場のような空間になるのだろう。

私はこの建物を、子供のいる家族が使う住宅とした。母親は、週末にママ友を呼び1階でお茶をしながら会話をする。高校生になる子供は、その間2階で天窓からの光に当たりながら本を読む。しばらくすると、1階にいる母からの自分を呼ぶ声が聞こえ床下を見ると母のこっちに来てという手振りが見える。そして子供は1階に降りてママ友達にあいさつをして会話にまぜてもらう。



教員コメント

上下の階高の対比、開口部や床などの特徴を的確に捉え、臨場感と楽しさにあふれる内観イメージに仕上げている。断面スケッチによって全体のつくりを分析していることもよい。文章はもう少し簡潔にまとめると、よりよくなると考える。

感覚テスト（3時間）

【問題】
新型コロナウイルス感染症の流行は、多くの人の生活に影響を及ぼしました。あなたの生活について、コミュニケーション方法や生活習慣の変化などを通して気付いたことや考えたことを、具体的な例を挙げて論述しなさい。（400字以内）
論述の内容を簡潔に表す表題をつけなさい。（20字以内）
その状況を説明するスケッチを描きなさい。

［条件］
答案用紙は縦長で使用すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3画用紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

【出題意図と評価のポイント】
新型コロナウイルス感染症の流行は、人々の生活に深刻な影響を与えた。不安、不自由な生活を強いられ、これまでにない生活のスタイル、規範が生み出された。これらのことについて、具体的な生活の例を挙げて考えることが出題の狙いである。小論文あるいはエッセイの形式とし、その要点を短い表題にすることで考える。さらに、それらの考えを視覚的なスケッチにすることで、言葉とは違った角度から捉える力を問うている。

コロナで生まれた人と人との心の「壁」

新型コロナウイルス感染症の流行が私たちにもたらしたのは、人と人とのつながりをはばむ「壁」であると思います。現在の社会環境は、外出すればどんな店の入り口にもアルコール消毒液が置かれ、手指の消毒が求められます。特に飲食店などでは、座席の1つ1つにアクリル板が置かれ、お客さん同士の会話もなく店内が静まりかえっていることも多くあります。そして何より、全ての人が互いに距離を保ち、マスクを付けて生活しています。
私はこのマスクがとても嫌いです。学校で友人と話す時もマスクを隔てなければならず、家族と共に外出する際も同じで、さらにどこに行ってもみんなマスクを付けている。私は今のこの社会の状況に、日常から人と人とのつながりが薄れていっているのを感じています。
互いに表情もみえず、コミュニケーションも少ないのが続いて、人と人との心の間に目に見えぬ壁ができていると思うのです。私はそれをとても悲しく思います。

教員コメント
コロナ禍で、当たり前となった「人と人の距離」「非接触」「アルコールによる消毒」…それらに対する感情について、スケッチはやや説明的だが、現実感のある考察をしている。

基礎造形（3時間）

【問題】
100年後の生活環境はどうなっているだろうか。
窓から覗（のぞ）いた風景をモチーフとして、幾何学図形で構成し、描きなさい。

［条件］
1. 答案用紙は横長で使用すること。
2. 答案用紙の裏面中央に、画面の「上」を示す矢印「↑」を書くこと。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3ケント紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

【出題意図と評価のポイント】
デザインには、いまだ見ぬ未来の姿を想像し、ヴィジュアライズする構想力が問われる。「100年後の窓」から何が見えるだろうか。先端技術がもたらす仮想現実か、SF的なインフラを備えた都市風景か、はたまた自然が劇的に変化した地球環境か。それは明るく輝く未来の姿、あるいは暗い世界観に覆われた情景だろうか。出題に際して、「100年後の窓」という架空のテーマから、柔らかなイマジネーションと力強い構想力を持つ風景が描き出されることを意図した。幾何学図形によって「かたちの本質」を浮かび上がらせ、純化／抽象化できているか、色彩の調和が際立っているかを評価のポイントとした。

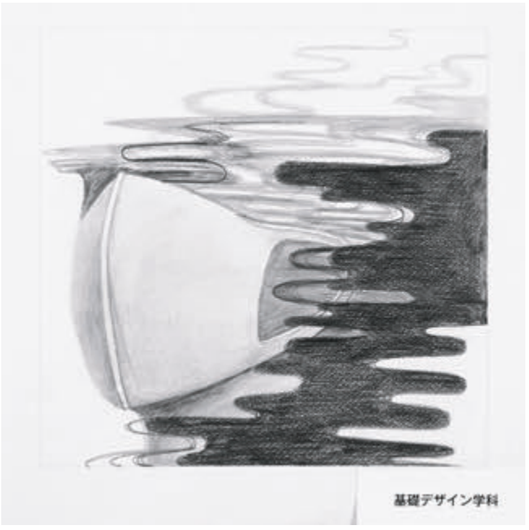
移動時間

コロナによる自粛で休校になっていた私の通っている塾が、二月からリモートで再開することになった。学校は休校のままであった為、毎日塾の時間が近づくと、急いで上半身だけを整え、画面の前に座ることが習慣となった。準備にかかる時間は十分ほどで、移動時間と比べると三分の一になった。
リモートになる以前は、家から三十分ほどかけて電車で通っていたのだが、この時間、特に電車に乗っている時間が無くなることで、この時間で心を切りかえていたのだと気付いた。無駄な時間を無くすことができたとも考えられるが、その分切りかえに使うことのできる「何もしなくていい」ことが許される時間が無くなってしまったと感じた。
私は、アートや音楽などの芸術が、無駄だと言ってしまえば切り捨てられるが、実は人にとって何よりも大事であるように、無駄だと切り捨てることもできる「移動時間」も、私にとってはとても大切なのだと感じた。

教員コメント
従来は無駄だと考えられがちの移動時間に対して、巣ごもり生活が明けて対面授業が始まったとき、いろいろな積極的な意味を与えるようになったことが、論述と写生的な電車の窓のスケッチから伝わってくる。

マスクが生んだ「あいまいな私」

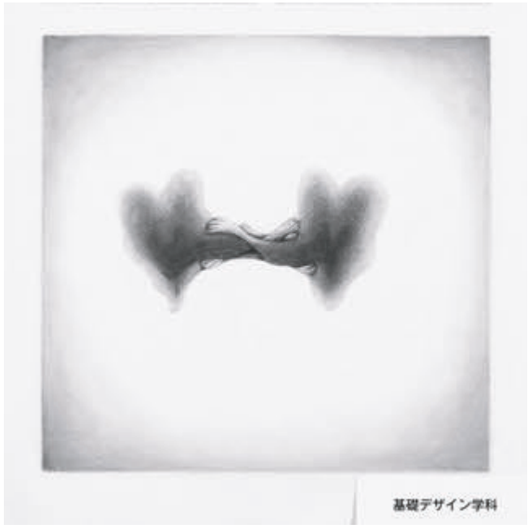
コロナウイルスが流行し、多くの人がマスクをつけて生活するようになった。一歩外に出ればほぼ外すことのないそれは、最早私達の顔の一部と言っても良い。顔というのは、全身の中で最もその人の印象を左右する部分だ。その分マスクをつけることで、人から見た自分の印象はあいまいさを増す。近頃はそのマイナス面に着目されがちだが、私は自分の経験を通して大きなプラスの面を発見した。ある日自分のクローゼットを見て、1つの事に気が付いた。マスクをつけはじめる前よりも派手な色の服が増えていたのだ。私はこの理由を、このように考えた。今まで、自分の印象はこういう感じだろうか、と服を買っていた私は、マスクをつけることで「印象があいまいな私」になり、どの方向へも転がる事ができる自分の可能性を知ったのだ。
マスクが生む見た目に関するあいまいさは、自分の可能性を広げるための新たなきっかけになるのかもしれない。



教員コメント
マスクについて、また、マスクが影響する服装などについて、改めて考えてみると気付くことがあり、興味深い考察をしている。

体温のふれあい

ボディタッチは人と関わる上で良いエッセンスになる。肌と肌が触れ合う事で私たちは安らぎを得たり、感情を共有する事が出来るのだが、今となってはそれも難しくなった。
コロナウイルスの流行後、私の通っている高校ではハグやハイタッチ等の身体接触が禁じられた。その為、授業でバスケのシュートを決めても仲間とハイタッチすら出来ず、その場で喜びを上手く分かち合えず不完全燃焼で終わった事もあった。そこで私と友人らは、マジックハンドによる接触で身体接触の代替を試みた。しかし、無機質なプラスチック同士の接触では互いに「触れ合っている」という事実が得られたのみで、それ以上の効果は無かった。ここで私は、ボディタッチの真髄は互いの「体温」の触れ合いにあると気づいた。生身の有機的な肉体、または肌に触れている事実を示すものは体温の存在であり、その事実こそが、私たちに安らぎを与えたり、感情を共有するかけ橋になっているのである。



教員コメント

コロナ禍で制限されているハイタッチなどのボディタッチについて、新しい試みの提案や失敗を通して、これまでとは異なる意味を見つけた。コミュニケーションの仕方の問題ではなく、一緒にいること（＝体温のふれあい）を論述とスケッチで表現した。

そばにいなくたってつながれるヒトとヒト

人は今この時代、コロナウイルスが広まって変わってしまったこの時代を地獄のようだと言う。だが本当にそうだろうか?インターネットが普及している今、「リモート」という存在が認知されてきている。リモート会議やリモート授業。これらがあたり前の時代へと進化してきている。年配の方が重症化しやすい為、なかなか実家へも帰れない、そこでリモート通話が役に立つ。電話とは違い、ビデオ通話で相手の様子を見ることが出来る。これはコロナウイルスが流行る前から存在していたが、あたり前だったことが出来なくなり利用者が増えたのである。なんとかして相手をもっと近くに感じたい。これはまさに愛である。家族だけではない、友人や会社の仲間に対しても。ヒトは愛をもってヒトとつながりたいのである。いつの時代もヒトはどうにかしてでもヒトとつながろうとしていた。今の時代だって誰かとつながれる。愛はまだ消えていない。地獄なんかではないのである。

教員コメント

リモートによるコミュニケーションについて、その限界を考えるのでなく、その役割や可能性を積極的に評価して論述していることに、この答案の個性がある。

マスクがファッションの一部へ

新型コロナウイルスの流行で普段からマスクを付けるのが習慣化されてきた今、私が気づいたのは、マスクのデザインのほうふさである。新型コロナウイルスが流行する以前から、日本は他国と比較するとマスクを付けている人の割合が多かったが、ほとんどは白か黒の一般的なマスクだった。それに比べ、新型コロナウイルスが流行している今、白と黒のマスクだけではなくたくさんの種類、色、柄、型のマスクが街を華やかにしている。
例えば私がまっ先に思いつくのは、予備校の先生のマスクである。毎日違う柄のおしゃれでかわいいマスクをつけているのを見て、マスクでさえもファッションの一部として楽しんでいるように感じた。
ウイルス感染を防ぐためのマスクを、ファッションの一部として楽しむという考えの変化はコロナウイルスの流行で行動が制限されている今、とてもすばらしい考え方の一つだと思った。

教員コメント

奇しくも伝染病の流行が一つのファッションの流行をもたらしたという現象を捉えた作品。さらにそこにはまるで洗濯をした後に天日干しをしているかのような日常を想起させる表現をしていてこれまでなかった風景が繊細に表現されている。

意識して見るようになったもの

新型コロナウイルス感染症の流行により、私たちの生活ではマスクが欠かせないものとなった。それにより、私は最近あるものをよく観察している。それは人間の目の形だ。私は元々目に興味があり、好きな形もある。しかし今回話したい目の形とは好みではなく人間の感情によって変わる方のことだ。
マスク生活が当たり前になったため他人の感情が読み取りにくくなるだろうと思っていたが、コミュニケーションを取るうちに人間の感情は意外にも目元によく表れることに気付いた。笑っている時は目がミカヅキの形に、驚いた時は目が上下に大きく開く。何かに夢中になっている時はまばたきが少なく、動揺や心配の気持ちがある時は異常な程多い。
以上のことはマスクが無ければ感情が分かりやすい口元が見えるので注意して見なかっただろう。私は進学したら目の研究もしたいのでこれからも観察しようと思う。

教員コメント

「目は口ほどに物を云う」という諺がまさに日々の光景になったことに気付き、それを作品にしている。感情を表す一つのパーツとしての目がマスクの着用が義務付けられたことによってこれほど注目されたことはなかった。目の繊細さがよく表れている。

コロナ禍でのストレス発散で気付く身近なデザインのすばらしさ。

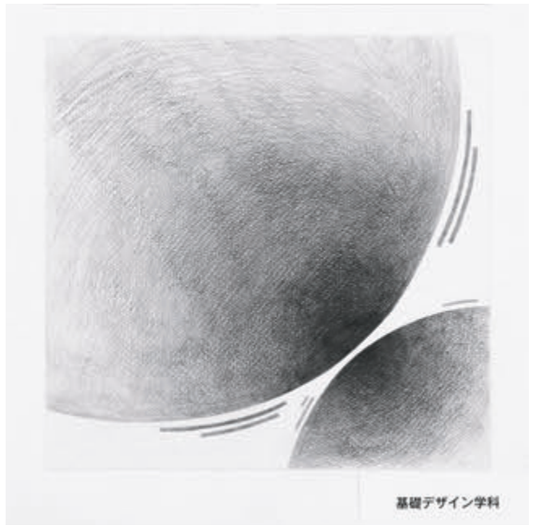
コロナ禍が社会に与えた変化は人との接し方や衛生面の考え方など様々だ。その中でも特に私に影響したのは、カラオケに行けなくなったことだ。普段からストレス発散方法として利用していた私はその習慣を変えざるを得なかった。そして、私が選んだストレスの発散方法は好きな音楽を聴きながら全速力で走ることだった。好きな音楽を聴きながら走って出す汗は非常に気持ち良く、夜もしっかりと眠ることができた。この気持ち良さは何に保障されているのだろうか。精一杯身体を動かすこと、音楽に浸ることなどが挙げられるだろう。しかし私が最も重要だと考えたのはイヤホンの装着感、付け心地である。サイズが合わなければすぐに外れてしまい、装着感が悪ければ耳が痛むこともあるだろう。もちろん重さ、大きさも非常に重要だ。こうした本来の用途以外の状況に関する考慮が私の気持ち良さの土台となっており、これは視覚的デザインでも同じことが言えると考えた。

教員コメント

2020年、伝染病を防ぐことから外出時には恒常的に口にマスクを装着することになったときに多くの人がイヤホンを装着して楽しみを見出そうとした。当然ながらその装着感の心地よさが問われることになった。皮肉にもネガティブな社会現象がデザインの向上を求められた例を指し示している。

ぎりぎり触れない距離を保つ

新型コロナウイルス感染症の流行は、友人や家族との距離を物理的にも気持ち的にも遠くしました。
まず、昨年の緊急事態宣言に伴った休校により私と友人の距離はとても遠いものとなりました。さらに、終わりの見えない休校期間が続くなか初めのうちは取り合っていた連絡が次第に回数が減り最終的には取らなくなりました。このような状態が続くうちに嬉しいと感じていたお休みが早く終われという気持ちに変化していきました。しかし、友人との遠い距離は休校が明けても続きます。友人たちとの距離を元の状態に戻したい、でも近づいてしまったことで他の友人や家族に迷惑をかけてしまったら?その堂々巡りでした。感染してもさせてはいけないという思いから私は事態が収束するまで友人とぎりぎり触れない距離を保ちます。

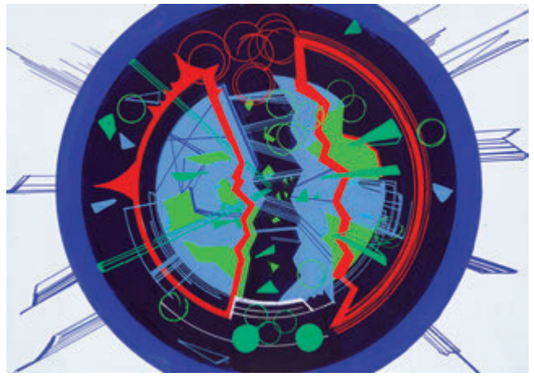


教員コメント

半ば強制的に離れることを求められた状況の中で、その中での感情の揺らぎを円形の幾何学図形と陰影によって抽象的に表現し、イラストレーションのような施しをすることによってシリアスになり過ぎない表現ができている。シンプルな中に深みを感じさせている。

教員コメント

未来の交通体系は空に移行するのだろうか。雲間を疾走する列車、浮遊しながら行き来する自動車の風景。入道雲がむくむくと盛り上がった空の青色に、差し色として鮮やかな赤色を使い、自然と人工物を対比させ、明解な色面構成を描き出すことに成功している。



教員コメント

未来の地球は爆発している？隕石が衝突したのだろうか。まさか核戦争で地球が真っ二つに割れたのだろうか。しかし画面からは不吉な未来というより、ダイナミックな地球の胎動が感じられ、大胆な構図の迫力と色彩のぶつかり合いが見事に活写されている。

教員コメント

2本のハンドルを握る両手の向こうに広がる未知の世界。それは宇宙船から見える天空の星々なのか、光速のスピードで移動する際に体験する４次元世界なのか。漆黒の宇宙に漂う星々は神秘的だが、なぜか親和的でもあり、未来の宇宙旅行をワクワク想起させる。

教員コメント

一見、何が描かれているのか判別し難いが、霞んだ画面の一部から空と海がぼんやりと浮かび上がる。3本の橋脚のような形も見える。未来の窓からは、まどろんだ寓話的な世界が覗けるのだろうか。絶妙な色調とともに、不思議に想像を喚起させてくれる。

教員コメント

水没した未来都市。地球温暖化の行く末に、とうとう世界は海底へと没していくのだろうか。海の底深くそびえ立つ高層ビル群の谷間を魚たちが悠々と泳いでいく。人類に代わって再び魚類が主役になってしまう未来。壮大な地球史の1シーンが見事に描き出された。

教員コメント

未来の窓から室内を覗くと、映写ガジェットから出現した怪獣が部屋で暴れ回っている。そんな仮想現実を体験できるとしたら楽しそうだ。牙を剥きだして吠える怪獣は、幾何学図形と補色対比が功を奏して、画面に広がりと迫力を表すことに成功している。

教員コメント

地球温暖化を切実に感じている若者が多いのだろう。解答には水没した未来都市が多く描かれた。この作品では、ビル群が水面すれすれに頭を出し、世界が静寂に包まれている。その静謐さと色彩構成はシュールなのだが、水面のうねりが説得力を感じさせてくれる。

教員コメント

この作品も水没した街並みを描いている。遠景には燃えさかる都市の光景が見える。震災か何か大災害があったのだろうか。家屋は倒壊し、電信柱は傾き、海面に浸水している。禍々しい予言のような画面だが、色面構成の美しさゆえ、呆然と見とれてしまう。

教員コメント

部屋の窓から外を見ているのだろう。空にはうねった雲と箱形の可愛らしい車が浮遊している。未来の車とは言い難いそのフォルムと独特な色使いから、何か夢の中で玩具の車が空を走っている情景を眺めているようで、微笑ましい未来を感じさせてくれる。

教員コメント

空を行き来する列車の車窓から眺めた風景のようだ。オレンジの列車はかなり近い距離にあり、雲間を走る黄色の列車、さらには遠方にも行き違う列車が描かれている。窓のフレームと客室内の沈んだ色調と窓の外の明るさの対比が画面にリアリティを与えている。

教員コメント

未来の超高層ビルは雲に届く高さにそびえ立っている。画面中央に描かれているのはスカイツリーだろうか。それがとても低く感じられる。やや陰鬱な色調の都市風景を横切る一つの紙飛行機。未来小説の挿絵のような物語性を感じさせてくれる秀作である。

教員コメント

楕円の窓から見える都市風景。ビルに絡まる蔦だろうか、そのスケールに不自然さはあるが、有機的な曲線とビルの直線の対比、色面の強い対比がうまく調和して、世紀末的な風景を描き出すことに成功している。とりわけ蔦によって崩壊しているビルの描写が秀逸。

総合型選抜［前期］ 一般方式

①第1次選考

プレゼンテーション企画書および自己推薦調書による審査

●プレゼンテーション企画書テーマ

「あなたは５年後の世界にどんなデザインを構想しますか」
ムサビへの入学を志す段階で、卒業後の自分のデザインを想像するのは難しいかもしれません。５年後の世界や社会を考えながら、環境に対して、メディアによって、グラフィックやプロダクトによって、あなたは何を提案したいですか。具体的な提案を期待します。あなたの夢を存分に語ってください。
○Ａ3サイズ横２枚にまとめること。

②第２次選考

プレゼンテーション、面接

● 審査基準・評価ポイント

a) 受験生に期待すること・採点基準

一般選抜で基礎的な学力および造形力を評価するのとは異なり、総合型選抜では構想力を持つ受験生を求める。ここでいう構想力とは、社会の現在の課題をデザインの問題として発見し、提起した問題に対するデザインを提案する力である。

●プレゼンテーション企画書
企画書では、課題に対して、調べ、考え、解決案として将来のデザインを提示することによって、みずみずしい構想力を示すことを期待する。

●面接
企画書の発表と質疑を行う。また、志望動機、将来の抱負、自分自身の特徴や能力をどのように捉えているか、ということについても尋ねる。

b) 取り組んでおいてほしいこと

デザインの構想力を持つ受験生を求めるので、高校等での基礎的な学力を身につけることが大切だと考えている。その上で、課題に取り組むために、調査能力、問題発見能力、コミュニケーション能力、デザイン能力を発揮してほしい。

小論文（2時間）

【問題】

別紙は、岡山県倉敷市の大原美術館名誉館長の大原謙一郎が著した『倉敷からはこう見える　世界と文化と地方について』の「大原美術館を考える」からの抜粋である。この文章を読み、筆者の意見に対するあなたの考えを述べた後に、21世紀の美術館はどのようにあることが望ましいかについて、あなたや家族、知人の体験、そして、現在の国内外の状況を踏まえつつ、あなた自身の考えを1,000字以内で述べなさい。
なお、タイトル欄にタイトルを記入しなさい。

これからの世界で、人類が心地好く生存できる環境を保全し、世界的な貧富の差を緩和して永続的な平和を達成するためには、今まで以上に知恵と努力が必要です。世界は、今までよりもっともっと深いところで互いに理解し合わなければならない。価値観や考え方の基礎を分かり合い、生活、文化、歴史、宗教を語り合い、お互いの考え方と感じ方、言いかえれば、思想と美学を理解し合わなければならない。そうしなければ、無知と無理解が誤解と勘違いを生み、世界はとんでもないことになってしまいかねない。

これは、誰もが感じていることですし、これまでも何度か触れてきたことです。

そういう世界では、あらゆる国が、他国や他民族のあり方を深く理解すると同時に、自分の国や自分の民族のことについても世界にうまく理解されるよう努力することが求められます。あらゆる手段を使って知り、理解すると同時に、知らせ、説明することも、すでに国際的な義務となっていると言ってよい。この世界では、孤立は、自分たちの不利になるだけではなく、世界の不安要素にもなるからです。

ミュージアムは、そういう世界の相互理解のための大事な道具です。世界を理解するためにも、また理解してもらうためにも、重要な役割を果たすべきだと考えます。

ちょっと大上段の話になりましたが、大原美術館は、そういうミュージアムの使命を自覚し、そのために努力する美術館でありたいと思います。

それだからこそ、私は、大原美術館に込められた日本のまなざしと日本人の心のたたずまいを見ていただきたいと訴えているのです。日本人の心と歴史を大事にしている倉敷の町にこの美術館が存在しているということ自体が、一つのメッセージだと強調している背景にも、そういうことがあるのです。

しかし、ミュージアムは、世界に向けて何事かを声高に叫んでいればそれでよいというものではありません。足下を忘れては存在意義がないと思います。身近なお客様に心地好い時間をお過ごしいただくように配慮すると同時に、お客様の心に何事かを語り掛け、お客様の心のわだかまりをほぐし、心のたたずまいを整えるお手伝いをすることも私たちの重要な使命です。

子供たちも例外ではありません。というより、私たちは、地元の子供たちへの働きかけは重要な使命だと考えています。時々、子供たちの行儀が悪いと大人のお客様からご注意いただくこともありますが、おしなべて、保育園児や幼稚園児を含め、子供たちは本当に素晴らしいと思います。そして、保育園の頃から大原美術館に親しんできた子供たちが、小学校に入り、高学年になって行くにつれ、毎回毎回新しい発見をしては、そのことを感想文に書いてくれたりします。そういうものを読む時には、美術館経営者であることの幸せを噛み締める思いがします。

最近では、延べ数百人のアーティストやボランティアの協力を得て実現した「チルドレンズ・アート・ミュージアム」という企画もうれしい体験でした。二千人をこえる子供たちが集まり、アートと遊びたわむれながら楽しくてしかも創造的なイベントに熱中しました。用意されたプログラムはアート体験やワークショップなど十件ほどでしたが、それがすべて大盛況で、美術館は異様なほどの熱気に包まれました。

中には「野外彫刻と遊ぼう」というダンスワークショップもあり、子供たちが、尖ったものは身体から外し、靴も脱いで裸足になって、リーダーのお兄さんお姉さんとペアを組んで、芝生に点在するロダンやヘンリー・ムーアやイサム・ノグチなどの彫刻の間を駆け抜けたり、その影に隠れたり、彫刻に止まる蝉や蝶になってみたり、彫刻の一部になり切ったりして、思い思いの身体表現を創造しました。通常は触ること厳禁の作品によじ登ることすらも、この日だけは許すことにしました。そういう試みをしてみると、いつも見慣れた彫刻がそれまでは気付かなかった不思議な表情を見せてくれるようで、新しい発見をした思いでもありました。

幸いなことに、周囲におられた大人のお客様もアートと遊ぶ子供たちの様子をにこやかに見てくださる方が大部分でした。日本の美術館の子供に向けた活動のあり方にも一石を投じた大きな意味を持つイベントだったと思います。

もとより大人たちへの働き掛けを忘れているわけではありません。毎年夏に開催される「大原美術館美術講座」は二十八回目を迎えました。ここに集まる聴衆は、知的にも感性面でも日本の美術ファン最高レベルの皆さんだと思っています。また、個人的なことですが、私自身にとっても、講義が終わった後、講師の先生方と一献傾けながら語り合うひと時は、夏の夜の大きな楽しみでもあります。

音楽やその他のジャンルとの繋がりも、私たちの重要な活動分野です。昭和二十年代から、大原美術館は音楽を大切にしてきました。敗戦後の荒廃の中で催された美術館でのコンサートを今でも懐かしく記憶している人は少なくありません。また、当時新進気鋭の作曲家だった黛敏郎さんと、将来を嘱望されつつ夭折した作曲家矢代秋雄さんに委嘱して、美術館のために新しい曲を作曲していただいて展示室で初演したこともありました。

昭和四十年代以降は、展示室でのギャラリーコンサートも定着しました。世界のトップアーティストの演奏に、ギャラリーでしみじみ聴き入ることもありますし、ここに登板した若手がその後まもなく重要な賞を取ったことも何度かありました。音楽以外の分野とのコラボレーションも、これから考えていきたいことの一つです。

これから考えたいもう一つの課題は、地元や社会とのコラボレーションです。アイデアはいくつか温めています。今から三年後には、課題としてではなく、実施の報告として語ることができればと思います。

［条件］

解答は、配付された原稿用紙に、指定字数に従って縦書きで記入すること。

［配付物］

1. 試験問題
2. 別紙×１枚
   出典：大原謙一郎　「大原美術館を考える」
   『倉敷からはこう見える 世界と文化と地方について』
   山陽新聞社、2002年、149-155頁。
3. 原稿用紙×１セット
4. 下書き用紙（B4上質紙）×２枚

【出題意図と評価のポイント】

地方の一美術館を管理・運営する理事長の視点から紹介された実例を、自身の経験や知識に基づいて論じ、美術館が地域においてどのような役割を果たしていく必要があるか、21世紀の美術館には社会の中でどのような役割が期待されるか、を論考することを通して、「芸術文化と社会をつなぐ」ことに対する思考と姿勢を測ることを意図した。

- 論理的な文章構成、明解で適切な表現ができているか。
- 表記、タイトル設定が行われているか。
- 課題文の趣旨を理解し、論点を適切に抽出できているか。
- 自分の具体的な経験に基づき、客観的・俯瞰的に自己の主張を提示できているか。

鉛筆デッサン（３時間）

【問題】

与えられた３つのモチーフ（ガラス容器、ベンチ型フラワースタンド、ふきん）を机上で自由に組み合わせて描写しなさい。

［条件］

1. 答案用紙は縦横自由。
2. ３つのモチーフは必ず描くこと。
3. それぞれのモチーフは切ったり、壊したりしてはならない。
   ただしガラス容器の蓋は開けて描いてもよい。

［配付物］

1. 試験問題
2. 答案用紙（B3画用紙）×１枚
3. ガラス容器×１個
4. ベンチ型フラワースタンド×１個
5. ふきん×１枚
6. 下書き用紙（B4上質紙）×２枚

【出題意図と評価のポイント】

基本的な描写力を見る問題である。制限時間内で細かいところまで描き込むことはもちろん重要であるが、観念的な描写ではなく、あくまでも自然な感じに見えるよう、感性を大切にした描写を目指してほしい。基本的な描写力として、右記の要素などを評価のポイントとした。

- 各モチーフの質感や表情が描き分けられているか。
- 空間や状況が把握されているか。
- 形体が正確に描かれているか。
- 画面の構図や構成は的確か。
- モチーフの構成力はあるか。

美術館と学校を繋ぐ

筆者は文中で、他と繋がる場としてのミュージアムを強調している。その対象は国と国、民族と民族、さらには美術と音楽にまで及んでいく。そうした例の中で私は、身近な存在、特に子供たちへの働きかけという点において、筆者に深く賛同した。

私は幼い頃から絵を描くことが好きだった。しかし、興味の対象は自分の作品のみ。何度も両親と連れだって美術館に行ったにも関わらず、自分以外の誰かが描いたものには、一向に興味が湧かなかった。

そんな私の転機となったのが、中学時代に美術部の先生と訪れた、新潟市の美術館での体験だ。私は当時から、先生に部活でデッサンを習っていた。そのため、美術館でとある画家のデッサン画を見た瞬間、自分と同じ紙と鉛筆だけで、一つの作品が成立してしまうことに衝撃を受けたのだ。その日を境に、自分と他者の作品を比較すること、そして美術館で作品を鑑賞することが、楽しくて仕方がなくなった。文中、筆者はワークショップを例にあげ、子どもが本物の作品に触れる意義を述べている。私もまさに本物の作品に触れ、新しい発見をした一人だったのだ。

だが、私には現在の美術館が、充分に役割を果たしているとは思えない。なぜなら、本来子ども達の美術への興味を育む場である学校と、実際に作品と出会う場である美術館との繋がりが、まだまだ弱いと感じるからだ。

日本における美術教育の在り方は、問題視されることが多い。授業数は少なく、教員の数も一校につき一人だけの高校もある。そんな状況では、私のように美術部にでも所属していない限り、美術館や美術作品に興味を抱けなくても無理はないだろう。

そのため私は、美術館が体験授業やワークショップを積極的に行い、学校のような場を目ざすこと、そして学校側は、ただ授業の課題を制作するだけでなく、画家達の作品や美術史を学んだり、生徒同士が作品を鑑賞し合ったりする時間を増やすことで、小さな美術館のような場を目ざす取り組みが必要だと考える。もちろん、より多くのコマ数を用い、生徒が実際に美術館に行き、作品をじかに鑑賞する機会も重要だ。そうした活動を通じて、美術館という場所がより身近になり、作品の制作、鑑賞も確かな実感を伴った、自覚的な行為になっていくだろう。美術や美術館に触れて自らの視野を広げることは、他を理解し、他と繋がるための重要な土台となるはずだ。

教員コメント

問題文が提示している大原美術館のさまざまな取り組みの中から、「子どもたちへの働きかけ」という論点を端的に選択している。そして、自身の実体験を提示し、さらに、美術館や美術教育の現状に目を向け、子どもたちの美術との出会いを育むために、美術館や学校の役割、人生における美術の重要性を力強くまとめた点を評価した。

美術館よ、あの日の理想を現実に

ミュージアムは世界の相互理解のための道具である。著者のこの意見は私のアート観に通じるところがある。私はアートを言語を超えたものだと考える。異国の芸術作品はその国の言葉を解さない他者の心にさえ語りかける力を持つ。こうした言語を超越したアートの力は、著者の述べる通り世界を繋ぐ道具として、互いの思想と美学を理解するための大きな手がかりになるであろう。そして美術館はそんなアートが集う場として、主に自国の心と歴史といった文化的側面を芸術という分野から、世界に理解されるよう努める役割をになう場所となるべきであろう。

こうした世界への自文化の発信という役割を負う一方、美術館は地方にも目を向けなければならない。身近な観客を忘れては美術館はその存在意義を失う。日本の文化や歴史と一括りに言うが、元をたどればそれらは全てどこかの地方で生まれたものなのだ。美術館が身近な観客と地方を大切にすることは、つまり自国の文化を大切にすることと同義である。さらにこうした姿勢の美術館が文中にあるような子供に向けた活動を行うことは、子供に美術館を通して自国に親しむ機会を提供することとなり、将来的に相互理解から平和を紡ぐ未来世代の育成にも繋がるのだ。

未来世代を将来の世界を拓く世代ととらえるならば、私や同世代の友人たちはまさにそれである。私達が幼い頃から大人に与えられてきた物語では、人類は同一の大きな敵に立ち向かう時、国をこえて手を取りあった。しかし今、新型コロナウイルスという未知の敵を前にし、あの物語は結局創作でしかないのだと悟った。私の友人はコロナ禍の中で進学をあきらめた。テレビの向こうにはそういった身の上の同世代がいることは知っていたが、まさかこんなに身近に起こることだとは思っていなかった。明日は我が身だと思うと同時に、私達未来世代は幼き日の物語を現実にせねばならないと強く思った。

国をこえて繋がるという理想を実現するため、二十一世紀の美術館は己のあり方を見つめ直さねばならない。言葉の通じない相手と繋がるべき今こそアートの出番なのだ。美術館はその役割を果たすため、積極的に他の芸術分野とも手を取り合うべきであるし、それが自文化内だけでなく他文化も含むものならば、美術館はただ自文化を発信するだけでなく、相互理解そのものを生む場になることも期待できるだろう。

教員コメント

まず、別紙筆者の意見に対して「アートは言語の壁を越える力を持つ」との見解を述べ、だからこそ美術館が子どもを含めて自国文化の理解を深める場になると役割を明確に示している。さらに人類全体における事例を挙げて現実的懐疑に対応する意思を提示し、今後の美術館がアートを通して果たすべき目的と効用を整然と述べているが、定義、現実、事例、理想という論の運びの確かさと論調を評価した。

子供とアートをつなぐ場の必要性

筆者は文中において、世界が平和であるためには今までより深い部分での、思想や美学の理解が必要であると述べており、世界の相互理解のための大事な道具がミュージアムであると主張している。私は、この筆者の主張に同意すると共に、アートそのものが世界の相互理解の手助けになると主張したい。

アートとは言葉を用いない言語だと思う。例えば、ピクトグラムは絵文字という形で伝えるユニバーサルデザインの一つであり、絵画や彫刻も、伝えたいという思いから生まれた作品であると思う。よって、言語の壁を越えるアートそのものが、世界の相互理解にとって重要だと考えられる。

文中にもあるように、美術館は世界に何かを発信するだけでなく、地元の子供たちへ働きかけることも重要である。私は、二十一世紀の美術館は地元の小・中学校と連携することが必要だと考える。理由は主に二つある。

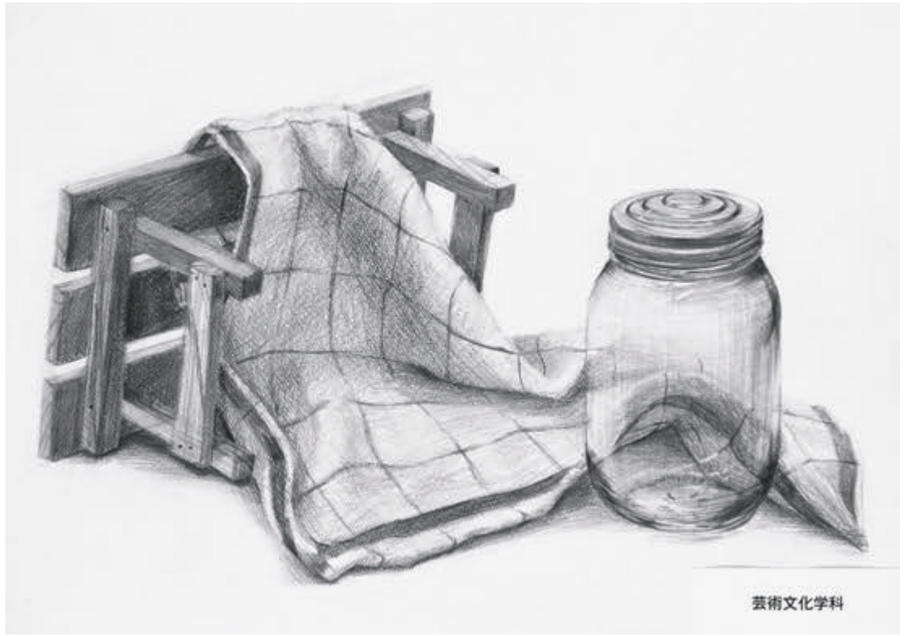
第一に、昨今、新型コロナウイルスの影響で、ステイホームが叫ばれており、これは子供達がアートと触れ合う機会を確実に奪っていると考えられる。自主的な外出が難しい今こそ、地域に密着した美術館と、そこでの鑑賞の授業が必要だと考える。

第二に、私自身の体験からである。私の地元には、「ファーレ立川」という、世界中のアーティスト達による百九のパブリック・アートが置かれているエリアがある。私が小学生のとき、「ファーレ立川めぐり」という授業があった。たくさんの作品をボランティアさんの解説を聞きながら鑑賞するうちに、作品たちが自分の中で「駅前にある謎のオブジェ」から「思いのつまったアート作品」に変化したのを感じた。当時、ほとんどアートに触れる機会のなかった私がこうした心境の変化を感じることができたのは、実際に作品に手を触れ、親切な解説を聞くことができたからだと思う。この体験はファーレ立川のようなエリアや美術館でこそできると考える。

小学校学習指導要領において、鑑賞とは「主体的によさや美しさを感じとり、自分なりの意味をつくり出す」活動だとされている。この「自分なりの意味をつくる」という部分にこそ鑑賞の本質があると私は考える。作品を見て何を受けとり、感じるかは、実際に作品と対面しなければわからないと思う。そういった点からも、二十一世紀の美術館はより地域と、なにより子供達と、密接な関係を持たなければならないと私は主張する。

教員コメント

出題文の内容をしっかりと読み解き、まずアートや美術館の役割について端的に見解を示していることが好ましい。また、具体例として自身が体験した「ファーレ立川めぐり」の話題を前述の部分と繋げ、さらに学習指導要領の内容に触れることで、説得力を持つ記述になっている。文章の構成力の高さがうかがえる。



教員コメント

各モチーフの質感や表情がうまく描き分けられている。特にふきんの波打つリズムと質感がうまく描かれている。ガラス容器のガラスを通して見えるふきんの様子がハーフトーンでうまく描けており、その左右に直に見えるふきんのトーンとの対比や連鎖が美しい。

こえて溶け合うためのアート

著者は人々の国際的な相互理解が求められるこれからの世界で、ミュージアムが重要な役割を果たすべきだと述べている。大原美術館において、子供たちのための企画や作品に触れられる試み、他にも様々なジャンルとのコラボレーションを行いミュージアムの可能性を模索した著者は、地元や社会とのコラボレーションを行いたいと述べている。こうした筆者の意見の中でも、ミュージアムが世界の相互理解の大切な道具になるという点に共鳴する。

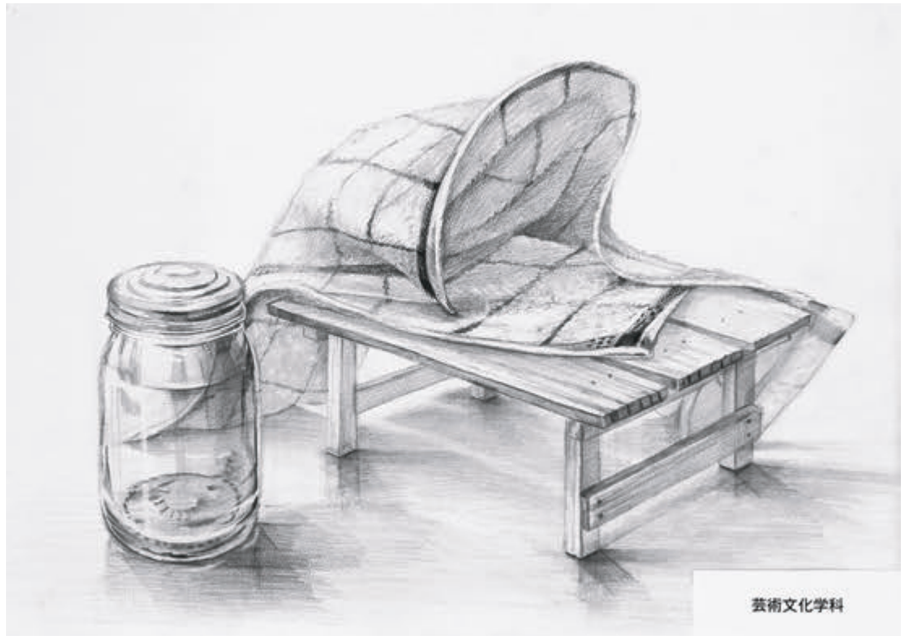
私は特にアートの分野において、ミュージアムがその役割を果たすと考える。アートは言葉のように意味が一つに縛られず、そのため作品に対して様々な解釈が可能であるからだ。この点でアートの場は様々な価値観の交換の場となり、相互理解の機会を与える。ただし、アートを契機とした相互理解の場では、お互いの感性を言葉で交換することとなり、世界と溶け合うためには言語の壁が立ちはだかるように思える。しかし、日本で西洋画が、国外で浮世絵が愛されているように、アートという非言語は言語の壁をその存在の魅力により打ち破っていけるのだ。

さらにアートが世界と溶け合う手助けを行い始めたのがオンライン美術館という新たなミュージアムである。オンライン美術館は、人々を場所の制約から解きはなち、デジタル端末ひとつで国境をこえることができる。私も端末を使い、ドイツで行われている塩田千春のオンライン展覧会を観た。オンラインでのデジタルな体験は、実際のサイズ感や質感を感じられず、やはり「本物」に会いに行きたいという気持ちになりがちだが、その個展では作品の内部へ潜り込めるようになっており、塩田の糸によってつくられた幻想的で優しく寂しい作品の世界に包まれることができた。アナログな美術館では作品の上に立って作品に取り囲まれる経験はできない。オンライン美術館ではより踏み込んだ鑑賞が可能で、作品との距離が縮んだ体験は「本物」だった。

こうした体験から二十一世紀の美術館は、アートの持つ非言語性を場所を問わないオンラインの世界で駆使し、より人々の価値観を溶け合わせることが可能な場であってほしいと望む。アートの持つ価値観への寛容性が、グローバリゼーションの進む現代、そして外に出かけることが病によって妨げられている二十一世紀の人々を溶け合わせるのだ。

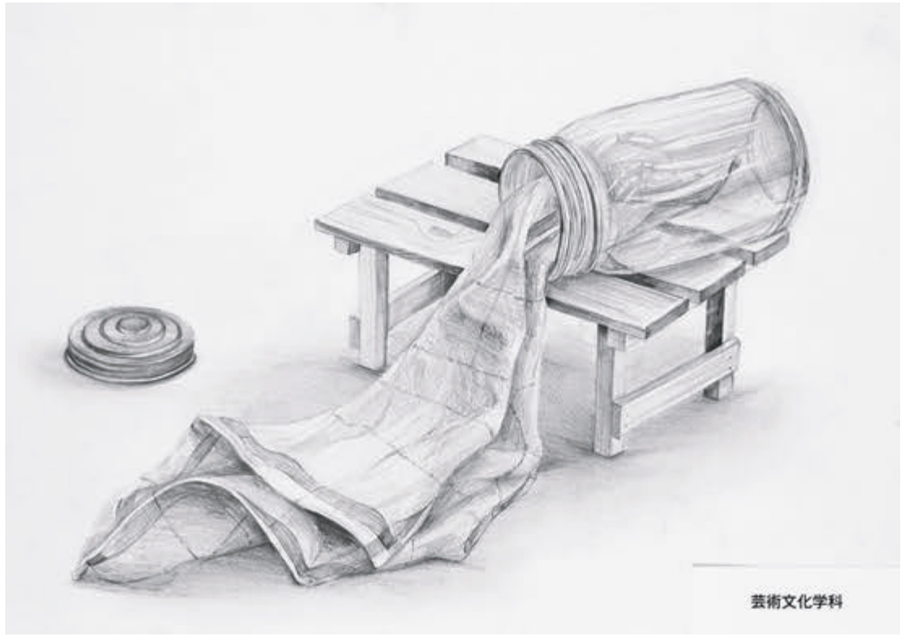
教員コメント

出題文の要点を簡潔に要約した上で、注目すべき点を明確に提示し、さらにアートを通じた相互理解の社会状況・歴史的背景にも言及して記述を補強している。具体例の提示には国際的な関心・視点が感じられ、作品鑑賞の詳細が丁寧に書かれて説得力を持っている。客観性と主観的主張のバランスの取れた論述であることを評価した。



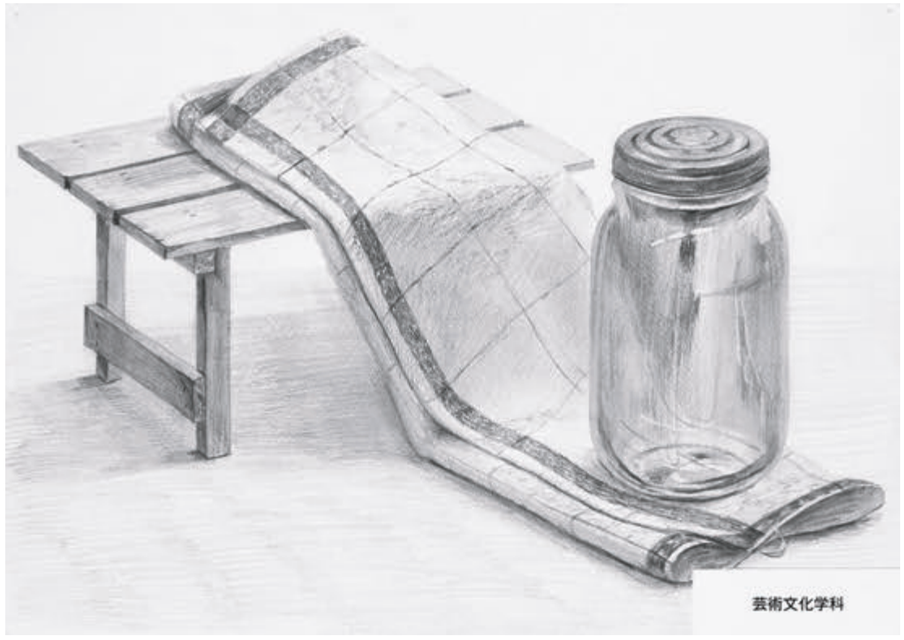
教員コメント

床面の平面上に落ちる影の様子を丁寧に描くことにより、床面の上にすべてのモチーフがしっかりと立っている状況がうまく描かれている。各モチーフの質感や表情の特徴もうまく描き分けられており、柔らかな光の空間性のあるデッサンになっている。



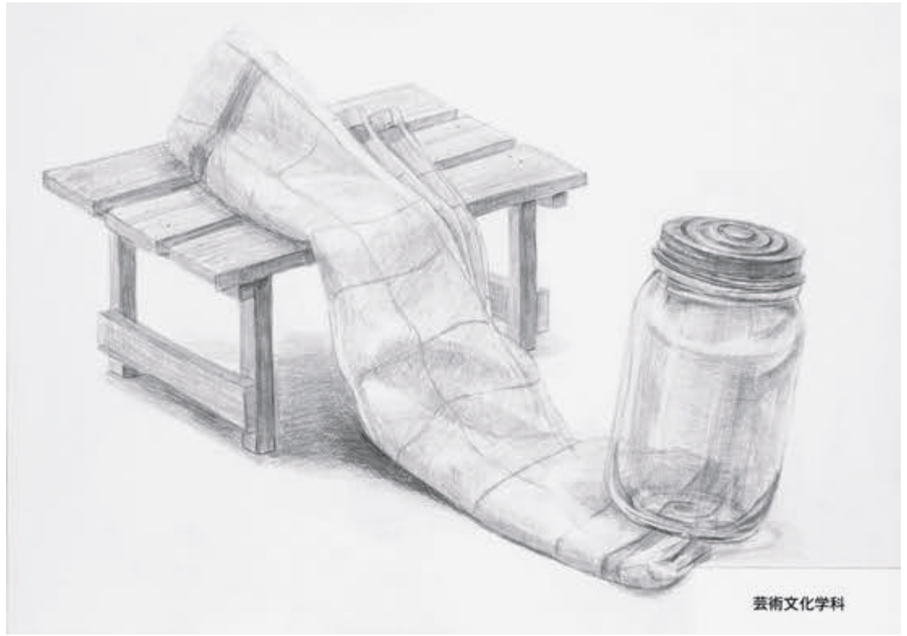
教員コメント

液体がこぼれ落ちるかのような、ガラス容器から床へと流れるふきんのリズムがよく描かれている。木部の木目も丹念に描かれて柔らかな木の質感をよく捉えている。木部の陰影の強弱が効果的に使われて、たおやかで抑揚の効いた空間を生み出している。



教員コメント

空間の前後感や状況がよく描けている。折り畳まれたふきんが、台の上に乗っている様子と、床の上に乗っている様子が、階段状にうまく描けている。白い背景との関係性をもっと捉えてガラス容器の透明感が出るとさらによくなるだろう。



教員コメント

全体のトーンが柔らかく美しい。ふきんの微妙な陰影が丁寧に描かれている。台の下の影が強弱を付けたトーンでうまく描かれており、床面の平面性を表現しながら画面全体を引き締める役割を果たしている。

教員コメント

ふきんが動きのある有機的な形態で配置されて、柔らかな質感と前後感をうまく捉えて描かれている。右後方からの光の方向性が意識され、床面も影を使ってよく描けている。ガラス容器にもう少しガラスの厚みや透明感がほしい。

総合型選抜［前期］ 一般方式・英語力重視方式

①第1次選考

一般方式は、自己推薦調書審査
英語力重視方式は、自己推薦調書および英語記述による志望動機書による審査

②第２次選考

小論文、面接（英語力重視方式は小論文〈日本語記述による〉、
面接〈英語含む〉）

●小論文（1時間30分）

【問題】
別紙の文章を読み、「メディアと人の関係」について、感じることや意見を述べなさい。（800字以内）

我々は声のコミュニケーションを選択して以来、ことばを時系列的に処理するのに慣れてきた。今の知的能力は、言葉で覆われたテキストを読み、教師の声を消化することによって蓄積される知能の多寡で評価される。

しかし、我々の脳は、そもそも視覚情報の処理に適している。今の知能の測定は、そうした動物学的本性に反している。今後、映像メディアのさらなる隆盛は、時間の関数としての言語の処理能力をベースとするこれまでの知性に異議を唱えるだろう。

テレビが普及して、我々には二時、三時という正時感覚、三〇分、一時間という時間感覚が強烈に刷り込まれた。しかし、この先、番組のオンデマンド視聴、ネットでの随意な動画視聴が一般化すると、そうした時間感覚はまた位相を変えるだろう。

さらに、ネットによる未知の人々とのコミュニケーションの活性化で、議論の場では相手の肩書きや年齢、性別、外見を気にすることが少なくなった。相手によって、自分をどう規定するか、使い分けに悩む機会も減少しつつある。敬語もせいぜい丁寧語の使用で事足りる。相手との年齢や世代、身分との関係で自己規定し、そこからコミュニケーションをスタートさせる日本人の習性、人によっては相手の顔色をうかがわないともの言えないといった習慣は、今後確実に変化していくだろう。

何時何分どこどこで、という約束のしきたりはケータイのない時代に形成された。ビジネスの場ではともかく、既に今の若者には、私的なつきあいにおいて、かつてのような時間と場所のしばりは消えている。

人々の欲望がテレビやインターネットを生み出したのではない。発明前は、誰もそれらを夢想だにしなかった。テレビやインターネットの発明が様々な欲望を生み、また新たなつながりの形態をこの世に作り出したのである。

メディアは、それ自体の存在で我々を変えるチカラをもつ。

［条件］
1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 原稿用紙の1行目にタイトルを記入し、2行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 別紙×1枚
   出典：橋元良明 『メディアと日本人―変わりゆく日常』
   岩波新書、2011年、191頁-192頁。
3. 原稿用紙×1セット
4. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

【審査基準・評価ポイント】

a）受験生に期待すること・採点基準

●面接
まず、芸術文化学科の目的や授業内容をよく調べてほしい。そして志望するに至った経緯と動機がきちんと話せることと、入学後の勉学や将来への目的意識が明確である点を評価する。また、これまでの経験で得たアートやデザインに対する考えがあれば積極的に話してほしい。高校時代のさまざまな活動と行動力も評価の対象にする。

b）取り組んでおいてほしいこと

アートは美術だけではない。演劇や映像、音楽、パフォーマンスなども広く意識の対象にしてほしい。そのためには美術館や博物館、劇場などへ、大小問わず積極的に出かけて、表現の多様性や発想力の面白さに積極的に触れてほしい。そこで感じたことをノートに言葉で表現しておくと、自分自身の感性を知ることにもなる。その上で、なぜアートが好きなのかを、自分なりに考えておいてほしい。

今後のメディアとのつき合い方

現代社会においてインターネットの急速な普及やメディアの発達は人間が本来持つ上昇志向を奪い、人との繋がりを弱めてしまうのではないかと私は危惧している。

ネットによるコミュニケーションの活性化により議論の場では相手の肩書き等を気にすることが少なくなり、自分をどう規定するのか考える必要がなくなった、と述べられているがそれこそが人々の上昇志向を奪い、意欲の低下に結びついているのではないかと思う。一見、その事は他人を気にする必要が無い、自分の意志で生きていっても良い、というように聞こえるが、世間を全く気にも留めない風潮が広まってしまうと自分を高めようという思いは薄れていく。それは今の社会が抱える問題である意志決定が出来なかったり、夢や希望に消極的であったりという人が増加している、という点に表れている。

また、このようなコミュニケーションの習慣の変化はいき過ぎてしまうと相手への配慮や気配りをおこたってしまい、人間関係の希薄化に繋がるだろう。

最近では嘘の情報によって集められた自殺志願者が複数人殺害されるという事件が起こり、私はそれにとてもショックを受けた。インターネットが人との関係の希薄化を加速させ、結果的にネットの情報に頼りすぎてしまうという状況を生んでしまった。ネットには便利なメディアやツールが沢山存在する。だが、そこに嘘をはらんでいるかもしれない、という危険性もつきものだ。メディアと人の関係を今一度、見直す必要があるだろう。

今年一月から顕在化している新型ウイルスによって現代社会はますます混沌を極めており、情報過多により本当に必要な情報は埋もれてしまい、混乱する状況を創り出している。このような世の中だからこそメディアとのつき合い方を考え、人間関係を屈強なものにし苦境を乗り越えて行く必要があるだろう。

教員コメント

インターネットの発展が逆に人の繋がりを弱めると前置きし、インターネットの普及に伴って生じた個人の社会的評価の希薄化という負の特徴が、若者のネガティブな志向に繋がっていると指摘している。メディアの持つ機能以外の本質的な功罪と影響力について具体的に推論、言及している点を評価した。

「見えないもの」を伝えるメディア

メディアと人の関係に思いをはせてみると、筆者の述べるように、現代の若者は、テレビやラジオ等によって与えられたかつての時間と場所の縛られた感覚が薄れているように思える。そうした中で「見えない情報」や「見えない他者」を感じながら、メディアを通した先行きの見えない不透明な時代を生きていかなければならないのだ。これからの時代はそれらの「見えないもの」と向き合い自らで処理していくために、各々が主体性を持って社会を思考する力が求められると考える。

その力を養うために、芸術というメディアが適していて、不透明な時代を生きていくひとつの糧になるのではないだろうか。私は先日、横浜市黄金町でおこなわれている「黄金町バザール」を訪れた。このアートフェスティバルは、違法風俗店や特殊飲食店でひしめき合う町の再生として行われていて、アーティストインレジデンスの活動を用いながら現代アートの展示として町づくりに繋げている。成果として、治安の改善と共に過去のイメージの払拭を成功させている。私がこの成果をあげた理由として考えるのは、町おこしという見えない課題に対し、生活者と観賞者が鑑賞という思考の場を通して向き合ったためだと考える。具体的な呼びかけや話し合いでは変化しない人々の意識を、芸術という柔軟に人の内へ語りかけることのできるメディアの力で変化させたのだ。このフェスティバルでは町の至る所がアート空間として用いられている。例として使われなくなった住居をアート空間、インスタレーションとして用いたものがあり、外からだと見ることのできない思考と感覚との出会いがそこにはあった。

見えないものを思考し、伝えてくれる芸術というメディアは、我々に不透明な時代と向き合う主体性と思考力、見えないものを感じ取り生きていく力を養ってくれるのだ。

教員コメント

テレビの時代では見えるものが情報であったが、インターネットでは情報も他者も「見えないもの」であり、関わるには自らの主体性が問われると提言している。その能力獲得にはアートというメディアの活用が相応しいと具体例を挙げ、アートの持つ思考と感覚の力について丁寧に述べるスタンスを評価した。

造形表現テスト（3時間）

【問題】
配付したモチーフ（時計）を使って、時刻を意識する場面を想像し、
自由に描写しなさい。

［条件］
1. 答案用紙の印刷されたマス目にタイトルを書くこと（20字以内）。
2. 時刻は自由に設定してよい。
3. 答案用紙は縦長使用とする。
4. モチーフは全体を描く必要はない。また、複数描いてもよい。
5. 梱包材はモチーフではない。
6. 着彩の程度は自由とする。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3画用紙）×1枚
3. 時計×1個
4. 下書き用紙（B4上質紙）×3枚

【出題意図と評価のポイント】
装飾のないシンプルな時計をモチーフとして「時刻を意識する場面」を想定し、そのときの状況や心情をどのように表現するかがポイントとなる。また、モチーフを工業製品として捉え、規則的な構造や仕組みを理解し描写していることや、文字盤の数字のプロポーションをよく観察することも説得力のある表現として重要となる。採点では、描写力も見ながら、総合的にそれぞれが設定したテーマに沿った構成・構図になっているかを判断しながら評価した。20字以内のタイトルについては、描かれた場面の意図をわかりやすく言語化できているかを評価した。

デザイン（3時間）

【問題】
与えられたモチーフ（カセットテープ）を使って、
音楽をイメージさせる色彩構成をしなさい。

［条件］
1. 答案用紙は横長使用とし、枠内に構成すること。
2. 色数は自由。
3. 白色は用紙の地色か、絵具の白、どちらでもよい。
4. 梱包材とケースはモチーフではない。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（B3ケント紙）×1枚
3. カセットテープ×1個
4. 下書き用紙（B4上質紙）×3枚

【出題意図と評価のポイント】
不透明水彩で色彩構成する「デザイン」は、問題を理解し、アイデアスケッチ、下絵の描画、塗って仕上げるまでを計画的に進めなければならない。試験時間3時間の中で完成させるためには繰り返しトレーニングし習得する必要がある。モチーフとしたカセットテープは現在、音を録音・再生するメディアとしてほとんど使用されなくなったが、音声録音や音楽再生の象徴的な意味として定着し、今なお情報表示画面のアイコンとして見かけることがある。出題の意図としては、改めて実物のカセットテープをプロダクトデザインとして観察し、そのフォルムや仕組みを平面に描き起こしながら、画面全体から音楽を視覚的に表現できているかについて問うている。評価のポイントは、①丁寧に仕上げられているか。②問題をよく理解しテーマを設定した上で、構成と配色でわかりやすく表現できているか。③モチーフをよく観察し、表現できているか。以上3項目を総合的に評価した。

小論文（図説を含む）（2時間）

【問題】
今日の動物園には、種の保存、教育・環境教育、調査・研究、レクリエーションの4つの役割があるとされている（「公益社団法人日本動物園水族館協会の4つの役割」 https://www.jaza.jp/about-jaza/four-objectives より）。

①これら「4つの役割」について考えた上で、あなた自身の動物園での体験について、600字以内で書きなさい。
②「4つの役割」相互の関係と、小学生・中学生にそれらをよりよく理解させる方法を、まとめて図化（説明文を含む）しなさい。

［条件］
答案用紙の①の文章は、指定字数に従って縦書きで記入すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

【出題意図と評価のポイント】
出題の意図は、一般にはまだ十分に知られていない「動物園の4つの役割」が、どのように関係するのかを考察することにある。幼少時からの自分の動物園体験と照合し、具体例を用いて4つの役割が説明できているかどうか。4つの役割の間に関係性を見出し、適切かつ魅力的に図化しているかどうか。小中学生に伝えるという目的に適応した工夫があるかどうか。これら3つを評価のポイントとした。

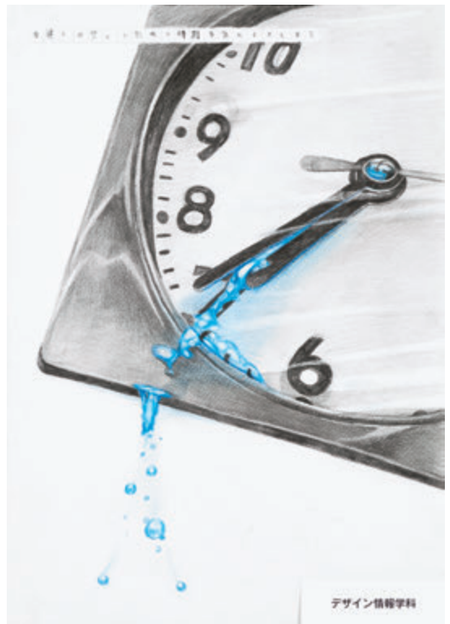
私の時間だけ止まっちゃえばいいのに

教員コメント
時計を円柱状に配置した空間的な表現が秀逸である。時計自体はデフォルメされているが、不自然には感じなかった。タイトルにあった「私の時間だけ」が画面構成からも明らかに伝わってくる。

深夜２時、なんだか怖くて眠れない。

教員コメント
タイトルとモチーフの捉え方が相乗効果的にまとまっている点を高く評価した。また、時計の針の構造もよく観察しながら、ダイナミックな構図に生かしている点もよい。丁寧な描写が迫力ある構図を引き立てている。

友達との悲しい別れの時刻を気にしてしまう



教員コメント
切ない時間を涙で表現しているのだろうが、着想が単純過ぎないか。文字盤の中心が狂っている、円が正確でないなど、時計の描写が、もう少し的確であるべきだろう。

朝、水にはじかれたように私は飛び起きた。

教員コメント
造形表現では水の表現を持ち込むことがパターン化して、新鮮さに欠けるが、動きのある大きさを感じる点がよい。時計の基本形態「四角」「円」の捉え方や描写が弱いのが惜しい。

祖父の釣り話は今日も終わりそうにない

教員コメント

時計を正面から捉え平面的な構図になっているが、タイトルからやや退屈そうな様子を表現しようとした画面構成がとてもユニークである。また、秒針を釣り竿に見立てたアイデアは単純明快だが、時計が斜めに配置され、波に動きが出ている表現は面白い。

遅刻の時間が迫る！！

教員コメント

遅刻しそうで急いでいる状況がよく伝わる構図・表現になっている。時計の中に急いでいる様子をわかりやすくイラスト風に表現しているが、一方、モチーフとなる時計は、フレームの素材の光沢感やフォルムをよく観察しながら描写できている。

持久走の時は針がへばりついた様に進まない

教員コメント

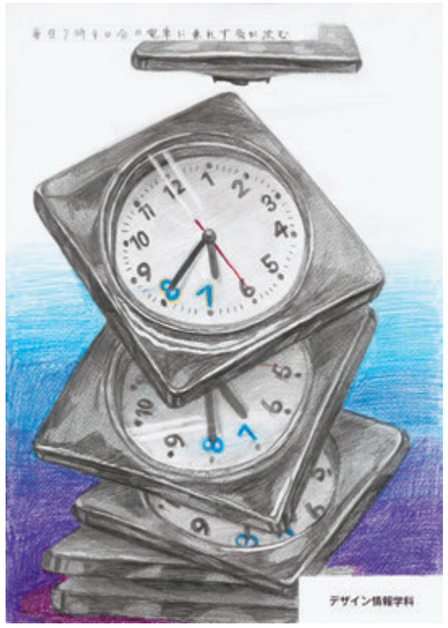
時計の針がなかなか進まないように感じる心情が伝わってくる。抽象的な表現だが、時計の針の構造、数字のプロポーションをよく観察し描写できている。空間を出す上で時計の針の影が効果的である。

学校から帰ってベットにダイブ！！

教員コメント

全体的に丁寧に描写できている。背景となる枕の表現がユニークで、タイトルにあるダイブした瞬間を表現しようとしたことがよく伝わってくる。ただ、時計が立体的に捉えられる構図にした方が、より動きが出たかもしれない。

毎日７時４０分の電車に乗れず気が沈む



教員コメント

気持ちが沈んでいく状況を画面構成で表現している点を高く評価した。また、縦長の構図にも配慮しながら、背景の色の表現で空間を出している。さまざまな視点から捉えた時計が丁寧に描けている点もよい。

釣りをしていたらあっという間に時が過ぎた

教員コメント

釣りと水面の表現に、少し違和感がある。針の動いた軌跡に使用した色彩と、水を表す色彩は、同系色でなく、「あっと言う間に」という残念な気持ちを表すなら、この場合は、赤系の補色でもよかったのではないか。

約束の時間はどんどん過ぎていく。

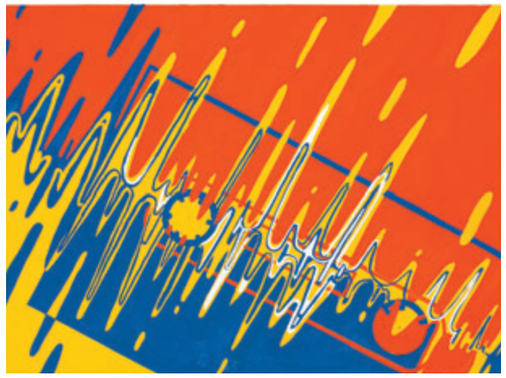
教員コメント

どんどん約束の時間が過ぎていく状況をユニークな捉え方で視覚的にまとめている点を高く評価した。数字が動き出す表現が、時間がどんどん過ぎていく様子をよく表している。

あと少ししたらおやつだ！待ちきれない～！

教員コメント

時計を大きく捉えて、不思議で魅力的な世界を表している点がよい。色彩や鉛筆の表現が丁寧で美しいが、「おやつが待ちきれない」というコメントは、やや拍子抜けである。

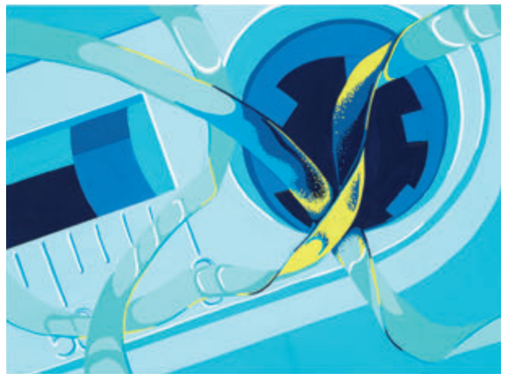


教員コメント

音の波形をイメージさせる曲線とカセットテープのフォルムをダイナミックに配置している。色数は3、4色で多くはないが、暖色と寒色のバランスに配慮しながらコントラストのある色を選び、複雑な曲線の絡みと面のバリエーションによって、色数の少なさを感じさせない構成になっている。

教員コメント

カップルを包むハートが印象的でキュートでラブリーな歌謡曲が聴こえてきそうな色彩構成になっており、色と構成によってどんな音楽かをストレートに想像させることができている。また、丁寧に作業を進め繊細な表現になっている点も高く評価した。カセットテープのフォルムがややデフォルメされている点が気になった。



教員コメント

画面中にはカセットテープの一部を大きく捉え、全体のフォルムは描かれていないが、よく観察し立体的に捉えることによって特徴的なフォルムがよく表現できている。また、透明感のあるテープの表現も巧みで、音を物質化しているかのようなイメージがとてもユニークである。アクセントカラーとして部分的に赤やオレンジの暖色を配置してもよかったかもしれない。

教員コメント

モチーフをよく観察した上で、表現したい音楽のイメージと融合させるために配置・構成をアイデアスケッチの段階でしっかり計画していることがわかる。グラデーションに選んだ色を単色としても配置しながら、色彩対比効果も見える表現になっている。

教員コメント

平面構成の中に空間を感じさせる構成となっている。波紋のようなしなやかな曲線から優雅な音楽をイメージすることができ、出題の意図をよく理解し表現していることがわかる。カセットテープのフォルムを少し修正するとより奥行き感が出たかもしれない。

教員コメント

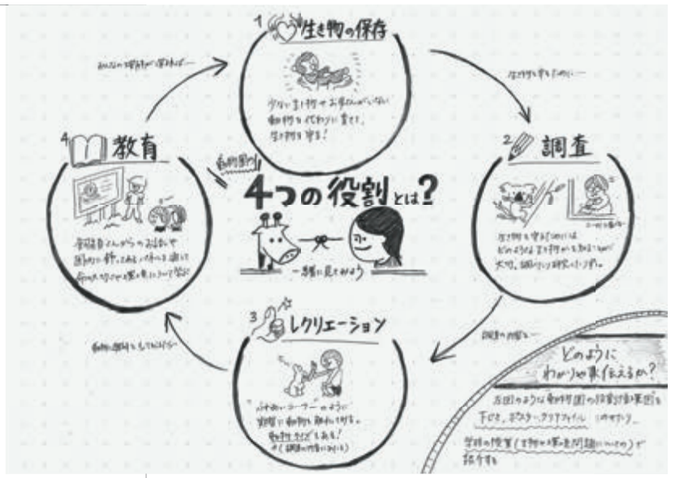
さわやかな配色で大小の円がリズミカルに配置され、ダンスミュージックが聴こえてきそうである。また、横断歩道を楽しそうに歩きながら音楽を聴いているようにも見える。色、形、構成の総合的な要素で動きのある表現になっている点を高く評価した。

教員コメント

カセットテープを構成するパーツをよく観察し見えてきた形を使いながら、ステージで歌を唄っているかのような擬人化がとてもユニークで、静止した画面の中にストーリーを感じさせる映像的表現になっている。

教員コメント

イメージした音楽はパンクやハードロックだったかのように破壊的なイメージで構成している。しかし、平面構成の作業を集中して丁寧に仕上げている。比喩的ではあるが、イメージした音楽をわかりやすく伝達するための表現として評価した。



②

①今日、動物園は一番動物を間近で見ることができる施設として親しまれているが、その役割は主に四つに分けられる。

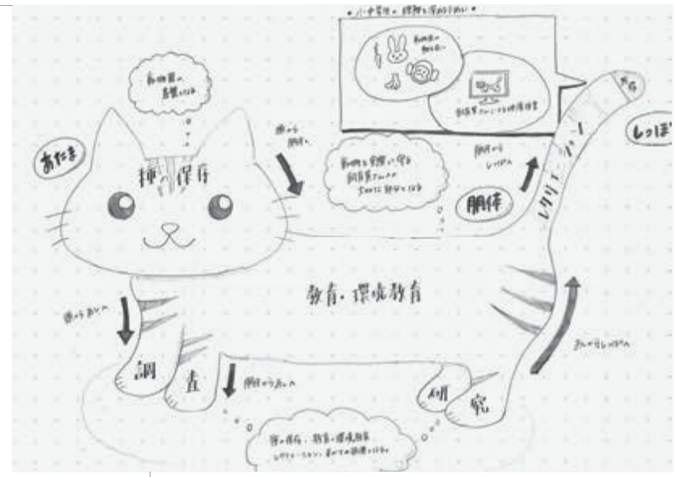
　一つは「種の保存」。これは個体数が少ない生き物の保存や親の育児放棄から子供を守る役割を担う。次に「調査・研究」。種の保存をより持続的なものにするために、飼育員や専門家が生態の理解を深めるために調査をする。これら二つが実際に私たちに「レクリエーション」と「教育」という形で伝達される。ふれあいコーナーなどを媒介して動物を体で体験し、園内のパネルに研究の内容や命の大切さについて掲示することで、楽しく学び子供だけでなく大人まで動物への興味を引かせる事が動物園の重要な役割なのだ。

　このような役割を担うのは移動動物園でも同じである。私が幼い頃、幼稚園に移動動物園がよく来ていた。私は動物が怖くて苦手だったが、実際にエサをあげてみると向こうから歩み寄ってきてくれて嬉しかった。鳴き声や触ったときの温かい温度や重さ、匂いを自分の体で生で体験することで命の重みを実感することができ、飼育員さんの話を聞いて動物について勉強する良い機会となったことを今でも覚えている。

　形を問わず動物園は、「楽しい」を中心としてこれまでの研究の成果や動物に関する知識、実際に触れ合う環境を提供している。これらの役割を知ったうえで動物園に訪れれば動物への理解がより深まると私は思う。

教員コメント

幼少時に移動動物園で命の重みを実感した体験から4つの役割の重要性を論じ、「役割循環図」として視覚化したのが明快。図はそのまま小中学生に示せるもので、その利用法もレイヤーを変えて紙面に記されている。



②

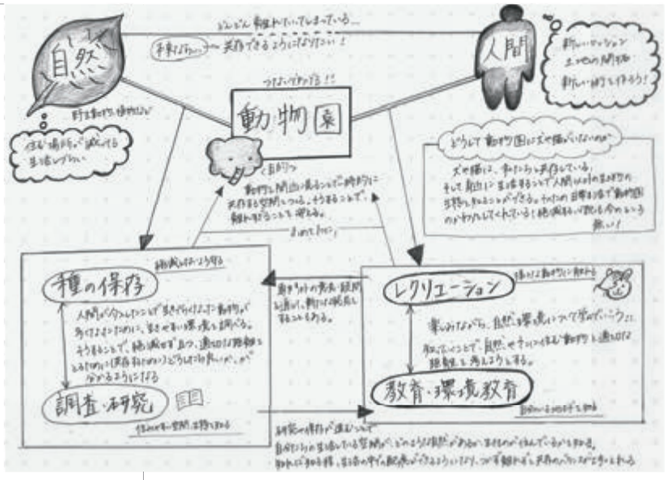
①まず種の保存について、動物園の動物は一見、ただの見せ物のようにも見えるが、動物園として一番大切であることは動物の本来のあるべき姿を守ることであると私は考える。そこで必要となるのが、教育・環境教育であり、さらにその教育を行うために、多くの調査・研究が必要となると私は考える。

　私はスナネコの子供が公開されてすぐ、那須どうぶつ王国へ行った。初めは、可愛いからという理由だけで見ていたが、飼育員の方から、スナネコの子供が産まれるのは珍しく、産まれてからの生存率も低いということを知った。その後もスナネコの子供は全国で多く産まれた。これは単に奇跡で産まれたのではなく人間のスナネコに関する調査や研究、飼育員への教育、生きやすい環境作りのための技術がスナネコという種の保存へと繋がったのだと私は考える。

　スナネコに限らず、動物にはそれぞれの生きる環境があり、食べる物がある。私達はどのくらい動物に対する知識があるのだろうか。犬や猫は人間と触れ合う機会が多いが動物園にいる動物のことは知らないことが多い。しかし私達はこの地球上ですべての動物と共存、共生している。知識の一つや二つは持っておくべきであると私は考える。そこで最後の役割となるのがレクリエーションだ。動物園が動物と触れ合えるような企画をすることにより、自然と知識が身につき、上手く共存することに繋がると私は考える。

教員コメント

4つの役割の果たすわかりやすい事例としてスナネコの繁殖を論じ、ネコの体を模した図として関係を示している。4つの役割が置かれた部位には理由が記され、来場者との接点が尻尾であるなど独自の解釈が見られる。



②

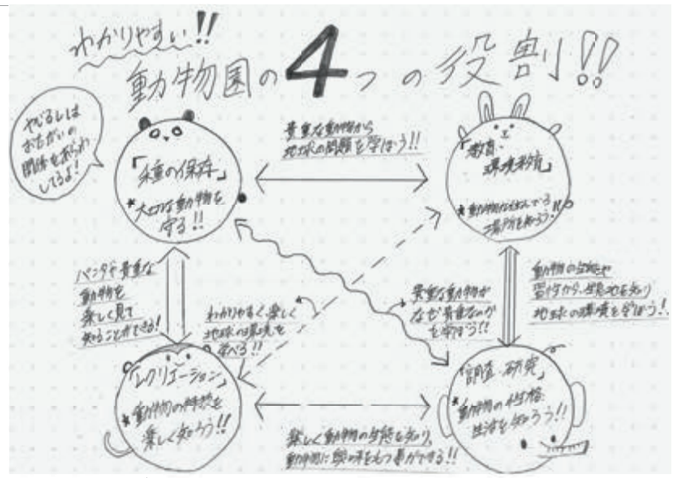
①種の保存、調査、研究する機関が一般に公開されているのは、人と動物の間を取り持ち人間優位的社会にならないよう制御しているのだと考える。動物園は、レクリエーションの場にすることで環境教育を身近に自然と受け入れられるようにしている。

　小学生の時、ペンギンの捕食ショーを見に行った。それは、ペンギンの群れにイワシを大量に投げ入れることで捕食シーンを見れるというものであった。その際、一羽のペンギンが興奮し、水槽をかもうとした。私は目の前で歯の羅列を見て、勝てないと直感した。するどい歯は、鉄の処女を想起させたのだ。もし自分の体をかんできたら、と考えた時、私が思い描く、よちよち歩きでおっとりしたペンギンは消え、強く冷徹な存在へと変化した。近くで見るという物理的に距離を縮めるという体験は、いかに自分が守られている環境にいるかということを気づかせる。

　一方で、人間が守りすぎた為に排除してしまうことを気づかせエゴを猛省するのだ。家の近くの小さな動物園で、昆虫展が開かれた。その中でゴキブリコーナーに行くと、小さなゴキブリから見たことないような大きなものまでいた。背中は光が反射し、足は繊細だが力強い。そして母親に子供がついていく姿は私たちと同じであった。ゴキブリは毒を持たない。しかし、家に出てくれば殺し、汚いものとして扱ってしまう。ただ彼らが存在しただけで私が排除することを反省した。

教員コメント

ペンギンの捕食ショーや昆虫展の体験から環境教育を中心として論じ、その問題意識を自然と人間の共存を仲立ちする動物園という構造として図化したところが特徴的。線や矢印の形状はもう一工夫できそう。



②

②老若男女、誰でも必ず行ったことがあるであろう「動物園」。リゾート地や多くの場所にあり、デートスポットにも人気な動物園は人間が地球環境を知る上で欠かせない場所だと考える。

　まず、動物園の「4つの役割」について考える。一つ目に「種の保存」地球上で個体数の少ない、パンダやトキを飼育している動物園がある。動物園で飼育する事で生態を守り、また、人々が普段見ることのできない貴重な動物を一気に見ることができる。次に「教育、環境教育」「調査、研究」この二つは飼育している動物の生態や習性を調べ、それを飼育員が来場者に細かく教えてくれる。様々な動物の習性に加え、生息地などを知ることで、地球の環境、現状を理解することにつながる。四つ目に「レクリエーション」マントヒヒが鉄棒をしたり、カバがスイカを丸飲みするなど魅力的なパフォーマンスをする動物園が多数ある。レクリエーションがあることで、子供達は動物自体に興味を持ちやすくなる。

　私が初めて動物園に行ったのは小学二年生の時だった。キャラクターや写真で見る動物とは全く違い、生命を感じ、圧倒された。当時の他の事はあまり覚えていないが、動物園の事は鮮明に覚えている。命ある物を間近に見ることは人に強い印象を与える。

　地球環境が問題になっているこの時代に、動物園で動物を知る事は、命を知り、地球を知り、人間を知る大きな入り口だと考える。

教員コメント

初めてリアルな動物と出会った小学2年時の強烈な体験から、動物を知ることは命、地球、人間を知ることにつながるという展開。4つの役割間の6つの関係がすべて記述されており、粘り強い印象の図となっている。

総合型選抜［前期］ 実績重視方式

①第1次選考

自己推薦調書および活動報告書による審査

②第２次選考

小論文、指定課題のプレゼンテーションおよび面接

●小論文（1時間30分）

【問題】
「正解のない問いを考える」といった事態が起こり得ます。
そういった事態に直面した体験をひとつ取り上げ、あなたがそのことに取り組んだ姿勢や思考、最終的に採った行動や表現などについて述べなさい。
また、今あらためて振り返り、その行動や表現についての評価をしなさい。（800字以内）

［条件］
1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 原稿用紙の1行目に15字以内のタイトルを記入し、２行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

［配付物］
1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

●指定課題

【課題】
日常生活を送るうえで、あなたがスケジュール管理を行っている方法についてまとめ、工夫や苦労している点などを図示しながら紹介してください。そのうえで、より効率的なスケジュール管理を行うための方法やツールのアイデアを提案してください。

［答案の作成条件］
1. A3サイズの用紙1枚にまとめること。
2. 用紙の種類は自由。ただし破損しやすいもの、記載内容が鮮明に見えないものは不可。
3. 用紙は横長の位置で使用すること。
4. 図、写真、イラストなどと文章のレイアウトは自由。
5. 彩色は自由（しなくても可）。
6. 作成方法は手書きでも、コンピュータを使用してもよい。
7. 氏名を用紙の右下隅に小さく書くこと。

● 審査基準・評価ポイント

a）受験生に期待すること・採点基準

本試験では、高校までのさまざまな活動を通じて、自らのアイデアや活動において優れた発信力を示した人を期待する。例えば作文などの言語表現、ポスター等のデザイン、ビジネスアイデアや社会提案などの企画、イベントなどの企画と運営、さまざまな研究などを対象とする。特に、自主的な活動を評価する。入賞や表彰などの成果を得たり、新しい取り組みを成功させたり、インターネット上で人気コンテンツと認められたりといった、客観的な実績を評価する。

●活動報告書
中学入学以降、自分が所属していた学校の内外で開催された公募コンペティションやコンクール等への参加実績について、また各種のイベントを企画、開催した場合はその内容と自分の役割などを、A4サイズ５枚以内でまとめること。文字だけでなく写真等を含めて自由にレイアウトして構わない。活動の積極性、アイデアの独創性が、発信力につながっているかを評価する。

●小論文
出題に沿って適切に解答していることが評価としては一番重要である。すなわち、「正解のない問いを考える」という事態について、(1)体験を取り上げること、(2)姿勢、思考、行動、表現などを述べること、(3)振り返っての評価をすること、がすべて論じられていることである。その上で、読み手が理解できる表現で、説得力のある文章かどうかが評価のポイントとなる。また、タイトルの適切性も評価する。

●指定課題のプレゼンテーションおよび面接
事前に出題される指定課題の意図を理解した上で、自分で情報の収集と分析を行い、そこで気付いた考えや自分のアイデアを加え、説得力のあるヴィジュアルデザインでパネルにまとめてほしい。５分間の口頭プレゼンテーションと、それに続く質疑応答、面接を通して、人間性や基礎的な情報デザイン能力を総合的な観点から評価する。

b）取り組んでおいてほしいこと
自主的な制作活動そのものに没頭するだけでなく、それを広く公開することを通して、多くの人とのコミュニケーションが成立するように心がけてほしい。高校生活等では、生徒会、クラブ活動、学園祭など、共同作業の経験も大切である。発想力を豊かにするためには、美術・デザインに限らない多くの事例を学ぶことと同時に、日頃から多様な価値観を意識すること。また説得力を強化するために、人前で話す機会を多く持ち、プレゼンテーションの具体的な方法についても研究しておいてほしい。

総合型選抜［前期］ 表現力重視方式

①第1次選考

ポートフォリオ（作品資料ファイル）および自己推薦調書による審査

②第２次選考

表現力テスト、作品審査および面接

●表現力テスト（2時間）

【問題】
配付されたモチーフ（荷造りテープ、ペンスタンド、プランタースコップ）を机上で自由に配置して描写しなさい。

［条件］
1. 画用紙は横長で使用すること。
2. 包装紙、ラベルはモチーフとしないこと。

［配付物］
1. 試験問題
2. 答案用紙（A3画用紙）×1枚
3. 荷造りテープ×1個
4. ペンスタンド×1個
5. プランタースコップ×1本
6. 下書き用紙（B4上質紙）×２枚

● 審査基準・評価ポイント

a）受験生に期待すること・採点基準

本試験では、絵画、イラスト、映像、ウェブサイトデザイン、アプリケーションソフトの制作等の創作活動に積極的に取り組んだ経験を持ち、コミュニケーション手段としてさまざまなイメージやアイデアを視覚的に表現できる人を募集する。

●ポートフォリオ
最近の制作物をA4サイズのクリアファイル（20ポケット/40ページ）1冊にまとめて収録すること。自身で制作したものであれば、内容は自由とする。学校等の課題で制作した作品資料でも、自主制作の作品資料でも構わない。制作活動の積極性と、表現やアイデアの独創性を評価する。

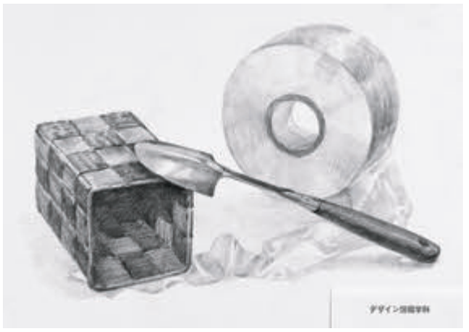
●表現力テスト
配付モチーフの鉛筆デッサンにより、基本的な描写力と構成力を評価する。

●面接
本学科に関心を持ち、表現力重視方式を受験した明確な理由と、入学後の学修方針や目指す領域について、はっきりした目標のある人を評価する。また提出された出願書類やポートフォリオに関する質疑応答を通じて、イメージを言葉としても伝えられる能力を評価する。

b）取り組んでおいてほしいこと
自主的な制作活動そのものに没頭するだけでなく、それを広く公開することを通して、多くの人とのコミュニケーションが成立するように心がけてほしい。新規の技術や表現については、日頃から情報収集を行うことはもちろんのこと、自分の関心が狭くならないように、意図して広い視野を確保することが肝要である。少なくとも強く興味のある分野では今、どのようなことが行われているのか、自分がどういうポジションで創作活動に加わりたいか、といったことは常に意識し、ヴィジュアルと言葉の両方で説明できるようになってほしい。

教員コメント

複数のモチーフ（荷造りテープ、ペンスタンド、プランタースコップ）のそれぞれの材質やサイズ感をよく観察していて、それらの特徴を生かし構成していることがわかる。荷造りテープの透明感、ペンスタンドの表面が編まれている様子やプランタースコップのサイズ感など、短時間の描写で物質感が伝わるデッサンになっている。また、安定した構図の中に奥行き感が出ており、モチーフの位置関係が明確に伝わるデッサンである。



教員コメント

ペンスタンドの底が見えるように配置し、陰影を表現しながら立体感が出ており、全体的にも遠近感を意識した描写になっている。また、繊細なタッチの中にもしっかり金属やビニールなどの材質の違いが描かれている。ペンスタンドの陰がしっかり描かれている分、それぞれのモチーフの影をもう少し強調し、全体のコントラスト感が出せると、荷造りテープ、プランタースコップがより安定して見えるだろう。

総合型選抜［前期］ 構想力重視方式

①第1次選考

学修計画書審査

②第２次選考

構想力テスト、面接

●構想力テスト（2時間）

【問題】

少子化の進展により地域の学校が集約・統合化される中で、たくさんの廃校が生まれています。地域にとって歴史を刻んだ大切な施設が空き家になり、維持管理や再利用方法を含めて全国で大きな課題となっています。
もしあなたが学んだ学校（小学校、中学校等）が廃校になったとしたら、あなたは自分の学校を地域のためにどのように活用したいと思いますか？所在する地域の状況等や解決すべき課題を説明するとともに、文章や絵を用いて具体的に提案しなさい。

［条件］

1. 解答用紙のタイトル欄に、どのような“新しい○○○”を構想したのか、タイトル（20文字以内）を書くこと。
2. 解答用紙は縦長使用とし、文章（横書き）だけではなく絵や図等を加えてもよい。
3. 特に字数制限等は設けない。
4. 解答用紙の裏面には記入しないこと。

［配付物］

1. 試験問題
2. 答案用紙（A3紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×２枚

● 審査基準・評価ポイント

●学修計画書
美大における本学科の趣旨・特色やカリキュラム構成等の理解を前提に、自身の将来的な夢や大学で学びたい専門分野や授業科目、目指したい進路等について現時点での明確な方向性や目的意識を持っていることが望ましい。

●構想力テスト
構想力テストでは、与えられた身近な生活環境や社会現象を分析し、受験者自身が生活をしていく上で感じ、考えていることを起点に新しい視点や切り口（テーマ）を発見して、言葉や絵、図解などを用いてそれらの意味性や関係性を明らかにしながら、新しい構想を行うことが求められる。評価ポイントとして、絵や図解の上手さを見るのではなく、与えられた身近な生活環境や社会現象の分析力、構想のベースとなる「課題」からの視点や切り口の独創性、それらが説得性のある提案力につながっているかどうかを重視した。

●面接（構想カテストのプレゼンテーションを含む）
文系・理系という既存の枠組みにとらわれない新しい美大教育に対する意識の高さを確認し、普段から社会等に対する関心や将来の文化・技術の創造発展に寄与するような自らの能力や人間的魅力をアピールするコミュニケーション能力を評価ポイントとした。

総合型選抜［前期］ サイエンス思考重視方式

①第1次選考

学修計画書審査

②第２次選考

面接

● 審査基準・評価ポイント

文系・理系という既存の枠組みにとらわれない、新しい美術大学の教育に対する意識の高さを確認したうえで、理系科目について学ぶ中で培った分析力や情報処理能力を前提とし、現代社会の諸問題に積極的に取り組もうとする志向性を評価ポイントとして重視した。

感覚テスト（3時間）

【問題】

下記の文章から想起する場所のイメージ、あるいは出来事のイメージを解答欄に絵と文章で表現しなさい。

はるか遠くを見つめて

［条件］

1．絵と文章を必ず用いること。ただし絵と文章の配置および割合は任意とする。
2．解答欄の文字は1マス1字とする。
3．答案用紙は横長で使用すること。

［配付物］

1．試験問題
2．答案用紙（B3画用紙）×1枚
3．下書き用紙（B4上質紙）×1枚

【出題意図と評価のポイント】

場所や出来事のイメージを創り出す力と、それを文章と絵で表現する力から、映像的な資質や感性を読み取りたいという出題意図である。評価ポイントとしては、問題の文章を解答のイメージ表現の主たる手がかりとしているか、イメージを絵と文章で表現するにあたって、絵と文章の役割を的確に分担させているか、絵と文章のレイアウトが調和的に構成されているか、等である。

鉛筆デッサン（3時間）

【問題】

配付されたモチーフを観察して自由に描写しなさい。

［条件］

1．モチーフは2個以上描くこと。
2．そのうち1個を細密に描くこと。
3．配置および構成は自由。
4．答案用紙は縦長で使用すること。
5．梱包材はモチーフではない。

［配付物］

1．試験問題
2．答案用紙（B3画用紙）×1枚
3．亀の子束子×1個
4．下書き用紙（B4上質紙）×1枚

【出題意図と評価のポイント】

描くということは見ることであり理解することである。配付されたモチーフを、どう観察し、いかに描いたか。素描力を通して、表現のための基本的な資質と意欲を見出すことが出題意図である。ともすれば「気分」に流されやすいモチーフを、いかに「造形」として平面上に再構築し得たか、そして与えられた3時間における観察と考察への熱意、これらを総合的に判断し評価のポイントとした。

小論文（2時間）

【問題】

配付されたモチーフを観察し、文章によって描写しなさい。必ずタイトルをつけること。（600字以内）

［条件］

1．梱包材はモチーフではない。
2．原稿用紙は、指定字数に従って縦書きで使用すること。

［配付物］

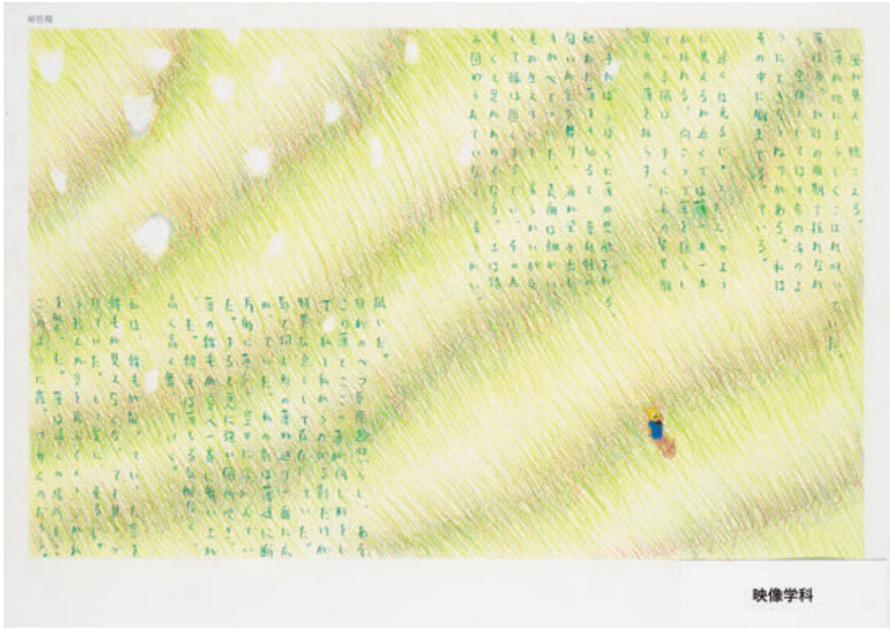
1．試験問題
2．原稿用紙×1枚
3．亀の子束子×1個
4．下書き用紙（B4上質紙）×1枚

【出題意図と評価のポイント】

配付されたモチーフの観察と考察を通して導き出されたテーマと論述から、ものごとに対するさまざまな意識を測り、映像表現のための基本的な資質を見出すことが出題意図である。モチーフに対しての観察力や分析力、独自の視点や気付きの発見、論旨や結論の明確さ、論理的整合性、総合的な文章力、などを評価のポイントとした。

教員コメント

室内側の自身の前には窓があり、父の車のライトでその窓に付いた雨の水滴が現われ、前景を成す。中景の車が遠ざかると、前景も消え、一挙に遠景に視線が運ばれる。この仕組みそのものが問題によく応えている。そして、最後は遠景の船が遠ざかり、見えない海の彼方に思いを巡らしている。上部に配された絵は説得力があり、映像的な時間を含んでいる。

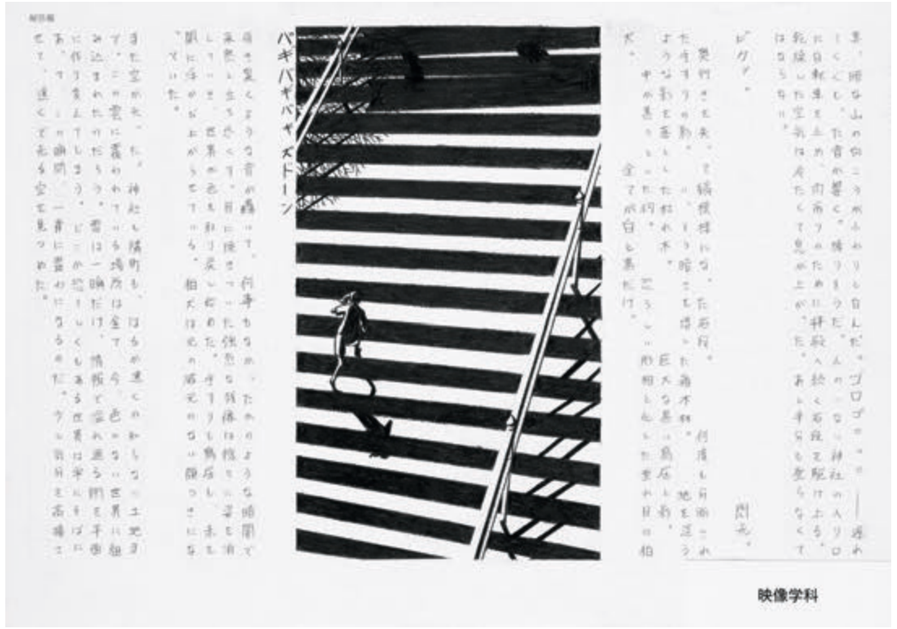


教員コメント

ススキの原が風によって時間差で段々に倒れながら、海の波のように、うねっている様が映像的に記述されている。また、クライマックスにはススキの白い毛が一斉に舞い上がり、その遥か遠くの場所に思いを馳せている。解答欄いっぱいに描かれた俯瞰図は見事であり、広大な全体の中に位置付けられた米粒程の自身の姿が印象的である。

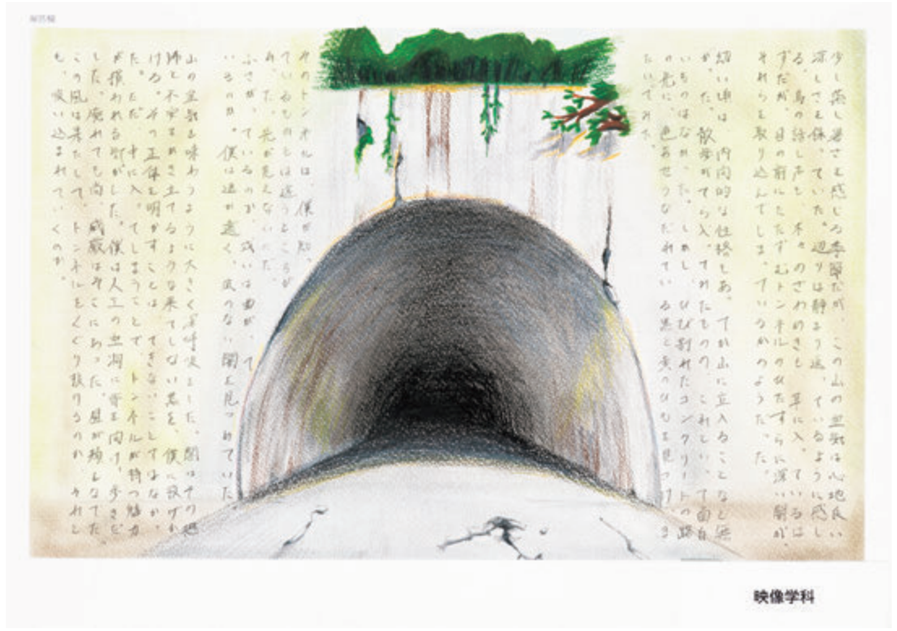
教員コメント

父と母の姿が実際に遠くの距離にあるのではなく、遠くにあるように感じる気持ちの変化が、右と左に構成された文章によって、鮮やかに描写されている。一点透視図法で描かれた絵はイマジナティブで、透視図法という技法は、遠近を描き分けるだけでなく、時間の推移や心情まで表わすことができることを裏付けている。



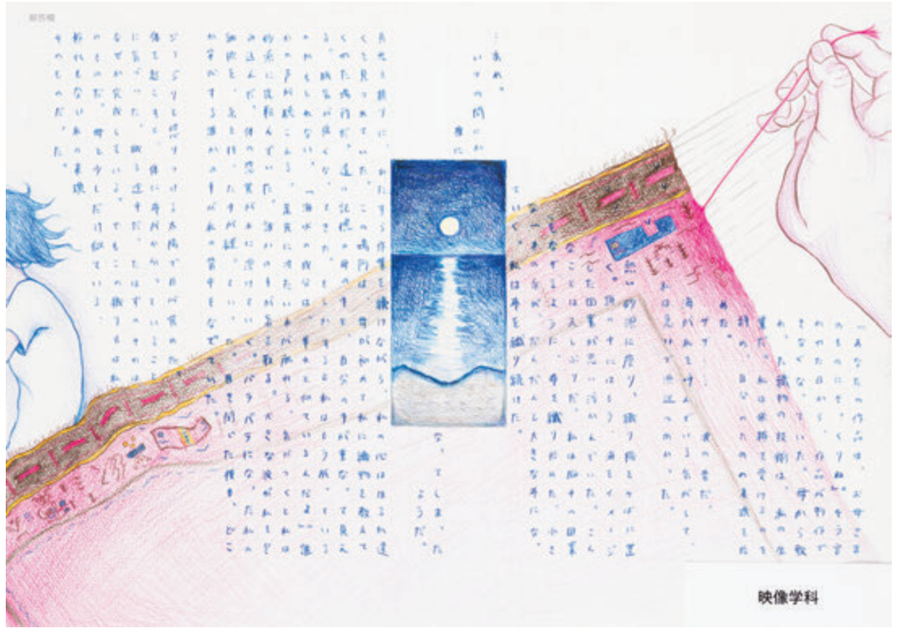
教員コメント

夜の暗闇の中で、雷の光によって、白と黒だけの世界になり、すぐに暗闇に戻り、闇の中の赤を描写している。遠くが光り、街がここと同じように白と黒の平面化した世界に変わっていることを思い、遠くを自身の場所に引き付けている。絵においては、石段が白と黒のストライプで平面化しており、説得力がある。中央の配置は左右に広がりが感じられてよい。



教員コメント

トンネルの奥には闇以外には何もなく、その闇を見つめ、そこに入っていくのではなく、背を向けて歩き出す終わり方は意外性があってよい。そこに一陣の風が吹いて、その風に心を乗せている。中央にアーチ状の穴の開いたコンクリートの構造物は存在感があり、闇に吸い込まれるようである。



教員コメント

織物を織るという最も目に近い作業中に、そこにはない遠くの海や砂浜を見つめ、モチーフを探しながら織り込んでいく。そして、更に遠くの記憶や夢の中に移行する文章の運びは鮮やかである。絵だけでも説得力があり、手元の織物と中央に配された遠くの海の風景は制作者の頭の中をのぞき見をしてるようである。

教員コメント

奇をてらったところが微塵も見られない、まさに模範答案とも言うべき極めて堅実な作風である。実に安定した着実な構図、全体のプロポーションや材質感の的確な掌握、そして床との接触面を示す影の表現に到るまで寸分の隙もない心憎いばかりの周到な素描力と作画力を示している。

教員コメント

オーソドックスな描写を基本としつつ、アクティブな流動感を加味している。落下の瞬間とも見えるし、突如として発生した無重力空間で浮き上がる状態にも思える。上下のオブジェの関係性にデリケートな感性を見ることができる。的確な描写に加え、ダイナミックな力動感を併せ持つ作品である。

教員コメント

4作品中で最もアクロバットな表現だ。標準的なデッサンが徐々に簡略化され、遂には線画イラストに到るまでの3変化を、同一空間上に連写の如く表現している。ともすれば安直さに陥る危うさを皮一枚で斬新さに転化させているのは、何よりも高度な基礎造形力に裏打ちされた描画センスに他ならない。

教員コメント

真上と真横から描くという意表を突く珍奇とも言える構図である。遠目にいわゆる「びっくりマーク」にも見えるのは明らかに確信犯的処理であり「驚いたろう！」と言わんばかりの人を食った挑戦的ユーモアセンスがあふれている。個々の描写がデッサンとして申し分ない力量である故に成立する表現である。

光の含み方で動きの余韻を魅せるもの

配布された束子は、無数の毛の間に深い影を落としている。ここだけがとてつもなく広い空間を持っているように思える。

物体を毛先の密集する部分が上下になるように机に置く。側面を手で押さえて上の毛先を指でなぞる。すると、指が通ったすぐ後を残像のように明るい色が追った。近づいて見ると、指が毛を倒してできた隙間で影が薄れている。さらにゆっくりと指を動かしてのぞき込む。毛は指に触れた瞬間、流れるように倒れ込み、指から離れそうになると私の皮ふの曲面に合わせて少し滑って、ついに離れると弾き出されるように元の体勢に戻る。これを繰り返していた。

以上から私は、この物体が私の指に寄り添ったように感じた。机の上で固く動かないこれは、指に当たるとすぐにその形に沿うことで形を変えたのだ。その形の変化は、毛の長さによって起こる。初めに感じた空間の広がりは、この長さと根元の密度による影だろう。そして、倒れることで隙間に入り込む光に、物があったことの「余韻」をぎりぎりまで残しているという印象を受けた。

再び物体を押さえ、今度はシャープペンの先を少し入れてなぞる。ペンが通るとすぐに毛が沿って動き、やはりすぐ後に余韻が残る。しかし力を抜くと、ペン先は表面に浮き上がった。寄り添っていたのはモノの形ではなく力、つまり私の動きだったのだろう。この物体は光によって、動きの余韻を魅せるのだ。

教員コメント

モチーフを目で観察するだけではなく、手の感触によってもたらされる身体的知覚の変化を光と影の織りなす現象に結び付け、余韻という感覚的な言葉で論じた独自性、繊細な考察力は評価に値する。

二重らせん構造

手のひらサイズのたわし。表面には、無数の茶色い繊維がほぼ全方向に向かって突出している。触れてもあまり痛くなく、ポロポロと粉が落ちてくる。植物の繊維のようである。

たわしは、真上からみると卵のような形をしており、元は棒状であったものがりされるかたちで卵型になったようだ。卵の頂点の部分には、針金でできた金具があり、そこで棒の両端を連結している。

机に押しつけるなどして、金具を強引に変形させ、連結を解除した。すると、やはり元の棒状に戻すことができた。三六〇度ほぼ全方向に繊維が突出している棒状たわしである。

連結を解除した後、繊維が金具付近のものからポロポロと脱落し始めた。他の部分は無理だが、この部分だけ手でもスルスルと抜き取れる。見ると、棒の芯には針金が、それも二本通っていた。二本の針金の隙間に、繊維の真ん中辺りが挟まれている。それが全方向に突出する繊維が固定されている理由である。

さらに抜き取り作業を続ける。すると、この芯を通る針金にも特徴があった。繊維を挟みこむ二本の針金は、まさに二重らせん構造のように、ねじれて入っているのである。そのことで、挟まれている繊維も、針金のねじれに沿って向きを変えていく。これこそが繊維をほぼ全方向に均等に突出させる秘訣だ。

このたわしは繊維の配置に二重らせん構造を応用していた。言うなればこれは、DNA模型のような物体なのである。

教員コメント

モチーフに対する鋭い観察力と分析力を持ち合わせており、その複雑な構造を言葉によって的確に表現しうる文章力に長けている。二重らせん構造の気付きからDNA模型へと至る論旨は明確で説得力がある。

集合体の成果

茶色く、手のひらにちょうど乗る大きさの物体である。持ってみると軽く、リスなどの小動物の毛皮のような見た目をしている。

観察をつづけていると、机の上に物体から抜け落ちた繊維のくずがたまっていた。それを一本手に取ると、乾燥していてもろい。どうやら植物の繊維のようだ。物体から突出した太い針金を見るに、この無数の繊維は、一直線に伸びた針金に沿って束ねられており、その束をU字に折り曲げることで繊維の密度を高めているということがわかる。太い針金は、折り曲げた束を固定しておくために重要な役割を担っていたのだ。

外袋には、この物体は頑固な汚れ落しに適していると書いてある。繊維の一本一本に汚れを落とす能力があるようには見えない。しかし、繊維が無数に集まり、ブラシのようになることで物体の強度が増し、頑固な汚れをこすり落とせるようになっている。

一本一本の繊維が連結して力を合わせることで、個々の能力が活かされ、汚れを落とすという大きな成果を果たす。この物体の繊維を人間に置き換えて考えると、この構造は人間社会においても重要なことであるということに気づく。私たち人間も、繊維のように連結し協力すれば、新型コロナウイルスによる世界的流行も乗り越えることができるかもしれない。毛皮のようなこの物体は、私たちにそんな大切なことを気づかせてくれる。

教員コメント

精緻な観察と分析を経てモチーフを形成する繊維とその密度に着目し、繊維の集合がもたらす効能から人間社会へと想いを巡らせる柔軟な思考力、考察力に秀でている。

総合型選抜［前期］ クリエイション資質重視方式

①第1次選考

ポートフォリオ（作品資料ファイル）および自己推薦調書審査

②第２次選考

ポートフォリオ審査および面接

● 審査基準・評価ポイント

●動画作品に関する評価基準
作品に独自性、創造性、新鮮な眼差しが見られるか、技術的に粗削りであっても、独創性や強い表現情動が感じられるか、世界を映像で切り取る視点や技術的要素が卓越しているか、映像の作り手としての将来性・発展性を感じ取れるか、を評価した。

●写真作品に関する評価基準
撮影時におけるシャッター速度や絞りなどの技術的要素が的確であるか、プリント仕上げにおける現像処理、レタッチ等の技術的要素が的確であるか、テーマの設定、被写体の捉え方に独自性、創造性があるか、を評価した。

総合型選抜［後期］ 英語力重視方式

※2021年度で廃止。

●選考方法

自己推薦調書、英語による発表および面接による審査

● 審査基準・評価ポイント

身近な出来事などを、英語で聞いて理解することができ、表現することができるか、語彙、文法、発音が的確か、映像作品を見て、英語で語られ、描かれている内容が理解できているか、映像作品に込められたメッセージや表現技法などを敏感に読み取っているか、映像作品を見て、感じたことを、適切な言葉で表現できるか、言葉を通してコミュニケーションを取ろうとする積極的姿勢が感じられるか、を評価した。

総合型選抜［後期］ 数学力重視方式

●選考方法

自己推薦調書、数学および面接による審査

● 審査基準・評価ポイント

高校数学までの基本的な数学概念を十分理解し、基礎的な数学的思考が身についているか、公式や解法を表面的に暗記するにとどまらず、数学的な論理、計算に従って自在に考えられる応用力が身についているか、粘り強く集中して考え、問題の本質を捉える洞察力があり、解答への道筋を構想する力があるか、考えた結果を必要にして十分なしっかりとした論理展開で答案に記述ができているか、を評価した。

2021 年度　数学力重視方式

以下の問題を解きなさい。結果だけではなく，途中のプロセスも答えること。

1　図 1 のように, 一辺の長さが 1 の立方体を 12 個つみあげて直方体を作った。頂点 A から B まで, 立方体の辺を伝って最短距離でたどり着くルート（以下,「たどり着くルート」という）を考える。以下の問いに答えなさい。
(1) たどり着くルートは全部で何通りありますか。
(2) 図の辺 PQ を通ることなく, たどり着くルートは何通りありますか。
ただし、点 P または Q を通ることはかまいません。
(3) 少なくとも一度は直方体内部の辺を通ってたどり着くルートは何通りありますか。

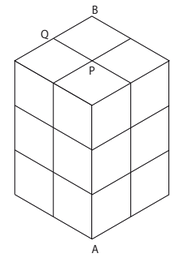


図 1

2　n は自然数とする。座標平面に 3 直線 k, l, m

$$k : x = n$$
$$l : y = x - n$$
$$m : y = \frac{1}{2}x + \frac{n}{2}$$

がある。k, l, m で囲まれた領域を D_n, D_n の内部および境界線上にある格子点の数を L_n とする。ただし, 格子点とは, x, y の座標値がともに整数である点である。
(1) L_2 を求めなさい。
(2) D_3 の面積を求めなさい。
(3) 2 直線 k, m の交点を通り, 直線 l に平行な直線の式を求めなさい。
(4) D_n の面積を n の式で表しなさい。
(5) L_n を n の式で表しなさい。

3　関数 $f(x) = e^{2x} - 4e^x + 3$ を考える。
(1) $y = f(x)$ の極値を求め, グラフの概形を描きなさい。
(2) $y = f(x)$ と x 軸で囲まれる部分を R とする。R の面積を求めなさい。

4　$f(x) = x^3 - 3x^2 - 9x$ とする。
(1) $y = f(x)$ について, 極値を求め, グラフの概形を描きなさい。
(2) 一般に, 3 次関数のグラフは点対称であることが知られている。$y = f(x)$ のグラフで, 点対称の中心の座標 (p, q) を求めなさい。
(3) $y = f(x)$ が, (2) で求めた (p, q) について点対称であることを証明しなさい。
(4) (1) で求めた極値の x 座標を $\alpha, \beta(\alpha < \beta)$ とする。定積分 $\int_{\alpha}^{\beta} \{f(x) - q\}dx$ の値を求めなさい。
(5) $g(x) = f(x) + r(r$ は実数$)$ とする。曲線 $y = g(x)$ で, $\alpha \leqq x \leqq \beta(\alpha, \beta$ は (1) で求めた極値を与える x 座標$)$ を満たす部分を, x 軸の周りに回転してできる立体の体積が最小となるときの r の値を求めなさい。

5　一辺の長さ 6 の正三角形 ABC をその中心（重心）の周りに 180 度回転してできる正三角形を DEF とする。ABC と DEF で図 2 のような 12 角形の星形領域 S を作った。
(1)S の面積を求めなさい。
(2)AFBDCEA を結んでできる正六角形を T とする。このとき、平面上に T と S が重なって置かれていると考え、S をその面に垂直な方向に距離 1 だけ平行移動する。正六角形 T の各頂点から移動後の S の頂点に対して, 距離 d が $0 < d < \frac{7}{2}$ を満たす場合, 線で結んで辺とする。辺で囲まれた領域に面を張り, S を上面, T を底面 とする立体 P を作った。P の見取り図の概形を解答欄に描きなさい。
(3)P の頂点の数 v, 辺の数 e, 面の数 f を求めなさい。
(4)P の体積を求めなさい。

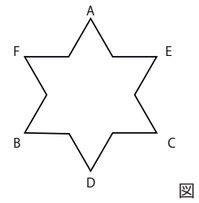


図 2

●数学力重視方式 数学 解答例

略解（途中の計算やグラフなどは省略しています。答案では途中計算や数学的な論理展開が必要です。）

1(場合の数)

(1) 立方体の辺で右方向 x, 左方向 z, 高さ方向を y とすると $xxyyyzz$ の 7 文字の並べ替えと同じ。
$7!/(2!3!2!) = \underline{210 \text{ 通り}}$

(2) P-Q 間を通る場合は, まず P まで行き, Q を通って B に行くルート。P までは $xyyyz$ の並べ替えで $5!/3! = 20$ 通り。P-Q を経由して B に行くルート 1 通り。よって, P-Q の辺を通らずに B に行くルートは $210 - 20 = \underline{190 \text{ 通り}}$

(3) 内部の点は 2 つあり, 下から C, D とする。C を通るルートは $3! = 6$。C から B に行くルートは $4!/2! = 12$。
$\therefore 6 \times 12 = 72$. 同様に D を通って, B に行くルートは $(4!/2!) \times 3! = 72$。このうち, C-D を通るものは $6 \times 6 = 36$ 通りある。$72 + 72 - 36 = \underline{108 \text{ 通り}}$

2(1 次関数, 整数問題)

(1)$L_2 = \underline{9}$

(2)D_3の面積 $= \underline{9}$

(3)k, m の交点 $n = \frac{1}{2}x + \frac{n}{2} \therefore (n, n)$ 求める直線は$\underline{y = x}$

(4) D_nの面積 $= \underline{n^2}$(前問, 補助線。平行四辺形の面積の半分)

(5) l, m の交点 $(3n, 2n)$ m 上にある格子点の数は $(3n - n)/2 + 1 = n + 1$。(3) の直線と l, $k, x = 3n$ でできる平行四辺形の格子点の数と対称性を考えると, $L_n = ((2n + 1)(n + 1) + (n + 1))/2 = \underline{(n + 1)^2}$ （場合分けして考えてもよい）

3(微積分応用)

(1) $(e^x - 3)(e^x - 1) = 0$ より, $x = 0, \log 3$ で x 軸と交わる。$f'(x) = 2e^x(e^x - 2)$。$f'(x) = 0, e^x > 0$ より $e^x = 2 \therefore x = \log 2$。$\underline{x = \log 2 \text{ の時, 極小値 } -1}$ ($\lim_{x \to -\infty} f(x) = 3$ に留意。グラフ略)

(2) $S = -\int_0^{\log 3} f(x)\,dx = \left[\frac{1}{2}e^{2x} - 4e^x + 3x\right]_{\log 3}^{0} = \ldots = \underline{4 - 3\log 3}$

4(微積分応用)

(1) $f'(x) = 3x^2 - 6x - 9 = 0$ より, 極値となる $x = -1, 3$。$\underline{f(-1) = 5, f(3) = -27}$ (グラフ概形略)

(2)$\underline{(1, -11)}$

(3) 点 (p, q) に対して, 任意の点 (x, y) の対称な点を (x', y') とすると $x' = 2p - x, y' = 2q - y$ が一般に成り立つ。
$p = 1$ のとき $f(x') = f(2 - x) = \ldots$(略)$\ldots = -22 - f(x)$。これは (1, -11) に対して対称であることを示す。

(4) 点対称の区間の定積分であるから, $\underline{0}$ （具体的な数値を代入して計算してもよい）

(5) 体積を $V(r)$ とする。$V(r) = \pi\int_\alpha^\beta \{f(x) + r\}^2 dx = \pi\int_\alpha^\beta \{(f(x))^2 + 2rf(x) + r^2\}dx$
$= \pi\{\int_\alpha^\beta (f(x))^2 dx + 2r\int_\alpha^\beta f(x)dx + r^2\int_\alpha^\beta dx\}$

$f(x), (f(x))^2$の定積分は定数なので, $V(r)$ は r についての二次関数。また,(1) より $\int_\alpha^\beta dx = \left[x\right]_{-1}^{3} = 4$。
A, B を定数として $V(r)/\pi = 4r^2 + 2Ar + B = 4(r + \frac{A}{4})^2 + C(C$ は定数$)$。$\therefore r = -\frac{A}{4}$ のとき最小。
$A = \int_{-1}^{3} f(x)dx = \ldots = -44 \therefore$ 題意の体積 $V(r)$ は$\underline{r = 11 \text{ のとき最小}}$。（このとき回転軸は対称の中心を通ることに留意。図示すると理解が深まる。）

5(立体図形)

(1)S は, 一辺の長さ 2 の正三角形 12 個でできている。$S = (1/2 \cdot 2 \cdot 2 \cdot \sin 60°) \cdot 12 = \underline{12\sqrt{3}}$

(2)(3) (図略) T の各頂点から S の頂点へは真上の鈍角との距離 $2\sqrt{3} < \frac{7}{2}$, 隣の鋭角との距離 $\sqrt{13} > \frac{7}{2}$ であるから (二乗して評価)、真上および、その両隣の鈍角に向けて 3 本の辺が伸びる。側面はすべて 3 角形。
$\underline{(v, e, f) = (18, 36, 20)}$

(4)T の面積は一辺 $2\sqrt{3}$ の正六角形で $(1/2(2\sqrt{3})^2 \sin 60°) \cdot 6 = 18\sqrt{3}$。$P$ は, T を底面とする正六角柱から, 長辺 $2\sqrt{3}$, 短辺 1 の長方形を底面とし高さ 1 の四角錐を 6 個削った形。削る部分の体積は $1/3 \cdot (2\sqrt{3}) \cdot 6 = 4\sqrt{3}$
$\therefore \underline{P = 14\sqrt{3}}$

学校推薦型選抜 ディレクション資質重視方式

●選考方法

自己推薦調書、構想力テスト、面接

●構想力テスト

【問題】

「接続可能な世界」をテーマとする表現を構想し、下記①～③の手順に沿って発表してください。

①構想制作（15分）

配付した白紙（大）に発表のための資料を作成してください。

［条件］

1. 配付したマーカーを使用すること。
2. 文字、文章、記号、図など表現は自由。
3. 白紙（小）は下書き用。

②個別発表（各自５分）

作成した資料をホワイトボードに貼って、その資料に沿って構想を発表してください。
個別発表の際、資料へ書き加えること、および他の人の発表をメモすることは自由とします。

③グループ討議（15分）

自分の構想、他の人の構想について自由に討論してください。発表順は指示しません。

［配付物］

1. 問題用紙×1枚
2. 大判紙（大）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

● 審査基準・評価ポイント

●構想力テストの評価基準

自身の企画について、意図や魅力を明確に表現できるか、多様な価値観に興味や理解を示し、ディスカッションを通して共有発展させる力があるか、テーマと状況を俯瞰し、理解と寛容、機転と配慮を持って議論に貢献できるか、共同制作の場をリードし、建設的創造的なディレクションができる人材となる可能性を期待できるか、共同制作の場をクリエイティブな空間に発展させるような、高次元な創造性、知恵や工夫を発揮する姿勢が感じられるか、を評価した。

一般選抜 学力試験問題・解答例

造形学部

一般方式 学力試験

国語	113
英語	115
数学	117
解答例	120

造形学部芸術文化学科の選択科目「地理歴史」の「世界史」はp.148、「日本史」はp.152をご参照ください。

造形構想学部

学部統一方式 学力試験

国語	125
英語	130
数学	133
解答	134

一般方式 学力試験

国語	135
英語	143
数学	147
世界史	148
日本史	152
物理	156
化学	159
解答	162

国語（60分）

次の文章を読んで、後の問に答えよ。

就学率、識字率は、現代の世界で、ある社会の文化の水準をはかる指標として、ほとんど疑う余地のない重要性を与えられているようにみえる。施設としての学校が十分にあり、十分な数の適格な教員がおり、すべての学齢期の子どもが、一切の社会的、経済的差別を受けずに就学できること、そしてすべての成人がその社会の公用語の文字を読み書きできること——それは達成されるべき理想として、誰も反対できないことのように思われる。学校へ行き、文字を習うというこの二つの指標は、日本でのように、文化という語に「文による教化」の意味が含まれ、江戸時代から寺子屋での「よみ、かき、そろばん」の教育がしょみんの間にも普及していた社会だけでなく、たとえば国連開発計画（UNDP）が開発の指標としている人間開発指数（HDI）でも、ユネスコのさまざまな活動でも、明確に重視されている。

だが、かつて一九六〇—七〇年代に、就学率が公式発表でも九パーセント前後だった、国連統計で世界最貧の、後発後進国の一つに数えられていた西アフリカ内陸の小国オートボルタ（一九八四年以来ブルキナファソ）の、電気も水道もない村で長期の住みこみ調査をしていた私は、この二つの指標の数値を上げることだけへのこだわりに、現代日本の学校のあり方への疑問もこめて、私なりの留保をつけたい気持にどうしても駆られてしまう。ごく一般的にいって、就学率が高くなったとしても、学校で何を、どのように教えるのかがまず問われなければならないだろう。文字を知り、文字を用いて教育をすることが、言語活動、さらに知のあり方一般に及ぼす影響についても、このアフリカ社会での体験は、根源的な問いを投げかける。

ここでは、話を具体的にするために、サハラ以南のアフリカ社会の中でも、最も長く暮らし、私の主な研究対象でもある、ブルキナファソのモシ社会、とくに南部モシ社会について述べる。

研究のはじめの段階では、私はこの社会を「無文字社会」ということばで性格づけていた。これは「文字」をもつことを、人類文化の一つのある達成段階と見、文字をもたない社会を、その欠落した「無」という否定的修飾語で規定するものであったといえる。だが、その後彼らの音や身体による表現（そしてモシでは発達していないが、他のアフリカ社会での図像による表現）の豊かさ、自在さについての認識が深まるにつれ、私は彼らの社会を、「無」という欠落によって規定するのではなく、「文字を必要としなかった社会」という、それ自体でのある種の充足を示すことばで性格づけるべきではないかと思うようになった。その詳細は別に論じたので省くが、年のいかない子どもも含むこの社会の人たちの声による言語表現の素晴らしさに接すると、人間にとって、元来言語というものが百パーセント声であり、文字は声による表現の一部分に対応させられているにすぎないという自明のことに、あらためて気づかせられる。

言語表現に限ってみても、文字を用いた教育によって規格化されていない、個性的な自由さが横溢している。この社会の子どもたちが、のうかんきの夜のまどいで表情豊かに語る昔話の録音を、かつて編集、解説してレコードアルバムとして出したときも、何人もの知人が「声がきれいだね」という感想を伝えてくれた。話すこと、歌うことのプロでも何でもない、ボロを着て土まみれになってかせいでいる、村のまさにガキや娘っ子が実に素晴しい魅力的な声の表現力をもっているのだ。みんな学校へも行かず、文字教育も受けていない子たちだ。私はそのとき、学生時代、いなせを体現したような浅草花川戸の鳶の頭、故桶田彌三郎さんのお話を、何時間も録音したときのことを思い出した。

うっとりするような歯切れのいい、スピーディで爽快な東京下町弁のお話を聞きながら、私はこれは文字とはなじまない音声言語だと思った。日本の仮名文字は母音がはっきりした、近畿地方のことばの、モーラ（＊）を文字に対応させて作られたのではないかと思った（あるいは逆に、文字が早くから普及したから、近畿地方のことばがモーラ言語になったのか）。

事実、あとで現代日本語の研究者と一緒に、この録音を文字化しようとしたとき、私はほとんど絶望的な気持になった。もし、近似的に、このお話で使われていることばをその意味内容から標準語の語彙として理解し、「シ」を「ヒ」にする程度の方言的修正を加えて文字化したとしても、もとの発話を知らない人がその文字テキストをろうどくしたとしたら、その文字から再音声化されたものは、はじめの桶田さんのお話のことばとは、似て非なるものになるにちがいない。

明治四〇年生まれの桶田さんは、標準語化された現代日本語の読み書きを小学校で習ってはいるが、しかし文字を多く読んだり、文字で自分の考えを書き記すことに馴れているわけではない。サバンナの村で、夜、きれいな個性的な声でお話をしてくれたおばさんや若者や子どもたちとなると、もともと文字を通して音声として標準化されたことばを学校で習ってさえいない。この人たちのことばは、文字とは無関係なところで、躍動している。

私はこの人たちの話すことばを、「文字を用いた学校教育で馴化（じゅんか）されていない、アナーキーな輝き」にみちていると思うのだが、このことは学校教育がもつ二つの側面を、ことばの問題を通して私に示してくれる。つまり、学校での文字教育を受けない人たちの声がアナーキーな輝きにみち、個性的であればあるだけ、地方語、村語、個人語の性格を帯び、広い範囲には通じにくいものになる。文字は音声言語のとくに超分節的特徴（音の高低、強弱、長短）を消し、主に分節的特徴（子音と母音の継起）によって、あるいは漢字の場合は表意性を対応させることによって、つまり声による発話の一側面をとりだして「しるす」方法であるから、文字を用いてことばを符牒化したほうが、音声言語の個人差、方言差をこえて通じやすくなる。アメリカ合衆国や中国の音声言語の地方差が、文字を媒介とすればのりこえられることはよく知られている。そのような符牒である文字を用いて言語教育をすれば、音声言語は文字を通して規格化され、広い範囲に通じるものにはなるが、しかしさきに述べたようなことばの個性と「アナーキーな輝き」は失われることになる。

学校教育、とくに近代国家の義務教育に代表される国語教育の価値指向の一つは、個人や地方ごとの特殊性の殻を破って、一国家内で画一的に通じる言語能力を養うところにあるといえるだろう。

ところで文字では発信と受信の関係は相互的でなく一方的で、ことばが受信者に通じているかどうかのチェックがない。声で発せられたことばの超分節性が消し去られているから、伝達の濃やかさも減じる。一般に音声言語のうち、音感語（言語音自体の直接の効果が伝達の内容をなすもの）や、表音語、表容語（旧来の用語での擬声語、擬態語）は、文字にしたのでは伝達力が著しくそがれてしまう。他方、概念化を通じて意味の伝達が行われる語は文字化による意味のげんさいや変化は少なくてすむ。

伝達における一方性と伝達内容の概念性という文字の二つの特徴からも、文字は国家などの大規模な集権的組織にはきわめて有用なものであり、中央からの指示通達の徹底のためにも、組織の成員のできるだけ多くの者が文字を読めることが望まれる。一国家一言語で識字教育を徹底することは、近代の国民国家形成の要件であり、標準語の確立と初等教育の義務化が近代国家とともに生まれたことは偶然ではない。

だがその一方で、「文字を必要としない社会」は、文字社会が失った多くの貴重なものをもっており、とくに日本のような文字偏重の社会の言語や知識のあり方に対しては、根源的な批判の視点を提供してくれる。しかし概念化された知識の精練、伝達、蓄積の面では、文字をもたないことのマイナス面を負っていることも確かだ。文字をもたない社会における知のあり方が、従来しばしば「未開」という形容を冠せられて、その実態についての十分な理解がないままに、全面的に否定の評価しか与えられなかったことにも、この点では一面のりがある。

学校で文字を使って何をどう教えるかということに、納得のゆく原則が立てられれば、識字率を高め、就学率を上げることも、それ自体として否定されるべきではない。ただ、文字化された言語によって教えられるものは、右に見てきたように大きな負（マイナス）の面と抱き合わせになっている。「文字を必要としなかった」「学校のない」社会が私たちにもたらす教訓を通してゆがみをぜせいし、いわば文字文化と非文字文化（その二つは、日本のような文字偏重社会にも、層をなして共存している）の特性を、相互補完的に生かしてゆくことが大切であろう。そのようになってこそ、世界の異文化間の交流が意味をもったと私たちはいえるのであろう。

（川田順造「コトバ・言葉・ことば」より）

（＊）モーラとは、拍のこと。日本語では、仮名文字一字を発音した長さがほぼ一拍として認識される。

問一 「水準」とあるが、「準」を用いた語句で**適当でないもの**を次の中から一つ選べ。

1 公準 2 平準 3 批準 4 基準 5 規準 6 照準

問二 「指標」の意味として、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。

1 目印 2 目標 3 刻印 4 記号 5 符号 6 標語

問三 「留保をつけたい」とあるが、「留保をつける」の意味として最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。

1 当てにする 2 歩み寄る 3 差し控える
4 手を尽くす 5 取り決める 6 わきまえる

問四 「駆られてしまう」[D] とあるが、「駆られる」の意味として最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。
1 たかぶる　2 つまされる　3 ときめく　4 とらわれる　5 なれる　6 もえる

問五 「自在」[E] とともに、四字の熟語を**つくらない語句**を次の中から一つ選べ。
1 自由　2 伸縮　3 活殺　4 変幻　5 晴雨　6 緩急

問六 「まどい」[F] の言い換えとして、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。
1 憩い　2 陰影　3 しじま　4 団らん　5 当惑　6 窓辺

問七 「体現」[G] の言い換えとして、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。
1 示現　2 出現　3 再現　4 具現　5 表現　6 発現

問八 「歯切れのいい」[H] とあるが、「歯」を用いた慣用表現として**適当でないもの**を次の中から一つ選べ。
1 歯が浮く　2 歯に衣着せぬ　3 口の歯にのぼる
4 ごまめの歯ぎしり　5 歯の根が合わない　6 歯牙にもかけない

問九 「馴化」[I] の意味として、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。
1 反応　2 純化　3 感応　4 適応　5 適従　6 順適

問十 「帯び」[J] とあるが、これと異なる意味で「帯びる」が使われていると思われるものを次の中から一つ選べ。
1 赤みを帯びる　2 愁いを帯びる　3 現実味を帯びる
4 使命を帯びる　5 酒気を帯びる　6 丸みを帯びる

問十一 「媒介」[K] の意味として、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。
1 口きき　2 助だち　3 立ち合い　4 綱わたり　5 取りなし　6 仲立ち

問十二 「のりこえられる」[L] とあるが、ここでの「のりこえ」の意味として最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。
1 超克　2 超脱　3 超越　4 超過　5 超絶　6 超然

問十三 「著しく」[M] とあるが、これと同じ意味で「著」が使われていると思われるものを次の中から一つ選べ。
1 共著　2 名著　3 原著　4 著名　5 著述　6 著者

問十四 「抱き合わせ」[N] の意味として、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。
1 一心同体　2 以心伝心　3 同床異夢　4 呉越同舟　5 表裏一体　6 意気投合

問十五 本文の内容に合致するものを、次の中から二つ選べ。
1 「文字を必要としない社会」では、概念的知識の精練が優れている。
2 「文字を必要としない社会」では、分節的特徴がことばを個性化する。
3 「文字を必要としない社会」では、音声言語の超分節的特徴が豊かである。
4 識字率を高めることは、否定されるべきではない。
5 識字率を高めることは、伝達のこまやかさをもたらす。
6 識字率を高めることは、開発の目標とはされていない。

問十六 「省く」[イ]・「元来」[ウ]・「近似的」[オ]・「躍動」[ク]・「画一」[コ]・「偏重」[ス] の読みをひらがなでしるせ。

問十七 「しょみん」[ア]・「のうかんき」[エ]・「ろうどく」[カ]・「げんさい」[サ]・「り」[セ]・「ぜせい」[ソ] を漢字でしるせ。

問十八 「樋田さんのお話のことば」[キ] とあるが、それを別の言い方で示している部分を文中よりそのまま抜き出してしるせ（十三字）。

問十九 「アナーキーな輝き」[ケ] とあるが、それを別の言い方で示している部分を文中よりそのまま抜き出してしるせ（七字）。

問二十 「一国家一言語で識字教育を徹底することは、近代の国民国家形成の要件であり」[シ] とあるが、その理由を文中の語句を用いて説明せよ（五十字以内）。

問二十一 筆者がモシ社会の性格を「無文字社会」ということばから「文字を必要としなかった社会」ということばで表現するようになったのはなぜか。文中の語句を用いて説明せよ（六十字以内）。

外国語（英語）（60分）

［問題Ⅰ］次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。

For years, psychologists have known how to measure the intelligence of individuals, but only recently have they begun to investigate the issue of *group intelligence*. This notion (1)stems from the observation that some groups seem to work well across tasks, even tasks that are not very similar. Early investigations suggest that group intelligence is not the sum of the intelligence of the individuals in it. So what is the secret to their success?

Researchers at Google and MIT have both tackled this question and they believe they finally (2)have a handle on what makes some teams successful. In the Google study researchers amassed thousands of data points on hundreds of groups and combed through them trying to find patterns. Are the members of effective groups friends outside of work? Do groups whose members have similar personalities or backgrounds work together best? Does gender make a difference? They floated many theories but found no patterns to support (3)them. In fact, *who* was in the group apparently did not seem to make a difference; instead, the difference between more and less effective groups seemed to lie in the interaction among the members.

The MIT group had already been gathering data on group interaction using digital "badges" that participants in the study agreed to wear. These badges provided a wealth of information, including how long people spoke and to whom, what kinds of gestures they made, where they were looking during interaction, and their facial expressions. As in the Google study, this research group concluded that the key to an effective team is how members interact.

Among the findings, the most consistent and significant is that, in effective groups, members spoke for a roughly equal amount of time – not at every meeting or interaction, but across the course of a project. A second consistent finding was that members displayed empathy, an understanding of how it might feel to walk in someone else's shoes. This social sensitivity is measured by a relatively new test, called the "Reading the Mind in the Eyes." The test assesses individual differences in two key factors, social awareness and emotion recognition, by asking individuals to guess emotions based on only a picture of a person's eyes. High levels of these two features create what one of the researchers in the Google study calls psychological safety: Members of the group feel comfortable voicing their opinions and making suggestions without fear of a negative response from other members of the group, and they believe that others

will listen to them and value what they say. When these conditions are present, the group as a whole tends to be effective.

There were additional findings that support these general ones. ［A］ For example, in effective groups, members face one another directly when they speak, and they use energetic and enthusiastic gestures. ［B］ In fact, the MIT study found that side conversations between individual members during meetings, far from being a distraction, actually increased the group's productivity. All the findings highlight the importance of having face-to-face meetings instead of phone calls, teleconferences, or email communications. The positive behaviors uncovered in these studies occur primarily or exclusively in face-to-face interaction. ［C］ The MIT team estimates that 35% of a team's performance can be explained just by the number of their face-to-face exchanges. ［D］

One might argue that most of these findings are extremely obvious, and needless to say, good managers have probably always understood these principles. Our social and professional lives, however, are not always structured in ways that facilitate the kind of interaction that apparently underlies effective group performance. Understanding group intelligence can help businesses and other organizations make the fundamental changes necessary to improve group performance.

［注］　amass = 集める　　facilitate = ～を容易にする

1. 下線部（1）の stems と同じ意味を表す単語として最も適当なものは、次のうちどれか。その番号をマークしなさい。
（1）originates　（2）suffers
（3）separates　（4）differs

2. 下線部（2）の have a handle on の意味として最も適当なものは、次のうちどれか。その番号をマークしなさい。
（1）～を調べる　（2）～を理解する
（3）～に名前をつける　（4）～を処理する

3. 下線部（3）の them が指しているものは、次のうちどれか。その番号をマークしなさい。
（1）patterns　（2）personalities
（3）theories　（4）backgrounds

4. グループ作業の成功に必要な秘密を探るために実施された調査とそれに使用されたツール（A）（B）（C）の目的は、（1）～（3）のどれか。その番号をマークしなさい。
（A）The Google Study　（B）Digital Badges
（C）Reading the Mind in the Eyes

（1）used to measure social sensitivity, such as social awareness and emotion recognition
（2）used to find certain patterns in personalities, backgrounds, and gender among effective groups
（3）used to gather data on group interaction, such as gestures and facial expressions

5. 以下の文は、第5パラグラフの［A］［B］［C］［D］のどこに入れるのが最もふさわしいか。その記号をマークしなさい。

They also communicate directly with one another, not just through the leader or manager of the group.

6. 本文のタイトルとしてふさわしいものは、次のうちどれか。その番号をマークしなさい。
（1）The Perfect Work Team: Getting the Best from a Group
（2）The Importance of Gender in Successful Group Interaction
（3）Assessing Group Performance: The Use of Digital Technology
（4）The Characteristics of an Effective Group Leader

7. 次の各文で本文の内容に一致しているものには T を、一致していないものには F をマークしなさい。
（1）According to early investigations, group intelligence has nothing to do with the total number of "intelligent" members in the group.
（2）Research has found support for the theory that members of effective groups are often very close outside of work.
（3）Psychological safety is a state where members don't need to be afraid of sharing their ideas with other members of the group.
（4）Side conversations during meetings have a negative impact on group performance.
（5）Understanding the principles of group intelligence can improve group performance in the business world.

8. 次の各文で、本文の主要な考えを示すものには M（Main idea）を、主要な考えを支える細かな説明には、S（Supporting details）をマークしなさい。
（1）The key to a successful group is not who the members are but how they interact.
（2）All of the participants in the MIT study wore digital badges.
（3）Showing empathy among group members is essential in order to have a successful group.
（4）In successful groups, each of the members talks for approximately the same amount of time across the course of the project.
（5）Face-to-face exchanges account for about 35% of a group's performance.

［問題Ⅱ］次の会話を読んで、下の設問に答えなさい。

A: I just received the shirt I ordered online, but there's a big problem.
B: Really? (1)_____?
A: Well, it's the wrong size. I ordered a large, but they sent me an extra large (2)_____.
B: I see. That's disappointing, especially since it's your first time ordering online. I can't believe the store would mix up sizes. Have you tried it on?
A: Yes, but it's much too big for me.
B: In that case, you'd better contact the store to see if you can (3)_____.
A: I thought of that too, but I can't because when I just checked online, the large seems to be (4)_____ now, unfortunately.
B: Oh, no. Then maybe you should send it back and ask for a (5)_____.
A: That's a good idea. Then I'll be able to use the money on a new shirt at a department store.

1. 下線部（1）に入れるべきものとして<u>ふさわしくない</u>ものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。
（1）What's the matter　（2）What did you do
（3）What seems to be the problem　（4）What's wrong
2. 下線部（2）に入れるべき最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。
（1）again　（2）at least
（3）as well　（4）instead
3. 下線部（3）に入れるべき最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。
（1）exchange it　（2）sell it
（3）give it away　（4）try it on
4. 下線部（4）に入れるべき最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。
（1）out of stock　（2）overstocked
（3）in stock　（4）stocked
5. 下線部（5）に入れるべき最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。
（1）bargain　（2）discount
（3）loan　（4）refund

［問題Ⅲ］次の各文の空所に入れるべき最も適当なものを、それぞれに与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。

1. What he pointed out in the last meeting was (　　) great importance to the success of our company.
（1）for　（2）in
（3）of　（4）with

2. She ordered the room (　　) by noon.
（1）clean　（2）having cleaned
（3）to clean　（4）to be cleaned

3. My father wants me to (　　) over the business after he retires so that it stays within the family.
（1）get　（2）take
（3）run　（4）go

4. Even though you did not break her vase intentionally, you are (　　) to her.
（1）apologize　（2）apology
（3）apologized　（4）to apologize

5. The sun (　　), we decided to stay at the cottage for the night.
（1）has set　（2）had set
（3）having set　（4）having been set

6. Nobody can (　　) a good person from a bad one at first sight.
（1）tell　（2）speak
（3）talk　（4）say

7. Will anyone (　　) a ticket for the baseball game please raise your hand?
（1）want　（2）to want
（3）wanting　（4）wanted

8. It is difficult for me to get accustomed (　　) during the day.
（1）sleep　（2）to having slept
（3）sleeping　（4）to sleeping

［問題 Ⅳ］日本語と同じ意味の英文になるように、下に与えられたものを並べかえたときに（A）（B）に入るものの番号をマークしなさい。

1. 海外旅行をしたことを自慢する人がとても多くいます。
There are (　　) (　A　) (　　) (　　) (　B　) (　　).
（1）who　（2）having
（3）boast　（4）so many
（5）of　（6）traveled abroad

2. 支配人が来るまでにこの仕事を必ず終わらせてください。
Be (　A　) (　　) (　　) (　B　) (　　) (　　) the manager comes.
（1）the time　（2）sure to
（3）this work　（4）by
（5）get　（6）done

3. 湖面に富士山が映し出されるのが見える湖があります。
There is a (　A　) (　　) (　　) (　　) (　　) (　B　) reflected.
（1）can see　（2）on
（3）Mt. Fuji　（4）we
（5）lake　（6）which

数学［基礎デザイン学科 芸術文化学科］（90分）

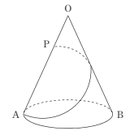
問題 I 次の4問から2問を選んで解答しなさい。

(1) 記号［x］は実数 x を超えない最大の整数を表す。例えば，$[1.5]=1$，$[2]=2$，$[-1.5]=-2$ となる。
このとき，$[2x]=1$，$[1-3x]=-1$ を同時に満たす x の値の範囲を求めなさい。

(2) 4人でじゃんけんを1回行ったとき，あいこになる確率を求めなさい。

(3) p を自然数，q を素数とするとき，$p^2-q^2=576$ を満たす (p, q) の組をすべて求めなさい。

(4) 右図のように底面の半径が1，高さが $2\sqrt{2}$ である直円すいがある。この直円すいの頂点を O，底面の円周上の2点 A，B を，線分 AB が直径となるようにとる。線分 OA を 1 : 2 に内分する点を P とするとき，点 P から直円すいの側面を1巻きして，点 A に至る最短の曲線の長さを求めなさい。



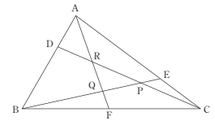
問題 II 関数 $f(x)=(x^2+2x)^2-4(x^2+2x)+5$ について，次の各問に答えなさい。

(1) $x^2+2x=t$ とおくとき，t の値の範囲を求めなさい。

(2) $f(x)$ の最小値と，そのときの x の値を求めなさい。

(3) $f(x)=10$ を満たす x の値を求めなさい。

問題 III AB = 5，BC = 8，CA = 7 である△ABC がある。辺 AB を 1 : 2 に内分する点を D，辺 AC を 2 : 1 に内分する点を E とし，線分 BE と線分 CD との交点を P とする。また，辺 BC の中点を F とし，線分 AF と線分 BE との交点を Q，線分 AF と線分 DC との交点を R とする。
△ABC の面積を S とおく。このとき，次の各問に答えなさい。



(1) △ABE の面積を S を用いて表しなさい。

(2) BP : PE と BQ : QE をそれぞれ求めなさい。

(3) BQ : QP : PE を求めなさい。

(4) △RBE の面積 : △ABE の面積 = QR : AQ である。
これに基づいて，△RBE の面積を S を用いて表しなさい。

(5) S と△PQR の面積をそれぞれ求めなさい。

数学［建築学科］（90分）

1

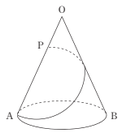
問題 I 次の4問から2問を選んで解答しなさい。

(1) 記号［x］は実数 x を超えない最大の整数を表す。例えば，［1.5］= 1，［2］= 2，［− 1.5］= − 2となる。
このとき，［2x］= 1，［1 − 3x］= − 1を同時に満たす x の値の範囲を求めなさい。

(2) 4人でじゃんけんを1回行ったとき，あいこになる確率を求めなさい。

(3) p を自然数，q を素数とするとき，$p^2 - q^2 = 576$ を満たす (p, q) の組をすべて求めなさい。

(4) 右図のように底面の半径が1，高さが $2\sqrt{2}$ である直円すいがある。この直円すいの頂点をO，底面の円周上の2点A，Bを，線分ABが直径となるようにとる。線分OAを1 : 2に内分する点をPとするとき，点Pから直円すいの側面を1巻きして，点Aに至る最短の曲線の長さを求めなさい。



2

問題 II 関数 $f(x) = (x^2 + 2x)^2 - 4(x^2 + 2x) + 5$ について，次の各問に答えなさい。

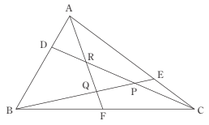
(1) $x^2 + 2x = t$ とおくとき，t の値の範囲を求めなさい。

(2) $f(x)$ の最小値と，そのときの x の値を求めなさい。

(3) $f(x) = 10$ を満たす x の値を求めなさい。

3

問題 III AB = 5，BC = 8，CA = 7である△ABCがある。辺ABを1 : 2に内分する点をD，辺ACを2 : 1に内分する点をEとし，線分BEと線分CDとの交点をPとする。また，辺BCの中点をFとし，線分AFと線分BEとの交点をQ，線分AFと線分DCとの交点をRとする。
△ABCの面積を S とおく。このとき，次の各問に答えなさい。



(1) △ABEの面積を S を用いて表しなさい。

(2) BP : PEとBQ : QEをそれぞれ求めなさい。

(3) BQ : QP : PEを求めなさい。

(4) △RBEの面積 : △ABEの面積 = QR : AQである。
これに基づいて，△RBEの面積を S を用いて表しなさい。

(5) S と△PQRの面積をそれぞれ求めなさい。

4

問題 IV 不等式 $-1 \leqq \log_2 \frac{x}{y} \leqq 1$ の表す領域をA，不等式 $\log_2|x + y - 2| \leqq 0$ の表す領域をBとする。このとき，次の各問に答えなさい。

(1) 領域Aを図示しなさい。

(2) 領域Bを図示しなさい。

(3) 点P(x, y) が領域Aと領域Bの共通部分を動くとき，$x^2 + y$ の最大値と最小値を求めなさい。

5

問題 V 2つの関数 $f(x) = x^3 - x^2 - x + 3$，$g(x) = x^2 + 1$ について，次の各問に答えなさい。

(1) $y = f(x)$ のグラフを描きなさい。

(2) 2つの曲線 $y = f(x)$ と $y = g(x)$ のグラフの共有点の座標を求めなさい。

(3) $y = g(x)$ のグラフを，(1) の座標平面上に描きなさい。

(4) 2つの曲線 $y = f(x)$ と $y = g(x)$ で囲まれた図形の面積を求めなさい。

国語・外国語（英語） 解答例

国語　解答例

問一　3
問二　1
問三　3
問四　4
問五　5
問六　4
問七　4
問八　3
問九　4
問十　4
問十一　6
問十二　1
問十三　4
問十四　5
問十五　3　4
問十六　イ　はぶく　　ウ　がんらい　　オ　きんじてき
　　ク　やくどう　　コ　かくいつ　　ス　へんちょう
問十七　ア　庶民　　エ　農閑期　　カ　朗読
　　サ　減殺　　セ　理　　ソ　是正
問十八　文字とはなじまない音声言語
問十九　個性的な自由さ
問二十　文字は音声言語の特殊性の殻を破って一国家内で画一的に通じ、中央からの指示通達が徹底できるから。
問二十一　はじめは文字を持たない遅れた社会と考えていたが、後に音や身体による表現の豊かさを備えた社会であることに気づいたから。

外国語（英語）　解答

問題Ⅰ
1．1
2．2
3．3
4．(A) 2　(B) 3　(C) 1
5．B
6．1
7．(1) T　(2) F　(3) T　(4) F　(5) T
8．(1) M　(2) S　(3) M　(4) M　(5) S
問題Ⅱ
1．2
2．4
3．1
4．1
5．4
問題Ⅲ
1．3
2．4
3．2
4．4
5．3
6．1
7．3
8．4
問題Ⅳ
1．(A) 1　(B) 2
2．(A) 2　(B) 6
3．(A) 5　(B) 3

数学［基礎デザイン学科 芸術文化学科］解答例

問題 I

(1) 範囲：数学Ⅰ－1 次不等式

$[2x]=1 \Leftrightarrow 1 \leqq 2x < 2 \Leftrightarrow \frac{1}{2} \leqq x < 1$

$[1-3x]=-1 \Leftrightarrow -1 \leqq 1-3x < 0 \Leftrightarrow \frac{1}{3} < x \leqq \frac{2}{3}$

よって，この2つの不等式を同時にみたす x の範囲は，$\frac{1}{2} \leqq x \leqq \frac{2}{3}$

(2) 範囲：数学A－確率

4人でじゃんけんをしたときに勝負がつくのは，ちょうど2種類の手が出たときであるから，このときの確率は

$\frac{{}_3C_2(2^4-2)}{3^4} = {}_3C_2\left\{\left(\frac{2}{3}\right)^4 - 2\left(\frac{1}{3}\right)^4\right\} = \frac{16-2}{27} = \frac{14}{27}$

よって，求める確率は，$1-\frac{14}{27}=\frac{13}{27}$

(3) 範囲：数学A－整数

$p^2-q^2=576=24^2 \Leftrightarrow q^2=p^2-24^2=(p+24)(p-24)$

よって，$p+24$，$p-24$ は q^2 の約数である。

また，p は自然数であるから $p+24>0$ であり，$p+24>p-24$ であるので，q が素数であることより，$(p+24,\ p-24)=(q^2,\ 1)$ となる。

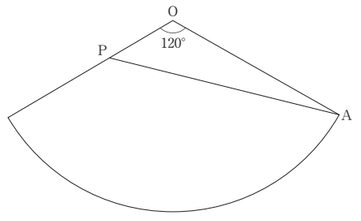
これを解くと，$(p,\ q)=(25,\ 7)$

(4) 範囲：数学Ⅰ－図形と計量

底面の半径が1，高さが $2\sqrt{2}$ の直円すいの母線の長さは三平方の定理より3となるので，側面をOAで切り開くと，展開図は下図のように半径が3で中心角が $360^\circ \times \frac{2\pi}{6\pi} = 360^\circ \times \frac{1}{3} = 120^\circ$ の扇形になる。Pから出発して，扇形の内部を通ってAに至る距離が最短となるのは，図の線分APのときであるから，余弦定理より，

$AP^2 = 1^2+3^2-2\cdot1\cdot3\cos120^\circ = 13$

よって，最短の曲線の長さは $\sqrt{13}$



問題 II 範囲：数学Ⅰ－2次関数

(1)

$t=x^2+2x=(x+1)^2-1$

x は実数であるから，$(x+1)^2-1 \geqq -1$

よって，t のとり得る値の範囲は，$t \geqq -1$

(2)

$y=f(x)$ において，$t=x^2+2x$ とおくと，

$y=t^2-4t+5=(t-2)^2+1$

(1) より $t \geqq -1$ であるから，$t=2$ のとき y は最小値1をとる。

このとき $t=2 \Leftrightarrow x^2+2x-2=0$　これを解くと，$x=-1\pm\sqrt{3}$

(3)

$y=t^2-4t+5=10$ より

$t^2-4t-5=0 \Leftrightarrow (t+1)(t-5)=0 \Leftrightarrow t=-1,\ 5$

$t=-1$ のとき，$x^2+2x+1=0$　$\therefore x=-1$

$t=5$ のとき，$x^2+2x-5=0$　$\therefore x=-1\pm\sqrt{6}$

問題 III 範囲：数学Ⅰ－数と式・図形の計量，数学A－平面図形の融合問題

(1)

$\triangle ABC : \triangle ABE = AC : AE = 3:2$

よって，$\triangle ABE = \frac{2}{3}\triangle ABC = \frac{2}{3}S$

(2)

メネラウスの定理より，$\frac{AD}{DB}\cdot\frac{BP}{PE}\cdot\frac{EC}{CA}=\frac{1}{2}\cdot\frac{BP}{PE}\cdot\frac{1}{3}=1$

よって，BP：PE＝6：1

同様にメネラウスの定理より，$\frac{CF}{FB}\cdot\frac{BQ}{QE}\cdot\frac{EA}{AC}=\frac{1}{1}\cdot\frac{BQ}{QE}\cdot\frac{2}{3}=1$

よって，BQ：QE＝3：2

(3)

PE＝x とする。**(2)** でBP：PE＝6：1より，BP＝6x となり，BE＝7x と表せる。

BQ：QE＝3：2より，$BQ = 7x\times\frac{3}{5}=\frac{21x}{5}$，$QE = 7x\times\frac{2}{5}=\frac{14x}{5}$

これより，$QP = BP-BQ = 6x-\frac{21}{5}x=\frac{9}{5}x$

よって，$BQ : QP : PE = \frac{21}{5}x : \frac{9}{5}x : x = 21:9:5$

(4)

AR：RF＝1：1，AQ：QF＝4：1であるから，

AR：RQ：QF＝5：3：2

$\triangle ABE : \triangle RBE = AQ : RQ = 8:3$

(1) より $\triangle ABE = \frac{2}{3}S$　よって，$\triangle RBE = \frac{3}{8}\triangle ABE = \frac{1}{4}S$

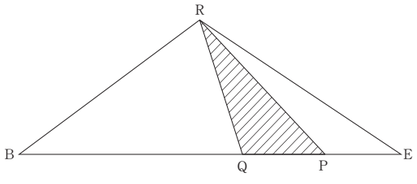
(5)

余弦定理より，$\cos\angle ABC = \frac{8^2+5^2-7^2}{2\cdot8\cdot5}=\frac{1}{2}$

よって，$\angle ABC = 60^\circ$ であるから，$S=\frac{1}{2}\cdot8\cdot5\cdot\sin60^\circ = 10\sqrt{3}$

$\triangle RBE : \triangle RQP = BE : QP = 35:9$

よって，$\triangle PQR = \frac{9}{35}\triangle RBE = \frac{9}{140}S = \frac{9\sqrt{3}}{14}$



数学［建築学科］解答例

問題 I

(1) 範囲：数学Ⅰ－1次不等式

$[2x]=1 \Leftrightarrow 1 \leqq 2x < 2 \Leftrightarrow \frac{1}{2} \leqq x < 1$

$[1-3x]=-1 \Leftrightarrow -1 \leqq 1-3x < 0 \Leftrightarrow \frac{1}{3} < x \leqq \frac{2}{3}$

よって，この2つの不等式を同時にみたすxの範囲は，$\frac{1}{2} \leqq x \leqq \frac{2}{3}$

(2) 範囲：数学A－確率

4人でじゃんけんをしたときに勝負がつくのは，ちょうど2種類の手が出たときであるから，このときの確率は

$\frac{{}_3C_2(2^4-2)}{3^4} = {}_3C_2\left\{\left(\frac{2}{3}\right)^4 - 2\left(\frac{1}{3}\right)^4\right\} = \frac{16-2}{27} = \frac{14}{27}$

よって，求める確率は，$1-\frac{14}{27}=\frac{13}{27}$

(3) 範囲：数学A－整数

$p^2-q^2=576=24^2 \Leftrightarrow q^2=p^2-24^2=(p+24)(p-24)$

よって，$p+24$，$p-24$はq^2の約数である。

また，pは自然数であるから$p+24>0$であり，$p+24>p-24$であるので，qが素数であることより，$(p+24,\ p-24)=(q^2,\ 1)$となる。

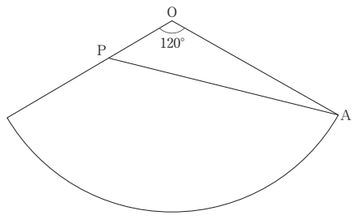
これを解くと，$(p,\ q)=(25,\ 7)$

(4) 範囲：数学Ⅰ－図形と計量

底面の半径が1，高さが$2\sqrt{2}$の直円すいの母線の長さは三平方の定理より3となるので，側面をOAで切り開くと，展開図は下図のように半径が3で中心角が$360^\circ \times \frac{2\pi}{6\pi} = 360^\circ \times \frac{1}{3} = 120^\circ$の扇形になる。Pから出発して，扇形の内部を通ってAに至る距離が最短となるのは，図の線分APのときであるから，余弦定理より，

$AP^2=1^2+3^2-2\cdot1\cdot3\cos 120^\circ=13$

よって，最短の曲線の長さは$\sqrt{13}$



問題 II 範囲：数学Ⅰ－2次関数

(1)

$t=x^2+2x=(x+1)^2-1$

xは実数であるから，$(x+1)^2-1 \geqq -1$

よって，tのとり得る値の範囲は，$t \geqq -1$

(2)

$y=f(x)$において，$t=x^2+2x$とおくと，

$y=t^2-4t+5=(t-2)^2+1$

(1)より$t \geqq -1$であるから，$t=2$のときyは最小値1をとる。

このとき$t=2 \Leftrightarrow x^2+2x-2=0$　これを解くと，$x=-1\pm\sqrt{3}$

(3)

$y=t^2-4t+5=10$より

$t^2-4t-5=0 \Leftrightarrow (t+1)(t-5)=0 \Leftrightarrow t=-1,\ 5$

$t=-1$のとき，$x^2+2x+1=0$　$\therefore x=-1$

$t=5$のとき，$x^2+2x-5=0$　$\therefore x=-1\pm\sqrt{6}$

問題 III 範囲：数学Ⅰ－数と式・図形の計量，数学A－平面図形の融合問題

(1)

$\triangle ABC : \triangle ABE = AC : AE = 3 : 2$

よって，$\triangle ABE = \frac{2}{3}\triangle ABC = \frac{2}{3}S$

(2)

メネラウスの定理より，$\frac{AD}{DB}\cdot\frac{BP}{PE}\cdot\frac{EC}{CA}=\frac{1}{2}\cdot\frac{BP}{PE}\cdot\frac{1}{3}=1$

よって，BP：PE＝6：1

同様にメネラウスの定理より，$\frac{CF}{FB}\cdot\frac{BQ}{QE}\cdot\frac{EA}{AC}=\frac{1}{1}\cdot\frac{BQ}{QE}\cdot\frac{2}{3}=1$

よって，BQ：QE＝3：2

(3)

PE＝xとする。**(2)**でBP：PE＝6：1より，BP＝6xとなり，BE＝7xと表せる。

BQ：QE＝3：2より，$BQ=7x\times\frac{3}{5}=\frac{21x}{5}$，$QE=7x\times\frac{2}{5}=\frac{14x}{5}$

これより，$QP=BP-BQ=6x-\frac{21}{5}x=\frac{9}{5}x$

よって，$BQ : QP : PE = \frac{21}{5}x : \frac{9}{5}x : x = 21 : 9 : 5$

(4)

AR：RF＝1：1，AQ：QF＝4：1であるから，

AR：RQ：QF＝5：3：2

$\triangle ABE : \triangle RBE = AQ : RQ = 8 : 3$

(1)より$\triangle ABE=\frac{2}{3}S$　よって，$\triangle RBE=\frac{3}{8}\triangle ABE=\frac{1}{4}S$

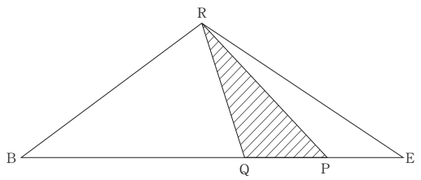
(5)

余弦定理より，$\cos\angle ABC=\frac{8^2+5^2-7^2}{2\cdot8\cdot5}=\frac{1}{2}$

よって，$\angle ABC=60^\circ$であるから，$S=\frac{1}{2}\cdot8\cdot5\cdot\sin 60^\circ=10\sqrt{3}$

$\triangle RBE : \triangle RQP = BE : QP = 35 : 9$

よって，$\triangle PQR=\frac{9}{35}\triangle RBE=\frac{9}{140}S=\frac{9\sqrt{3}}{14}$



問題 IV 範囲：数学Ⅱ－図形と方程式

(1)

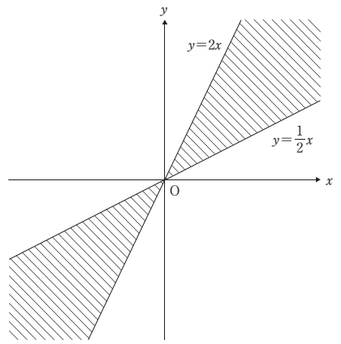
題意より，$y \neq 0$　真数条件より，$\frac{x}{y}>0$

$-1 \leqq \log_2\frac{x}{y} \leqq 1 \Leftrightarrow \log_2\frac{1}{2} \leqq \log_2\frac{x}{y} \leqq \log_2 2 \Leftrightarrow \frac{1}{2} \leqq \frac{x}{y} \leqq 2$

$y>0$のとき，$\frac{1}{2}x \leqq y \leqq 2x$

$y<0$のとき，$2x \leqq y \leqq \frac{1}{2}x$

以上より，領域は下の図の斜線部分。境界は原点O以外を含む。



(2)

真数条件より，$x+y-2 \neq 0$

つまり，$y \neq -x+2$

$\log_2|x+y-2| \leqq 0 \Leftrightarrow \log_2|x+y-2| \leqq \log_2 1$

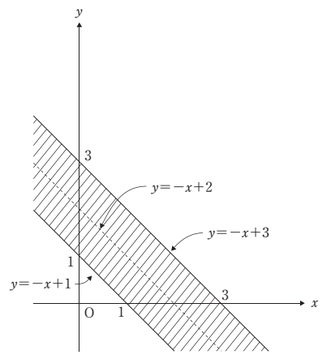
$\Leftrightarrow |x+y-2| \leqq 1 \Leftrightarrow -1 \leqq x+y-2 \leqq 1$

$\Leftrightarrow -x+1 \leqq y \leqq -x+3$

以上より，領域は下の図の斜線部分。

境界の$y=-x+1$と$y=-x+3$は含むが，

直線$y=-x+2$は含まない。



(3)

$x^2+y=k$となり得る条件は，放物線$y=-x^2+k$が**(1)**と**(2)**の共通部分(下図の斜線部分)と共有点をもつことである。

kが最大になるのは，放物線$y=-x^2+k$が点(2，1)を通るときで，このとき，$k=5$

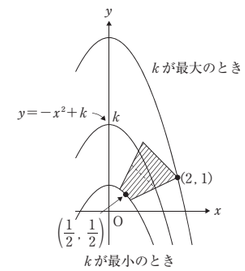
また，$-x^2+k=-x+1 \Leftrightarrow x^2-x+1-k=0 \Leftrightarrow x=\frac{1\pm\sqrt{4k-3}}{2}$

であるので，$k=\frac{3}{4}$のとき，放物線$y=-x^2+k$は**(1)**と**(2)**の共通部分と$\left(\frac{1}{2},\ \frac{1}{2}\right)$で接し，$k$が最小になる。

以上より，

x^2+yは$(x,\ y)=(2,\ 1)$のとき，最大値5をとり，

$(x,\ y)=\left(\frac{1}{2},\ \frac{1}{2}\right)$のとき，最小値$\frac{3}{4}$をとる。



問題 V 範囲：数学Ⅱ－微分法・積分法

(1)

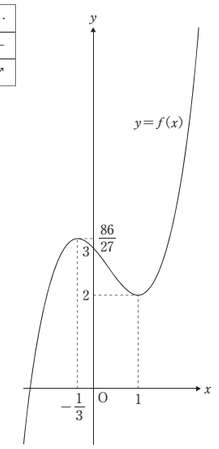
$f'(x)=3x^2-2x-1=(3x+1)(x-1)$より，次の増減表を得る。

x	$\cdots$	$-\frac{1}{3}$	$\cdots$	1	$\cdots$
$f'(x)$	+	0	−	0	+
$f(x)$	↗	$\frac{86}{27}$	↘	2	↗

極大値は$f\left(-\frac{1}{3}\right)=\frac{86}{27}$，

極小値は$f(1)=2$

グラフは右の様になる。



(2)

$f(x)=g(x) \Leftrightarrow (x+1)(x-1)(x-2)=0 \Leftrightarrow x=-1,\ 1,\ 2$より，

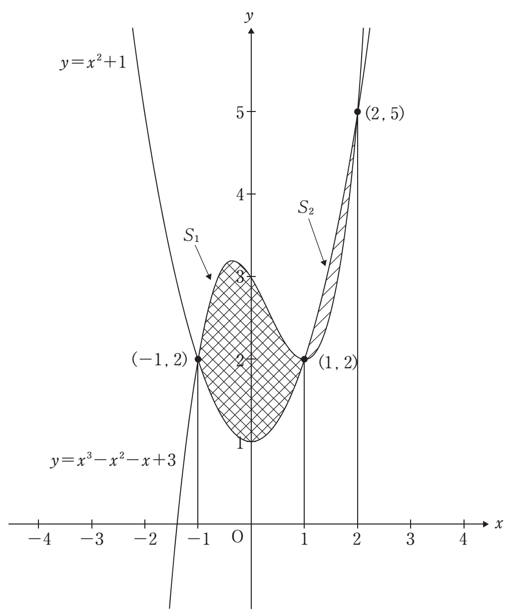
曲線$y=f(x)$，$y=g(x)$のグラフの共有点は$(-1,\ 2)$，$(1,\ 2)$，$(2,\ 5)$

(3)

(4)の図を参照。

(4)

2曲線に囲まれた図形の $-1 \leqq x \leqq 1$ の部分の面積を S_1，$1 \leqq x \leqq 2$ の部分の面積を S_2 とする。



$$S_1=\int_{-1}^{1}\{f(x)-g(x)\}\,dx=\int_{-1}^{1}(x^3-2x^2-x+2)\,dx$$

$$=2\left[-\frac{2}{3}x^3+2x\right]_0^1=\frac{8}{3}$$

$$S_2=\int_{1}^{2}\{g(x)-f(x)\}\,dx=\int_{2}^{1}(x^3-2x^2-x+2)\,dx$$

$$=\left[\frac{1}{4}x^4-\frac{2}{3}x^3-\frac{1}{2}x^2+2x\right]_2^1=\frac{5}{12}$$

$$S_1+S_2=\frac{8}{3}+\frac{5}{12}=\frac{37}{12}$$

国語（80分）

1

〔一〕次の文章を読んで、後の問に答えよ。

他人との関係について、ひとはしばしば「呼吸があう／あわない」というふうに表現することがある。会話のなかで呼吸があわないとき、ひとは相手のことばじりに過敏になる。ことばを確実にとらえようとして、ことばの意味に拘泥（こうでい）する。ことばは表現されているもののひとつの局面、ひとつの間欠的な凝集点にすぎないが、聴くほうは語られたことばへと注意を収斂（しゅうれん）させ、微視化してゆく。相手が語ることば、わたしの受け答えとともにゆらゆら揺らぎ、つまずき、ころがりもするその不安定なことばが、一本の連続的な線でいわば論理的に、一義的につながれてゆく。こうしてことばの受けとり方が、相手の語りから逸（そ）れてゆく。そしてますます呼吸があわなくなってゆく。いったん、そういうふうに呼吸がぎくしゃくしてくると、それを修復するのはとてもむずかしい。

ことばのやりとりにおける呼吸とは、時間的なものである。時間的な意味での〈間〉が、どういう膨らみをもっているか、どういうあそびやすきまをもっているかが問題である。これについては、やはり精神科医の木村敏が「タイミング」の問題としてとり上げている。

《父との関係がうまくいかない。父と衝突するとかならず調子が悪くなる。〔……〕タイミングがうまくとれない。父にタイミングを狂わされる。父にタイミングで負けている。すこしでも間があくとつけこまれる。人と話していても間がもてなくて、全体の雰囲気よりも早めに出てしまう。いつもフライングをしている感じで、リズミカルに行かない。自分がキープできない。間がもてないから、行動がスムースに行かない。家で両親に対してだまっていた方がいいのかしゃべった方がいいのかわからない。しゃべろうとするときフッとそれを抑えるので、そのうちに話題が変わってしまってタイミングがずれる。》

《タメがないから加速度的に早くなって、パッパッと出ていく。待っていると苦しい。あせるというより、ふわっと出てしまう。自分の中で満たされないうちに出ていく。フライングみたい。全体の状況がつかめないからパッと出てしまう。》

（『偶然性の精神病理』）

これは、木村自身が長期間にわたって治療にあたっている患者の面接記録から引かれているものだが、木村はここで「タイミング」ということばを問題にする。「タイミング」というのはタイム（時間）が動詞化したかたちで、「好時機に行なう、ジギに合わせる、ヒョウシを合わせる」といった意味をもつが、英語では本来それほど固定した概念としては用いられていないらしいこの外来語が、日本語ではとても重要な意味を負わされ、日常的に使用されているという奇妙な事実に着目するのである。

「間がもてない」、「フライングをしている感じ」……これらのことばのなかに、タイムがアクチュアルに「タイムする」その一瞬の微妙な動きをとらえる固有の感覚を、木村は見てとる。対象化可能な客観的な時間としてではなくて、まさに「こ

2

う、ジギに合わせる、ヒョウシを合わせる」といった意味をもつが、英語では本来それほど固定した概念としては用いられていないらしいこの外来語が、日本語ではとても重要な意味を負わされ、日常的に使用されているという奇妙な事実に着目するのである。

「間がもてない」、「フライングをしている感じ」……これらのことばのなかに、タイムがアクチュアルに「タイムする」その一瞬の微妙な動きをとらえる固有の感覚を、木村は見てとる。対象化可能な客観的な時間としてではなくて、まさに「こと」としての時間、「アクチュアリティ」としてはたらきだしている出来事としての時間を、「タイミング」という表現のなかに読むのである。

「タイミングの時間はつねに間主観的相互行為の場面でのみ発生する。静止した対象から距離をとってこれを認識している主観にとっては、タイミングが問題になるようなことはない」。こう木村はいう。言いかえると、タイミングを「間主観的な界面現象」としてとらえ、その場所ではじめてそのつど主体というものが成立するのだという。そういう伸縮可能な弾性をもった（つまりあそびのある）〈間〉、それを生きることではじめてわたしが「わたし」としてイジされるような場である。ちなみにドイツ語でも、たとえば歯車などのすきまのことを「あそびの空間」（Spielraum）という。

この議論でとくに興味をおぼえるのは、静止した対象との関係においてはタイミングは問題にならないという点である。動いているものと動いているものとの関係、そのなかで「まるで空中ブランコの妙技のように、一瞬の〈間〉を捉えて相手に即応する」、まさにその臨機応変のやりとりが、タイミングと呼ばれていることである。そして動くものどうしのあいだのやりとりであるということは、関係のあり方をあらかじめ設定することはできないし、その行方をあらかじめ読みとるこ

3

ともできないということである。まるで海図のない航海のようにして会話ははじまるということである。

ところで、タイミングにおける一致、あるいはずれはどのように意識されるのか。これについてことばを費やして語りつくすのはむずかしい。たとえば芸事や職人技というのは、舞であれ音曲であれ書画であれ、あるいは建築であれ作庭であれ、時間をかけて、文字どおりからだで憶（おぼ）える技（メチエ）であって、そのメカニズムをことばに置き換えるというのは至難の業である。それは、だれが、いつ、どこでというような偶因性を孕（はら）んではじめて完成される芸であり技であるからであり、だれかにまさに受肉したものとしてあるからであって、したがってその普遍的な規則を記述することは蓋然的にしか可能でない。普遍化できないもの、それが言語を拒むという面がたしかにあるのである。ところが他方で、その芸、その技は可変的なものであり、そのつどの状況に臨機応変に対応しうるしなやかさをもちあわせており、そのかぎりでなんらかの一般性をもつ。自動車が替わっても（右ハンドルから左ハンドルに替わっても）すぐに順応できる一般性であり、パソコンの機種が変わってもオルガンの鍵盤や音管の設（しつら）えが違ってもしばらくすれば以前と変わりなくキーボードを叩き、演奏できる、そういう一般性である。身体使用の特定の技法とかその習慣づけといったものはつねに、あらゆる状況に変換可能なこの一般性によってささえられるのである。

重要なことは、この普遍化不可能な一般性が、ひととひととのあいだで形成されるということである。教える／習うという身体技法の伝承がそうであり――これは芸事や職人技にかぎらず、ごく日常的な知覚やふるまい、ショサ一般にいえることである――、なによりも会話というかたちでの考えや思いの交換のばあいは、そのシンクロナイズィングな呼応（同調・同期性）がケンチョな仕方であらわれる。しかも関係の相手は、そのときどきで変わる。したがって、関係の様態そのものが変わるのである。そういう場面ではたらく一般性は、ローカルな一般性であり、ある特定の間身体的な関係に限定された一般性であって――「あのひとといるときは楽だ」といったことばをわたしたちはよく口にする――、そのかぎりで普遍化できないものである。

もう一点、先の患者さんの面接記録のなかで気になるのは、「すこしでも間があくとつけこまれる」という表現だ。ここでは〈間〉は、じぶんの存在がほつれや破れとして、あるいは他人がそこから侵入してくるすきまや穴として意識されている。じぶんの囲い、じぶんと他人とを隔てる境界が、侵犯されることとして意識されている。自他の〈間〉が自他を隔てる壁として意識されているわけで、それが空くとそこからつけ込まれるので、ことばの渦でその〈間〉を埋めてしまおうというわけだ。こうして憑（つ）かれたように口を動かしはじめる。

しかし、〈間〉というのは、そこにじぶんをあずけることによってじぶんの枠を緩めたり、眼の前にいる他者のその他者としてじぶんを感じたりというふうに、そこにおいてじぶんが揺さぶられ、また捏（こ）ねられ、あらたなかたちをあたえられる、ときにはそこでじぶんを休める、いわば自己調整の場ではないのだろうか。わたしたちはコミュニケーションといえば、意思の一致、つまりコンセンサス（合意）をイメージするが、もしコミュニケーションを動機づけているものが、そのなかで各人が他者の存在とともにその前にいま疑いもなく存在するものとしてじぶんを感じることにあるとするならば、そこにおいてもっとも重要なことは、他のひと、じぶんとは異なる他なる存在をそこにありありと感受するということであろう。他者との差異に深く思いをいたすことで、じぶんという存在の輪郭を思い知らされることであろう。つまりそれは、〈他〉な

4

ときにはそこでじぶんを休める、いわば自己調整の場ではないのだろうか。わたしたちはコミュニケーションといえば、意思の一致、つまりコンセンサス（合意）をイメージするが、もしコミュニケーションを動機づけているものが、そのなかで各人が他者の存在とともにその前にいま疑いもなく存在するものとしてじぶんを感じることにあるとするならば、そこにおいてもっとも重要なことは、他のひと、じぶんとは異なる他なる存在をそこにありありと感受するということであろう。他者との差異に深く思いをいたすことで、じぶんという存在の輪郭を思い知らされることであろう。つまりそれは、〈他〉なるものをとおした自己の経験として、意思の差異というよりもむしろ存在感情の差異とでもいうべきもの、あるいは感受性や思考のはたらきだし方の微妙ではあるが深い差異をこそ感受するものでなければならない。

タイミングが、間が、うまくとれないとき、ひとはじぶんが発したことばで自他のすきまを埋めようとする。そうして、息せき切ったように話しながら、ほかならぬそのことによってじぶんが撒（ま）いたことばの集積のなかに閉じこもる。すると、じぶんをささえてくれるはずの他者との接触が、自己を侵犯してくる暴力へと裏返ってしまうことになる。

鉋（かんな）くずのあいだに卵をならべた箱を想像してみよう。ひとつひとつの壊れやすい卵を、空気をはらみ、かつそれじたいがしなりをもった鉋くずによって、弾力性ゆたかに包み込む。〈間〉というものがもし、この鉋くずのようなものだとしたら、〈間〉の欠如（間がもてない、間がとれない）というのは、クッションのない卵の箱のようなものだということになる。箱の揺れとともに、固くてもろい表面がじかにごつんごつんと当たり、押しあいながら、やがてその表面にひびが入ってくる。

それにしてもなぜ、〈間〉というものが自他のあいだには必要となるのだろうか。ある程度の伸縮が可能な、クッションのような緩衝帯が。あそびの間がないところでは、微動や揺らぎが起こらない。あらゆる契機がきちっとボルトでとめたよ

うに緊密に関連していれば、骨組が少したわんだだけで全体にひびやひずみが入ってしまう。揺らぎを許容するすきまが、剛性ではなく柔性が、ひとの存在にしなりやたわみといった、少々のことではポキッと折れないしなやかな強さをあたえる。こういった建造物とのアナロジーでいえば、自他のあいだですべてのことばが、すべてのふるまいが、記号として緊密に嚙みあっていたら、わたしの思いの（じぶんでも気づいていないこともある）ごく微細な揺らぎやためらいですら、相手に影響をあたえ、そこから何らかの反作用が返ってきて、じぶんを縛ることになる。ことばがことばに反応し、いったいだれが話しているのかさえよくわからなくなってくる。

逆に、〈間〉が大きすぎ、その隔てがほとんど壁のようになっているばあい、ことばは形式だけのやりとりになり、ことばがたしかに相手にとどき、そしてその存在の奥深くに浸透してゆくということが起こりえなくなる。できることなら、他者の面前から逃れたいという居心地のわるさだけが、語らいのなかから浮きだしてくる。で、自己のうちへと撤退するわけであるが、じぶんのうちをいくら覗き込んでも、なにかこれがじぶんだ、といえるようなものに出会えるわけではない。自己の同一性、自己の存在感情というのは、日常的にはむしろ、（眼の前にいるかいないかとは直接は関係なしに）他者によって、あるいは他者を経由してあたえられるものであって、自己のうちに閉じこもり、他者からじぶんを隔離することで得られるものではない。他者から隔離されたところでは、ひとは〈自己〉を求めて堂々めぐりに陥ってゆく。みずからの尾を吞み込みつづけるウロボロスの蛇のようなグロテスクなかたちでしか、じぶんにかかわれなくなるのだ。

このように、ある〈間あい〉のおかげで、他人との関係の少々の齟齬やずれが、決定的なダメージにならなくてすんでいるのである。

（鷲田清一「『聴く』ことの力　臨床哲学試論」より）

問一　「間欠」の意味として、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。[1]

1 連続　2 断続　3 間接　4 間隔　5 間隙　6 継続

問二　「微視化」とあるが、それに最も近い意味の慣用表現を次の中から一つ選べ。[2]

1 うの目たかの目　2 木を見て森を見ず　3 石橋をたたいて渡る
4 百聞は一見にしかず　5 目からうろこが落ちる　6 針の穴から天をのぞく

問三　「興味」とあるが、「興」を用いた語句として**適当でないもの**を次の中から一つ選べ。[3]

1 振興　2 感興　3 興亡　4 興行　5 興異　6 興趣

問四　「臨機応変」の言い換えとして、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。[4]

1 一喜一憂　2 丁丁発止　3 当意即妙　4 好機到来　5 冷静沈着　6 泰然自若

問五　「語りつくす」とあるが、これと異なる意味で「つくす」が用いられているものを次の中から一つ選べ。
[5]

1 手をつくす　2 食べつくす　3 焼きつくす
4 親につくす　5 親切をつくす　6 論じつくす

問六　「蓋然」の反対を意味する語句として、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。[6]

1 必然　2 未然　3 偶然　4 超然　5 漠然　6 歴然

問七　「堂々めぐり」の意味として、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。[7]

1 目づまり　2 気づまり　3 息づまり　4 行きづまり　5 押しつまり　6 とどのつまり

問八　「ジギ」「ヒョウシ」「イジ」「ショサ」「ケンチョ」の漢字と、同じ漢字を含むものを次の中から一つ選べ。[8]～[12]

エ　1 イギ深い試み　2 ギムを果たす　3 上手なエンギ
　　4 ベンギをはかる　5 ギモンを呈する　6 証言のシンギを問う

オ　1 ハクガイを受ける　2 犯行をジハクする　3 ハクヒョウを踏む思い
　　4 旅館にシュクハクする　5 勢いにハクシャをかける　6 実力がハクチュウしている

カ　1 イゲンを保つ　2 イケイする先輩　3 イサンを相続する
　　4 仕事をイタクする　5 イミンを受け入れる　6 明治イシンについて調べる

シ　1 仕事をホサする　2 シサに富んだ言葉　3 サクイ的なふるまい
　　4 経歴をサショウする　5 農民をサクシュする　6 精神がサクランする

ス　1 ケンシン的な働き　2 犯人をケンキョする　3 意見をケンゲンする
　　4 ケンビキョウで調べる　5 ケンメイな判断をする　6 博物館をケンガクする

問九　「あそびやすきま」とあるが、それはどのようなことか。次の中から最も適当と思われるものを一つ選べ。
[13]

1 存在感情の差
2 伸縮可能な弾性
3 間身体的な関係
4 対象化可能な時間

5 間主観的な相互性
6 臨機応変なやりとり

問十　「普遍化不可能な一般性」とあるが、それはどのようなことか。最も適当なものを次の中から一つ選べ。
[14]

1 言語化を拒むことはできないが、身体使用の特定の技法がつねにあらゆる状況に変換可能であること。
2 言語化を拒むことはできないが、タイミングにおける一致やずれを意識せずしなやかにふるまうこと。
3 言語化を拒むことはできないが、その時々で関係の相手がどのように変わろうとも、やりとりができること。
4 ことばに置き換えることはできないが、時間をかけて身につける技は偶因性をこえた規則性をもつこと。
5 ことばに置き換えることはできないが、その時々で変わる関係の対象に対応しうるしなやかさをもつこと。
6 ことばに置き換えることはできないが、じぶんの存在のほつれや破れを他人による侵入として意識すること。

問十一　「〈他〉なるものをとおした自己の経験」とあるが、それはどのようなことか。最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。[15]

1 他者との接触が自己への侵犯へと反転すること。
2 他者との差異が自己の同一性を覆すということ。
3 自己の感情が他者の応答で左右されるということ。
4 他者との隔たりが自己の感情を悩ませるということ。
5 自己の同一性が他者を経由して与えられるということ。
6 自己の行為が他者との差異によって判断されるということ。

造形構想学部
一般選抜 学部統一方式 学力試験

問十二　本文の内容に合致するものを、次の中から二つ選べ。[16]（[16]の欄に、二ヵ所マークすること）

1 間が近くなると、自他の関係の柔性が失われ、ひずみが生ずる。
2 間が近くなると、人間関係が緊密になり、自他の意識が消失する。
3 間が近くなると、タイミングを間主体的な界面現象としてとらえ、主体が成立する。
4 間が大きくなると、自己の内に閉じこもり、他者から隔離されるようになる。
5 間が大きくなると、ことばのやりとりの形式性がなくなり、剛性がたかまる。
6 間が大きくなると、他者から自己が乖離し、他人との関係のずれが修復できなくなる。

〔二〕次の文章を読んで、後の問に答えよ。

相撲が始まるとテレビの前に座る。両国でやっている時は一度は出かける。生の相撲は思いのほか速いので、息を吐きながら身を軽くする感じで乗り出して、眼を大きくして見る。少し油断をすると、見ていても土俵で起きたことを見逃す。何が起こったのかわからないままになる。テレビだと勝負は再生されるのでそれを見ればいいが、国技館ではどこを探しても再生画面はない。一つの相撲が土俵で消えたような空白を見ることになる。

物と身体の動きを同時に見るということを仕事にしている。三年前にはしばらく靴下を履くところを見た。はじめは何が何だかわからなかった。ただ靴下が足先に履かれていく、それだけしか見えない。それだけでも別に困らない。だが、それだけではないはずだと思い続けて半年近く見た。しばらくして、幼児が靴下を履いているところを見たことをきっかけにして、靴下を履くということが少しわかった。

靴下を履く時には四種の意識が現われる。ここで意識というのは、頭の中であれこれめぐる「意識」のことではない。ここでいう意識とは身体の動きを周囲の物に繋ぎとめていることである。それはいわば行為と物のあいだに現われてくるヒモのようなことである。

一つは動揺の意識である。大人はたいがい立ったまま靴下を履くが、片足で立ったまま靴下を履こうとすると身体が動揺する。床やイスに座っても、壁に手をついて支えても、どのような姿勢をとっても靴下を履こうとする時には全身は動揺する。この動揺が第一の意識である。動揺の意識は靴下と身体を繋いでいる一つのヒモである。このヒモが切れないようにすること、つまり開始した動揺が転倒に至らないようにすることをこの意識がしている。幼児はたいがい座って靴下を履く。それはそうすると動揺を止める太いヒモを作り出せるからである。

第二の意識は全身を曲げた時の柔らかさ、しなりである。靴下を履くためには両手を足先まで持っていくか、足先を手元まで持ってこなければならない。胴体は二つ折れになり、しなる。床に落ちている本を立ったままで取るなどという場合にもこのしなりの意識が現われる。

第三は靴下の入り口と手先との接触の意識である。手は靴下の繊維素材、そのくたびれ具合、入り口で脚をシめつける部分の細工などのすべてを無視せずに、靴下の入り口を開いている。この部分にはその靴下の性質がまじまじと集まっている。これらのことが総じて靴下の入り口の意識である。もし靴下の記憶などということがあるのであれば、それはおそらくこの辺りに濃くあるだろう。入り口辺りは靴下の顔である。

最後の、第四の意識は靴下に滑り込む足と、それに拮抗して靴下を保持しつつ、持ち上げる手の両方の意識である。手は靴下を足に入れようと引っ張り上げる、足は靴下に入ろうと押し入る。その両方向の移動が同時に起こり、手足に逆方向に力が入る。その反発調整の具合がここで現われる意識である。

靴下を履く時にはこの四種の意識が同時に起こる。ゆっくり履くなら四つの意識を順序よく体験できる。いそいで履けば四種の意識はほとんど重なり一つになる。身体の動きを分けてみて、四種の意識が一足の靴下を履き終わるまでの時間軸上でどのように現われるかをプロットして、流れを楽譜のように描いたことがある。時間軸を、四種の動きが重なりながらスイイする、そういう譜ができた。履くたびに毎回異なる模様が現われた。どれもが同等に靴下を履くという組織である。どの靴下履きでも四筋の意識の流れが密なパタンを作り出していた。

靴下にかぎらない。物と身体が接触するところには、ここで意識とよぶ物と身体を繋ぐことがどこでも、一個以上は現われている。身体は物を与えられると、その物と一体に動いていく。その一体は、一個の身体と一個の物からなるわけではない。数個に分割する動きと、物の対峙がある。したがって身体が動きで物と関わるところには、細やかに分岐した動きと物とが作る肌理が現われることになる。色で言えば一色ではない。クレーの絵のように、複数色の織物である。少なくとも濃淡の混合がある。

身体は物と複数の意識で絡まり合う。この絡まり方が行為である。靴下には四種の意識がツイストしていた。それが行為の姿である。行為を見る眼にはこの肌理が現われている。

物を主にして言えば、物は身体を分割している。靴下は身体を、動揺、しなり、入り口の接触、手足の引きと押しの拮抗の四意識に分割する。物を扱おうとする身体は分割される。分割の仕方は物ごとに異なる。それは物が身体に強いている。

靴下の四つの意識は、他の物では起こらない。衣服を扱うような場合には、身体はまた異なる分割をこうむるだろう。それがどのような分割であるかは、物でばらけてくる身体をよく見てみなければわからない。

身体は物の分割する力からのがれられない。身体にできることは、分割をそのつど時間の流れに配置することである。この配置された組織が行為である。行為とは物が身体を分割してできた意識が配置された一個の情景である。

靴下を見てからしばらくたって、今度は魚の身が箸で取り去られるところを見た。これもずいぶん長く見た。論文にまとめるために、二週間、六枚の鯵の干物が解体されてゆく過程ばかりをビデオで見た。箸の動きはあまりに多様で靴下の時のようにそれを幾つかに分類することは不可能に思えた。とりあえず魚の体に起こる変化を見ることにした。

解体されてゆく魚は箸で分割されていた。靴下の時には身体の分割が見えた。魚の時には物の方の分割が見えた。身体のする物の分割ということについて考えた。

物と身体には規模の差がある。両者では大きさと持続とが異なっている。持続というのは普通は固さと言われていることである。大きさと固さの差が分割のきっかけとなる。身体と物の大きさと固さをすり合わせることが分割である。

例えば山という物を行為は数万のステップに分ける。頂上に登ることは、山をステップで数万に分割することである。これは両者のサイズに大きな対比があるせいで起こることであり、また山が身体よりも固くて、長い分割の時間のあいだ、続けて存在していられるから可能になることでもある。大きさと固さが山を山にしている性質である。

物が小さくても同じである。一口には余る程度の大きさの饅頭を食べる時、口はそれを分割する。この場合も饅頭の大きさと固さが分割の性質を決める。

流れ続ける水のような液体を扱う時、固い容器を用意してきて水を分割する。流れる液体に粘性がある時には、器ではなく、手を器の形にしてそれで液体を分割することもできる。

身体が関わると物は分割される。山も饅頭も水も何もかもが分割される。繰り返すが分割がどのようになされるかは身体と物との大きさと固さの比が決めている。固さとは食べやすさとか、粘り気とか、温度などと言われている物にある持続の性質のことである。身体にもその性質はある。それが物を分割する一つの基準となる。

国語　英語　数学　解答

　実は人は周りを身体と同程度の大きさと固さの物で囲っている。それほど固くない、それほど流れない、それほど小さくない、大きくない、そういう物をあちこちから探してきて周囲に配置している。身体にそぐった中程度の大きさと固さを人は好んでいる。おそらくそうすることで、物を扱う以上どうしてもしなくてはならない分割を楽にしている。料理は物を中程度の大きさと固さにすることである。建築は周囲を中程度の大きさと固さで囲うことである。デザイナーとは中程度の大きさと固さに通暁（キ）した人のことである。

　人は分割の労を惜しんで中程度のサイズと固さの物を周囲に集めてきた。ほぼ毎日そのことばかりしている。しかし時にはこの中程度の物と関わることに飽いて、法外（ク）に大きな山や、流れるばかりの川や海に出かけていく。特別に固い、凍った氷上に、固い鉄製の道具を足につけてわざわざ転ぶために出かける。そこで液体の持続がいつも変化していることを確かめる。

　昨年は魚の全身から箸が身を取るところばかりを見た。まず魚がほぼ二つのことに分割されることがわかった。それは「身」と「身を取るための妨害物」、つまり骨や皮などの二種であった。一匹の魚は数十個の身と妨害物に分割されていた。しばらく見ていて、箸の分割がもう一種の魚を扱っていることがわかった。箸は魚の身体を探索しながら時々は魚全体の皿上での配置を変えていた。箸は「魚全体」も扱っていた。

　魚全体が動く度に、魚と身体との定位が更新する。この魚全体と身体の定位を変更し続けることは、妨害物を排除しながら魚の身を取る過程に何度も織り込まれていた。身を取ることに習熟することは、この魚全体の扱いを、身を取る過程に入れ子にして（ケ）、取られてくる身の質を上げることであった。定位を変えながら身を探索すれば、妨害物とうまく分離した身だけという単位を扱うことができるようなのであった。

　身体と物には大きさと持続に差がある。身体は物を瞬時には扱えないので物を分割する。ところがこの過程には大きな問題が起こる。身体が物に分割をしかけると、物は当初の姿を変えてしまう。分割を始めると物の姿が刻々と変わる。にもかかわらず身体は物のもともとがどのようであったのかを、分割の過程で知り続けていなくてはならない。そうでなければ身体は分割の筋道を見失う。山の一歩一歩への分割それ自体は容易である。しかし、人が山全体を見失わないようにすることには技術がいる。山全体へ定位していなければ分割は頂上に達することができない。ソウナン（コ）という分割の中止もある。山の場合は見上げれば頂上があり、斜面も沢もある。幾つもの「全体」がある。饅頭ではそうはいかない。饅頭を二つにすると当初の一つの饅頭はまったく失われてしまう。饅頭を食べる人はたまにその割れ口をじっと見る。それで一個の饅頭という物への定位を得るのかもしれない。

　物を分割しつつ扱い、その物が何であるかを知り続ける。そのために行為は注意を分散し続けている。結果として物に特有の定位を埋め込んだ分割の過程（サ）が発明されてくる。魚の身を取る場合の定位の方法は、魚の姿全体の配置を調整することであった。手は定位を混合して分割を進めることで、あざやかに分けられた身を魚に発見できるようになった。

　三年ほどかけて靴下と魚を見てきた。物と身体とでどれほどのことが生じているのかについて、少しは知った思いである。ここまで書いてきたようにまとめてしまうと、行為を知るために何か一つの方法が用意されているように思われるだろう。しかし、逆である。物と行為を見れば見るほど、それらで起こることを方法に定着させることの困難を知る。

　何せ、物と行為が作り出す組織は知りえないことを餌にしている。身体に分割されていく物にも、物に分割されていく行為にも、そしてそれらが作り出す組織にも、その一回の行為でしか扱われないことが常に現われる。それが知りえないことである。その知りえないことを、「無知」とよぶことにする。その無知に行為は頓着せずに（シ）、カカン（ス）に物に挑んでいる。行為はそのようにしなければどの物も扱うことができない。というか、行為のエンジンは無知を燃料にしている（セ）。おそらく行為が知っている中心のことは、物など十全に知ることはできないということである。すべてを知っているという満足はおとずれないということを、行為は知っている。どの一回の行為も無知に気づいてたじろぐことがない。行為は無知を予期にしている。行為の原理は無知の隣にある。

　行為を知る方法がないということの見通しは持てた。その眼が相撲を見る。

　相撲は身体が身体を分割することである。熟練した力士の行為は相手を分割するための特別な意識の組織となっている。それを技とか型という。それは他の力士を破壊的に分割する意識の組織である。

　身体は柔軟な物である。型と技がなければおそらく力士と力士の衝突から生まれる組織は多様なだけの散らばりになり、

見ることもできない飛沫（ひまつ）に化するだろう。型と技は相撲で生ずる組織を何とか知覚しうる範囲に接着する装置である。しかし言うまでもなく、相撲に起こることは物と身体に生ずることを越えている。身体は柔軟にその繋がりを変更する組織であり、それは思いがけないほど多種の物の混合物である。通常の物にはありえない組織である。身体はどうしても扱えない窪みをセンザイ（ソ）している。そういうところに力士は二人して飛び込んでいくのである。

　勿論（もちろん）、力士とは徹底的に、無知にあらがうための意識の組織を身体に作り上げてきた者である。にもかかわらず、力士は毎回まるで息をつめて谷底にダイビングするようにして行為を開始する。そのように鍛練した身体も、相撲の無知が扱いきれないことを知っている。一回の勝負は常に無知の奈落に入る。

　力士は二人して、どうしても知りようのないこととして他者の身体がそこにあることを知っている。そういう無知どうしがわずか四メートル五五センチの円の中で対峙させられている。知ろうとして知ることのできないことにどちらも紅潮している。そして二つの無知は時間が来ると決然と猛烈に衝突する。一回の相撲には結局十分な密度のある組織が現われる。二人して無知をぬぐいさろうとした結果である。

　相撲が終わると、いつも何が起こったのかと力士は聞かれる。たいがいは覚えていないと答える。言葉を持たないのは力士だけではない。観客も何も知らない。力士と観客はこの一回の無知を共有したのである。土俵にはいつも無知の空白だけが残る。

（佐々木正人「相撲と無知」より）

問一　「吐きながら（ア）」とあるが、これと異なる意味で「ながら」を用いているものを次の中から一つ選べ。 17

1　靴下を履きながら時計を見る　　2　山に登りながら考え事をする
3　ラジオを聞きながら勉強する　　4　定位を変えながら身を探索する
5　饅頭を食べながらテレビを見る　　6　答えを知っていながらこたえない

問二　「行為（イ）」とあるが、「為」を**用いない語句**を次の中から一つ選べ。 18

1　人為　　2　当為　　3　所為　　4　営為　　5　無為　　6　鋭為

問三　「魚の身（カ）」とあるが、「魚」を用いた語句や慣用句として**適当でないもの**を次の中から一つ選べ。 19

1　水を得た魚　　2　大魚を逸する　　3　魚心あれば水心
4　水魚のまじわり　　5　水清ければ魚住まず　　6　稚魚百まで泳ぎ忘れず

問四　「通暁（キ）」の言い換えとして、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 20

1　内通　　2　払暁　　3　固執　　4　通関　　5　精進　　6　精通

問五　「法外（ク）」の意味として、**適当でないもの**を次の中から一つ選べ。 21

1　格段　　2　望外　　3　過度　　4　極端　　5　無闇　　6　滅法

問六　「入れ子にして（ケ）」の言い換えとして、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 22

1　組み換えて　　2　組み込んで　　3　組み違えて
4　すり込んで　　5　すり寄せて　　6　並べ換えて

問七　「頓着（シ）」とあるが、「頓」を用いた語句として**適当でないもの**を次の中から一つ選べ。 23

1　停頓　　2　頓死　　3　頓知　　4　頓挫　　5　駐頓　　6　整頓

問八　「シ（ウ）」「スイイ（エ）」「ソウナン（コ）」「カカン（ス）」「センザイ（ソ）」の漢字と、同じ漢字を含むものを次の中から一つ選べ。 24 ～ 28

ウ　1　味をシめる　　2　朝露でシめる　　3　カギをシめる
　　4　座席をシめる　　5　洗濯物がシめる　　6　大部分をシめる

エ　1　スイマに襲われる　　2　街がスイタイする　　3　業務をスイコウする
　　4　スイキョウな考え方　　5　スイチョクに落ちる　　6　実験結果からスイロンする

コ　1　旧友にソウグウする　　2　作品をソウサクする　　3　制度をソウセツする
　　4　ソウゼツな人生を送る　　5　フィルムをソウテンする　　6　行方不明者をソウサクする

ス　1　計画をカンコウする　　2　辞書をカンコウする　　3　写真がカンコウする
　　4　景勝地をカンコウする　　5　諸事情をカンコウする　　6　村のカンコウにならう

ソ　1　センケンの明　　2　センサイな表現　　3　センレツな印象
　　4　センガクを恥じる　　5　過去をセンサクする　　6　隠れ家にセンプクする

問九　「物は身体を分割している（オ）」とあるが、その説明として最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 29

1　身体は物を与えられると、意識を順序よく体験でき、物と身体をつなぐことができるということ。
2　身体は物を与えられると、その物の大きさと固さにしたがって、毎回異なる行為をするということ。
3　身体は物を与えられると、身体が物を分割してできた意識が配置された情景を描き出すということ。
4　身体は物を与えられると、その物の影響を受けて、自律的で自由に動き出そうとする意識をもつということ。
5　身体は物を与えられると、その物と一体に動いていくことで、相互に分離した細やかな動きをするということ。
6　身体は物を与えられると、その物と一体に動いていくことで、分岐した動きに対応する意識が現われるということ。

問十　「物に特有の定位を埋めこんだ分割の過程（サ）」とあるが、その説明として最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 30

1　妨害物を排除しながら物を探索するということ。
2　物と身体の間の定位を変えずに物を探索するということ。
3　分割の作業を始めると物の姿が刻々と変わるということ。
4　分割の作業を始めると物が中程度の大きさと固さになるということ。
5　物全体のあり方を知り続けながら分割の作業をしていくということ。
6　身体と物の大きさと固さをすりあわせながら分割の作業をしていくということ。

問十一　「行為のエンジンは無知を燃料としている（セ）」とあるが、その説明として最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 31

1　行為するとき、身体が分割の筋道を見失うということ。
2　行為を知るために一つの方法が用意されているということ。
3　予期できないことを糧として、行為はなされているということ。
4　力士のエネルギーは技や型についての無知からくるということ。

5　行為において起こることを方法に定着させるのは困難であるということ。
6　行為において起こることは、知識のないことを前提としているということ。

問十二　本文の内容に合致するものを、次の中から二つ選べ。 32 （ 32 の欄に、二ヵ所マークすること）

1　相撲では、身体としての他者が分割されている。
2　相撲では、無知としての他者が分割されている。
3　相撲では、意識としての他者が分割されている。
4　身体が物を分割するのは、物の姿が刻々と変わるためである。
5　身体が物を分割するのは、物が中程度のサイズと固さをもつためである。
6　身体が物を分割するのは、身体と物の大きさや持続に差があるためである。

英語（80分）

1 2

［問題Ⅰ］次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。

What's your next purchase going to be? Did you think of a product, such as a new teapot or sweater? Or did you just think of a company name? Maybe you are planning on getting the next Apple iPhone or taking a quick shopping trip to your favorite store. Perhaps you really like the company that makes the product. In fact, maybe you choose what you're going to buy based on the brand name. If your response was more in line with the latter, your answer confirms what businesses already know: (1)_____.

The history of business goes hand in hand with the history of marketing. If you have something to sell, you need to make people aware of it. (2)As more businesses begin to sell the same product, competition for customers for that product increases. Whether it's another restaurant or type of shoe, you need to market your product and position it so people know why they should buy it instead of another. Corporate logos can be traced back to the 1880s when businesses attached a personality to the product. Many point to the introduction of television in the 1950s and 60s as the beginning of modern advertising. Suddenly, businesses had a captive* audience to market to. With a small selection of TV channels available, businesses could reach large audiences, and company logos reached iconic* status in the 50s and 60s. Think of the red and white Coke label or the competing Pepsi symbol. The 1980s and 1990s brought another revolutionary change to product competition and marketing. Cable and satellite TV increased the number of channels and programs available to people. The large audiences became fragmented*. Marketing became even more essential, and businesses competed for consumers by attracting more and more famous names to the product. TV ads became clever, funny, and interesting.

But businesses also began to recognize something else: branding is more than licensing a logo, more than a good laugh in a 30 second TV spot. [A] It's about establishing a real relationship with the consumer and establishing a reputation. Why is it that the world consumes more than 1 billion Cokes each day? [B] Coke has been able to enter foreign markets and compete with local products. Part of this is due to the company's ability to advertise locally. [C] The other part of this equation* is not *how the company advertises*, but *what the company does*. Coke sponsors sports events, economic development, scholarships, and other education projects. [D] It's establishing itself in South Africa as a business with a conscience and a company that lends a helping hand.

In the 1990s, Nike learned the importance of competing with a conscience when people found out that their products were being manufactured in sweatshops*. Customers were angry. They didn't want to buy from a company that supported child labor and unhealthy work conditions. Since then, Nike has had to invest a lot of money in rebuilding its reputation.

And rebranding a company takes a lot of money. Just ask Apple. During the late 1980s and 1990s, Apple increased its advertising budget from 15 million to 100 million U.S. dollars. (3)_____, Apple became the largest computer company in the world. Apple changed its logo and message. It built an advertising campaign centered on people. Mark Gobe, author of *Emotional Branding*, described Apple this way: "It's like having a good friend. That's what's interesting about this brand. Somewhere they have created this really humanistic, beyond-business relationship with users and created a cult-like* relationship with their brand. It's a big tribe, everyone is one of them. You're part of the brand." Like Apple, other companies recognize the bond that people form with certain brands. For instance, the Swedish furniture company IKEA produces the most widely read catalog in the world. This company has become a big hit in Europe and Africa, where the blue and yellow IKEA logo represents modern furniture design at an affordable cost. Naomi Klein, author of the book *No Logo*, best summarizes the phenomenon of branding: "brands (4)conjure a feeling." They have an identity, and people define themselves through these brands.

［注］ captive = 捕らわれの　iconic = 象徴的な　fragmented = 分散された
equation = 方程式　sweatshop = 搾取工場　cult-like = カルト的な

Rubin, Bruce. *Inside Reading 3*. Oxford University Press, 2012 より引用：一部改編

Reproduced by permission of Oxford University Press from Inside Reading 2e Student Book 3 by Bruce Rubin © Oxford University Press 2012.

3 4

1. 下線部（1）に入れるべきものとして最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 1
① they have to research what kind of products consumers want
② they are selling brands, not products
③ they have to ensure that their products are available in popular stores
④ they are not spending enough on advertising

2. 下線部（2）の言い換えとして最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 2
① Customers have to actively compete for a company's products when that company's brand becomes more popular.
② As one company's brand increases in popularity, customers start purchasing fewer of the same product made by other companies.
③ Companies have to fight more aggressively for customers when they start releasing the same product in the market.
④ When businesses actively compete for the same customers, their products begin to experience increases in sales.

3. 以下の文は、第3パラグラフの [A] [B] [C] [D] のどこに入れるのが最もふさわしいか。その番号をマークしなさい。 3

In cities in South Africa, for example, a relatively new market for Coke, nearly every store has a Coke sign.

① [A] ② [B]
③ [C] ④ [D]

4. 下線部（3）に入れるべき最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 4
① As a consequence ② In the same way
③ For example ④ To be more specific

5. 下線部（4）の conjure と同じ意味として最も適当なものは、次のうちどれか。その番号をマークしなさい。 5
① contain ② understand
③ imitate ④ produce

6. 本文に述べられている（A）（B）（C）が体験した事例は、①～③のどれに似ているか。その番号をマークしなさい。
(A) Coke 6
(B) Nike 7
(C) Apple 8

① In Thailand, Toyota has implemented the White Road Campaign—"white roads" means "safe roads" in Thai—since 1988, and as part of this campaign, Toyota has opened facilities at which children can learn about traffic safety in a practical manner.

② In order to increase sales, McDonald's underwent a costly rebranding, which included remodeling store interiors to be more stylish and creating more modern packaging designs.

③ Volkswagen, the German car manufacturer, had to overcome a scandal (involving dishonest reporting of how much carbon dioxide (CO_2) some of its cars were releasing into the environment) that damaged the company's image.

5 6

7. 次の（A）～（D）のうち本文の内容と一致するものは、いくつあるか。その番号をマークしなさい。 9
(A) Because the TV audience increased greatly after the introduction of cable and satellite television, companies created more interesting TV ads.
(B) The importance of logos in marketing has decreased over time.
(C) Mark Gobe would agree that the key to Apple's success has been its innovative products.
(D) Consumers develop an emotional attachment to brands and use them as a way to express their own identities.
① 1 ② 2
③ 3 ④ 4

8. 次の①～⑥について、本文の主要な考えを示すものには1を、主要な考えを支える細かな説明には2をマークしなさい。
① Making consumers aware of your product is a vital part of marketing. 10
② The introduction of television in the 1950s and 60s had a great impact on marketing. 11
③ In order for a business's brand to be successful, it has to establish a good reputation. 12
④ Rebranding a company can be extremely expensive. 13
⑤ IKEA's advertising, which emphasizes the brand's design and affordability, has contributed to its success in many countries. 14
⑥ Establishing a real bond between a brand and consumers is a key factor in brand success. 15

［問題Ⅱ］次の会話を読んで、下の設問に答えなさい。

A: Thank you for coming to my office today. You didn't have any difficulty finding my office, did you?
B: (1)_____.
A: I'm glad to hear that. Well, please come in, (2)_____, and make yourself comfortable.
B: Thanks. It's great that we can finally discuss our project proposal (3)_____ instead of just talking over the phone or using online devices.
A: (4)_____, so I really appreciate your taking the time to come to my office today. Why don't we get started? I've been looking forward to hearing your latest ideas.
B: Sure. But before we do, would you mind if I plug my computer into the outlet by your chair? It's is running out of power, and I keep all my notes on it.
A: Not at all. (5)_____.
B: I appreciate it.

1. 下線部（1）に入れるべき最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 16
① No, I didn't have any trouble ② No, I got lost
③ Yes, I didn't experience problems ④ Yes, I couldn't find my way

2. 下線部（2）に入れるべき最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 17
① book a seat ② have a seat
③ keep your seat ④ stay seated

3. 下線部（3）に入れるべき最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 18
① by face ② by person
③ in face ④ in person

7 8

4. 下線部（4）に入れるべきものとしてふさわしくないものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 19
① Likewise ② Me too
③ Same here ④ So can I

5. 下線部（5）に入れるべきものとしてふさわしくないものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 20
① Be my guest ② Keep it up
③ Go ahead ④ Please do

［問題Ⅲ］次の各文の空所に入れるべき最も適当なものを、それぞれに与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。

1. The woman is well known (　) her excellent paintings, which can be seen in museums around the world. 21
① as ② for
③ to ④ with

2. I wonder how such a strange accident came (　) in this quiet neighborhood. 22
① about ② for
③ with ④ upon

3. I will visit one of my old friends (　) staying in Tokyo. 23
① during ② for
③ since ④ while

4. His essay is so good that he must (　) hard on it for many days. 24
① have to work ② have worked
③ had worked ④ having worked

5. As I could not (　) anybody to go with me, I went fishing by myself. 25
① get ② have
③ let ④ make

6. We were very disappointed at (　) to the conference. 26
① not his coming ② his not coming
③ him coming not ④ not him coming

9

7. Tell me all the people (　　) you know in this area. 27
① what ② which
③ whose ④ that

8. There are usually many people walking along the street, but today there aren't (　　). 28
① any ② much
③ some ④ no

9. He kept on (　　) although nobody was listening to him. 29
① talk ② to talk
③ talking ④ to be talking

10. We had reached the restaurant before it (　　) raining. 30
① starts ② started
③ has started ④ had started

10

［問題Ⅳ］次の各文が正しい英文になるように、下に与えられたものを並べかえたときに、（A）（B）（C）（D）（E）に入るものの番号をマークしなさい。

1. What (　　)(　　)(　　)(A)(　　)(　　) we do not know?
A－31
① discussing ② is
③ the ④ of
⑤ what ⑥ use

2. On (　　)(B)(　　)(　　)(C)(　　) the door.
B－32 C－33
① you ② should
③ without ④ locking
⑤ no account ⑥ leave home

3. My son said (　　)(D)(　　)(　　)(E)(　　).
D－34 E－35
① a dreamy ② with
③ something ④ his face
⑤ smile ⑥ on

数学（80分）

1

問題 I 次の(1)～(4)の各問に答えよ。

(1) $A = 6x^2 + 11xy + 3y^2 - 14x - 7y + 4$ を因数分解すると、
$A = (\boxed{ア}x + y - \boxed{イ})(\boxed{ウ}x + \boxed{エ}y - \boxed{オ})$ であり、
$x = 1$、$y = \dfrac{1}{6 + 3\sqrt{5}}$ のとき、$A = \dfrac{\boxed{カキク}}{\boxed{ケ}}$ である。

(2) x、y を整数とする。1000以下の自然数 N が $N = 5x + 2 = 13y + 5$ を満たすとき、最小の N は $\boxed{コサ}$ であり、最大の N は $\boxed{シスセ}$ である。

(3) $\begin{cases} 2\sin x + \sin y = \dfrac{5\sqrt{3}}{4} \\ \cos 2x + \cos 2y = -\dfrac{1}{8} \end{cases}$ $\left(0 < x < \dfrac{\pi}{2},\ 0 < y < \dfrac{\pi}{2}\right)$ のとき
$\sin x = \dfrac{\sqrt{\boxed{ソ}}}{\boxed{タ}}$、$\sin y = \dfrac{\sqrt{\boxed{チ}}}{\boxed{ツ}}$、$\sin 2y = \dfrac{\sqrt{\boxed{テト}}}{\boxed{ナ}}$ である。

(4) $a_1 = 11$、$a_{n+1} = (a_n)^2 + 10a_n + 20$ $(n = 1, 2, 3, \cdots)$ を満たす数列 $\{a_n\}$ に対し、
$b_n = \log_2(a_n + 5)$ とする。
このとき、数列 $\{b_n\}$ は $b_1 = \boxed{ニ}$、$b_{n+1} = \boxed{ヌ}b_n$ $(n = 1, 2, 3, \cdots)$ を満たし、
$a_{10} = \boxed{ヌ}^{\boxed{ネノハヒ}} - \boxed{フ}$ である。

2

問題 II 3枚のコインと1個のサイコロがある。最初に3枚のコインを同時に投げ、表が出た枚数と同じ回数だけサイコロを振る試行において、サイコロの出た目の和を S とする。ただし、1回もサイコロを振らない場合は $S = 0$、1回だけサイコロを振る場合は出た目を S とする。

(1) $S = 0$ となる確率は $\dfrac{\boxed{ア}}{\boxed{イ}}$ である。

(2) $S = 12$ となるのは、表が2枚で出た目がともに $\boxed{ウ}$ のとき、または表が3枚で、出た目の組合せが $\boxed{エ}$ 通りのときである。
したがって、$S = 12$ となる確率は $\dfrac{\boxed{オカ}}{\boxed{キクケコ}}$ である。

(3) $S = 6$ という条件の下で、コインの表が出た枚数が1枚である確率は $\dfrac{\boxed{サシ}}{\boxed{スセ}}$ である。

問題 III 四角錐 O－ABCD において、底面 ABCD は1辺の長さ6の正方形で、
OA = OB = OC = OD = 6 である。また、辺 OB、OD の中点をそれぞれ E、F とし、3点 A、E、F を通る平面 AEF と辺 OC の交点を G とする。

(1) 四角錐 O－ABCD の体積は $\boxed{アイ}\sqrt{\boxed{ウ}}$ である。

(2) OG = $\boxed{エ}$ であり、AG = $\boxed{オ}\sqrt{\boxed{カキ}}$ である。

(3) 頂点 O から平面 AEF に垂線 OH を下ろすと、OH = $\dfrac{\boxed{ク}\sqrt{\boxed{ケコ}}}{\boxed{サ}}$ である。

(4) 四角錐 O－AEGF の体積は $\boxed{シ}\sqrt{\boxed{ス}}$ である。

問題 IV O を原点とする座標空間に3点 A$(-1, 1, 0)$、B$(-1, 0, 1)$、C$(0, 1, 1)$ がある。

(1) $\overrightarrow{AB} = (\boxed{ア}, \boxed{イウ}, \boxed{エ})$、$\overrightarrow{AC} = (\boxed{オ}, \boxed{カ}, \boxed{キ})$。
$\overrightarrow{AB}$ と $\overrightarrow{AC}$ のなす角は $\boxed{クケ}^\circ$ である。

(2) 点 A から直線 BC に垂線 AH を下ろすと、$\overrightarrow{AH} = \left(\dfrac{\boxed{コ}}{\boxed{サ}}, \dfrac{\boxed{シス}}{\boxed{セ}}, \boxed{ソ}\right)$ である。

(3) 平面 OBC と平面 ABC のなす角を θ $\left(0 \leqq \theta \leqq \dfrac{\pi}{2}\right)$ とするとき $\cos\theta = \dfrac{\boxed{タ}}{\boxed{チ}}$ である。

3

問題 V 関数 $f(x)$ を、$f(x) = |x^2 - 1| + x + 1$ とし、曲線 C を $y = f(x)$ とする。また、C 上の点 $(a, f(a))$ $(a \neq 1)$ における接線を l とする。

(1) $x < \boxed{アイ}$ または $\boxed{ウ} < x$ のとき、$f'(x) = \boxed{エ}x + \boxed{オ}$ であり
$\boxed{アイ} < x < \boxed{ウ}$ のとき、$f'(x) = \boxed{カキ}x + \boxed{ク}$ である。

(2) $a < \boxed{アイ}$ または $\boxed{ウ} < a$ のとき、l の方程式は、
$y = (\boxed{エ}a + \boxed{オ})x - a^{\boxed{ケ}}$ である。

(3) $\boxed{アイ} < a < \boxed{ウ}$ のとき、l の方程式は、
$y = (\boxed{カキ}a + \boxed{ク})x + a^{\frac{\boxed{ケ}}{\boxed{コ}}} + \boxed{コ}$ である。
このとき、l と C の共有点のうち、接点と異なるものの x 座標は
$x = \boxed{サ}a \pm \sqrt{\boxed{シ}a^2 + \boxed{ス}}$ で、l と C によって囲まれる2つの図形の面積の和を $S(a)$ とすると、
$S(a) = \dfrac{\boxed{セ}}{\boxed{ソ}}\left|\left(\boxed{タ}a^2 + \boxed{チ}\right)^{\frac{\boxed{ツ}}{\boxed{テ}}} - \boxed{ト}\right|$ である。

学部統一方式 国語・英語・数学 解答

国語

大問一

問一	1	2	
問二	2	2	
問三	3	5	
問四	4	3	
問五	5	4	
問六	6	1	
問七	7	4	
問八 エ	8	4	
オ	9	5	
カ	10	6	
シ	11	3	
ス	12	4	
問九	13	2	
問十	14	5	
問十一	15	5	
問十二	16	1	4

大問二

問一	17	6	
問二	18	6	
問三	19	6	
問四	20	6	
問五	21	2	
問六	22	2	
問七	23	5	
問八 ウ	24	3	
エ	25	6	
コ	26	1	
ス	27	1	
ソ	28	6	
問九	29	5	
問十	30	5	
問十一	31	3	
問十二	32	1	6

英語

問題Ⅰ

1		1	②
2		2	③
3		3	③
4		4	①
5		5	④
6	(A)	6	①
	(B)	7	③
	(C)	8	②
7		9	①
8	①	10	①
	②	11	②
	③	12	①
	④	13	②
	⑤	14	②
	⑥	15	①

問題Ⅱ

1	16	①
2	17	②
3	18	④
4	19	④
5	20	②

問題Ⅲ

1	21	②
2	22	①
3	23	④
4	24	②
5	25	①
6	26	②
7	27	④
8	28	①
9	29	③
10	30	②

問題Ⅳ

A	31	④
B	32	②
C	33	③
D	34	②
E	35	⑥

数学

問題Ⅰ

(1)	ア	3
	イ	1
	ウ	2
	エ	3
	オ	4
	カ	−
	キ	1
	ク	1
	ケ	3
(2)	コ	5
	サ	7
	シ	9
	ス	6
	セ	7
(3)	ソ	3
	タ	2
	チ	3
	ツ	4
	テ	3
	ト	9
	ナ	8
(4)	ニ	4
	ヌ	2
	ネ	2
	ノ	0
	ハ	4
	ヒ	8
	フ	5

問題Ⅱ

(1)	ア	1
	イ	8
(2)	ウ	6
	エ	6
	オ	4
	カ	3
	キ	1
	ク	7
	ケ	2
	コ	8
(3)	サ	2
	シ	7
	ス	5
	セ	2

問題Ⅲ

(1)	ア	3
	イ	6
	ウ	2
(2)	エ	2
	オ	2
	カ	1
	キ	0
(3)	ク	3
	ケ	1
	コ	0
	サ	5
(4)	シ	6
	ス	2

問題Ⅳ

(1)	ア	0
	イ	−
	ウ	1
	エ	1
	オ	1
	カ	0
	キ	1
	ク	6
	ケ	0
(2)	コ	1
	サ	2
	シ	−
	ス	1
	セ	2
	ソ	1
(3)	タ	1
	チ	3

問題Ⅴ

(1)	ア	−
	イ	1
	ウ	1
	エ	2
	オ	1
	カ	−
	キ	2
	ク	1
(2)	ケ	2
(3)	コ	2
	サ	−
	シ	2
	ス	2
	セ	4
	ソ	3
	タ	2
	チ	2
	ツ	3
	テ	2
	ト	2

国語（80分）

クリエイティブイノベーション学科 文系学力重視型、映像学科 必須科目
クリエイティブイノベーション学科は［一］〜［三］、映像学科は［一］〜［二］を解答

1

〔一〕 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

人間と錯誤

本書の冒頭では、人間は他の生物種にも増して知覚や認知において錯誤を引き起こしやすいことを指摘しました。その理由として、⑴知覚認知の有限性、⑵環境や行動様式を作り変えるという行動特性、⑶錯誤を自ら利用するという行動特性、の3つを挙げました。

これら3つの原因は、人間という生物種の知覚認知能力に固有のものなので、人間が人間として生活する限り、しばらくはお付き合いしていかなければいけない自分たち自身の特性と言えます。そのため、本書で取り上げたさまざまな錯誤についても、当分の間、対応を求められることになると思われます。

1つめと2つめの原因にもとづいて生じる錯誤に関しては、自分の知覚や認知のシステムだけに頼っていては十分な対応が困難なのは、ここまでの章で見てきた通りです。錯誤を避けるべき場合は、適切に道具を用いて、妥当な対応をする必要があります。

場合によっては、人間ではなく、すべて機械に判断させるほうが有効な場面もあるでしょう。特に、時空間的に正確な判断や、事象の確率的な特性に関する判断に関しては、人間自身に判断をさせると大きな誤りに発展する可能性があります。素早く、正確に、これらの事柄について判断を行う必要がある場合は、機械に頼るべきと思います。

実際、正確な空間的判断のためには諸々（もろもろ）の定規が用いられていますし、時間的判断のためにも諸々の種類の時計が用いられています。そのおかげで、生活の中には、マイクロメートル（1000分の1ミリメートル）単位で規格化された製品が流通したり、ミリセカンド（1000分の1秒）単位で制御された画像や言語情報の提示や通信がなされたりしています。こういった細かい時空間単位での制御は、正確で誤ることのない機械を使って初めて可能になる事柄です。

また、素早く、適切な確率的判断を行うために、たとえば、株や為替トレーディング[A]では、さまざまに工夫を凝らして開発された[注1]アルゴリズムにもとづくプログラムが用いられ、常時、ミリセカンド単位の素早い判断で売り買いが行われています。こうした、長時間にわたる期間中に瞬時で判断を行うことも、人間には困難です。

2

今後も、正確に判断しなければならないこと、誤ってはいけないことにおいては、どんどん道具の使用が増えることになるものと思われます。正確に判断ができる機械を用いることは、おそらくは、人間の生活の質の向上につながることでしょう。そういった意図で行われる人工知能（AI）研究も今後ますます盛んになるものと予想されます。

道具の使い方

AIとまでは言いませんが、著者自身も、行動管理には道具に頼ることが増えています。たとえば、外出する際の鉄道やバスなど、公共の交通機関を用いたスケジュール設定には、ナビゲーションアプリを使うことが多くなっています。事故や気象によって交通機関に乱れが出た際には、その都度、それに対応した鉄道の乗り換えを指示してくれるため、待ち合わせに関しては、ほとんど予定に遅れなくなりました。

スケジュール管理のアプリのような道具によるナビゲーションが生活の中に入り込んでくるヨチ[ア]はまだまだあることでしょう。実際、時空間的な正確さや確率的な判断に関しては、人間自身の知覚認知的過程のみで判断するよりも、なんらかの道具を使った方が適切な判断がなされやすいことでしょう。

しかし、スケジュール管理だけではなく、意思決定まで機械任せにすることには、大きな問題があると思われます。[イ]

第七章の、[注2]囚人のジレンマに関するまとめから浮かび上がってきたのは、個別の競争者の利益の最大化を目指した場合、合理的な判断の結果として、全員が大きな損失を被ることになるという問題でした。繰り返しのゲームとした場合も、個別のゲーム参加者の利得の最大化を目指した場合、他の参加者の利得は限りなく小さくなります。

今のところ、繰り返し有効性が確認されているのは、裏切られれば相手に罰を与える、それ以外では協調するというおうむ返し戦略でした。優位性が繰り返し示されるのが、個別の競争者の利益の最大化を目指す「一人勝ち」戦略ではなく、それなりの互恵性を持つおうむ返し戦略であったことは、現代人にとっても示唆[B]的です。

この原稿を執筆している2019年初頭の時点で、世界で最も富裕な上位1パーセントの人たちが、世界全体の富の8割

3

以上を所有していると言われます。また、上位8名が、世界人口の半分と同等の富を所有しているとも言われています。この富の集約は、21世紀に入って、特に激烈さを増してきています。極端な富の局在化は、21世紀の資本主義の顕著な特性の一つと言えるでしょう。

無期限の繰り返し囚人のジレンマの競合的な状況においては、野生の鳥[注3]アオカケスでも他者に協調的な戦略を採る[C]のに、人間の場合、ゲームで勝つこと、自分が負けないことを優先して、協調的な判断よりも対抗的な判断が優先される傾向があるようです。現代の富の集約は、そうしたゲームで勝つこと、自分が負けないことを優先するという、人間の行動特性が顕在化[D]したことの結果かもしれません。

しかし、そうした富の集約は、生物の適応戦略として不自然なものであるばかりか、他のプレイヤーのゲーム参加を不可能にすることになるため、競合する者がともに破綻するのを回避できる「無期限繰り返しゲーム」を困難にする不適切なパターンなのかもしれません。

競争的な状況で、ゲームで勝つこと、自分が負けない判断を指示するアプリを開発することは可能でしょう。しかし、そのゲーム自体の持続可能性や、戦略の生態学的妥当性まで判断するアプリを開発するのは簡単なことではないでしょう。機械は、正確に、指示された通りの判断を行いますが、その結果が望ましいものになるかどうかは、判断の枠組みによっても大きく変わります。そうした判断の枠組みの設定に関しては、人間自身が行うしかないように思われます。

道具に頼る生活の問題

判断を機械任せにすることについての別のタイプの問題もあります。[ウ]

今では、自分で覚えていなくても、ネットで検索すれば、かなりの事柄についての情報が得られます。ネットもいわば私たちの外部記憶となっています。外部記憶には、ネット以外にも、辞書やメモ帳など、物理的に情報を保持する道具が含まれます。こうした外部記憶に頼れるような事柄については、私たちは自分自身であまり記憶しない（いわば「内部記憶」に保持されない）ことが知られています（こうした現象は「Google 効果」と呼ばれることがあります）。

4

実は、認知的な処理に負荷が少ない事柄は記憶に残りにくいことが知られています。ネットなどですぐに情報検索できるとしたら、その情報にたどり着くまでの認知的負荷は、そうした外部記憶を頼らない場合に比べるとかなり少なくなるものと考えられます。外部記憶に頼ることができる事柄が私たち自身の内部記憶に保持されにくいという現象の基礎には、こうした記憶過程の特性があるのかもしれません。

私たちの日常生活の中で機械まかせの判断が多くなることで、認知的処理における負荷が減るという同様の理由にもとづいて、私たち自身が記憶する事柄はどんどん減るかもしれません。

記憶されている事柄が減ることは、生活の上での充実感に対してネガティブな影響を及ぼす可能性が考えられます。というのも、通常、多くの事柄を体験していると、そのことは記憶に残ります。その期間は、のちに、多様なことを体験した充実した期間として想起されやすくなります。

ところが、実際には多様な事柄にかかわっていたとしても、その事柄があまり記憶に残らなかった場合、その期間は、特別なことがなく、あっという間に過ぎた期間として記憶されやすいのです。つまり、実際には多様なことを行っていても、その間に記憶された事柄が少ないと、充実した時間を送ったという実感が得られにくくなるのです。

外部記憶に頼りきった生活では、のちに思い出せることが減ってしまうものと思われます。その結果として、有意義な時間を過ごしたという生活上の充実感を弱めてしまう可能性があることはもっと知っておいたほうがいいと思います。

さらに、機械まかせの判断が多くなることは、日常生活上の私たちの覚醒度を低下させることも予想されます。自分自身で注意を配っていなくても、何かあれば機械がケイコク[エ]してくれるのですから、そうした道具がなかった場合に比べると覚醒度が低下してしまうのは当然のことかもしれません。

覚醒度の低下は、全体的な認知的処理のレベルを低下させることになるでしょうし、その結果として、日常的なさまざまな気づきは今より減ってしまう可能性もあります。そのことが私たちの生活に及ぼす効果は小さくないでしょう。

さまざまな道具やサービスを利用するのは、結局は人間です。正確で合理的な判断が可能となるような道具を使用するにしても、それだけでは人間のユーザー向きとはなりません。どのように道具やサービスをデザインすれば、錯誤などによる

5

不適切な使用が生じにくくなるのか、あるいは、心地よく利用してもらえるのか、生活上の充実感をソクシン[オ]するのかは、結局、人間自身の知覚、認知、および感性の特性にもとづいて決定される必要があるのです。

錯誤を用いた生活の質、利便性、公共性の向上

人間の知覚認知系は錯誤を引き起こし得るからという理由で、道具を用いた正確な判断のみに頼るということも、人間の知覚認知系の可能性を十分に活かすことにはつながらないでしょう。

この点は、人間における錯誤を引き起こしやすくしている第三の要因「錯誤を自ら利用するという行動特性」と関連します。これからも、人間の知覚や認知における錯誤の特性を理解し、その錯誤自体を利用することはさまざまな社会的な現場で重要になると思われます。

たとえば、画像を使った情報コミュニケーションでは、積極的な錯覚の利用が行われています。スマートフォンやテレビ、PCのディスプレイなどにおいて、3種類の発光体のみでさまざまな色彩を表現するために色彩の錯視である混色が用いられています。画像を立体的に見せるために、奥行き手がかりによって生じる立体視に関わる錯覚が用いられています。また、動画像を提示するためにも、運動錯視である仮現運動が用いられています。これらは、私たちの生活の中における知覚的錯誤の有効利用の好例と言えるでしょう。

それ以外にも、料理の盛り付けや、照明の利用は、料理をおいしく感じさせるための演出として効果的に用いられています。照明光によっては、食材をおいしくも見せるし、まずくも見せられます。その基礎には、さまざまなクロスモーダル的

6

れています。画像を立体的に見せるために、奥行き手がかりによって生じる立体視に関わる錯覚が用いられています。また、動画像を提示するためにも、運動錯視である仮現運動が用いられています。これらは、私たちの生活の中における知覚的錯誤の有効利用の好例と言えるでしょう。

それ以外にも、料理の盛り付けや、照明の利用は、料理をおいしく感じさせるための演出として効果的に用いられています。照明光によっては、食材をおいしくも見せるし、まずくも見せられます。その基礎には、さまざまなクロスモーダル的な現象（視覚と聴覚など、独立した個々の知覚が互いに影響しあう現象）があります。

たとえば、自然光に近い照明光は、食材をおいしく見せることにつながりますが、弱い照明光や、青系統の照明光は、むしろ、食欲を減退させたり、摂取量を減らしたりする効果があるのです。

さらには、幼少期に高栄養価の食材による食あたりが生じたという虚記憶[E]を形成することによって、その食材の摂取が抑えられ、食事コントロールに使える可能性が検討されています。

また、災害時のヒナン[カ]行動のソクシンのためには、認知的バイアス[F]を利用することが有効であることは第五章[注4]でも紹介した通りです。

本書で紹介したさまざまな現象や行動特性は、単純に錯誤を引き起こす興味深い特性というだけではなく、使いようによっては、生活の質の向上につなげられる可能性もあるのです。[キ]そうした利用のためにも、知覚認知系の特性について理解を深めることが必要です。

他者からの支配に無自覚であることの問題

本書で紹介した、認知的なバイアスは、ほとんどが研究者の間ではよく知られたものですが、世間一般的にはあまり知られていません。特に、意思決定に関する錯誤に関しては、読者にとっては新しいものも多かったと思います。

しかし、本書で紹介したような判断のバイアスやヒューリスティクス[注5]は、すでに日常のさまざまな領域で利用されてきています。たとえば、私たちの行動特性は、さまざまな商品やサービスのマーケティングや、選挙キャンペーンなどで用いられています。

また、さまざまなタイプのタイムサービスや、「閉店前特価[G]」「今買わなければ損！」のようなキャッチフレーズは、現在志向バイアスや損失回避バイアスへと判断を誘導しようとしているものと言えるでしょう。

ここで問題なのは、多くの人が、自分たちのそうした行動的特性が利用されていることを知らないということです。つまり、当の本人たちが知らないという、「知識の偏り」が存在する状況と言えます。自分たちのどのような行動特性が、どのように利用されているのか、ちゃんと知った上で、マーケットなどで意思決定しなければ、損をしてしまう構造があります。

また、私たちの行動特性に付け入るような手続きで、利益を上げるような業態が横行すると、実質的な意味での技術革新や新しいサービスの展開をソガイ[ク]する可能性さえあると思われます。不条理な損を避け、健全な経済社会を築くためにも、消費者の側も、自分たちの行動特性をちゃんと理解し、意思決定する必要があります。

私たちは自分でも知らないうちにさまざまな判断をしているかもしれませんし、時には私たちの意思決定は他の人に操作

7

されているかもしれません。しかし、私たちは、自分にそういう行動特性があることを知ることができます。それを知ることによって、望ましい状態はどのようなものであるかを考えることができるようになるでしょう。

その都度の判断は、特に理由もなく、場合によってはとても非合理かもしれません。しかし、自分たち自身の知覚認知や行動の特性にさまざまな問題があることについての知識を持っていれば、さまざまな環境下で何らかの対策が必要ということが意識されやすくなることでしょう。その結果として、同じ失敗は繰り返しにくくなることが期待されます。

（一川誠『ヒューマンエラーの心理学』）

（注1）アルゴリズム ―― コンピュータなどで演算手続きを指示する規則。
（注2）囚人のジレンマ ―― 囚人が自分の刑を軽くしようと、共犯者を裏切った自白をすると、共犯者も同じ行動をとり、結局お互いの罪が明らかになって、双方とも刑が重くなるというジレンマ。
（注3）アオカケスでも…採る ―― 競合的な状況において、アオカケスという鳥は対抗よりも協調する戦略が選ばれやすいという研究結果が、出典の第7章で報告されている。
（注4）第五章でも紹介した通り ―― 出典の第五章で、複数の認知的バイアスを組み合わせることでヒナン行動を誘発する方法が提案されている。
（注5）ヒューリスティクス ―― 学習にもとづく問題の解決方法などが成立していない場合に用いられる、連想しやすさや自分にとっての身近さなどの手っ取り早い決定ルール。

8

問一　「為替[A]」の読みとして、正しいものを次の中から一つ選べ。 [1]
1 いがえ　2 いかい　3 ためがえ　4 かわせ　5 ためがい　6 かわせい

問二　「示唆[B]」の意味として、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 [2]
1 指示を与えること　2 決めつけること　3 ほのめかすこと
4 だますこと　5 被害を受けること　6 驚くべきこと

問三　「採る[C]」の「採」を用いた熟語として正しいものを次の中から一つ選べ。 [3]
1 水採画　2 返採　3 書採　4 採礼　5 白採　6 採点

問四　「顕在化[D]」の反対を意味する語として、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 [4]
1 遍在化　2 潜在化　3 偏在化　4 合理化　5 単純化　6 一般化

問五　「虚記憶[E]」の「虚」を用いた四字熟語として正しいものを次の中から一つ選べ。 [5]
1 虚心坦懐　2 隠虚放言　3 虚華就実　4 一虚両得　5 一虚一動　6 専売特虚

問六　「バイアス[F]」の意味として、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 [6]
1 周縁　2 円心力　3 多面体　4 記憶　5 偏見　6 倒錯

問七　「特価[G]」の「価」を用いた熟語として、**正しくないもの**を次の中から一つ選べ。 [7]
1 安価　2 価格　3 株価　4 物価　5 再評価　6 価税率

9

問八　「ヨチ[ア]」「ケイコク[エ]」「ソクシン[オ]」「ヒナン[カ]」「ソガイ[ク]」の漢字と、同じ漢字を含むものを、次の中から一つ選べ。 [8] ～ [12]

ア
1 店のヨヤク　2 財産のゾウヨ　3 期限までヨユウがある
4 ヨロンに耳を傾ける　5 メイヨの負傷　6 ヨキン通帳

エ
1 上野をケイユする　2 ケイショウを鳴らす　3 免許をケイタイする
4 伝統をケイショウする　5 彼にはケイルイが多い　6 ケイハクな言葉づかい

オ
1 ソッキョウ演奏　2 歴史にソクセキを残す　3 科学のホウソク
4 返却をサイソクする　5 土地のソクリョウ　6 解答ソクホウ

カ
1 ヒハンを受ける　2 夏はヒショ地で過ごす　3 ヒレツなやり方
4 裁判のヒコク　5 ヒゲキ的な結末　6 組織のヒダイ化

ク
1 ソゼイの対象　2 ソシツを重視する　3 万全のソチをとる
4 攻撃をソシする　5 ソガイ感を感じる　6 ソシナを進呈する

問九　「意思決定まで機械任せにすることには、大きな問題があると思われます[イ]」とあるが、なぜ「大きな問題がある」のか、その説明として最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 [13]
1 競争的な状況において、個別の競争者の利益の最大化を目指した場合、合理的な判断の結果として、全員が大きな損失を被ることになるから。
2 競争的な状況において、「一人勝ち」戦略ではなく、それなりの互恵性を持つ「おうむ返し」戦略のみに有効性が確認されているから。
3 競争的な状況において、上位1パーセントの人たちが世界全体の富の8割以上を所有しているなど、富の集約が激烈さを増しているから。
4 競争的な状況において、人間の場合は、自分が負けないことを優先して、協調的な判断よりも対抗的な判断が優先される傾向があるから。
5 競争的な状況において、極端な富の集約は、生物の適応戦略として不自然であり、他のプレイヤーのゲーム参加を不可能にもするから。
6 競争的な状況において、ゲーム自体の持続可能性や戦略の生態学的妥当性まで判断するアプリを開発することは困難であるから。

問十　「判断を機械任せにすることについての別のタイプの問題もあります[ウ]」とあるが、「別のタイプの問題」の説明として**本文の内容に合致しないもの**を次の中から一つ選べ。 [14]
1 ネットなど物理的に情報を保持する外部記憶に頼ることで、内部記憶に情報が保持されなくなる「Google 効

10

とは困難であるから。

問十　「判断を機械任せにすることについての別のタイプの問題もあります[ウ]」とあるが、「別のタイプの問題」の説明として**本文の内容に合致しないもの**を次の中から一つ選べ。 [14]
1 ネットなど物理的に情報を保持する外部記憶に頼ることで、内部記憶に情報が保持されなくなる「Google 効果」とも呼ばれる問題。
2 日常生活の中で機械まかせの判断が多くなり、認知的処理の負荷が減ることで、私たち自身が記憶する事柄が減っていくという問題。
3 多くの事柄を体験した記憶が残っている期間は、のちに、多様なことを体験した充実した期間として想起されやすくなるという問題。
4 実際に多様な体験をしても、外部記憶に頼っていると思い出せることが減り、充実した時間を送ったという実感がなくなるという問題。
5 機械まかせの判断が多くなり、人間が注意を配らなくても何かあれば機械が知らせてくれるので、日常生活上の覚醒度が低下するという問題。
6 機械に頼りきった生活をしていると、人間の認知的処理のレベルは低下し、日常的なさまざまな気づきが減っていくという問題。

11

問十一　「本書で紹介したさまざまな現象や行動特性は、単純に錯誤を引き起こす興味深い特性というだけではなく、使いようによっては、生活の質の向上につなげられる可能性もあるのです[キ]」とあるが、「生活の質の向上につなげられる可能性」の例として最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 [15]
1 マイクロメートル単位で企画化された製品やミリセカンド単位で制御された通信技術を用いて、人生の重大事に関わる判断を行う。
2 富を集約する人間になるため、さまざまな工夫を凝らして開発されたアルゴリズムにもとづくプログラムを用いて株や為替を売り買いする。
3 スマートフォンやテレビ、PCのディスプレイなどに色彩の錯視・立体視の錯覚・運動錯視などを用いて、人々の新製品への欲求を増大させる。
4 食事コントロールのために虚記憶を形成したり、災害時に人々を素早くヒナンさせるためにさまざまな認知的バイアスを利用する。
5 さまざまな商品のマーケティングや選挙キャンペーンなどで、人々がある特定の商品や候補者を選ぶように心理や行動をコントロールする。
6 さまざまなタイプのタイムサービスや、「閉店前特価」「今買わなければ損！」のようなキャッチフレーズなどによって、消費者の購買欲を刺激する。

問十二　本文の内容に合致するものを、次の中から二つ選べ。 [16] （ [16] の欄に、二か所マークすること）
1 時空間的に正確な判断や、事象の確率的な特性に関する判断に関しては、自分の知覚や認知のシステムでは十分に対応できないので、機械に頼るべきである。
2 「囚人のジレンマ」という実験は、繰り返し相手に裏切られても協調しつづけるという自己犠牲的な戦略が有効であることを示している。
3 機械は、正確に、指示された通りの判断を行うが、持続可能性や生態学的妥当性などについて判断する枠組みの設定は人間にも不可能なことである。
4 外部記憶に頼りきった生活をしていると、私たち自身が記憶する事柄が減ってしまうので、日常的な覚醒度を高め、生活上の充実感を高めるべきである。
5 不条理な損を避け、健全な経済社会を築くためにも、今まで企業や政党に利用されてきた自分の行動特性に

12

3 機械は、正確に、指示された通りの判断を行うが、持続可能性や生態学的妥当性などについて判断する枠組みの設定は人間にも不可能なことである。
4 外部記憶に頼りきった生活をしていると、私たち自身が記憶する事柄が減ってしまうので、日常的な覚醒度を高め、生活上の充実感を高めるべきである。
5 不条理な損を避け、健全な経済社会を築くためにも、今まで企業や政党に利用されてきた自分の行動特性について理解した上で意思決定する必要がある。
6 自分の知覚認知や行動特性についての知識を持っていても、私たちの意思決定は他の人に操作されてしまうということについて知っておく必要がある。

13

〔二〕 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

経済成長とコミュニティ

さて、「コミュニティ」という言葉ないし概念についての理解や定義は多様であるが、ここではひとまず、

「コミュニティ＝人間が、それに対して何らかの帰属意識をもち、かつその構成メンバーの間に一定の連帯ないし相互フジョ（支え合い）の意識が働いているような集団」

と理解してみたい（これは暫定的なもので本書の議論の中で順次進化していくことになる。ちなみに「コミュニティ」という用語は、社会学者G・ヒラリーがその定義例を集めたところ九四通りあったという）。

ところで、「コミュニティ」という時、少なくとも次の三つの点は区別して考えることが重要と思われる。すなわちそれらは、

① **「生産のコミュニティ」と「生活のコミュニティ」**
② **「農村型コミュニティ」と「都市型コミュニティ」**
③ **「空間コミュニティ（地域コミュニティ）」と「時間コミュニティ（テーマコミュニティ）」**

という三つの視点である。

14

まず①（生産のコミュニティと生活のコミュニティ）については、都市化・産業化が進む以前の農村社会においては、両者はほとんど一致していた。すなわち、稲作等を中心とする農村の地域コミュニティが、そのまま「生産のコミュニティ」でありかつ「生活のコミュニティ」でもあったのである。やがて高度成長期を中心とする急速な都市化・産業化の時代において、両者は急速に〝分離〟していくとともに、「生産のコミュニティ」としてのカイシャが圧倒的な優位を占めるようになっていった。現役のサラリーマンに〝あなたの日々の生活にとってもっとも大きな意味をもつ集団は何か〟と問えば、ほぼ確実に勤務先の会社と答えるという状況が、自明の事実となっていったのである。ところが、経済が成熟化し急速な拡大・成長の時代が終わりつつあると同時に、カイシャや家族という存在が多様化・流動化している現在、こうした構造そのものが大きく変容する時代を迎えつつある。ここにおいて、〝地域という「生活のコミュニティ」は回復しうるか〟という問いが新たな装いのもとで浮上してくるのはごく自然な帰結といえる。

こうした点を「経済システムの進化とコミュニティ」という視点でとらえるならば、私たちは市場化・産業化という、いわば地域や自然からの〝離陸〟の時代から、（注1）ポスト産業化（ひいては筆者のいう（注2）「定常型社会」）の時代という、〝着陸〟の時代を迎えつつあるといえようが、いまだそれがどのような形のものとなるかは大方明らかではない。

ところで、日本の場合についてさらに補足すれば、戦後日本の場合、「国を挙げての経済成長」という圧倒的な目標が、日本人全体をいわば束ねる〝求心力〟として作用し、それが（注3）〝経済ナショナリズム〟的な志向とも相まって「ニッポンというコミュニティ（〝日本株式会社〟）」の基本的感覚として強く働いたといえるだろう（かつ戦前からの、あるいは明治以降の国家主義的遺産がそれを下支えした）。

同時にそれは、先ほどふれた「会社」と「（核）家族」という（互いに熾烈な競争関係にある）個別のコミュニティを何とか〝つなぐ〟役割をも果たした。というのも、個々の会社や（核）家族が競争しその利益を追求することが、（注4）パイ全体の拡大（＝経済成長）につながり、それがまた結果として個々の会社や家族の〝取り分〟の拡大にもつながるという好循環が存在していたからである。

しかしながら、「国を挙げての経済成長」という目標が、かつてのような絶対的な輝きをもって意識されるような時代が終わる中で――また、そもそも経済成長ということが人々の「幸福」に必ずしも直結しないということが様々な形で感覚されるようになる中で――、「ニッポンというコミュニティ」を形成する求心力はもはや希薄なものになっている。加えて現実にも、限りない成長・拡大（＝「パイの拡大」）という時代が終わる中で、いわゆる格差問題や社会保障のあり方など、むしろ「パイの〝分配〟」という課題が前面に出るようになり、「パイの拡大が個人の利益の増加にそのまま結びつく」という予定調和的な状況や前提――言い換えれば、自己を中心とする同心円を拡大していけば自ずとそれが国全体と重なるとい

15

う関係構造――はもはや存在しなくなっている。

こうして、高度成長期を中心に日本人にとっての中心的なコミュニティであった「会社」、「家族」、「ニッポンという（会社的）コミュニティ」とその関係構造は、幸か不幸か、いずれもこれまでのような形では存在しなくなっている。現在の日本社会において「コミュニティ」というテーマが大きく浮上する基本的な背景のひとつはこれであり、この点は同時に、この後で述べる〝個人の社会的孤立〟という状況とつながることになる。

農村型コミュニティと都市型コミュニティ――「つながり」のあり方

さて、「コミュニティ」という概念に関して次に重要となる視点は、先に②として示した「農村型コミュニティと都市型コミュニティ」という視点であり、これは、人と人との「関係性」のあり方をショウチョウ的に示したものである。

端的にいえば、ここで「農村型コミュニティ」とは、〝共同体に一体化する（ないし吸収される）個人〟ともいうべき関係のあり方を指し、それぞれの個人が、ある種の情緒的（ないし非言語的な）つながりの感覚をベースに、一定の「同質性」ということを前提として、凝集度の強い形で結びつくような関係性をいう。これに対し「都市型コミュニティ」とは〝独立した個人と人のつながり〟ともいうべき関係のあり方を指し、個人の独立性が強く、またそのつながりのあり方は共通の規範やルールに基づくもので、言語による部分の比重が大きく、個人間の一定の異質性を前提とするものである。

こうした「農村型コミュニティ」と「都市型コミュニティ」という対比を行った場合、日本社会（ないし日本人）において圧倒的に強いのが前者（農村型コミュニティ）のような関係性のあり方であることは、あらためて指摘するまでもないか

16

もしれない。戦後の日本社会とは〝農村から都市への人口大移動〟の歴史といえるが、農村から都市に移った人々は、カイシャと核家族という〝都市の中の農村（ムラ社会）〟を作っていったといえる。そこではカイシャや家族といったものが〝閉じた集団〟になり、それを超えたつながりはきわめて希薄になっていった。そしてさらに、そうしたムラ社会の「単位」が個人にまでいわば〝縮小〟し、人と人の間の孤立度が極限まで高まっているのが現在の日本社会ではないだろうか。

実際、二〇〇五年に出されたOECD（経済協力開発機構）の報告書では、国際的に見て日本はもっとも「社会的孤立」度の高い国であるとされている。この場合「社会的孤立」とは、家族以外の者との交流やつながりがどのくらいあるかという点に関わるもので、日本社会は、〝自分の属するコミュニティないし集団の「ソト」の人との交流が少ない〟という点において先進諸国の中で際立っている。

現在の日本の状況は、「空気」といった言葉がよく使われることにも示されるように、集団の内部では過剰なほど周りに気を遣ったり同調的な行動が求められる一方、一歩その集団を離れると誰も助けてくれる人がいないといった、「ウチとソト」との落差が大きな社会になっている。このことが、人々のストレスと不安を高め、高い自殺率といったことも含めて、生きづらさや閉塞感の根本的な背景になっているのではないだろうか。

したがって、日本社会における根本的な課題は、「個人と個人がつながる」ような、「都市型のコミュニティ」ないし関係性というものをいかに作っていけるか、という点に集約される。これについては、ひとつには「規範」のあり方（集団を超えた普遍的な規範原理の必要性）という点が大きな課題となり、またもっと日常的なレベルでのちょっとした行動パターン（挨拶、お礼の言葉、見知らぬ者どうしのコミュニケーション等）ということが同時に重要となると考えられ、またアジアなど外国人との関わりの増加もケイキのひとつになりうるかと思われる。

人口構造という要因と地域コミュニティ

ところで、これからの時代のコミュニティというものを考えていく上で無視できない要因として、少子・高齢化という人口構造の大きな変化がある。この場合重要な視点は、人間の「ライフサイクル」というものを全体として眺めた場合、「子どもの時期」と「高齢期」という二つの時期は、いずれも地域への〝土着性〟が強いという特徴をもっているという点だ（これに対し現役世代の場合は、概して〝職域〟への帰属意識が大きくなる）。

この点を踏まえた上で図1を見てみよう。これは、人口全体に占める「子どもプラス高齢者」の割合の変化を示したものであるが、現在をはさんで一九四〇年から二〇五〇年という一〇〇年強の長期（注5）トレンドで見た場合、それがほぼきれいな「U字カーブ」を描いていることが顕著である。すなわち、人口全体に占める「子どもと高齢者」の割合は、戦後の高度成

17

長期を中心に一貫して低下を続け、それが世紀の変わり目である二〇〇〇年前後に「谷」を迎えるとともに増加に転じ、今後二〇五〇年に向けて今度は一貫して上昇を続ける、という大きなパターンがそこに見て取れる（もちろん、前半期においては（注6）『三丁目の夕日』の世界のように子どもが多くを占め、後半期においては高齢者が多くを占めるという点でその中身はタイショウ的なのであるが）。

そして、先ほど「子どもと高齢者は地域への〝土着性〟が強い」ということを確認したのだが、この点とあわせて考えると、戦後から高度成長期をへて最近までの時代とは、一貫して〝「地域」との関わりが薄い人々〟が増え続けた時代であり、それが現在は、逆に〝「地域」との関りが強い人々〟が一貫した増加期に入る、その入り口の時期であるととらえることができる。

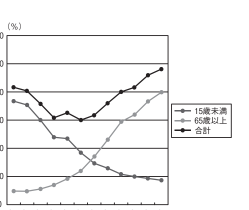


図1 人口全体に占める「子ども・高齢者」の割合の推移（1940〜2050年）

（注）子どもは15歳未満、高齢者は65歳以上。
（出所）2000年までは国勢調査。2010年以降は「日本の将来推計人口」(平成18年12月推計)。

こうした意味において、先にコミュニティをめぐる第三の視点として挙げた「空間コミュニティと時間コミュニティ」とも関連するが、「地域」というコミュニティがこれからの時代に重要なものとして浮かび上がってくるのは、ある種の必然的な構造変化であるとすらいうことができるだろう。加えて、現役世代についても、これからのポスト産業化時代には（職住近接、（注7）SOHOなどのトレンドの中で）地域との関わりが相対的に増加していくことになる。

さらにいえば、日本において現役世代の「地域」への関わりが薄いのは、後に見ていく都市計画や土地所有等の問題を背景に、大都市の中心部に計画的に整備された集合住宅が少なく、そのため住宅が都市の外縁に（注8）スプロール状に無際限に広がり、結果として極端に通勤距離・時間が長く、職場と居住地が完全に乖離しているという背景があった。こうした点が、戦後日本における地域コミュニティというもののあり方に独特のソウボウを与えてきたと思われる。

他方、現在の日本社会において、様々なNPOや協同組合、〝社会起業家〟等々の多様な活動・事業や実践に見られるように、「新しいコミュニティ」づくりに向けた多くの試みが百花繚乱のように生成していることは言うまでもない。こうした「ミッション（使命）」志向型の（あるいは「テーマ型」ないし「時間コミュニティ」とも呼ばれる）コミュニティは、伝統的な地域コミュニティとどのような形でクロスし、また今後の展望が開かれていくのだろうか。コミュニティをめぐるこうした〝空間（地域）と時間〟の交差のありようも、本書の中で様々な角度から考えていきたい。

（広井良典『コミュニティを問いなおす――つながり・都市・日本社会の未来』）

（注1）ポスト産業化 ―― 「工業化」の時代を経て、情報・知識・サービス業など第三次産業の割合が高まること。
（注2）定常型社会 ―― 経済成長を絶対的な目標としなくても「幸福」や「豊かさ」が実現されてゆく社会。
（注3）経済ナショナリズム ―― 国家による経済活動の管理を重視する政策や考え方。
（注4）パイ ―― 分け合うべき収益・費用などの全体。

18

（注5）トレンド ―― 動向。流行。
（注6）『三丁目の夕日』 ―― 西岸良平作の漫画、あるいはそれを原作とした2005年の映画。
（注7）SOHO ―― 小規模事業者、在宅事業者。small office home office の頭文字をとった略称。
（注8）スプロール状 ―― 無秩序・無計画な様子。

問一 「暫定」の反対を意味する語として、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 17

1 仮定　2 確定　3 未定　4 内定　5 臨時　6 一時

19

問二 「自明」を用いた慣用句「自明の理」の意味として、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 18

1 筋が通っているさま　2 論理がわかりやすい様子　3 自分だけが理解していること
4 証明を必要としないこと　5 論理が精密であること　6 理屈にかなっていること

問三 「予定調和」と同じ意味で用いられるものとして、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 19

1 突発的な出来事　2 予測不可能な未来　3 混乱した過去
4 秩序のある歴史　5 どんでん返し　6 お決まりの結末

問四 「端的にいえば」の意味として、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 20

1 要点をいえば　2 厳密にいえば　3 正直にいえば
4 大まかにいえば　5 逆にいえば　6 細かくいえば

問五 「過剰」を用いた熟語として**正しくないもの**を次の中から一つ選べ。 21

1 自意識過剰　2 自信過剰　3 供給過剰　4 過剰防衛　5 過剰銀河　6 過剰生産

問六 「閉塞」の読みとして、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 22

1 へいがい　2 へいえき　3 へいさつ　4 へいしょ　5 へいまく　6 へいそく

問七 「普遍的」の反対を意味する語として、最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 23

1 積極的　2 常識的　3 個別的　4 絶対的　5 客観的　6 消極的

問八 「フジョ」「ショウチョウ」「ケイキ」「タイショウ」「ソウボウ」の漢字と、同じ漢字を含むものを、次の中から一つ選べ。 24 〜 28

ア
1 フセイを正す　2 友人フサイを招く　3 地方コウフ税
4 家族をフヨウする義務　5 セイフの方針　6 人口のブンプ

エ
1 会費のチョウシュウ　2 山のチョウジョウを目指す　3 大和チョウテイ
4 人知をチョウエツする　5 チョウヤクの練習　6 チョウチョウ発止の議論

オ
1 会社のケイエイ　2 ケイキの回復を願う　3 ケイジ裁判と民事裁判
4 人々をケイハツする　5 ケイヤクの更新　6 ケイランを使った料理

カ
1 ショウメン玄関　2 ショウジュンを定めて撃つ　3 コウショウが決裂した
4 ネンショウ効率が良い　5 顔のインショウが強い　6 キショウし顔を洗う

20

キ
1 ボウケン心を抱く　2 過去をボウキャクする　3 才知とビボウを兼ね備えた人
4 ガンボウをかなえる　5 原稿をボウヨみする　6 ボウサイ訓練

21

問九 「高度成長期を中心に日本人にとっての中心的なコミュニティであった「会社」、「家族」、「ニッポンという（会社的）コミュニティ」とその関係構造は、幸か不幸か、いずれもこれまでのような形では存在しなくなっている」とあるが、なぜ「これまでのような形では存在しなくなっている」のか、その説明として**正しくないもの**を次の中から一つ選べ。 29

1 経済が成熟化し急速な拡大成長の時代が終わりつつあると同時に、会社や家族という存在が多様化・流動化してきているから。
2 市場化・産業化という、地域や自然からの〝離陸〟の時代から、ポスト産業化の時代という、〝着陸〟の時代を迎えつつあるから。
3 個々の会社や家族が利益を追求することが国全体の経済成長につながり、それがまた個々の会社や家族の〝取り分〟の拡大にもつながっているから。
4 「国を挙げての経済成長」という目標が、かつてのような絶対的な輝きをもって意識されるような時代が終わってしまったから。
5 経済成長が人々の「幸福」に必ずしも直結しないということが感覚され、「ニッポンというコミュニティ」の求心力が弱まっているから。
6 「パイの拡大が個人の利益の増加にそのまま結びつく」という前提に代わり、「パイの分配」という課題が前面に出る時代になってきたから。

22

問十 「『農村型コミュニティと都市型コミュニティ』という視点」とあるが、それらの視点を用いて筆者が述べていることの内容として最も適当と思われるものを次の中から一つ選べ。 30

1 「農村型コミュニティ」が〝共同体に一体化する個人〟といえるのに対し、「都市型コミュニティ」は〝共同体を必要としない個人〟というべきである。
2 「農村型コミュニティ」が情緒的で非言語的なつながりであるのに対し、「都市型コミュニティ」は共通のルールに基づく言語的なつながりである。
3 「農村型コミュニティ」の凝集度の強さは個人間の同質性を前提とするのに対し、「都市型コミュニティ」の凝集度の強さは個人間の異質性を前提にしている。
4 「農村型コミュニティ」と「都市型コミュニティ」という対比を行った場合、日本社会において圧倒的に強いのは「都市型コミュニティ」である。
5 「農村型コミュニティ」から都市に移った人々は、「会社」と「核家族」という〝開いた集団〟の中で〝都市の中のムラ社会〟を作っていったといえる。
6 日本社会が「都市型コミュニティ」を作っていくには、集団内部の規範原理や、コミュニティの「ソト」の人との間での日常的なコミュニケーションが重要となる。

23

問十一 図1から読み取れる内容として、**適当でないもの**を次の中から一つ選べ。 31

1 人口全体に占める15歳未満の「子ども」の割合は、二〇一〇年以降もほぼ一貫して減少し続ける形になっているので、少子化傾向が今後も続くと予想できる。
2 人口全体に占める「子ども」の割合は、一九七〇年代から一九八〇年代にかけて傾きが緩やかになっているので、一時的に減少傾向に歯止めがかかったように見える。
3 人口全体に占める65歳以上の「高齢者」の割合は、二〇一〇年以降もほぼ一貫して増加し続ける形になっているので、高齢化傾向が今後も続くと予想できる。
4 人口全体に占める「子ども」の割合よりも「高齢者」の割合が大きくなったのは二〇〇〇年前後であり、それ以降「少子高齢化」はさらに加速したといえる。
5 人口全体に占める「子どもプラス高齢者」の割合は、二〇〇〇年前後を「谷」とした「U字カーブ」を描いているので、今後は経済が回復していくと予想できる。
6 人口全体に占める「子どもプラス高齢者」の割合は、二〇〇〇年前後を「谷」とした「U字カーブ」を描いているので、「地域」との関わりが強い人の増加が予想できる。

24

問十二 本文の内容に合致するものを、次の中から二つ選べ。 32 （ 32 の欄に、二か所マークすること）

1 かつての農村社会では一致していた生産のコミュニティと生活のコミュニティは、市場化・産業化の時代からポスト産業化の今日にいたるまで分離し続けている。
2 会社や家族という存在が多様化した高度成長期の日本人にとって、「家族」や「会社」よりも「国を挙げての経済成長」という目標が重要であった。
3 現在の日本は、集団を離れると助けてくれる人がいないとしても、集団の内部で同調的な行動をとることで、ストレスや不安を抑制できる背景がある。
4 日本社会における根本的な課題は、「個人と個人がつながる」ような「都市型のコミュニティ」をいかに作っていけるか、という点に集約される。
5 人間の「ライフサイクル」全体で見た場合、「子どもの時期」と「高齢期」は地域への〝土着性〟が強く、一方で現役世代は〝大都市〟への帰属意識が大きくなる。
6 現役世代の「地域」への関わりが薄いのは、戦後、大都市の中心部に整備された集合住宅が少なく、住宅が都市の外縁に無秩序に広がってしまったからである。

25

次の〔三〕の問題はクリエイティブイノベーション学科を受験する者、またはクリエイティブイノベーション学科と映像学科を併願する者のみ解答すること。

〔三〕 次の文章は『大鏡』の一節である。これを読んで、後の問に答えよ。

(注1)朝成（あさひら）の中納言と(注2)一条摂政と同じ折の殿上人（てんじやうびと）にて、品（しな）のほどこそ、一条殿にひとしからねど、身の才（ざえ）、人おぼえ（a）、やむごとなき人なりければ、(注3)頭になるべき次第（b）いたりたるに、またこの一条殿さらなり、道理の人にておはしけるを、この朝成の君申したまひけるやう、「殿はならせたまはずとも、人わろく思ひ申すべきにあらず（A）。後々にも御心にまかせさせたまへり。おのれは、この度まかりはづれなば、いみじう辛かるべきことに①てなむはべるべきを、この度、申させたまはではべりなむや」と申したまひければ、「ここに②もさ思ふことなり。 X 」とのたまふを、いとうれしと思はれけるに、いかに思（おぼ）しなりに③けることにか、やがて問ひごともなく、なりたまひにければ、かく謀りたまふ（ア）べしやはと、いみじう心やましと思ひ申され（イ）けるに、御仲よからぬやうにて過ぎたまふほどに、この(注4)一条殿のつかまつり人とかやのために、なめきことしたうびたりけるを、「本意（ほい）なしなどばかりは思ふとも、いかに、ことにふれて我などをば、かくなめげに④もてなすぞ」と、むつかりたまふ（ウ）と聞きて、「あやまたぬよしも申さむ」とて、まゐられたりけるに、(注5)はやうの人は、我より高き所にまうでては、

26

「こなたへ」となきかぎりは、上にものぼらで（エ）、下に立てることになむありけるを、これは六七月のいと暑くたへがたき頃、かくと申させて（オ）、今や今やと、中門に立ちて待つほどに、西日もさしかかりて、暑く耐へがたしとはおろかなり。心地もそこなはれぬべきに、「はやう、この殿は、我をあぶり殺さむと思すに⑤こそありけれ。益（やく）なくもまゐりにけるかな」と思ふに、すべて(注6)悪心おこるとはおろかなり（c）。

（『大鏡』太政大臣（だいじやう）伊尹（これまさ）より）

27

(注1) 朝成の中納言 ―― 藤原朝成（九一七～九七四）、最高位は中納言。
(注2) 一条摂政 ―― 藤原伊尹（九二四～九七二）、最高位は太政大臣、円融天皇の時代に摂政に任ぜられた。
(注3) 頭 ―― 蔵人頭（くろうどのとう）のこと。
(注4) 一条殿のつかまつり人 ―― 一条殿にお仕えしている人。
(注5) はやうの人 ―― 昔の人。
(注6) 悪心 ―― 憎悪の念。

問一 傍線部「人おぼえ」・「次第」・「おろかなり」の意味の組み合わせとして最も適当なものを次の中から一つ選べ。 33

1 a 世間における評判 b 順序 c とても言いつくせない
2 a 政務についての自信 b 事情 c 愚かなことであった
3 a 天皇による信頼 b 順序 c 関係が疎遠になった
4 a 世の中の評価 b 由来 c その形容では不十分だ
5 a 天皇からの寵愛（ちょうあい） b 事情 c 間柄が悪くなった

問二 傍線部ア～オのうち「朝成」が主語であるものの組み合わせとして正しいものを次の中から一つ選べ。 34

1 ア・エ
2 イ・ウ・オ
3 イ・オ
4 イ・エ・オ
5 ア・ウ・エ

問三 傍線部Aの現代語訳として最も適当なものを次の中から一つ選べ。 35

1 世間の人が殿を非道な方だと思い申し上げる気遣いはありません
2 殿が世間の人に対して悪いことをしたとお思いになる必要はございません
3 世間の人は殿に対してひどいことをしたと反省しなければなりません
4 世間の人が殿のことを外聞が悪いと思い申し上げるはずはありません
5 殿が世間の人から不都合だと非難されるいわれはございません

問四 傍線部①～⑤の「に」の文法的な説明として**適当でないもの**を次の中から一つ選べ。 36

1 ①～⑤に含まれる助動詞は三つである。
2 ①～⑤のうち、断定の助動詞「なり」は二つである。

28

3 ①～⑤のうち、②は格助詞である。
4 ①～⑤に含まれる助動詞はすべて連用形である。
5 ①～⑤のうち、④は副詞の一部である。

問五 空欄 X に補うのに最も適当なものを次の中から一つ選べ。 37

1 されば申したまはじ
2 さりとていかがするぞ
3 さりながら申さむ
4 さらば申さじ
5 されどいかがすべき

問六　本文の内容に合致するものを次の中から一つ選べ。 38

1　朝成は一条摂政と肩を並べるほど家柄も教養もすぐれ、一条摂政と蔵人頭への昇進を争っていた。
2　朝成は蔵人頭への昇進を逃すのは耐えがたいので、摂政に今回は見送ってほしいと相談を持ちかけた。
3　一条摂政は朝成の持ちかけた蔵人頭昇進についての依頼をはねつけて、蔵人頭に就任してしまった。
4　朝成は一条摂政への怒りにかられ摂政の使用人に無礼を働いたが、これは過失ではないと強弁した。
5　摂政邸の門前で待たされつづけた朝成は謝罪したいという気持ちを失い、深く一条摂政を憎んだ。

英語（80分）

［問題Ⅰ］次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。

Almost a decade ago, researchers sequenced DNA* from an ancient bone fragment to reveal that it belonged to a woman from an entirely new group of humans. After years of waiting, we are now getting our first glimpse of the only confirmed home of the Denisovans.

Named（　1　）the Denisova cave in Siberia, where the ancient bone was found, these humans lived in Stone Age Eurasia* alongside our species and Neanderthals. Although we have discovered more about these people since the bone was discovered, we have heard（　2　）about Denisova cave.

That has now changed after an international team of researchers published two papers that make it clear (3)the cave is just as extraordinary as its ancient occupants. Not only do the papers give us a better understanding of who lived there and when, they reveal some of the objects those residents made. “Some of the material is beautiful,” says Thomas Higham at the University of Oxford. “We think it may be the earliest of its kind in Eurasia.”

Denisova cave lies in the Altai mountains of southern Siberia, a few hundred kilometers from the Russian border with Kazakhstan, Mongolia and China. The new research concludes that the Denisovans and Neanderthals both lived there at various points over the past 300,000 years. Our species, *Homo sapiens*, probably occupied the cave within the past 50,000 years.

Russian archaeologists have been working there for about 40 years. They have discovered thousands of artefacts, says Richard Roberts at the University of Wollongong, Australia.

He says it is often extremely difficult to work out the age of dirt layers in caves. Most obviously, animals including hyenas moved into the cave (4)whenever it was abandoned by humans. In the process of digging their dens*, the hyenas mixed up some of the dirt layers. Complicating things further, there are some significant time gaps in the sequence. For instance, the researchers found that a 60,000 to 70,000-year-old layer lies directly beneath a layer that is no more than 44,000 years old.

That is particularly unfortunate because some of the most (5)noteworthy finds from the cave — those known as the Palaeolithic* artefacts — come from layers of dirt that lie very close to this time gap, making it difficult to be sure how old they are. These include a bracelet of polished green rock discovered early in the 2000s.

The archaeologists have also unearthed Palaeolithic rings, beads and bone sewing needles. (6)It is these artefacts that Higham thinks may be the oldest of their kind in Eurasia.

But（　7　）human inhabitants of the cave made them? Neanderthals would have been long gone from the cave by this time, but the youngest of the Denisovan bone fragments found there appear to be just 50,000 to 55,000 years old. “The Denisovans did persist at the cave until quite recently — certainly recently enough that they could have made some of those Palaeolithic artefacts,” he says. If so, the finds give us a first glimpse of how the Denisovans lived and behaved.

Of course, it is possible that the artefacts were made by *H. sapiens* instead. But (8)in that case, the finds are significant for another reason, says Higham. We know that some of the artefacts are about 45,000 years old and that similar finds are unknown in Europe until about 43,000 years ago. So *H. sapiens* may have pushed as far east as the cave before heading west to Europe, says Higham.

The team may find more spectacular rings, bracelets and pendants — and be able to (9)pin down the identity of the humans who made them — as the excavations continue. “(10)This really is the site that keeps on giving,” says Roberts.

［注］　sequence DNA＝ＤＮＡ配列を決定する
Eurasia＝ユーラシア大陸（ヨーロッパとアジアからなる大陸）
den＝巣穴
Palaeolithic＝旧石器時代の

（Colin Barras, “Inside archaeology’s most exciting cave”, *New Scientist*, 2019.
より引用し、一部改編して作成した）

This article was published in Publication "Inside archaeology's most exciting cave", ColinBarras, Copyright Elsevier, 2019.

1. 空所（　1　）に入れるべき最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 1
① by　② under
③ to　④ after

2. 空所（　2　）に入れるべき最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 2
① enough　② quite a few
③ very little　④ almost everything

3. 下線部（3）の意味に最も近いものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 3
① both the cave and the humans who lived there long ago are unusual
② when humans lived in the cave long ago, the cave was stranger than it is now
③ the cave was more unusual than the residents who lived there in ancient times
④ those who occupied the cave long ago were ordinary unlike the cave

4. 下線部（4）の意味に最も近いものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 4
① whenever humans took good care of the cave
② whenever humans lived with hyenas in the cave
③ whenever humans left the cave and it was empty
④ whenever humans escaped into the cave from hyenas

5. 下線部（5）と同じ意味を表す語として最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 5
① doubtful　② popular
③ dependable　④ important

6. 下線部（6）の日本語訳として最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 6
① Higham が考えるこれらの工芸品は、この種のものとしてユーラシア大陸で最も古いものなのかもしれない。
② この種のものとしてユーラシア大陸で最も古いかもしれないと Higham が考えるのは、これらの工芸品である。
③ それは Higham が、この種のものとしてユーラシア大陸で最も古いと考える工芸品である。
④ この種のものとしてユーラシア大陸で最も古いものかもしれないこれらの工芸品は、Higham が考えたものである。

7. 空所（　7　）に入れるべき最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 7
① which　② how
③ who　④ why

8. 下線部（8）の意味として最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 8
① ホモ・サピエンス以外の人類によって作られた工芸品である可能性があるという点で
② ホモ・サピエンス以外の人類によって作られた工芸品の中には
③ 工芸品がホモ・サピエンスによって作られたという事実に関して
④ 工芸品がホモ・サピエンスによって作られたものだとすれば

9. 下線部（9）と同じ意味を表す語句として最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 9
① make clear　② leave out
③ hold on to　④ make the best of

10. 下線部（10）が指す内容として最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 10
① The team　② The cave
③ The artefact　④ The dirt layer

5

11. 本文の内容に一致しているものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 11

① Nearly ten years ago, it was found that DNA of the Denisovans was much the same as that of Neanderthals.
② The Denisovans and Neanderthals lived together about 300,000 years ago in the Denisova cave.
③ Time gaps in the sequence of the dirt layers in the Denisova cave make it difficult to work out how old the artefacts are.
④ According to Higham, the oldest artefacts found in the Denisova cave cannot have been made by the Denisovans.
⑤ Some artefacts found in Denisova cave were made in Europe about 45,000 years ago.

［問題Ⅱ］次の会話を読んで、下の設問に答えなさい。

A: Excuse me, but (1)_____?
B: Not at all. How can I help you?
A: I've missed the last bus to go back, and I have to wait for the next one for about two hours. I heard there is a station near here, but I can't find it.
B: So, you would like to know how to get to the station, right?
A: (2)_____!
B: Well, I'm (3)_____ to the station now. Would you like to walk with me there?
A: What wonderful luck! Yes, please!
B: I'm Sarah.
A: Nice to meet you, Sarah. I'm Kaoru.
B: Nice to meet you, Kaoru. Let's go together now. I (4)_____ to a countryside town without any entertainment like this one for. All you can see is nature.
A: (5)_____! I'm an art student, and this town has the very thing that I've wanted to see since I started to paint pictures. It's…
B: Mysterious Falls, right?
A: Yes! When I saw it today, I was so moved!

6

1. 下線部（1）に入れるべきものとして最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 12

① would you mind helping me
② do you mind me helping
③ how should I help you
④ what kind of help would you like

2. 下線部（2）に入れるべきものとして最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 13

① Unfortunately ② Certainly not
③ Exactly ④ Perfectly

3. 下線部（3）に入れるべきものとして最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 14

① to my way ② in my way
③ at the way ④ on the way

4. 下線部（4）に入れるべきものとして最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 15

① don't know how you came ② don't know if you visited
③ wonder why you visited ④ wonder what you came

5. 下線部（5）に入れるべきものとして最も適当なものを、下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。 16

① You'll know what I am ② That's the point
③ It's incredibly wrong ④ You're mistaken

7

［問題Ⅲ］次の各文の空所に入れるべき最も適当なものを、それぞれ下に与えられたものの中から選び、その番号をマークしなさい。

1. She stood up（ ）to leave for home. 17

① as far ② as if
③ as much ④ what if

2. My clothes need（ ）, but I have no time to do the laundry now. 18

① wash ② washing
③ to wash ④ to washed

3.（ ）people present are students from abroad. 19

① Most of the ② Almost
③ Almost every ④ Most of

4. The world is full of beautiful cities worth（ ）. 20

① being know ② to knew
③ to know ④ knowing

5. Our boss told us to finish the task（ ）the condition. 21

① regardless ② irrespective
③ however ④ whatever

6. This suitcase is almost（ ）that one. 22

① as three times as ② heavier three times
③ three times the weight of ④ three times heaviest

7. I remember（ ）her a few years ago, but I don't remember where. 23

① that I have talked with ② that I talked with
③ to talk with ④ of me having talked with

8

8. I heard an（ ）story on the radio last night. 24

① amused ② amusing
③ amuse ④ amusement

9. It is high time our children（ ）to bed. 25

① went ② to go
③ going ④ had gone

10. The goal is more possible than（ ）. 26

① as is often believed ② they are often believed
③ is often believed ④ they often believe it

［問題Ⅳ］次の各文が正しい英文になるように、下に与えられたものを並べかえたときに、（ A ）（ B ）（ C ）（ D ）（ E ）に入るものの番号をマークしなさい。なお、文頭に来るべき文字も小文字で記してあります。

1. You（ ）（ ）（ ）（ A ）（ ）. A－ 27

① feel ② may have
③ is ④ you
⑤ a teacher ⑥ too unfair

2. Last（ ）（ B ）（ ）（ ）（ C ）（ ）. B－ 28 C－ 29

① came ② home extremely
③ back ④ tired
⑤ she ⑥ night

3.（ ）（ D ）（ ）（ ）（ E ）（ ）of us. D－ 30 E－ 31

① surprised ② solved the problem
③ with which ④ all
⑤ he ⑥ the ease

9

次の［Ⅴ］の問題はクリエイティブイノベーション学科を受験する者、またはクリエイティブイノベーション学科と映像学科を併願する者のみ解答すること。

10

［問題Ⅴ］Read the following passage and answer the questions that follow.

Recycling is a modern word, but it is not a modern idea. In the past, people（ 1 ）and then sold them, and this still happens in some places.

But in the past, there was not as much rubbish as there is today. When people bought or made things, they tried to keep them for a very long time and then they gave them to their children. The same plates, chairs, and farm carts were used by families for many, many years.

Today, it is very different. Something which is new one year becomes old the next year. Examples of this are cars, phones, and computers,（ 2 ）change very quickly. Many things that people use every day are made of cheap metal or plastic. They get broken very quickly and it is easy to buy new ones. In fact, it is much easier to buy new ones than to find someone who can repair things for you.

And then there is the question of money. Businesses make more money from things that people use once or just for a short time because they can sell more of them. They can also sell more if they change the shape and color of the things that they make. If last year's phone or TV looks old and (3)out of date, people will throw it away and buy a new one because they want to be fashionable.

So people go shopping a lot. They like to have new things, and they also like their new things to look beautiful. Sometimes they decide to buy something because it comes in a very big, brightly colored box with lots of plastic inside. Packaging like this makes ordinary things look better. Businesses like packaging because it makes things look more expensive, and that means a higher price.

One example of expensive packaging is children's toys. Sometimes the packaging is more interesting than the toy inside it. Small children often play with the box and leave the toy on the floor!

In Japan, many shops like to sell things with plenty of paper and plastic, and pretty boxes. When customers buy apples, each apple has its own plastic cover on it. If you buy carrots in the supermarket, sometimes there is special packaging for each carrot!

People today often say that we live in (4)a "throwaway world".

11

Customers buy things and throw away the packaging. Or they quickly get bored with the thing that they have bought and they look for something different. But what happens to the things that they throw away? In the United States, each person throws away 2 kilos of rubbish a day, but in 1960, it was only 1 kilo. (5)The United States throws away more rubbish than any other country in the world, but 80 percent of this rubbish can be reused or recycled. So people throw away more and more things, and the mountains of rubbish get bigger and bigger.

This used to be a problem in only a few countries, but now it happens nearly everywhere. All over the world, people's ideas are changing. In China twenty years ago, most people went to work by bicycle, but now they want cars. They also want new phones, televisions, and the most fashionable clothes and sports shoes. Like everybody else, they buy new things and throw away the old things.

The problem of rubbish is getting worse every year as more and more countries join the throwaway world. How do we solve the problem?

Perhaps the answer is recycling. People have always used rubbish to make money, but the difference is that now people are recycling to save the Earth. Recycling is cleaner and better for the environment than landfill sites or burning garbage.

（ 6 ）do you change a throwaway world into a recycling world? You begin at the beginning — with the things that are easy to recycle.

（Sue Stewart, "Our Throwaway World", *Recycling*, 2008. より引用し、一部改編して作成した）

1. Which of the following would best fill the gap（ 1 ）? 32

① threw away things other people collected
② threw away other people collected things
③ collected things other people threw away
④ collected other people threw away things

12

2. Which of the following would best fill the gap（ 2 ）? 33

① which ② that
③ when ④ so

3. Which of the following is the closest in meaning to the underlined phrase (3)? 34

① long ago ② in fashion
③ dirt cheap ④ behind the times

4. Which of the following best explains the underlined phrase (4)? 35

① a world in which people think that what is old is always better than what is new
② a world in which many goods are disposable and create waste
③ a world in which people can buy and sell a variety of goods freely
④ a world in which things that people throw away are reused or recycled

5. Which of the following is the closest meaning to the underlined phrase (5)? 36

① The United States disposes of most of the world's waste.
② The United States deals with more waste than any other country in the world.
③ No other country in the world discards more waste than the United Sates.
④ The amount of waste the United States dumps is least in the world.

6. Which of the following would best fill the gap（ 6 ）? 37

① How ② What
③ Where ④ When

Reproduced by permission of Oxford University Press from Recycling by Sue Stewart © Oxford University Press 2008.

7. Which of the following is true according to the article? 38

① People no longer collect things that other people throw away and sell them.

② It is more difficult to find a repairman than to buy new things when things are broken.

③ Small children always play not only with the toy inside a box but the box as well.

④ It is not developed countries but developing countries that make the problem of rubbish worse.

数学（80分）

問題 I 次の(1)～(3)の各問に答えよ。

(1) 有理数 x, y が
等式 $\frac{1}{3}(\sqrt{3}x+4y)+\frac{1}{\sqrt{3}-1}(2\sqrt{3}y-8)+\frac{\sqrt{3}+2}{2\sqrt{3}+3}(5+\sqrt{3}x)=0$
を満たすとき，$x=\frac{\boxed{アイ}}{\boxed{ウ}}$，$y=\frac{\boxed{エオ}}{\boxed{カ}}$ である。

(2) a を定数とする。2次不等式 $x^2-2ax-a+2\geqq 0$ が，
すべての実数 x で成り立つとき $\boxed{キク}\leqq a\leqq\boxed{ケ}$ であり，
$-1\leqq x\leqq\frac{1}{2}$ を満たすすべての x で成り立つとき $\boxed{コサ}\leqq a\leqq\frac{\boxed{シ}}{\boxed{ス}}$ である。

(3) 数列 $\{a_n\}$ は初項3，$\{a_n\}$ の階差数列 $\{b_n\}$ は初項2，
漸化式 $b_{n+1}=5b_n+8$ $(n=1,2,3,\cdots)$ を満たす。
数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=\boxed{セ}\cdot\boxed{ソ}^{n-1}-\boxed{タ}$ であり，
数列 $\{a_n\}$ の一般項は $a_n=\boxed{チ}^{n-1}-\boxed{ツ}n+\boxed{テ}$ である。

問題 II 0，1，2，3，4，5，6の7個の数字から異なる3個の数字を選んで3桁の整数を作る。

(1) 整数は全部で $\boxed{アイウ}$ 個ある。

(2) 4で割り切れる整数は全部で $\boxed{エオ}$ 個ある。

(3) 3または4で割り切れる整数は全部で $\boxed{カキク}$ 個ある。

問題 III BC = 14，CA = 12，$\cos\angle ACB=\frac{5}{7}$ の△ABCにおいて，辺ACを2：5に外分する点をDとする。

(1) AB = $\boxed{アイ}$ であり，$\sin\angle ACB=\frac{\boxed{ウ}\sqrt{\boxed{エ}}}{\boxed{オ}}$ である。

(2) △ABCの内接円の半径は $\frac{\boxed{カ}\sqrt{\boxed{キ}}}{\boxed{ク}}$ であり，$\cos\angle BAC=\frac{\boxed{ケ}}{\boxed{コ}}$ である。

(3) BD = $\boxed{サシ}$ であり，△ABDの外接円の半径は $\frac{\boxed{スセ}\sqrt{\boxed{ソ}}}{\boxed{タチ}}$ である。

(4) △ABDの外接円と直線BCの交点のうちBと異なる点をEとすると BE = $\frac{\boxed{ツテ}}{\boxed{ト}}$ である。

(5) △ABDの外接円の点Aを含まない弧BD上に点Fをとると $\cos\angle BFD=\frac{\boxed{ナ}}{\boxed{ニ}}$ であり，四角形ABFDの面積が最大になるとき，$BF=\frac{\boxed{ヌ}\sqrt{\boxed{ネノ}}}{\boxed{ハ}}$ である。

問題 IV a，b を実数の定数とする。ただし，$b>0$ とする。実数 x に関する条件 p，q，r を次のように定める。
p : $x\leqq-\frac{1}{2}$
q : $x\geqq\frac{2}{3}$
r : $|3x-a|<b$
また，条件（p または q）の否定を（$\overline{p\text{ または }q}$）で表す。

(1) 条件（$\overline{p\text{ または }q}$）と同値な条件は $\frac{\boxed{アイ}}{\boxed{ウ}}\boxed{エ}x\boxed{オ}\frac{\boxed{カ}}{\boxed{キ}}$ である。
$\boxed{エ}$，$\boxed{オ}$ には，次の①～④から当てはまるものを一つずつ選べ。ただし，同じものを繰り返し選んでもよい。

① ＞　② ＜　③ ≧　④ ≦

(2) （$\overline{p\text{ または }q}$）が r であるための必要十分条件であるとき $a=\frac{\boxed{ク}}{\boxed{ケ}}$，$b=\frac{\boxed{コ}}{\boxed{サ}}$ である。

(3) $b=\frac{1}{2}$ とする。（$\overline{p\text{ または }q}$）が r であるための必要条件であるとき a の値の範囲は
$\boxed{シス}\boxed{セ}a\boxed{ソ}\frac{\boxed{タ}}{\boxed{チ}}$ である。
$\boxed{セ}$，$\boxed{ソ}$ には，次の①～④から当てはまるものを一つずつ選べ。ただし，同じものを繰り返し選んでもよい。

① ＞　② ＜　③ ≧　④ ≦

問題 V a は正の定数，放物線 $y=x^2+3ax+2a^2$ を C_1，放物線 $y=-x^2+7ax+4a^2$ を C_2 とする。

(1) $a=\boxed{ア}$ のとき，C_1 と C_2 はともに $x=\boxed{イ}$ で直線 $y=\boxed{ウエ}x+\boxed{オカ}$ に接する。

(2) $\boxed{キ}<a<\boxed{ク}$ のとき，C_1 と C_2 は異なる2点で交わる。
この2個の交点の x 座標のうち小さいほうを p とすると
$p=a-\sqrt{\boxed{ケ}a^{\boxed{コ}}+\boxed{サ}a^{\boxed{シ}}}$ である。ただし，$\boxed{コ}>\boxed{シ}$ とする。

(3) (2) のとき，C_1 と C_2 によって囲まれる図形の面積を $S(a)$ とおくと，
$S(a)=\frac{\boxed{ス}}{\boxed{セ}}\left(\boxed{ケ}a^{\boxed{コ}}+\boxed{サ}a^{\boxed{シ}}\right)^{\frac{\boxed{ソ}}{\boxed{タ}}}$ である。

(4) (3) で求めた $S(a)$ は，$a=\boxed{チ}$ のとき最大値 $\frac{\boxed{ツテ}}{3}$ をとる。

造形構想学部
一般選抜　一般方式　学力試験
国語　英語　数学　世界史　日本史　物理　化学　解答

世界史（60分）

造形学部　芸術文化学科　選択科目
クリエイティブイノベーション学科　文系学力重視型　選択必須科目

1 2

第１問　次の文章Ａ・Ｂを読み，下の問い（**問１～８**）に答えよ。

Ａ　ローマは紀元前８世紀にイタリア人の一派がティベル川のほとりに建国した都市国家として始まった。紀元前６世紀末，ローマでは［ア］の王が追放され，共和政となった。しかし，参政権を有したのはパトリキと言われる貴族のみで，平民であるプレブスは政治に参加することができなかった。その後，①ローマはイタリア半島の征服活動を進めるが，その際主力となって活躍した平民の発言権が高まることとなる。そして紀元前３世紀のホルテンシウス法の成立により，［イ］における取り決めも②ローマの国法となることが可能となった。こうして貴族と平民の法的平等が実現されたかに見えたが，この頃には新貴族と呼ばれるノビレスが実権を持ち，ギリシアのアテネで見られたような民主政治が実現することはなかった。

問１　空欄［ア］に入る語として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［1］

①　ラテン人　　②　イオニア人
③　ユダヤ人　　④　エトルリア人

問２　下線部①について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［2］

①　統一の過程において，ハンニバルが重装歩兵を率い活躍した。
②　統一の過程において，コロナトゥスの形成により中小農民が没落した。
③　サラミスの海戦では，ローマ軍がカルタゴを打ち破った。
④　ローマは，征服した都市に対し待遇を差別して団結を防いだ。

問３　空欄［イ］に入る語として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［3］

①　平民会　　②　三部会　　③　元老院　　④　庶民院

問４　下線部②に関する文**a**と**b**の正誤の組み合わせとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。［4］

a　ドラコンの成文法が，ローマで制定された最古の法である。
b　リキニウス・セクスティウス法により，大土地所有に制限がかかった。

①　**a**－正　**b**－正　　②　**a**－正　**b**－誤
③　**a**－誤　**b**－正　　④　**a**－誤　**b**－誤

Ｂ　③紀元前１世紀のローマは戦乱が続いた。この混乱を収拾したオクタウィアヌスは，前27年，アウグストゥスの称号を得て，ローマの政治体制は帝政となった。その後もローマは領土を拡大し，④文化的にも大いに栄えた。ローマ領内では，様々な宗教が信仰されたが，次第に⑤キリスト教の勢力が拡大し始めた。１世紀のネロ帝による迫害など，ローマ帝国は厳しい弾圧を加えたが，時代を経るにつれ信者の数が増えていった。４世紀末にはローマ帝国は東西に分裂し，それぞれ東ローマ帝国と西ローマ帝国となった。前者はこの後も1000年以上存続するが，後者の皇帝権は弱く，ゲルマン人やフン人などの侵入も相次いだ。こうして476年，ゲルマン人傭兵隊長［ウ］によって，皇帝が廃位され，西ローマ帝国は滅亡した。

問５　下線部③について述べた次の文Ⅰ～Ⅲが，年代の古いものから順に正しく配列されているものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。［5］

Ⅰ　クラッススが，パルティアとの戦いで戦死した。
Ⅱ　剣闘士（剣奴）スパルタクスは，仲間とともにローマに対して反乱した。
Ⅲ　スラによって，同盟市戦争が鎮圧された。

①　Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ　　②　Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ　　③　Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
④　Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ　　⑤　Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ　　⑥　Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

3 4

問６　下線部④に関連して，次のローマ文化に関する人物と作品名の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［6］

	人物名	作品名
①	プリニウス	『地理誌』
②	ウェルギリウス	『アエネイス』
③	ホメロス	『イリアス』
④	プルタルコス	『自省録』

問７　下線部⑤について述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。［7］

①　コンスタンティヌス帝は，ミラノ勅令によってキリスト教を公認した。
②　コンスタンティヌス帝時代，ニケーア公会議においてアタナシウスの説が正統とされた。
③　ディオクレティアヌス帝は，キリスト教徒を迫害した。
④　トラヤヌス帝によって，キリスト教以外の宗教を信じることは厳禁とされた。

問８　空欄［ウ］に入る語として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［8］

①　オドアケル　　②　アッティラ
③　アウグスティヌス　　④　クローヴィス

第２問　次の文章Ａ・Ｂを読み，下の問い（**問１～８**）に答えよ。

Ａ　隋末の混乱期，山西で挙兵した李淵は，618年［ア］を都として唐を建国した。①２代目の李世民の時代には，有能な官僚の補佐のもと，律令制度が整えられ，のちの繁栄の基礎が築かれた。また，対外的にも拡大，発展をとげ，次の高宗の時代には最大領域を実現した。その後，武韋の禍と称される混乱はあったものの，これを収拾した玄宗の時代，特に前半の時代は最盛期となった。しかし玄宗は治世後半になると，政治を顧みなくなった。その結果，唐王朝は大きく動揺することになる。玄宗自身，②安史の乱の拡大の中で退位せざるを得なくなった。

問１　空欄［ア］に入る語として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［9］

①　洛陽　　②　建康　　③　長安　　④　鎮京

問２　下線部①について述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。［10］

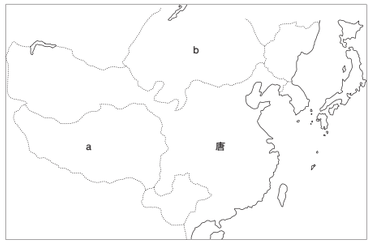
①　中書省は，詔勅の内容を審議する権限を持っていた。
②　律令における律とは，刑法に相当する。
③　六部のうち，財政は戸部が担当した。
④　李世民の治世を，貞観の治という。

問３　下線部②に関連して，この戦乱の際に，義勇軍を率いて反乱軍鎮圧に奔走した唐の著名な書家として知られる人物を，次の①～④のうちから一つ選べ。［11］

①　王羲之　　②　李白　　③　顔真卿　　④　杜甫

5 6

問４　下線部②に関連して，この戦乱の際に，反乱軍鎮圧を援助した異民族を示す地図上の位置と，その民族名の組み合わせとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。［12］



①　地図上の位置－**a**　民族名－吐蕃
②　地図上の位置－**a**　民族名－ウイグル
③　地図上の位置－**b**　民族名－吐蕃
④　地図上の位置－**b**　民族名－ウイグル

Ｂ　①五代最後の王朝，後周の武将であった趙匡胤は，部下に推されて北宋を建国した。建国後，君主独裁体制の確立を目指し，科挙には新たに［イ］を加えた。また，節度使の削減を行う一方，中央軍の強化を行った。節度使の削減は，こののち②異民族の圧迫をもたらすことになったが，歳幣の支払いを約束して収拾を図った。こうした政策は，国家財政を圧迫することとなり，11世紀後半には，王安石によってその立て直しが図られた。この改革は，ある程度の成果が上がったが，③反対派の強い抵抗もあり，王安石の引退後，次々に廃止されていった。12世紀に入ると，中国東北地方に［ウ］が建国され，その圧力によって都の開封を占領された北宋は1127年滅亡した。

問５　下線部③について述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。［13］

①　後梁は，唐を滅ぼした朱全忠によって建国された。
②　後晋は，その建国に際して渤海の援助を受けた。
③　五代では，節度使出身者が皇帝となり，武断政治が行われた。
④　五代では，多くの王朝が開封（汴京）に都をおいた。

問６　空欄［イ］［ウ］に入る語の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［14］

①　**イ**－州試　**ウ**－金　　②　**イ**－州試　**ウ**－後金
③　**イ**－殿試　**ウ**－金　　④　**イ**－殿試　**ウ**－後金

問７　下線部④に関する文**a**と**b**の正誤の組み合わせとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。［15］

a　澶淵の盟により，毎年多額の絹・銀を遼に支払うこととなった。
b　北宋を君，西夏を臣とするとした取り決めがなされた。

①　**a**－正　**b**－正　　②　**a**－正　**b**－誤
③　**a**－誤　**b**－正　　④　**a**－誤　**b**－誤

問８　下線部⑤について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［16］

①　青苗法は，農民に軍馬を育てさせる政策である。
②　市易法は，商人に対して低利融資を行う政策である。
③　韓愈は，王安石の新法を支持した。
④　王安石の新法に反対した旧法党の中心人物として，司馬遷がいる。

7 8

第３問　次の文章Ａ・Ｂを読み，下の問い（**問１～８**）に答えよ。

Ａ　15世紀末から16世紀にかけて，①ヨーロッパ人の新大陸進出が相次いだ。現地に進出したヨーロッパ人は，②鉱山・農園で，インディオの人々に対する過酷な使役をした。また，ヨーロッパ人はインフルエンザや天然痘などの伝染病ももたらし，これらに免疫の無い先住民を苦しめ，先住民は短期間で大幅に人口を減らすこととなった。こうした新大陸への進出によって③新大陸原産の作物がヨーロッパにもたらされた。また，④スペイン人は銀山を経営し，大量の銀が新大陸から旧大陸にもたらされた。

問１　下線部①について述べた次の文中の空欄［ア］［イ］に入る語の組み合わせとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。［17］

カブラルは［ア］に漂着し，その地をポルトガル領と宣言した。バルボアは，ヨーロッパ人として初めてパナマ地峡を横断し，発見した目の前に広がる海を南の海と名付けた。スペイン人のコルテスは，新大陸に栄えていた［イ］を滅ぼした。

①　**ア**－メキシコ　**イ**－インカ帝国
②　**ア**－メキシコ　**イ**－アステカ王国
③　**ア**－ブラジル　**イ**－インカ帝国
④　**ア**－ブラジル　**イ**－アステカ王国

問２　下線部②に関する文**a**と**b**の正誤の組み合わせとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。［18］

a　エンコミエンダ制の下で，インディオを労働力とすることが認められていた。
b　ラス＝カサスは，インディオの惨状を国王に訴えた。

①　**a**－正　**b**－正　　②　**a**－正　**b**－誤
③　**a**－誤　**b**－正　　④　**a**－誤　**b**－誤

問３　下線部③に関連して，新大陸原産でない作物を，次の①～④のうちから一つ選べ。［19］

①　ジャガイモ　　②　トウモロコシ
③　胡椒　　④　トマト

問４　下線部④について述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。［20］

①　大量の銀を産出した銀山として，ポトシ銀山があげられる。
②　これらの銀の一部はマニラを経由して，明代の中国に流入した。
③　銀の貨幣価値が上昇し物価が下落する，価格革命が起こった。
④　銀山を経営していた，アウクスブルクのフッガー家が没落した。

Ｂ　マゼランは，もともとポルトガル王室に仕え，⑤インド航路の開拓などで活躍していたが，次第に不和となりスペイン王室に仕えることになった。スペイン国王カルロス１世の援助を受けたマゼランは，５隻，約280人の乗組員で⑥モルッカ諸島へ向けて出港した。大西洋を西へと向かった一行は，新大陸に沿って⑦南下し，バルボアが発見した大洋への通路を探した。この航海において，ヨーロッパから新大陸西岸へ抜ける新たな水路が南アメリカ南端に発見され，その先の大洋はマゼランによって太平洋と命名された。マゼラン自身はフィリピンのマクタン島で命を落としたものの，マゼラン船隊の一隻が出帆から３年の時を経てアフリカ南端の喜望峰回りで無事スペインに帰着し，⑧人類史上初の世界周航が成し遂げられた。

問５　下線部⑤について述べた次の文中の空欄［ウ］［エ］に入る語の組み合わせとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。［21］

ヴェネツィアなどの北イタリアの都市は，［ウ］により繁栄していたが，ポルトガルがインド航路を開拓したことによりその繁栄に陰りが見え始めた。商業の中心も次第にイタリアを離れて，［エ］などの大西洋岸の都市に移った。

9

① ウ－季節風貿易　エ－リューベック
② ウ－季節風貿易　エ－リスボン
③ ウ－東方貿易　エ－リューベック
④ ウ－東方貿易　エ－リスボン

問6 下線部⑥に関連して，次のカルロス１世の治世に関する年表に示した**a**～**d**の時期のうち，アウクスブルクの宗教和議が成立した時期として正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **22**

a	
1519年	神聖ローマ皇帝に選ばれる
b	
1529年	第一次ウィーン包囲を受ける
c	
1538年	プレヴェザの海戦で敗れる
d	
1556年	スペイン国王，神聖ローマ皇帝を退位する

① **a**　② **b**　③ **c**　④ **d**

問7 下線部⑦に関する文**a**と**b**の正誤の組み合わせとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **23**

a 18世紀，この地の支配を巡って，アンボイナ事件が起こった。
b 香料諸島ともいわれ，長い間フランスの植民地であった。

① **a**－正　**b**－正　② **a**－正　**b**－誤
③ **a**－誤　**b**－正　④ **a**－誤　**b**－誤

10

問8 下線部⑧に関連して，この航海によってはじめて地球が球体であることが証明されたが，コロンブスに大西洋西航の根拠を与えたことで知られる，地球球体説を唱えていた人物を次の①～④のうちから一つ選べ。 **24**

① アメリゴ＝ヴェスプッチ　② トスカネリ
③ ガリレイ　④ イブン＝ハルドゥーン

第４問 次の文章Ａ・Ｂを読み，下の問い（**問１**～**８**）に答えよ。

Ａ インドや北アメリカにおける植民地戦争で勝利したイギリスでは，蓄積された資本による機械化が本格化し，18世紀後半に世界に先がけて産業革命が展開した。その過程で，北アメリカのイギリス領13植民地では，自国の利益を優先するイギリスの重商主義政策に反発して独立戦争が起こり，人民主権のアメリカ合衆国が誕生した。アメリカ独立の影響を受けたフランス革命では，一部の特権身分による支配体制が打倒され，平等な「国民」が主権を担う「国民国家」の形成が目指された。このような考え方は，ナポレオンによるヨーロッパ大陸制覇により，フランス以外の国々にも広まり，19世紀以降，各地でナショナリズムを芽生えさせることとなった。

問１ 下線部①に関連して，イギリスの産業革命の進展について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **25**

① イギリスの産業革命は，毛織物工業の分野の技術革新から本格化した。
② ダービーが改良した蒸気機関は，様々な機械の動力として利用されるようになった。
③ マンチェスターは，製鉄業・機械工業の中心都市として人口が急増した。
④ 女性や子供の長時間労働問題を改善するため，工場法が数次にわたり制定された。

問２ 下線部②に関連して，次の年表に示した**a**～**d**の時期のうち，アメリカで「独立宣言」が採択された時期として正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **26**

11

a	
1775年	レキシントンの戦い
b	
1781年	ヨークタウンの戦い
c	
1783年	パリ条約
d	

① **a**　② **b**　③ **c**　④ **d**

問３ 下線部③について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **27**

① 1791年憲法では，立憲君主政が定められた。
② ヴェルサイユ行進の結果，国王一家が捕らえられ，王権が停止された。
③ ジャコバン派政権は，封建地代の有償廃止を決定した。
④ ブリュメール18日のクーデタにより，ロベスピエールは失脚した。

問４ 下線部④に関連して，19世紀に起こったナショナリズムに基づく出来事について述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 **28**

① プロイセンでは，農奴解放を中心とする近代化改革が進められた。
② ベルギーでは，武装蜂起が発生し，フランスからの独立が宣言された。
③ ロシアでは，専制打倒を目指すデカブリストの乱が起こった。
④ ギリシアでは，オスマン帝国に対する独立戦争が勃発した。

Ｂ 1848年，国家統一や民族独立を目指す運動がヨーロッパ各地に広がった。「諸国民の春」と呼ばれるこれらの運動は，保守勢力の巻き返しなどによって挫折した。しかしクリミア戦争後には，保守勢力のロシアなどのヨーロッパ諸国が，それぞれの国内問題の解決に集中したこともあり，列強の干渉を受けずに対外行動や内政改革に取り組みやすい状況が生まれた。このような状況下で，イタリアやドイツは戦争をともなう統一国家樹立に成功した。統一後のドイツは，重化学工業を中心とした技術革新が進み，産業革命で先行するイギリスを追随する存在となった。一方，南北戦争後のアメリカ合衆国も，国民国家の形成が進み，めざましい経済成長をとげた。19世紀末には，西部開拓の進展によりフロンティアの消滅が宣言され，イギリス・ドイツをしのぐ世界最大の工業国となった。

問５ 下線部⑤に関連して，1848年の出来事について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **29**

① フランスでは，二月革命によりルイ＝フィリップが退位し，ナポレオン３世の第二帝政が始まった。
② 全ドイツの統一と憲法制定を目指した国民議会がベルリンで開催された。
③ イギリスでは，チャーティスト運動が高揚し，都市労働者に選挙権が与えられた。
④ マルクスとエンゲルスは，『共産党宣言』を発表し，万国の労働者の団結による社会主義の実現を説いた。

問６ 下線部⑥について述べた次の文中の空欄 **ア** **イ** に入る語の組み合わせとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **30**

イタリア統一運動の中心となったのは，産業の振興が進んだサルデーニャ王国であった。フランスの援助でオーストリアからロンバルディアを獲得し，次いで中部イタリアの併合に成功した。そして，「青年イタリア」出身の **ア** が義勇軍を率いて占領した両シチリア王国は，サルデーニャ王に「献上」され，1861年にイタリア王国が成立した。その後，ヴェネツィア・教皇領の獲得にも成功したが，**イ** などはオーストリア領にとどまったため，「未回収のイタリア」と呼ばれた。

① **ア**－ガリバルディ　**イ**－アルザス・ロレーヌ
② **ア**－ガリバルディ　**イ**－トリエステ・南チロル
③ **ア**－カヴール　**イ**－アルザス・ロレーヌ
④ **ア**－カヴール　**イ**－トリエステ・南チロル

13

問７ 下線部⑦に関する文**a**と**b**の正誤の組み合わせとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **31**

a ビスマルクは，社会主義者を弾圧するための文化闘争を行った。
b ビスマルクは，労働者を保護するための社会保険制度を実施した。

① **a**－正　**b**－正　② **a**－正　**b**－誤
③ **a**－誤　**b**－正　④ **a**－誤　**b**－誤

問８ 下線部⑧について述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 **32**

① ロシアから買収したアラスカでは，のちに金鉱が発見された。
② 最初の大陸横断鉄道の建設には，クーリー（苦力）と呼ばれる中国系の労働者が貢献した。
③ 奴隷制は廃止されたが，黒人の多くはシェアクロッパー（分益小作人）として貧しい生活をおくった。
④ アイルランド系とドイツ系を中心とする「新移民」が急増した。

第５問 次の文章Ａ・Ｂを読み，下の問い（**問１**～**８**）に答えよ。

Ａ 第一次世界大戦の戦後処理にあたって唱えられた民族自決の原則は，非ヨーロッパ地域の植民地には適用されなかったが，その後の各地の民族運動に大きな影響を与えることとなった。日本統治下の朝鮮では，三・一独立運動が全土に広がり，日本は統治政策の変更を余儀なくされた。一方，中国でも五・四運動が民族運動の出発点となり，中国国民党と中国共産党が結成され，民族解放闘争が進むこととなった。第一次世界大戦でイギリスに協力したインドでは，約束されていた戦後の自治が実現せず，反英独立運動が激しさを増した。敗戦国のオスマン帝国では，列強による国土分割に対する抵抗運動が起こり，ムスタファ＝ケマルの指導でトルコ共和国が建国された。

問１ 下線部①に関する文**a**と**b**の正誤の組み合わせとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **33**

a インドネシアでは，ホー＝チ＝ミンがオランダからの独立運動を指導した。
b ビルマ（ミャンマー）では，タキン党がイギリスからの独立運動を展開した。

① **a**－正　**b**－正　② **a**－正　**b**－誤
③ **a**－誤　**b**－正　④ **a**－誤　**b**－誤

問２ 下線部②について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **34**

① 第１次国共合作は，中国共産党の孫文の努力によって実現した。
② 北伐途上で起きた上海クーデタでは，多数の中国国民党員が殺害された。
③ 中国共産党は，根拠地を瑞金から西安に移す長征を行った。
④ 盧溝橋事件により日中戦争が勃発すると，両党は第２次国共合作に同意した。

問３ 下線部③について述べた次の文中の空欄 **ア** **イ** に入る語の組み合わせとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **35**

1919年，イギリスが制定した **ア** に対する抗議集会がインド各地で開かれたが，イギリスの武力弾圧により多くの死傷者を出した。こうした圧政に対し，国民会議派の指導者ガンディーは，ヒンドゥー教の理念に立って非暴力・不服従運動を展開した。当初この運動には，**イ** が指導する全インド＝ムスリム連盟も協力したが，のちに運動方針の対立が生じ，反国民会議派の路線を歩むことになった。

① **ア**－ローラット法　**イ**－ジンナー
② **ア**－ローラット法　**イ**－ネルー
③ **ア**－ベンガル分割令　**イ**－ジンナー
④ **ア**－ベンガル分割令　**イ**－ネルー

問４ 下線部④について述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 **36**

15

① ムスタファ＝ケマルは，ギリシア軍を撃退し，イズミルを奪回した。
② ムスタファ＝ケマルは，連合国とセーヴル条約を締結し，治外法権を廃止した。
③ トルコ共和国では，カリフ制を廃止し，政教分離を目指した。
④ トルコ共和国では，アラビア文字を廃止し，ローマ字を採用した。

Ｂ 第二次世界大戦後，米ソ２大国の対立から生じた「冷戦」により，世界は東西陣営に分断された。「冷戦」が進行する過程では，朝鮮のように，米ソの介入を受けて南北に分割され，「熱い戦争」が展開することもあった。このような状況に対し，アジア・アフリカの新興独立国を中心に，東西両陣営のどちらにも属さず，積極中立の立場をとる「第三世界（第三勢力）」の連携も始まった。しかし，「第三世界」の国々には，資本や技術が不足し，自立的な経済建設が進まない途上国が多く，「南北問題」と呼ばれる先進工業国との経済格差が深まった。一方，「第三世界」の中でも中東の産油国などの国内資源にめぐまれた国々には，資源を武器に国際的な発言権を高めようとする動きもあらわれた。

問５ 下線部⑤に関連して，朝鮮戦争について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **37**

① 開戦時の大韓民国の大統領は李承晩であった。
② 国連軍の派遣は，アメリカの反対で実現しなかった。
③ 朝鮮民主主義人民共和国の支援のために，ソ連は義勇軍を派遣した。
④ 戦局は，北緯17度線を挟んで膠着状態に陥った。

問６ 下線部⑥に関連して，第二次世界大戦後のアジア諸国の出来事について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **38**

① インドネシアのジャカルタで，第１回アジア＝アフリカ会議が開催された。
② インドとパキスタンは，カシミールの帰属をめぐって衝突した。
③ ベトナムは，アメリカとの戦争に勝利し，ジュネーヴ休戦協定を結んだ。
④ マレーシア連邦から，インド系住民が多いシンガポールが独立した。

16

問７ 下線部⑦に関する文**a**と**b**の正誤の組み合わせとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **39**

a ガーナは，エンクルマ（ンクルマ）の指導で独立を達成した。
b コンゴは，独立直後に旧宗主国のベルギーの介入によって動乱となった。

① **a**－正　**b**－正　② **a**－正　**b**－誤
③ **a**－誤　**b**－正　④ **a**－誤　**b**－誤

問８ 下線部⑧に関連して，中東に関する出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲが，年代の古いものから順に正しく配列されているものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 **40**

Ⅰ イスラエルが，シナイ半島やヨルダン川西岸を占領した。
Ⅱ エジプトのナセル大統領が，スエズ運河国有化を宣言した。
Ⅲ アラブ産油国による石油戦略で，第１次石油危機（オイル＝ショック）が起こった。

① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ　② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ　③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ　⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ　⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

日本史（60分）

造形学部　芸術文化学科　選択科目
クリエイティブイノベーション学科　文系学力重視型　選択必須科目

1 2

第１問　次の文章Ａ・Ｂを読み，下の問い（**問１～10**）に答えよ。

Ａ　618年に隋にかわって唐が起こると，わが国も唐に対して引き続き使節を送った。これを遣唐使[a]と呼んでいる。672年の［ア］後，一時期中絶していた遣唐使は，［イ］制定の翌年に復活した。

遣唐使は630年に［ウ］がはじめて派遣されてから，894年に［エ］の建議によって停止されるまで，十数回にわたって派遣された。しかし当時においては，造船技術や気象の変化に対処する技術も十分ではなかったため，途中で遭難することも多かった。

この遣唐使の使節により，多くの留学生や学問僧が入唐した。当時，唐の都［オ］には，周辺の異民族や西ヨーロッパの人々などが各地の文物を携えて集まり，国際色豊かな文化を展開していた。遣唐使で派遣された留学生や学問僧たちも，これらの人々や文物に接することで，視野を広めたり，当時の様々な優れた文化を吸収することができた。なかでも『賛嬉問答歌』を詠んだ［カ］や留学生・留学僧である［キ］，［ク］，［ケ］らは有名である。［キ］は帰国の機会を失い，唐の朝廷に仕えた。また［ク］，［ケ］は15年近い留学生活を送ったのち，多くの知識・文物をもって帰国し，わが国の文化の発展に大きく貢献する一方，聖武天皇の治世[b]において，政治の世界でも大いに活躍した。

問１　下線部**a**の遣唐使に関する文章として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。　1

① 遣唐使は，大使・副使以下，多いときは500人ほどにもなった。
② 遣唐使は，当初から貿易を拡大することが第一の目的であった。
③ 遣唐使船は，常に４隻の編成が基本で，毎年派遣された。
④ 遣唐使の航路は変更されたが，いずれも揚州に入り長安を目指した。

問２　空欄［ア］～［ウ］に入る語句の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。　2

① ア－白村江の戦い　イ－養老律令　ウ－蘇我石川麻呂
② ア－壬申の乱　イ－大宝律令　ウ－大上御田鍬
③ ア－白村江の戦い　イ－大宝律令　ウ－大上御田鍬
④ ア－壬申の乱　イ－養老律令　ウ－蘇我石川麻呂

問３　空欄［エ］～［カ］に入る語句の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。　3

① エ－菅原道真　オ－長安　カ－山上憶良
② エ－菅野真道　オ－洛陽　カ－淡海三船
③ エ－菅原道真　オ－洛陽　カ－山上憶良
④ エ－菅野真道　オ－長安　カ－淡海三船

問４　空欄［キ］～［ケ］に入る語句の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。　4

① キ－阿倍内麻呂　ク－吉備真備　ケ－行基
② キ－阿倍仲麻呂　ク－稗田阿礼　ケ－玄昉
③ キ－阿倍内麻呂　ク－稗田阿礼　ケ－行基
④ キ－阿倍仲麻呂　ク－吉備真備　ケ－玄昉

問５　下線部**b**の聖武天皇の治世下の出来事として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。　5

① 諸国に国分寺・国分尼寺を建立させた。
② 藤原四子があいついで天然痘で亡くなった。
③ 武蔵国秩父郡の和銅献上により改元した。
④『出雲国風土記』が完成した。

3 4

Ｂ　［コ］天皇の律令制再編政策を受けついだ桓武天皇[c]は，平城京を離れ，新しい政治を行うために，784年に［サ］国の長岡京へ遷都した。これにともない［シ］を廃し，その建物を長岡京の中心部に移築した。長岡京の造営が急がれるなか，造営の責任者の［ス］が暗殺されたり，［セ］親王が皇太子の地位を追われ死亡するなど，政治的不安が募っていった。また洪水の被害が度重なったこともあり完成は断念され，794年に新たに長岡京の［ソ］の平安京[d]に再遷都した。

前代の末期から東北地方で激しくなっていった蝦夷の反乱を鎮圧することは，桓武天皇にとって新都造営とともに重要な課題であった。桓武天皇は，［タ］を征夷大将軍に任じ，軍を［チ］中流域にまで進め，802年に族長の［ツ］を降伏させ，鎮守府を多賀城から胆沢城に移し，さらに志波城を築いた。しかし，こうした新都の造営と蝦夷との戦いという二大事業は，国家財政や民衆にとって，大きな負担となったため，両事業の停止を決定した。

問６　空欄［コ］～［シ］に入る語句の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。　6

① コ－光仁　サ－山城　シ－難波宮
② コ－光明　サ－山背　シ－紫香楽宮
③ コ－光仁　サ－山背　シ－難波宮
④ コ－光明　サ－山城　シ－紫香楽宮

問７　下線部**c**の桓武天皇が行った政策として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。　7

① 国司・郡司に地方政治の引き締めを命じ，国司の任期中の職務を監視するために，中央に勘解由使を設置した。
② 軍団と兵士を廃止し，郡司や富裕者の子弟から弓馬に巧みなものを守備にあたらせる健児制を設けた。
③ 貴族や寺院が山林原野を占拠して，農民の生業を妨げることを禁止した。
④ 12年ごとの班田を６年ごとに改めて励行をはかり，農民の経営安定をはかった。

問８　空欄［ス］～［ソ］に入る語句の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。　8

① ス－藤原種継　セ－早良　ソ－北東
② ス－藤原緒嗣　セ－舎人　ソ－北西
③ ス－藤原種継　セ－舎人　ソ－北東
④ ス－藤原緒嗣　セ－早良　ソ－北西

問９　下線部**d**の平安京に関する文章として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。　9

① 和気清麻呂の意見により新都の造営が決定され，唐の都長安を模範としてつくられた。
② 京域は東西約4.5km，南北約5.2kmで，慶滋保胤の『池亭記』には，左京が早くから さびれたことが述べられている。
③ 平城京の寺院が移ることは禁じられる一方で，新たに東寺・西寺が建立された。
④ 左京・右京は，それぞれ９条４坊に分かれ，都城の外郭をなす羅城はつくられなかったとされている。

問10　空欄［タ］～［ツ］に入る語句の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。　10

① タ－坂上田村麻呂　チ－阿武隈川　ツ－阿弖流為
② タ－文室綿麻呂　チ－北上川　ツ－伊治呰麻呂
③ タ－坂上田村麻呂　チ－北上川　ツ－阿弖流為
④ タ－文室綿麻呂　チ－阿武隈川　ツ－伊治呰麻呂

5 6

第２問　次の文章Ａ・Ｂを読み，下の問い（**問１～10**）に答えよ。

Ａ　中世の仏教界の中心勢力は，依然として東大寺・興福寺・延暦寺・東寺などの旧仏教の諸寺であった。旧仏教が行う鎮護国家や五穀豊穣などの祈禱は，民衆にとって必要なものであり，その祈りはやがて村落にまで浸透していった。しかし，源平の争乱などの深刻な被害は仏教界に衝撃を与えた。祈りの力で内乱を止めることができなかったからである。その反省などから鎌倉新仏教が誕生した。浄土教の流れをくむ［ア］と親鸞，［イ］らは［ウ］のみが往生の道と説き，幅広く人々の心をとらえた。日蓮は，天台宗の根本経典である［エ］を聖典とし，［オ］を唱えることで救われると説いた。しかし他宗派を厳しく批判し，［エ］を純粋に信仰しなければ国難をまねくと予言して鎌倉幕府にせまったため，日蓮宗は幕府から弾圧された。

宋にわたった栄西と道元は，坐禅によって自力で悟りを開こうとする禅宗を伝えた。栄西の考えは密教を禅宗で補強するものだったが，13世紀半ば以降，宋から渡来した蘭渓道隆や無学祖元[c]らが北条氏に迎えられ，中国の純粋な禅宗を伝えた。一方，道元は世俗を拒否して，越前の深山に［カ］を開き，厳しい修行に専念した。

問１　下線部**a**の東大寺・興福寺・延暦寺・東寺に関する文章として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。　11

① 東大寺は総国分寺とも称され，華厳宗の大本山でもあり，天下三戒壇の一つがあった。
② 興福寺は藤原鎌足の私寺山階寺が前身で，法相宗の大本山でもあり南都教学の中心となった。
③ 延暦寺は院政期のころには，下級僧侶を僧兵として武装化させ，院や朝廷に強訴した。
④ 東寺は，自由な伽藍配置をもち，女人高野とも呼ばれ，女性の参詣が自由であった。

問２　空欄［ア］～［ウ］に入る語句の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。　12

① ア－法然　イ－明恵　ウ－公案
② ア－忍性　イ－一遍　ウ－念仏
③ ア－法然　イ－一遍　ウ－念仏
④ ア－忍性　イ－明恵　ウ－公案

問３　下線部**b**の親鸞に関する文章として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。　13

① 浄土真宗の開祖で，延暦寺で修行後に，良源に師事した。
② 阿弥陀仏への他力信心だけが，本当の仏法であると説いた。
③ すべての人間は平等に悪人であり，その自覚が救済につながるという悪人正機説を唱えた。
④ 浄土真宗の聖典として『教行信証』を著した。

問４　空欄［エ］～［カ］に入る語句の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。　14

① エ－維摩経　オ－朗詠　カ－西大寺
② エ－法華経　オ－題目　カ－永平寺
③ エ－維摩経　オ－題目　カ－永平寺
④ エ－法華経　オ－朗詠　カ－西大寺

問５　下線部**c**の蘭渓道隆や無学祖元と関係の深い寺院の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。　15

① 建仁寺・相国寺　② 建長寺・円覚寺
③ 高山寺・知恩院　④ 久遠寺・極楽寺

7 8

Ｂ　３代将軍足利義満は権力を確立し，これをついだ４代将軍足利義持の治世はいちおうの安定をみせていたが，1416年，鎌倉公方に不平をもった前関東管領が鎌倉で反乱するという事件[e]がおこり鎌倉府との関係が問題になってきた。５代将軍［キ］が早世したあと，６代将軍となったのは天台座主から還俗した足利義教であった。義教の将軍就任は［ク］の神前において，くじ引きで決定したことから，将軍としての権力の確立を望んだ。みずから裁判をおこなうことを定めたほか，将軍位をねらった［ケ］の血縁を断ち，鎌倉公方に自分の子を任命するなどの強硬策を次々とうちたてた。1438年，室町幕府と鎌倉府の協調をはかってきた関東管領［コ］が足利持氏と対立すると，機会をねらっていた義教は大軍を派遣して，翌年，［ケ］を自殺させた。1440年，［ケ］の遺臣である［サ］が［ケ］の遺児を擁して挙兵したが，関東管領［コ］と戦い敗北した。

将軍権力の強化をめざす義教の専制的な支配は「万人恐怖」と呼ばれ，守護大名たちの不安を大きくした。こうして1441年，［シ］などの守護を兼ねていた赤松満祐が義教を自邸に招いて謀殺するという嘉吉の乱（変）[f]が起こった。幕府は，山名持豊を派遣して，［シ］に戻った満祐を討伐して事をおさめたが，幕府権力の衰退は誰の目にも明らかであった。

問６　下線部**d**の足利義満がかかわった出来事について，古いものから年代順に正しく配列したものを，下の①～④のうちから一つ選べ。　16

Ⅰ－明徳の乱　Ⅱ－応永の乱
Ⅲ－土岐康行の乱　Ⅳ－南北朝の統一

① Ⅱ－Ⅰ－Ⅳ－Ⅲ　② Ⅲ－Ⅳ－Ⅱ－Ⅰ
③ Ⅱ－Ⅲ－Ⅳ－Ⅰ　④ Ⅲ－Ⅰ－Ⅳ－Ⅱ

問７　下線部**e**に関して，この事件の名称として正しいものを，次のうちから一つ選べ。　17

① 上杉禅秀の乱　② 享徳の乱
③ 明応の政変　④ 厳島の戦い

問８　空欄［キ］～［ケ］に入る語句の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。　18

① キ－足利義量　ク－鶴岡八幡宮　ケ－足利基氏
② キ－足利義勝　ク－石清水八幡宮　ケ－足利持氏
③ キ－足利義量　ク－石清水八幡宮　ケ－足利持氏
④ キ－足利義勝　ク－鶴岡八幡宮　ケ－足利基氏

問９　空欄［コ］～［シ］に入る語句の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。　19

① コ－上杉憲忠　サ－大内義隆　シ－若狭
② コ－上杉憲実　サ－結城氏朝　シ－播磨
③ コ－上杉憲忠　サ－結城氏朝　シ－若狭
④ コ－上杉憲実　サ－大内義隆　シ－播磨

問10　下線部**f**に関して，嘉吉の乱（変）の様子を記した史料として正しいものを，次のうちから一つ選べ（史料は一部，書き改めてある）。　20

① 管（管）領これを破敗す。凡そ亡国の基，これに過ぐべからず。
② 将軍此の如き大死，古来其の例を聞かざる事なり。
③ およそ神妙。但し異成せしめば，天下のためしかるべからざる事か。
④ 中々御許容無く，一々に頸を打ち落とされ，目も当てられぬ有様也。

9

10

第３問　次の文章を読み，下の問い（**問１**～**10**）に答えよ。

古代日本において本朝十二銭と呼ばれる貨幣が鋳造されていたが，広く流通することはなかった。その後，中世に入ると貨幣経済が進展したが，主に使用されたのは宋銭や明銭といった中国からの輸入銭であった。国産の統一貨幣が鋳造されなかったのは，公家・武家・寺社といった権門が並立しており，全国を掌握する統一政権が存在しなかったことが理由の一つといわれている。近世に入り全国統一に成功した豊臣（羽柴）秀吉は，1588年に天正大判を，そのほかにも天正通宝や文禄通宝を鋳造したが，これらは贈答用・賞与を主な目的としたもので，一般に広く使用されるものではなかった。

国産の貨幣が全国的に流通するようになったのは江戸時代になってからであった。江戸幕府は，現在ユネスコの世界遺産に指定されている［ア］銀山などの重要鉱山を直轄にするとともに，貨幣鋳造権を独占して全国に通用する統一貨幣を安定供給していった。その初めは，まだ幕府が開かれる前の1600年ごろに徳川家康がつくらせた［イ］金銀である。幕府は各地に金座や銀座を設けて金貨・銀貨を鋳造したが，庶民の生活に広く必要とされた銭貨が鋳造されるようになったのは３代将軍徳川家光の［ウ］年間のことであった。こうして金・銀・銭の三貨を基礎とする貨幣制度が確立し，江戸時代における商品流通の飛躍的な発展を支えていった。

その後，５代将軍徳川綱吉のころになると金銀の産出量が減少したことで，幕府財政が収入減となる一方，前代の1657年に起きた明暦の大火後の復興費用や寺社の造営費などで支出が増加したため幕府財政の破綻をまねいた。そこで勘定吟味役荻原重秀の建議により［エ］の貨幣改鋳が行われた。これは，金の含有率を［オ］，質の［カ］小判を発行することで利益を上げるというものだったが，これによって物価の［キ］を引き起こすことになってしまった。財政面では厳しさに直面した５代将軍徳川綱吉の治世であったが，一方では，文治政策が推進されるとともに，殺生を禁じ死を忌みきらう風潮がつくり出された。また，日本独自の文化が成熟し，上方を中心に尾形光琳らの洗練された作品が生み出された。

６代将軍，７代将軍を補佐した新井白石による正徳の政治では，［エ］小判を改めて［イ］小判と同質の正徳小判を鋳造させて物価の安定をねらったが，かえって社会に混乱を引き起こした。６代将軍，７代将軍の治世は10年にも満たない短い時期ではあったが，幕府と天皇家との結びつきが強められたり，幕府による対外政策に変更が加えられた。

問１　下線部**a**と同年の出来事として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。［21］

① 一揆を防止し，農民を農業に専念させるため，刀狩令を出した。
② 京都の聚楽第に後陽成天皇を歓待し，諸大名に秀吉の力を示した。
③ バテレン追放令を出し，キリスト教宣教師の国外追放を命じた。
④ 倭寇などによる海賊行為を禁止する海賊取締令を出した。

問２　空欄［ア］に入る語句として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［22］

① 佐渡　② 石見　③ 生野　④ 別子

問３　下線部**b**の徳川家康に関する説明として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。［23］

① 織田信長とともに戦った長篠合戦で，武田勝頼軍に勝利した。
② 豊臣秀吉の死後，五大老の筆頭として五奉行の石田三成と対立した。
③ 京都方広寺の鐘銘を口実に，大坂城の豊臣秀頼を攻め滅ぼした。
④ 後水尾天皇が勅許した紫衣の着用を，法度違反として無効にした。

問４　空欄［イ］～［エ］に入る語句の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［24］

①	イ－慶長	ウ－寛文	エ－元文
②	イ－慶長	ウ－寛永	エ－元禄
③	イ－寛永	ウ－寛文	エ－元禄
④	イ－寛永	ウ－元禄	エ－元文

11

12

問５　下線部**c**に関する説明として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。［25］

① 肥前の有田焼，伏見や灘の酒，阿波の紅花，出羽の和紙など，各地の特産物が広く流通するようになった。
② 河村瑞賢により東廻り海運・西廻り海運が整備され，江戸と大坂を中心とした全国的な海上輸送網が確立した。
③ 江戸と大坂の間には菱垣廻船や樽廻船が就航して様々な物産が輸送され，江戸の十組問屋などの組織もつくられた。
④ 「天下の台所」と呼ばれた大坂には諸藩の蔵屋敷がたち並び，蔵物が蔵元などの商人を通じて販売された。

問６　空欄［オ］～［キ］に入る語句の組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［26］

①	オ－増やし	カ－高い	キ－下落
②	オ－増やし	カ－低い	キ－高騰
③	オ－減らし	カ－高い	キ－下落
④	オ－減らし	カ－低い	キ－高騰

問７　下線部**d**に関連して，５代将軍徳川綱吉の治世の説明として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。［27］

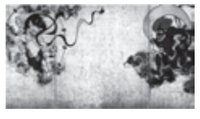
① 近親者に死者があった際の忌引の日数を定めた服忌令を出した。
② 大嘗会など朝廷儀式を再興・復興させたり，禁裏御料も増やした。
③ 湯島の聖堂学問所を昌平坂学問所とし，朱子学以外の講義を禁じた。
④ 武家諸法度では，儒教による忠や孝，礼儀を重んじることを示した。

問８　下線部**e**の尾形光琳の作品として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［28］

①

②

③



④

問９　下線部**f**の新井白石が『西洋紀聞』などを著したきっかけは，屋久島で捕らえられた外国人宣教師への尋問であった。この外国人宣教師として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［29］

① ヴァリニャーニ　② ケンペル
③ シーボルト　④ シドッチ

問10　下線部**g**に関連して，６代将軍，７代将軍の治世における対外政策の変更として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［30］

① 平戸におかれていたオランダ商館を，長崎の出島に移して監視下においた。
② 朝鮮国王からの国書の「日本国大君殿下」を，「日本国王」に改めさせた。
③ ロシア船の南下に備え，蝦夷地の防衛を強化するよう諸大名に命じた。
④ 長崎貿易を奨励し，貿易額を拡大するために，海舶互市新例を出した。

13

14

第４問　次の文章を読み，下の問い（**問１**～**10**）に答えよ。

多くの高校で採用されている日本史教科書の巻末索引を参考にすると，空海や新井白石，松方正義，鳩山一郎など３回登場する人名は多く，次いで喜介石が４回，さらに西郷隆盛が５回，そして最多登場回数が伊藤博文の７回である。それほどまでに伊藤博文がかかわった歴史的出来事が多いということが分かる。

現在の山口県に生まれた伊藤博文は，松下村塾で学び，桂小五郎（木戸孝允）や高杉晋作らと行動をともにしたのち，1863年には井上馨らとともにいわゆる長州五傑の一人としてイギリスに渡航する。その後，明治新政府が誕生すると，木戸孝允の後ろ盾やイギリス留学の経験などを買われて，兵庫県知事や工部卿などを歴任した。1870～71年にはアメリカに渡り，そこでの調査をもとに新貨条例を制定した。1871年11月には，岩倉使節団の一員として再度アメリカ，さらにはヨーロッパを歴訪し，特にドイツの鉄血宰相ビスマルクには感銘を受けたといわれている。この間，西郷隆盛を中心とした留守政府は，日本の近代化に関する重要政策を次々と実行に移していたが，使節団が帰国すると，内治優先派と征韓派が対立して，西郷隆盛らが下野するという明治六年の政変により，大久保利通を中心とした政権が確立した。大久保の死後は，大隈重信とともに明治政府を主導していたが，議会開設の時期をめぐり伊藤と大隈が対立するようになると，1881年，激しく政府を攻撃する世論と関係なりとして大隈を罷免し，漸進的な立憲体制樹立と君主権の強い憲法制定をめざす方針を確立し，憲法調査のためヨーロッパに渡った。

1885年に内閣制度を創設すると，伊藤みずから初代内閣総理大臣に就任し，1886年末頃からは，ドイツ人顧問や［ア］らとともに憲法草案の作成作業をはじめた。1888年に枢密院が設けられると，総理大臣を辞して初代枢密院議長となり，天皇臨席のもとで憲法草案の審議を重ね，1889年の大日本帝国憲法発布に尽力した。1890年からは帝国議会が開催されたが，初期の議会ではおもに予算問題で政府と民党の対立が続いた。そのような中，1892年に第２次内閣を組織した伊藤は，［イ］と接近し，天皇の詔書を利用するなどして軍備拡張をすすめ，1894年には日清戦争に突入した。翌年，外相の陸奥宗光とともに日本全権として日清講和会議に臨み，李鴻章との間で下関条約を結んで講和を成立させた。その後，1898年には第３次内閣を組織したが，［イ］との提携はあきらめて超然主義に戻ったため，その後に結成された衆議院の多数党の協力も得られず，政局運営の見通しを失って退陣した。

議会運営には政党の協力が必要であることを感じていた伊藤は，みずから政党の結成をめざすようになり，1900年に立憲政友会を結成して初代の総裁に就任した。同年，政友会を率いて第４次内閣を組織したが，貴族院の反対に苦しめられて退陣すると，これを機に政界の第一線からは退いたが，その後も元老として内閣に影響力を持ち続けた。

1905年の第二次日韓協約により漢城に統監府が設置されると，伊藤は初代の統監に就任した。伊藤が朝鮮（大韓帝国）の将来像をどのように描いていたのかは意見が分かれるが，事実だけを拾えば，1909年，ハルビン駅で韓国人独立運動家の安重根に暗殺され，生涯を閉じた。明治時代が終わるのはこの数年後であるから，明治時代はまさに伊藤博文とともにあったと言っても過言ではないかもしれない。

問１　下線部**a**の井上馨が，外務卿・外務大臣として臨んだ条約改正交渉の説明として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［31］

① 大審院に限定して，外国人判事の任用を認める内容を交渉に含ませた。
② 日英通商航海条約の調印に成功し，領事裁判権の撤廃を実現した。
③ 日本国内を外国人に開放するかわりに，領事裁判権の撤廃が欧米に了承された。
④ ノルマントン号事件を機に交渉を進め，関税自主権の一部回復を実現した。

問２　下線部**b**に関する説明として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。［32］

① 中央銀行として日本銀行を設立し，兌換銀行券の発行がはじまった。
② それまでの貨幣単位を改め，新たに円・銭・厘の10進法を採用した。
③ 翌年には国立銀行条例が制定され，民間資本による銀行設立を促した。
④ 金本位制を原則としたが，実際には銀貨や不換紙幣も流通していた。

問３　下線部**c**に関する説明として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。［33］

① 西洋諸国に合わせて太陽暦を採用し，１日24時間，日曜日を休日とした。
② 国民皆学の方針のもと学制を発布し，実学重視の近代的教育制度を定めた。
③ 国民皆兵の原則で徴兵令を公布し，満20歳以上の男性を兵役につかせた。
④ 殖産興業を推進するため，上野公園で第１回内国勧業博覧会を開催した。

15

16

問４　下線部**d**と関係の深いものとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［34］

① 三大事件建白運動　② 開拓使官有物払下げ事件
③ 地租改正反対一揆　④ 民撰議院設立の建白書

問５　空欄［ア］は，軍人勅諭や教育勅語の起草にも尽力した人物である。正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［35］

① 伊東巳代治　② 金子堅太郎　③ 井上毅　④ 福岡孝弟

問６　下線部**e**の大日本帝国憲法に関する説明として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［36］

① 陸海軍の統帥権は，議会や内閣からも独立して天皇に直属していた。
② 帝国議会は貴族院と衆議院で成り立ち，衆議院の優越が規定されていた。
③ 各国務大臣は，議会と天皇の双方に対して責任を負うものとされた。
④ 憲法発布にともない枢密院は廃止され，かわりに内大臣が設けられた。

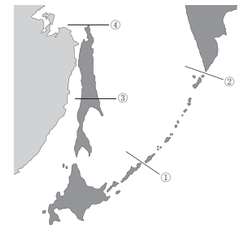
問７　下線部**f**に関連し，初期議会における民党の主張として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［37］

① 閥族打破　② 挙国一致　③ 憲政擁護　④ 民力休養

問８　空欄［イ］に入る語句として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［38］

① 自由党　② 憲政党　③ 立憲改進党　④ 進歩党

問９　下線部**g**の下関条約が締結された時点での，日露国境として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［39］



問10　下線部**h**の史料として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。（史料は適宜，書き改めてある。）［40］

① 日本国政府ハ、在東京外務省ニ依リ今後韓国ノ外国ニ対スル関係及事務ヲ監理指揮スヘク、日本国ノ外交代表者及領事ハ…
② 韓国皇帝陛下ハ韓国全部ニ関スル一切ノ統治権ヲ完全且永久ニ日本国皇帝陛下ニ譲与ス
③ 韓国政府ノ法令ノ制定及重要ナル行政上ノ処分ハ予メ統監ノ承認ヲ経ルコト
④ 韓国政府ハ日本政府ノ推薦スル日本人一名ヲ財務顧問トシテ韓国政府ニ備聘シ、財務ニ関スル事項ハ総テ其意見ヲ詢ヒ施行スヘシ

物理（60分）

1 2

第 1 問　以下の問い（**問 1** ～ **4**）に答えよ。

〔解答番号 1 ～ 5 〕

問 1　図 1 のように，地面から鉛直上方に初速度 30 m/s で小物体を投げ上げた後の運動を考える。重力加速度の大きさを 10 m/s² とし，空気抵抗は無視できるものとする。

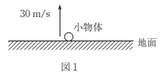


図 1

(1)　小物体が達する最高点の地面からの高さとして正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 1 m

① 10　② 30　③ 45　④ 60　⑤ 90

(2)　小物体を投げ上げた後，再び地面に戻ってくるまでの時間として正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 2 s

① 2.0　② 3.0　③ 4.0　④ 4.5　⑤ 6.0

問 2　振動数 f_1，f_2〔Hz〕の 2 つの音さを同時に鳴らしたところ，2 つの音が重なり，うなりが生じた。このとき，単位時間当たりのうなりの回数を表した式として正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 3 〔回〕

① $f_1 + f_2$　② $|f_1 - f_2|$　③ $2|f_1 - f_2|$

④ $\dfrac{f_1 f_2}{f_1 + f_2}$　⑤ $\dfrac{f_1 f_2}{|f_1 - f_2|}$

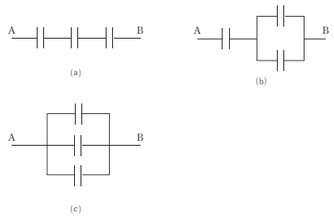
問 3　温度が 20 ℃の容器に，質量 200 g，比熱 4.2 J/(g·K) で，温度が 80 ℃の水を入れたところ，水と容器の温度がともに 70 ℃となったところで，熱平衡状態に至った。この間，外部との熱のやり取りはないとする。この容器の熱容量として正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 4 J/K

① 63　② 84　③ 168　④ 210　⑤ 420

問 4　電気容量の等しい 3 つのコンデンサーを下図(a)～(c)のように接続した。(a)～(c)を AB 間の合成容量が大きい順に並べたものとして正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 5

① (a)>(b)>(c)　② (a)>(c)>(b)　③ (b)>(a)>(c)

④ (c)>(a)>(b)　⑤ (c)>(b)>(a)



第 2 問　次の文章 **A**，**B** を読んで，以下の問い（**問 1** ～ **5**）に答えよ。

〔解答番号 6 ～ 10 〕

A　図 1 のように，なめらかな水平面上で右端を壁に固定し，左端に質量 m の小球 B を接続したばね定数 k のばねを，自然長となる状態で静止させておく。続いて，質量 m の小球 A を速さ v_0 で小球 B に衝突させたところ，2 つの小球は一体となって，ばねを押し縮めていった。ただし，2 つの小球は紙面を含む鉛直面内でのみ運動するものとする。

3 4

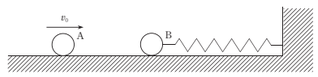


図 1

問 1　一体となった直後の小球 A，B の速さとして正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 6

① v_0　② $\dfrac{2}{3}v_0$　③ $\dfrac{1}{2}v_0$　④ $\dfrac{1}{3}v_0$　⑤ $\dfrac{1}{4}v_0$

問 2　小球 A，B の衝突により，力学的エネルギーが失われる。この衝突により失われた力学的エネルギーの総和として正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 7

① $\dfrac{1}{16}mv_0^2$　② $\dfrac{1}{8}mv_0^2$　③ $\dfrac{1}{6}mv_0^2$　④ $\dfrac{1}{4}mv_0^2$　⑤ $\dfrac{1}{2}mv_0^2$

問 3　小球 A，B は一体となった後，ばねを押し縮め，ある位置で一度静止した。小球 A，B が静止するまでにばねが縮んだ長さとして正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 8

① $v_0\sqrt{\dfrac{m}{2k}}$　② $v_0\sqrt{\dfrac{m}{k}}$　③ $\dfrac{v_0}{2}\sqrt{\dfrac{m}{k}}$

④ $v_0\sqrt{\dfrac{k}{m}}$　⑤ $v_0\sqrt{\dfrac{2k}{m}}$

B　ある熱機関に単原子分子理想気体を封入し，気体の状態を図 2 のように変化させる。ただし，図 2 中の A → B は定圧変化，B → C は定積変化，C → A は等温変化を表している。B → C の変化において気体が吸収した熱量は $\dfrac{3}{2}P_0V_0$ であり，C → A の変化において気体が吸収した熱量は $\dfrac{7}{5}P_0V_0$ であった。

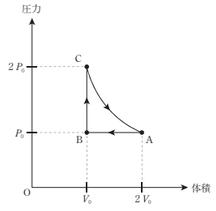


図 2

問 4　A → B の定圧変化において，気体が外部からされた仕事として正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 9

① $\dfrac{1}{2}P_0V_0$　② P_0V_0　③ $\dfrac{3}{2}P_0V_0$　④ $2P_0V_0$　⑤ $\dfrac{5}{2}P_0V_0$

問 5　この熱機関の熱効率として最も適当なものを，次の①～⑤から一つ選べ。 10 %

① 5　② 9　③ 14　④ 18　⑤ 23

5 6

第 3 問　次の文章 **A**，**B** を読んで，以下の問い（**問 1** ～ **5**）に答えよ。

〔解答番号 11 ～ 15 〕

A　図 1 のように，振動数 400 Hz の音を発する音源と観測者を乗せた台車が，水平面上を速さ 20 m/s で固定された鉛直な壁に向かって運動している。風はなく，空気中の音速は 340 m/s とする。

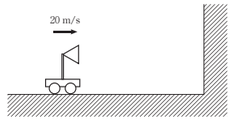


図 1

問 1　水平面上で静止している人が聞く，音源から壁に向かって進む音波の波長として正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 11 cm

① 75　② 80　③ 85　④ 90　⑤ 100

問 2　音源とともに動く観測者が観測する，壁からの反射音の振動数として正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 12 Hz

① 410　② 420　③ 430　④ 440　⑤ 450

B　図 2 のように，屈折率 1 の空気中に，屈折率 $\dfrac{\sqrt{5}}{2}$ の直方体の透明な物質を置き，ここに光線を入射させる。図の長方形 ABCD は，直方体の底面に平行な断面を表しており，光線はこの断面内を進むものとする。辺 AB に入射した光線は，辺 AB で屈折し，辺 AD で全反射した。辺 AB に入射する光線と辺 AB の法線とのなす角（入射角）を θ（$0° < \theta < 90°$），辺 AB で屈折した光線と辺 AB の法線とのなす角（屈折角）を ϕ とする。

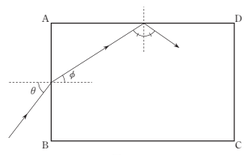


図 2

問 3　θ と ϕ の関係として正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 13

① $\sin\theta = \dfrac{\sqrt{5}}{2}\sin\phi$　② $\dfrac{\sqrt{5}}{2}\sin\theta = \sin\phi$　③ $\cos\theta = \dfrac{\sqrt{5}}{2}\cos\phi$

④ $\dfrac{\sqrt{5}}{2}\cos\theta = \cos\phi$　⑤ $\tan\theta = \dfrac{\sqrt{5}}{2}\tan\phi$

問 4　光線が辺 AD で全反射するための，ϕ の条件として正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 14

① $\dfrac{\sqrt{5}}{2}\sin\phi \geqq 1$　② $\dfrac{\sqrt{5}}{2}\sin\phi \leqq 1$　③ $\dfrac{\sqrt{5}}{2}\cos\phi \geqq 1$

④ $\dfrac{\sqrt{5}}{2}\cos\phi \leqq 1$　⑤ $\dfrac{\sqrt{5}}{2}\tan\phi \geqq 1$

問 5　光線が辺 AD で全反射するための，θ の条件として正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 15

① $\theta \geqq 30°$　② $\theta \leqq 30°$　③ $\theta \geqq 45°$

④ $\theta \leqq 45°$　⑤ $\theta \geqq 60°$

7 8

第 4 問　次の文章 **A**，**B** を読んで，以下の問い（**問 1** ～ **5**）に答えよ。

〔解答番号 16 ～ 20 〕

A　図 1 のように，スイッチ S_1，スイッチ S_2，電池 E_1（起電力 3.0 V），電池 E_2（起電力 2.0 V），抵抗 R_1（抵抗値 2.0 Ω），抵抗 R_2（抵抗値 1.0 Ω），抵抗 R_3（抵抗値 1.0 Ω）が接続された回路がある。

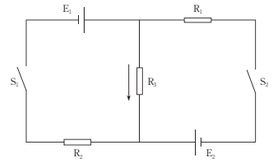


図 1

問 1　スイッチ S_1 だけを閉じたとき，抵抗 R_3 に図 1 の矢印の向きに流れる電流の大きさとして正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 16 A

① 0.50　② 1.0　③ 1.5　④ 2.0　⑤ 3.0

問 2　スイッチ S_1，S_2 を共に閉じたとき，抵抗 R_3 に矢印の向きに流れる電流の大きさは 0.80 A であった。このとき抵抗 R_1 に流れる電流の大きさとして正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 17 A

① 0.60　② 0.80　③ 1.0　④ 1.2　⑤ 1.4

B　図 2 のように，起電力 V_0（点 a を基準とした点 b の電位）と時刻 t の関係が図 3 のように表される周期 T の交流電源 E に，電気容量 C のコンデンサー C と自己インダクタンス L のコイル L が並列に接続された回路がある。導線の抵抗や，コイル L 以外の自己インダクタンスは無視できるとする。

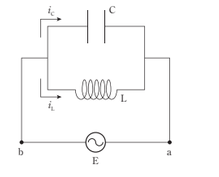


図 2

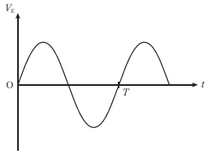
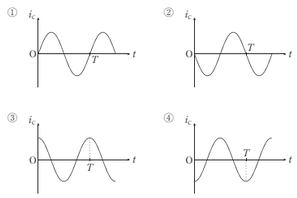


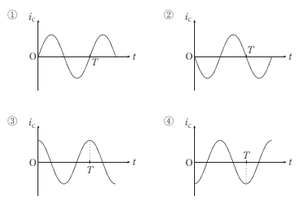
図 3

問 3　コンデンサーに流れる電流 i_C と時刻 t の関係を表したグラフとして最も適当なものを，次の①～④から一つ選べ。ただし電流の向きは，図 2 の矢印の向きを正とする。 18

9



問 4　コイルに流れる電流 i_L と時刻 t の関係を表したグラフとして最も適当なものを，次の①～④から一つ選べ。ただし電流の向きは，図 2 の矢印の向きを正とする。 **19**



問 5　この回路において，交流電源 E に流れる電流が 0 となるとき，交流電源の周期 T として正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 **20**

① $\sqrt{LC}$　② $2\pi\sqrt{LC}$　③ $\dfrac{1}{\sqrt{LC}}$　④ $\dfrac{2\pi}{\sqrt{LC}}$　⑤ $\dfrac{1}{2\pi\sqrt{LC}}$

10

第 5 問　次の文章 **A**，**B** を読んで，以下の問い（**問 1** ～ **5**）に答えよ。
〔解答番号 **21** ～ **25**〕

A　図 1 のように，長さ l の伸び縮みしない軽い糸の一端を天井に固定し，他端に質量 m の小球を接続して，小球を水平面内で等速円運動させたところ，糸と鉛直線のなす角が θ となった。重力加速度の大きさを g とする。

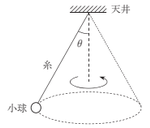


図 1

問 1　小球の円運動の半径として正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 **21**

① $l\sin\theta$　② $l\cos\theta$　③ $l\tan\theta$　④ $\dfrac{l}{\sin\theta}$　⑤ $\dfrac{l}{\cos\theta}$

問 2　小球から円の中心方向への加速度（向心加速度）を a としたとき，この小球の運動方程式として正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 **22**

① $ma = mg\sin\theta$　② $ma = mg\cos\theta$　③ $ma = mg\tan\theta$

④ $ma = \dfrac{mg}{\sin\theta}$　⑤ $ma = \dfrac{mg}{\tan\theta}$

11

問 3　この小球の等速円運動の周期として正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 **23**

① $2\pi\sqrt{\dfrac{g}{l\sin\theta}}$　② $2\pi\sqrt{\dfrac{l\sin\theta}{g}}$　③ $2\pi\sqrt{\dfrac{g}{l\cos\theta}}$

④ $2\pi\sqrt{\dfrac{l\cos\theta}{g}}$　⑤ $2\pi\sqrt{gl\sin\theta}$

B　原子核の崩壊には，原子核からヘリウム原子核（${}^{4}_{2}\mathrm{He}$）を放出する α 崩壊や，原子核内の中性子が陽子に変化して電子を放出する β 崩壊などがある。
${}^{226}_{88}\mathrm{Ra}$（ラジウム）は，原子核崩壊を繰り返し，最終的に安定な原子核である ${}^{206}_{82}\mathrm{Pb}$（鉛）に変化する。このとき，${}^{226}_{88}\mathrm{Ra}$ の数は半減期 1.6×10^{3} 年で減少していく。

問 4　${}^{226}_{88}\mathrm{Ra}$ が ${}^{206}_{82}\mathrm{Pb}$ に変化するまでの α 崩壊，β 崩壊の回数を N_α，N_β としたとき，(N_α，N_β) の組として正しいものを，次の①～⑤から一つ選べ。 **24**

① (5，4)　② (5，6)　③ (10，6)
④ (10，4)　⑤ (20，6)

問 5　${}^{226}_{88}\mathrm{Ra}$ の数が，初めの数の $\dfrac{1}{8}$ 倍まで減るのはおよそ何年後か。最も適当なものを，次の①～⑤から一つ選べ。 **25** 年

① 2.0×10^{2}　② 4.0×10^{2}　③ 3.2×10^{3}
④ 4.8×10^{3}　⑤ 1.3×10^{4}

1

原子量・定数が必要な場合は，次の値を用いよ。
原子量：H = 1.0，C = 12，O = 16，K = 39，I = 127
定数：ファラデー定数　9.65×10^{4} C/mol
標準状態における気体 1 mol の体積　22.4 L
$\log_{10}3 = 0.48$

第 1 問
物質の構成に関する以下の問い（**問 1** ～ **5**）に答えよ。
〔解答番号 **1** ～ **5**〕

問 1　次の物質のうち，常温常圧で液体として存在する物質として最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。 **1**

① フッ素　② 水素　③ ヨウ素　④ 臭素
⑤ 二酸化炭素　⑥ ナフタレン　⑦ ナトリウム　⑧ 亜鉛

問 2　次の元素のうち，原子の価電子の数が 4 個の元素として最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。 **2**

① ヘリウム　② マグネシウム　③ ホウ素
④ 酸素　⑤ ネオン　⑥ ケイ素
⑦ リン　⑧ 硫黄

問 3　次の原子のうち，原子の第一イオン化エネルギーが最も小さい原子として最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。 **3**

① H　② He　③ Li　④ C
⑤ Al　⑥ Cl　⑦ Ar　⑧ K

2

問 4　C〔mol/L〕の水酸化ナトリウム水溶液（密度 d〔g/cm³〕）の質量パーセント濃度〔%〕を表した式として最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。ただし，NaOH の式量を M とする。 **4** 〔%〕

① $\dfrac{CM}{1000d}$　② $\dfrac{CM}{100d}$　③ $\dfrac{CM}{10d}$　④ $\dfrac{CM}{d}$
⑤ $\dfrac{d}{CM}$　⑥ $\dfrac{10d}{CM}$　⑦ $\dfrac{100d}{CM}$　⑧ $\dfrac{1000d}{CM}$

問 5　2.2 g のプロパン C_3H_8 を完全燃焼するのに必要な空気の標準状態での体積〔L〕として最も適当な数値を，次の①～⑧から一つ選べ。ただし，空気は酸素と窒素が 1 : 4 の体積比で混合した気体とする。 **5** L

① 1.1　② 2.2　③ 2.8　④ 5.6
⑤ 11　⑥ 22　⑦ 28　⑧ 56

第 2 問
物質の変化と状態に関する次の文章 **A**，**B** を読んで，以下の問い（**問 1** ～ **5**）に答えよ。
〔解答番号 **6** ～ **10**〕

A　濃度未知の硫酸鉄（Ⅱ）水溶液の濃度を測定するために，過マンガン酸カリウム水溶液を用いて酸化還元滴定を行った。まず，硫酸鉄（Ⅱ）水溶液 20 mL を **ア** を用いて正確にはかりとり，三角フラスコに移し希硫酸を加えた。次に，**イ** から 0.10 mol/L の過マンガン酸カリウム水溶液を少しずつ滴下していったところ，16 mL 滴下したところで，**ウ** ので滴定が完了した。

問 1　空欄 **ア** ～ **ウ** にあてはまる語と文の組合せとして最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。 **6**

	ア	イ	ウ
①	メスフラスコ	ビュレット	水溶液の赤紫色が消え無色になった
②	メスフラスコ	ビュレット	水溶液の赤紫色が消えなくなった
③	メスフラスコ	ホールピペット	水溶液の赤紫色が消え無色になった
④	メスフラスコ	ホールピペット	水溶液の赤紫色が消えなくなった
⑤	ホールピペット	メスフラスコ	水溶液の赤紫色が消え無色になった
⑥	ホールピペット	メスフラスコ	水溶液の赤紫色が消えなくなった
⑦	ホールピペット	ビュレット	水溶液の赤紫色が消え無色になった
⑧	ホールピペット	ビュレット	水溶液の赤紫色が消えなくなった

3

問 2　硫酸酸性条件での硫酸鉄（Ⅱ）と過マンガン酸カリウムの反応は，次の化学反応式で表される。化学反応式の係数 a ～ d のうち，b に当てはまる係数として最も適当な数値を，下の①～⑧から一つ選べ。ただし，係数が省略される場合は 1 を入れるものとする。 **7**

$a\ \mathrm{FeSO_4} + 2\mathrm{KMnO_4} + b\ \mathrm{H_2SO_4} \longrightarrow$
$c\ \mathrm{Fe_2(SO_4)_3} + 2\mathrm{MnSO_4} + \mathrm{K_2SO_4} + d\ \mathrm{H_2O}$

① 1　② 2　③ 3　④ 4
⑤ 5　⑥ 6　⑦ 7　⑧ 8

4

問 3　この硫酸鉄（Ⅱ）水溶液のモル濃度〔mol/L〕として最も適当な数値を，次の①～⑧から一つ選べ。 **8** mol/L

① 1.6×10^{-2}　② 3.2×10^{-2}　③ 4.0×10^{-2}　④ 8.0×10^{-2}
⑤ 0.16　⑥ 0.32　⑦ 0.40　⑧ 0.80

B　直径 10^{-9} ～ 10^{-7} nm 程度の大きさの粒子をコロイド粒子という。コロイド粒子が液体中に均一に **ア** している溶液をコロイド溶液という。粘土や水酸化鉄（Ⅲ）などのコロイドは水への親和性が弱く，**イ** という。水中のコロイド粒子は正または負の電荷を帯びており，粘土のコロイド溶液に電極を差し込み直流電圧をかけると，粘土のコロイド粒子は陽極側へ移動した。

問 4　空欄 **ア**，**イ** にあてはまる語の組合せとして最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。 **9**

	ア	イ
①	分散	分子コロイド
②	分散	疎水コロイド
③	分散	会合コロイド
④	分散	親水コロイド
⑤	溶解	分子コロイド
⑥	溶解	疎水コロイド
⑦	溶解	会合コロイド
⑧	溶解	親水コロイド

問 5　粘土のコロイドを，最も少量で凝析させるイオンとして最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。ただし，イオンを含む水溶液の濃度はすべて等しいものとする。 **10**

① Li^+　② Na^+　③ K^+　④ Ca^{2+}
⑤ Al^{3+}　⑥ Cl^-　⑦ SO_4^{2-}　⑧ PO_4^{3-}

造形構想学部
一般選抜 一般方式 学力試験
国語 英語 数学 世界史 日本史 物理 化学 解答

5

第 3 問

物質の変化に関する次の文章 **A**，**B** を読んで，以下の問い（**問 1** ～ **5**）に答えよ。

〔解答番号 11 ～ 15 〕

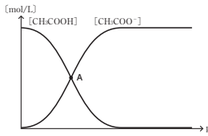
A 弱酸である酢酸は水溶液中で次のように電離して，電離平衡が成り立つ。

$$CH_3COOH \rightleftharpoons CH_3COO^- + H^+$$

また，酢酸の電離定数 K_a は次の式で表される。

$$K_a = \frac{[CH_3COO^-][H^+]}{[CH_3COOH]} = 3.0 \times 10^{-5}\,\text{mol/L}$$

0.10 mol/L の酢酸水溶液 500 mL に少しずつ強塩基を加え pH を大きくしていくと，図のように，［CH_3COOH］が減少していく一方，［CH_3COO^-］が増加していく。ただし，強塩基を加えても水溶液の体積は変化しないものとする。



問 1 0.10 mol/L の酢酸水溶液の pH として最も適当な数値を，次の①～⑧から一つ選べ。ただし，酢酸の電離度は 1 より十分に小さいものとする。 11

① 1.8　② 2.0　③ 2.2　④ 2.8
⑤ 3.0　⑥ 3.2　⑦ 3.8　⑧ 4.0

問 2 図の **A** 点での水溶液の pH として最も適当な数値を，次の①～⑧から一つ選べ。 12

① 2.5　② 3.0　③ 3.5　④ 4.0
⑤ 4.5　⑥ 5.0　⑦ 5.5　⑧ 7.0

6

問 3 pH = 7.0 になったときの水溶液中の［CH_3COOH］:［CH_3COO^-］の比として最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。 13

① 1 : 1　② 1 : 3　③ 1 : 10　④ 1 : 30
⑤ 1 : 100　⑥ 1 : 300　⑦ 1 : 1000　⑧ 1 : 3000

B 鉛蓄電池は代表的な二次電池であり，正極に［ ア ］板，負極に［ イ ］板，電解液に希硫酸を用いる。長時間放電すると，起電力は次第に低下するが，外部電源につないで充電すると，両電極で放電時とは逆向きの反応が起こり，起電力が回復する。このとき放電時の［ ア ］板は外部電源の［ ウ ］極，放電時の［ イ ］板は外部電源の［ エ ］極につなぐ。

問 4 空欄［ ア ］～［ エ ］にあてはまる語の組合せとして最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。 14

	ア	イ	ウ	エ
①	鉛	酸化鉛(Ⅱ)	正	負
②	鉛	酸化鉛(Ⅱ)	負	正
③	鉛	酸化鉛(Ⅳ)	正	負
④	鉛	酸化鉛(Ⅳ)	負	正
⑤	酸化鉛(Ⅳ)	鉛	正	負
⑥	酸化鉛(Ⅳ)	鉛	負	正
⑦	酸化鉛(Ⅳ)	酸化鉛(Ⅱ)	正	負
⑧	酸化鉛(Ⅳ)	酸化鉛(Ⅱ)	負	正

問 5 鉛蓄電池を十分な時間放電した後に両電極板を取り出し，0.10 mol/L の希硫酸 2.0 L に入れ，外部電源につないで充電する実験を行った。2.0 A で 16 分 5 秒間充電した後の希硫酸のモル濃度〔mol/L〕として最も適当な数値を，次の①～⑧から一つ選べ。ただし，充電中は放電時とは逆向きの反応のみが起こったものとし，希硫酸の体積は変化しなかったものとする。 15 mol/L

① 0.080　② 0.090　③ 0.10　④ 0.11
⑤ 0.12　⑥ 0.13　⑦ 0.14　⑧ 0.15

7

第 4 問

無機物質に関する次の文章 **A**，**B** を読んで，以下の問い（**問 1** ～ **5**）に答えよ。

〔解答番号 16 ～ 20 〕

A 遷移元素の金属原子の陽イオンは，他の分子と配位結合した錯イオンをつくるものが多い。このとき，非共有電子対を共有して中心の金属イオンに配位結合する分子や陰イオンを配位子，その数を配位数という。

問 1 錯イオンである $[Fe(CN)_6]^{4-}$ の中心の金属イオンの酸化数として最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。 16

① －6　② －4　③ －2　④ 0
⑤ ＋2　⑥ ＋3　⑦ ＋4　⑧ ＋6

問 2 次の錯イオン **a** ～ **d** のうち，正四面体形の立体構造をもつものを**すべて選んだもの**として最も適当なものを，下の①～⑧から一つ選べ。 17

a ジアンミン銀(Ⅰ)イオン
b テトラアンミン銅(Ⅱ)イオン
c テトラアンミン亜鉛(Ⅱ)イオン
d テトラヒドロキシド亜鉛(Ⅱ)酸イオン

① **a**　② **a**，**b**　③ **a**，**b**，**c**
④ **a**，**b**，**c**，**d**　⑤ **b**，**c**　⑥ **b**，**c**，**d**
⑦ **c**，**d**　⑧ **d**

問 3 塩化鉄(Ⅲ)水溶液に，チオシアン酸カリウム水溶液を加えたときの水溶液の色として最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。 18

① 無色　② 淡緑色　③ 深青色　④ 黄褐色
⑤ 白色　⑥ 青紫色　⑦ 血赤色　⑧ 黒色

B 周期表の 16 族第 3 周期の硫黄は，多くの元素と化合物をつくり，地殻中にも鉱物として多量に存在する。

8

問 4 硫化水素を発生させる実験として最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。 19

① 硫化鉄(Ⅱ)に希塩酸を加える。
② 亜硫酸ナトリウムに希硫酸を加える。
③ 銅に濃硝酸を加える。
④ 銅に希硝酸を加える。
⑤ 銀に濃硫酸を加えて加熱する。
⑥ 塩素酸カリウムに酸化マンガン(Ⅳ)を加えて加熱する。
⑦ フッ化カルシウムに濃硫酸を加えて加熱する。
⑧ 酸化マンガン(Ⅳ)に濃塩酸を加えて加熱する。

問 5 硫酸の性質に関する文として**誤りを含むもの**を，次の①～⑧から一つ選べ。 20

① 濃硫酸は粘性の大きい無色の液体である。
② 濃硫酸は水よりも密度が大きい。
③ 濃硫酸は不揮発性である。
④ 濃硫酸を希釈するときは，濃硫酸に少しずつ冷水を加えていく。
⑤ スクロースに濃硫酸を加えると，炭素が遊離し炭化する。
⑥ 工業的には，酸化バナジウム(V)を触媒として用いる接触法で製造している。
⑦ 濃硫酸は塩素の発生実験の際の乾燥剤として用いることができる。
⑧ 希硫酸は鉛よりイオン化傾向の大きい金属と反応して水素を発生する。

第 5 問

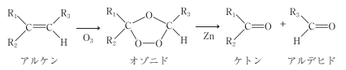
有機化合物に関する次の文章 **A**，**B** を読んで，以下の問い（**問 1** ～ **5**）に答えよ。

〔解答番号 21 ～ 25 〕

A アルケンには，C ＝ C 結合が回転できないため，立体異性体が存在するものがある。このような C ＝ C 結合に対する置換基の空間配置が異なる立体異性体をシス－トランス異性体（幾何異性体）という。また，アルケンの C ＝ C 結合はオゾンを作用させると，次のように不安定なオゾニドを経て開裂し，ケトンまたはアルデヒドを生成する。このような酸化開裂反応をオゾン

9

分解という。



アルケン　オゾニド　ケトン　アルデヒド

問 1 シス－トランス異性体をもつアルケンのうち，最も炭素数が少ないものの炭素数として最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。 21

① 1　② 2　③ 3　④ 4
⑤ 5　⑥ 6　⑦ 7　⑧ 8

問 2 2－メチル－2－ブテンをオゾン分解したときに生成するケトンまたはアルデヒドとして最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。 22

① ホルムアルデヒドのみ
② アセトアルデヒドのみ
③ アセトンのみ
④ ホルムアルデヒドとアセトアルデヒド
⑤ ホルムアルデヒドとプロピオンアルデヒド
⑥ ホルムアルデヒドとアセトン
⑦ アセトアルデヒドとアセトン
⑧ プロピオンアルデヒドとアセトン

問 3 アセチレンに硫酸水銀(Ⅱ)を触媒として水を付加させると生成する物質として最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。 23

① エタン　② エチレン（エテン）
③ メタノール　④ エタノール
⑤ ホルムアルデヒド　⑥ アセトアルデヒド
⑦ ベンゼン　⑧ シクロヘキサン

10

B 油脂は高級脂肪酸と 1，2，3－プロパントリオール（グリセリン）のエステルであり，動物や植物の生体分子として広く存在する。油脂は水より密度が小さく，水に溶けにくく，有機溶媒に溶けやすい。

問 4 次の高級脂肪酸のうち，融点が最も高いものと低いものの組合せとして最も適当なものを，下の①～⑧から一つ選べ。 24

ステアリン酸　パルミチン酸　オレイン酸　リノレン酸

	融点が最も高いもの	融点が最も低いもの
①	ステアリン酸	パルミチン酸
②	ステアリン酸	リノレン酸
③	パルミチン酸	ステアリン酸
④	パルミチン酸	オレイン酸
⑤	オレイン酸	パルミチン酸
⑥	オレイン酸	リノレン酸
⑦	リノレン酸	パルミチン酸
⑧	リノレン酸	ステアリン酸

問 5 ある油脂 11.0 g を完全にけん化するのに 2.10 g の水酸化カリウムを必要とした。また，同じ油脂 4.40 g に含まれる C ＝ C 結合のすべてにヨウ素を付加させたところ，6.35 g のヨウ素が付加した。この油脂 1 分子に含まれる C ＝ C 結合の数として最も適当なものを，次の①～⑧から一つ選べ。 25 個

① 1　② 2　③ 3　④ 4
⑤ 5　⑥ 6　⑦ 7　⑧ 8

一般方式 国語・英語・数学・世界史・日本史・物理・化学 解答

国語

大問一			
問一	1	4	
問二	2	3	
問三	3	6	
問四	4	2	
問五	5	1	
問六	6	5	
問七	7	6	
問八	ア 8	3	
	エ 9	2	
	オ 10	4	
	カ 11	2	
	ク 12	4	
問九	13	6	
問十	14	3	
問十一	15	4	
問十二	16	1	5

大問二			
問一	17	2	
問二	18	4	
問三	19	6	
問四	20	1	
問五	21	5	
問六	22	6	
問七	23	3	
問八	ア 24	4	
	エ 25	1	
	オ 26	5	
	カ 27	2	
	キ 28	3	
問九	29	3	
問十	30	2	
問十一	31	5	
問十二	32	4	6
大問三			
問一	33	1	
問二	34	3	
問三	35	4	
問四	36	5	
問五	37	4	
問六	38	2	

英語

問題Ⅰ		
1	1	④
2	2	③
3	3	①
4	4	③
5	5	④
6	6	②
7	7	①
8	8	④
9	9	①
10	10	②
11	11	③

問題Ⅱ		
1	12	①
2	13	③
3	14	④
4	15	④
5	16	②

問題Ⅲ		
1	17	②
2	18	②
3	19	①
4	20	④
5	21	④
6	22	③
7	23	②
8	24	②
9	25	①
10	26	③

問題Ⅳ		
A	27	③
B	28	⑤
C	29	②
D	30	③
E	31	①

問題Ⅴ		
1	32	③
2	33	①
3	34	④
4	35	②
5	36	③
6	37	①
7	38	②

数学

問題Ⅰ		
(1)	ア	5
	イ	5
	ウ	4
	エ	−
	オ	9
	カ	4
(2)	キ	−
	ク	2
	ケ	1
	コ	−
	サ	3
	シ	9
	ス	8
(3)	セ	4
	ソ	5
	タ	2
	チ	5
	ツ	2
	テ	4

問題Ⅱ		
(1)	ア	1
	イ	8
	ウ	0
(2)	エ	5
	オ	2
(3)	カ	1
	キ	0
	ク	1

問題Ⅲ		
(1)	ア	1
	イ	0
	ウ	2
	エ	6
	オ	7
(2)	カ	4
	キ	6
	ク	3
	ケ	1
	コ	5

問題Ⅳ		
(1)	ア	−
	イ	1
	ウ	2
	エ	2
	オ	2
	カ	2
	キ	3
(2)	ク	1
	ケ	4
	コ	7
	サ	4
(3)	シ	−
	ス	1
	セ	4
	ソ	4
	タ	3
	チ	2
(3)	サ	1
	シ	4
	ス	3
	セ	5
	ソ	6
	タ	1
	チ	2
(4)	ツ	2
	テ	2
	ト	7
(5)	ナ	1
	ニ	5
	ヌ	7
	ネ	1
	ノ	0
	ハ	2

問題Ⅴ		
(1)	ア	3
	イ	3
	ウ	1
	エ	5
	オ	4
	カ	5
(2)	キ	0
	ク	3
	ケ	−
	コ	3
	サ	3
	シ	2
(3)	ス	8
	セ	3
	ソ	3
	タ	2
(4)	チ	2
	ツ	6
	テ	4

世界史

第1問		
問1	1	④
問2	2	④
問3	3	①
問4	4	③
問5	5	⑥
問6	6	②
問7	7	④
問8	8	①
第2問		
問1	9	③
問2	10	①
問3	11	③
問4	12	④
問5	13	②
問6	14	③
問7	15	①
問8	16	②
第3問		
問1	17	④
問2	18	①
問3	19	③
問4	20	③
問5	21	④
問6	22	④
問7	23	④
問8	24	②
第4問		
問1	25	④
問2	26	②
問3	27	①
問4	28	②
問5	29	④
問6	30	②
問7	31	③
問8	32	④
第5問		
問1	33	③
問2	34	④
問3	35	①
問4	36	②
問5	37	①
問6	38	②
問7	39	①
問8	40	③

日本史

第1問		
問1	1	①
問2	2	②
問3	3	①
問4	4	④
問5	5	③
問6	6	③
問7	7	④
問8	8	①
問9	9	②
問10	10	③
第2問		
問1	11	④
問2	12	③
問3	13	①
問4	14	②
問5	15	②
問6	16	④
問7	17	①
問8	18	③
問9	19	②
問10	20	②
第3問		
問1	21	③
問2	22	②
問3	23	④
問4	24	②
問5	25	①
問6	26	④
問7	27	③
問8	28	②
問9	29	④
問10	30	②
第4問		
問1	31	③
問2	32	①
問3	33	④
問4	34	②
問5	35	③
問6	36	①
問7	37	④
問8	38	①
問9	39	②
問10	40	①

物理

第1問		
問1	1	③
	2	⑤
問2	3	②
問3	4	③
問4	5	⑤
第2問		
A問1	6	③
A問2	7	④
A問3	8	①
B問4	9	②
B問5	10	③
第3問		
A問1	11	②
A問2	12	⑤
B問3	13	①
B問4	14	③
B問5	15	②
第4問		
A問1	16	③
A問2	17	⑤
A問3	18	③
B問4	19	④
B問5	20	②
第5問		
A問1	21	①
A問2	22	③
A問3	23	④
B問4	24	①
B問5	25	④

化学

第1問		
問1	1	④
問2	2	⑥
問3	3	⑧
問4	4	③
問5	5	⑦
第2問		
A問1	6	⑧
A問2	7	⑧
A問3	8	⑦
B問4	9	②
B問5	10	⑤
第3問		
A問1	11	④
A問2	12	⑤
A問3	13	⑥
B問4	14	⑤
B問5	15	④
第4問		
A問1	16	⑤
A問2	17	⑦
A問3	18	⑦
B問4	19	①
B問5	20	④
第5問		
A問1	21	④
A問2	22	⑦
A問3	23	⑥
B問4	24	②
B問5	25	⑤

学部統一方式・一般方式の試験問題に関するアドバイス

国語：
学部統一方式では現代文長文２問、一般方式では現代文長文２問と古文1問が出題される。現代文の出題内容は、文章読解、および慣用句、漢字についての知識や理解を問う問題である。古文は、平安時代後期頃から鎌倉時代にかけての主要な作品をもとに、基本的な古文の文法や慣用句の知識や理解を問う問題になっている。解答はすべてマークシートである。一般的な参考書に取り組み、大学入学共通テストの対策を行うことで、対応可能だと思われる。

英語：
長文（学部統一方式では1問、一般方式では２問）と、会話文1問、文法の穴埋め問題、整序問題が出題される。単語は一般的な高等学校の教科書レベルである。長文と会話文は、ふさわしい語句の穴埋め、文の並び替え、文意の理解を問う問題、単語や熟語の理解を問う問題などからなる。解答はすべてマークシートである。一般的な参考書に取り組み、大学入学共通テストの対策を行うことで、対応可能だと思われる。

数学：
出題範囲は数Ⅰ、数A、数Ⅱ、数Bである。問題Ⅰは、比較的解きやすい素直な小問になっている。問題Ⅱ以降は標準的な総合問題。教科書や参考書などの説明を読み、やさしい問題で基礎固めを行い、解説が詳しく書かれている標準問題や良問を、数多く繰り返し解いてほしい。「基本事項」の意味や使い方、数学への理解が深まるだろう。手を動かし、数多く計算して慣れることが大事である。日頃から、別解を試したり、計算して出てきた結果を別の角度から検算してみたり、図に描いて考えてみることが理解を多面的にする。段階を踏んで考えていけば、必ず解ける問題ばかりである。問題文を正しく読み、解きやすい問題、自分の得意な問題から解いていくとよいだろう。マークシートの場合、記入ミス等で大幅減点になりかねない。十分注意を払って解答してほしい。

世界史・日本史：
世界史も日本史も、地域に偏りなく、古代から現代にいたるまでまんべんなく出題される。文中の語句や文についての説明文を選ぶ問題や、人名や地名などの用語の知識を問う問題、出来事を年代順に並び替える問題などからなる。解答はすべてマークシート。一般的な参考書に取り組み、大学入学共通テストの対策を行うことで、対応可能だと思われる。

物理・化学：
物理は、運動、波、電気と磁気、原子など各領域がまんべんなく出題される。化学も同様で、物質の構成、化学結合、物質の変化などについて各領域がまんべんなく出題される。問題は、穴埋めや組み合わせを問う問題、計算を要する問題などさまざまだが、解答はすべてマークシートである。一般的な参考書に取り組み、大学入学共通テストの対策を行うことで、対応可能だと思われる。

一般選抜結果【一般方式】

学部	学科・専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	受験倍率	満点（総点）	合格者最低点	合格者平均点	入学者数
造形学部	日本画学科	24	119	118	30	3.9	500	352	389.2	21
	油絵学科油絵専攻	72	397	391	90	4.3	500	360	390.6	60
	油絵学科版画専攻	9	72	72	15	4.8	500	374	396.9	6
	彫刻学科	14	63	62	23	2.7	500	352	377.0	15
	視覚伝達デザイン学科	80	622	615	124	5.0	500	338	364.0	77
	工芸工業デザイン学科	59	210	208	106	2.0	500	318	353.3	48
	空間演出デザイン学科	47	176	175	92	1.9	500	310	349.7	51
	建築学科	35	172	161	52	3.1	400	245	282.7	30
	基礎デザイン学科	35	334	330	76	4.3	400	261	282.6	34
	芸術文化学科	25	105	102	64	1.6	300	180	207.5	28
	デザイン情報学科	40	263	259	99	2.6	400	260	283.6	32
造形構想学部	クリエイティブイノベーション学科	28	79	72	54	1.3	300	165	205.7	27
	映像学科	40	154	150	47	3.2	500	352	378.9	39
合計		508	2,766	2,715	872	3.1				468

志願者数、受験者数、合格者数、合格者最低点、合格者平均点には外国人留学生・帰国生特別選抜の数は含まない。

一般選抜結果【共通テスト２教科＋専門試験方式】

学部	学科・専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	受験倍率	満点（総点）	合格者最低点	合格者平均点	入学者数
造形学部	日本画学科	7	78	78	19	4.1	500	367	399.8	8
	油絵学科油絵専攻	30	332	332	55	6.0	500	392	415.2	30
	油絵学科版画専攻	5	49	49	10	4.9	500	383	410.9	3
	彫刻学科	7	71	71	18	3.9	500	387	407.4	7
	視覚伝達デザイン学科	37	539	536	81	6.6	400	294	313.2	37
	工芸工業デザイン学科	38	203	203	98	2.1	400	263	298.2	35
	空間演出デザイン学科	26	157	157	72	2.2	400	265	296.2	19
	建築学科	15	133	133	43	3.1	400	279	312.9	12
	基礎デザイン学科	22	288	288	86	3.3	500	335	365.6	23
	芸術文化学科	10	85	85	39	2.2	300	210	233.0	9
	デザイン情報学科	18	206	206	75	2.7	400	268	294.6	21
造形構想学部	映像学科	**11	143	143	14	10.2	350	293	307.4	8
合計		226	2,284	2,281	610	3.7				212

**映像学科の「募集人員」は共通テスト2教科＋専門試験方式・共通テスト3教科方式の合算。

一般選抜結果【共通テスト３教科方式】

学部	学科・専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	受験倍率	満点（総点）	合格者最低点	合格者平均点	入学者数
造形学部	建築学科	12	187	187	61	3.1	300	239	256.5	15
	基礎デザイン学科	8	146	145	33	4.4	300	255	265.9	7
	芸術文化学科	13	155	155	81	1.9	300	220	242.6	10
	デザイン情報学科	8	152	152	34	4.5	300	255	263.6	8
造形構想学部	クリエイティブイノベーション学科	*15	109	109	56	1.9	300	212	237.8	15
	映像学科	**11	127	127	10	12.7	300	272	279.4	3
合計		67	876	875	275	4.8				58

一般選抜結果【共通テスト５教科方式】

学部	学科・専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	受験倍率	満点（総点）	合格者最低点	合格者平均点	入学者数
造形構想学部	クリエイティブイノベーション学科	*15	15	15	5	3.0	500	390	408.8	0
合計		15	15	15	5	3.0				0

*クリエイティブイノベーション学科の「募集人員」は共通テスト3教科方式・共通テスト5教科方式の合算。
**映像学科の「募集人員」は共通テスト2教科＋専門試験方式・共通テスト3教科方式の合算。

一般選抜結果【学部統一方式】

学部	学科・専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	受験倍率	満点（総点）	合格者最低点	合格者平均点	入学者数
造形構想学部	クリエイティブイノベーション学科	10	94	90	22	4.1	200	150	157.7	10
	映像学科	7	118	115	15	7.7	200	154	164.3	7
合計		17	212	205	37	5.5				17

一般選抜結果【女性比率・現役比率】

学科・専攻	方式	志願者数					合格者数				
		合計	女性		現役		合計	女性		現役	
			人数	比率	人数	比率		人数	比率	人数	比率
日本画学科	一般方式	119	94	79%	58	49%	30	26	87%	10	33%
	共通テスト2教科＋専門試験方式	78	65	83%	46	59%	19	17	89%	10	53%
	合計	197	159	81%	104	53%	49	43	88%	20	41%
油絵学科油絵専攻	一般方式	397	276	70%	234	59%	90	65	72%	45	50%
	共通テスト2教科＋専門試験方式	332	235	71%	203	61%	55	42	76%	24	44%
	合計	729	511	70%	437	60%	145	107	74%	69	48%
油絵学科版画専攻	一般方式	72	54	75%	38	53%	15	12	80%	8	53%
	共通テスト2教科＋専門試験方式	49	37	76%	32	65%	10	8	80%	5	50%
	合計	121	91	75%	70	58%	25	20	80%	13	52%
彫刻学科	一般方式	63	34	54%	29	46%	23	10	43%	12	52%
	共通テスト2教科＋専門試験方式	71	38	54%	35	49%	18	9	50%	6	33%
	合計	134	72	54%	64	48%	41	19	46%	18	44%
視覚伝達デザイン学科	一般方式	622	452	73%	427	69%	124	104	84%	78	63%
	共通テスト2教科＋専門試験方式	539	406	75%	377	70%	81	67	83%	54	67%
	合計	1,161	858	74%	804	69%	205	171	83%	132	64%
工芸工業デザイン学科	一般方式	210	124	59%	124	59%	106	68	64%	59	56%
	共通テスト2教科＋専門試験方式	203	127	63%	121	60%	98	67	68%	52	53%
	合計	413	251	61%	245	59%	204	135	66%	111	54%
空間演出デザイン学科	一般方式	176	140	80%	113	64%	92	78	85%	65	71%
	共通テスト2教科＋専門試験方式	157	137	87%	107	68%	72	63	88%	45	63%
	合計	333	277	83%	220	66%	164	141	86%	110	67%
建築学科	一般方式	172	95	55%	106	62%	52	29	56%	29	56%
	共通テスト2教科＋専門試験方式	133	70	53%	89	67%	43	23	53%	30	70%
	共通テスト3教科方式	187	103	55%	116	62%	61	37	61%	36	59%
	合計	492	268	54%	311	63%	156	89	57%	95	61%
基礎デザイン学科	一般方式	334	246	74%	233	70%	76	59	78%	57	75%
	共通テスト2教科＋専門試験方式	288	219	76%	198	69%	86	65	76%	62	72%
	共通テスト3教科方式	146	98	67%	109	75%	33	22	67%	23	70%
	合計	768	563	73%	540	70%	195	146	75%	142	73%
芸術文化学科	一般方式	105	71	68%	67	64%	64	45	70%	42	66%
	共通テスト2教科＋専門試験方式	85	60	71%	60	71%	39	27	69%	27	69%
	共通テスト3教科方式	155	110	71%	102	66%	81	63	78%	51	63%
	合計	345	241	70%	229	66%	184	135	73%	120	65%
デザイン情報学科	一般方式	263	186	71%	169	64%	99	81	82%	65	66%
	共通テスト2教科＋専門試験方式	206	154	75%	142	69%	75	58	77%	58	77%
	共通テスト3教科方式	152	96	63%	107	70%	34	21	62%	22	65%
	合計	621	436	70%	418	67%	208	160	77%	145	70%
クリエイティブイノベーション学科	一般方式	79	42	53%	53	67%	54	28	52%	35	65%
	共通テスト3教科方式	109	62	57%	74	68%	56	33	59%	43	77%
	共通テスト5教科方式	15	8	53%	10	67%	5	2	40%	4	80%
	学部統一方式	94	48	51%	55	59%	22	11	50%	14	64%
	合計	297	160	54%	192	65%	137	74	54%	96	70%
映像学科	一般方式	154	96	62%	95	62%	47	28	60%	29	62%
	共通テスト2教科＋専門試験方式	143	88	62%	99	69%	14	9	64%	9	64%
	共通テスト3教科方式	127	65	51%	93	73%	10	3	30%	6	60%
	学部統一方式	118	64	54%	84	71%	15	5	33%	8	53%
	合計	542	313	58%	371	68%	86	45	52%	52	60%
合計		6,153	4,200	68%	4,005	65%	1,799	1,285	71%	1,123	62%

都道府県別統計表

都道府県	一般方式		共通テスト方式/学部統一	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
北海道	62	18	59	18
青森県	0	-	5	3
岩手県	10	5	13	3
宮城県	9	3	22	5
秋田県	2	0	3	1
山形県	4	0	6	2
福島県	22	6	39	14
茨城県	69	23	90	28
栃木県	42	10	33	6
群馬県	35	7	41	8
埼玉県	260	68	290	65
千葉県	209	61	236	69
東京都	1,047	359	1,319	383
神奈川県	325	122	372	100
新潟県	9	3	10	3
富山県	5	2	13	5
石川県	1	1	2	1

都道府県	一般方式		共通テスト方式/学部統一	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
福井県	4	1	6	2
山梨県	21	5	23	5
長野県	55	17	67	16
岐阜県	11	4	19	4
静岡県	79	25	100	23
愛知県	54	22	101	36
三重県	9	1	11	2
滋賀県	5	1	2	1
京都県	5	1	18	5
大阪府	25	9	33	6
兵庫県	32	11	46	19
奈良県	8	3	9	5
和歌山県	2	1	4	0
鳥取県	0	-	4	4
島根県	0	-	1	0
岡山県	34	9	44	10
広島県	32	15	47	11

都道府県	一般方式		共通テスト方式/学部統一	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
山口県	5	0	7	3
徳島県	3	2	7	1
香川県	10	3	10	1
愛媛県	7	2	11	3
高知県	4	1	7	2
福岡県	75	26	81	24
佐賀県	4	1	7	2
長崎県	8	2	7	2
熊本県	23	5	25	4
大分県	13	1	19	3
宮崎県	4	1	4	0
鹿児島県	6	1	8	0
沖縄県	17	2	30	4
高卒認定	42	9	49	10
外国校	54	2	24	4
その他	4	1	3	1
合計	2,766	872	3,387	927

総合型選抜結果

学部	学科・専攻	方式	募集人員	志願者数	一次合格者数	二次合格者数
造形学部	日本画学科	一般方式［前期］	8	26	26	10
	油絵学科油絵専攻	一般方式［前期］	18	72	64	22
	油絵学科版画専攻	一般方式［前期］	3	18	18	8
		一般方式［後期］	3	9	-	3
	彫刻学科	一般方式［前期］	5	7	7	5
		一般方式［後期］	5	4	-	3
	工芸工業デザイン学科	一般方式［前期］	20	33	30	22
		英語力重視方式［前期］	3	3	3	2
	空間演出デザイン学科	一般方式［前期］	35	64	52	35
	建築学科	一般方式［前期］	10	24	24	10
	基礎デザイン学科	一般方式［前期］	8	20	20	8
	芸術文化学科	一般方式［前期］	12	21	21	13
		英語力重視方式［前期］	2	2	2	2
	デザイン情報学科	実績重視方式［前期］	5	4	3	1
		表現力重視方式［前期］	5	26	15	7
造形構想学部	クリエイティブイノベーション学科	構想力重視方式［前期］	15	21	21	17
		サイエンス思考重視方式［前期］	8	4	4	4
	映像学科	クリエイション資質重視方式［前期］	7	62	62	8
		英語力重視方式［後期］	4	5	-	2
		数学力重視方式［後期］		1	-	1
合計			176	426	372	183

学校推薦型選抜結果

学部	学科	方式	募集人員	志願者数	合格者数
造形構想学部	映像学科	ディレクション資質重視方式	7	30	7
合計			7	30	7

外国人留学生特別選抜結果

学部	学科・専攻	募集人員	志願者数	合格者数
造形学部	日本画学科	若干名	23	2
	油絵学科油絵専攻		70	13
	油絵学科版画専攻		25	5
	彫刻学科		12	4
	視覚伝達デザイン学科		57	4
	工芸工業デザイン学科		100	24
	空間演出デザイン学科		49	13
	建築学科		50	10
	基礎デザイン学科		39	6
	芸術文化学科		16	6
	デザイン情報学科		36	11
造形構想学部	クリエイティブイノベーション学科	若干名	15	7
	映像学科		64	5
合計			556	110

帰国生特別選抜結果（造形学部のみ）

学科・専攻	募集人員	志願者数	合格者数
日本画学科	若干名	1	0
油絵学科油絵専攻		0	-
油絵学科版画専攻		0	-
彫刻学科		0	-
視覚伝達デザイン学科		3	1
工芸工業デザイン学科		5	2
空間演出デザイン学科		3	1
建築学科		0	-
基礎デザイン学科		1	0
芸術文化学科		0	-
デザイン情報学科		1	1
合計		14	5

編入学選抜、転部・転科試験結果

学部	学科・専攻	3年次編入学		2年次編入学*		3年次転科		2年次転科*	
		志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
造形学部	日本画学科	7	1	6	1	0	-	0	-
	油絵学科油絵専攻	13	6	13	2	1	1	1	0
	油絵学科版画専攻	3	1	2	1	1	1	0	-
	彫刻学科	2	0	2	0	0	-	0	-
	視覚伝達デザイン学科	21	2	18	0	3	2	0	-
	工芸工業デザイン学科	17	3	15	3	5	3	1	0
	空間演出デザイン学科	8	2	-	-	1	1	-	-
	建築学科	14	0	16	4	1	1	0	-
	基礎デザイン学科	11	4	-	-	3	1	-	-
	芸術文化学科	6	3	5	1	0	-	0	-
	デザイン情報学科	4	0	6	2	0	-	0	-
造形構想学部	クリエイティブイノベーション学科	10	4	-	-	0	-	-	-
	映像学科	38	4	-	-	6	6	-	-
合計		154	30	83	14	21	16	2	0

*3年次併願含む。

大学院修士課程選抜結果

研究科・専攻	コース	募集人員	A日程		B日程	
			志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
造形研究科美術専攻	日本画コース	50	-	-	27	11
	油絵コース		-	-	60	24
	版画コース		-	-	19	11
	彫刻コース		-	-	23	11
	美学美術史コース		3	1	6	3
	芸術文化政策コース		8	1	0	-
造形研究科デザイン専攻	視覚伝達デザインコース	45	73	7	65	7
	工芸工業デザインコース		48	10	74	12
	空間演出デザインコース		-	-	19	3
	建築コース		*33	*15	16	2
	基礎デザイン学コース		17	3	44	4
	デザイン情報学コース		10	4	-	-
造形構想研究科造形構想専攻	クリエイティブリーダーシップコース	35	47	12	47	16
	映像・写真コース		111	17	16	15
合計		130	350	70	416	119

*建築コースA日程は学内推薦を含む。

大学院博士後期課程選抜結果

研究科・専攻		募集人員	志願者数	合格者数
造形研究科造形芸術専攻	作品制作研究領域	6	11	8
	環境形成研究領域			
	美術理論研究領域			
造形構想研究科造形構想専攻	造形構想研究領域	4	7	5
合計		10	18	13

武蔵野美術大学 入学試験問題集 2021

発行：武蔵野美術大学
〒187-8505 東京都小平市小川町1-736
発行日：2021年6月1日
企画・編集：武蔵野美術大学 入学センター
TEL：042-342-6038

アートディレクション：田部井美奈（田部井美奈デザイン）
グラフィックデザイン：田部井美奈、栗原瞳子（田部井美奈デザイン）
編集：成田敏史
写真撮影：小川真輝（表紙）、いしかわみちこ
印刷：株式会社サンエムカラー
本冊子の図版及び文章の無断転載を禁ずる。
Copyright©2021
Musashino Art University All Rights Reserved.

武蔵野美術大学 2021